

# 和歌山県立近代美術館年報 2022（令和 4）年度





## 目 次

---

刊行にあたって	5
和歌山県立近代美術館の使命	6
沿革	7
展覧会事業	11
普及事業	59
作品貸付	63
調査・研究・発表活動および対外協力活動	64
収集事業	67
図書資料収集	84
保存事業	86
管理運営	87
関係法規・規則・規定等	91
建築概要	98
案内	101

# 刊行にあたって

2022（令和4）年度は、なお継続する新型コロナウイルス感染拡大に対する防止策を徹底して、展覧会や各種事業を開催してまいりました。

和歌山県田辺市生まれの日本画家の没後初となり、田辺市立美術館と共に連携して開催した回顧展「稗田一穂展」、そして「とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家」展、このふたつの特別展の開催は、当館のこれまでの収集活動の成果を生かす意味でも貴重な機会となりました。

企画展の「モダン・プリンツ」展や「ニッポンの油絵」展では、版画、油彩画のコレクションを、近代そして現代の視点から再考しました。12回目を数える「なつやすみの美術館」展は、湯浅町在住の作家・妻木良三とともに取り組み、熊野古道なかへち美術館（田辺市立美術館分館）でのワークショップや展示に展開させ、当館の活動の広がりを示すことができました。「稗田一穂展」と「なつやすみの美術館」展は、県の新政策事業「紀南地方の美術館との合同展覧会」として県内他館と連携した全国の公立館のなかでも貴重な取り組みであり、さらに次年度以降も継続していきます。

春から冬にかけて開催した3つのコレクション展の特集展示は、それぞれ特集だけでひとつの企画展と呼べるほどの充実した内容となりました。そして和歌山県とインドのマハラシュトラ州との覚書締結10周年を迎えたこ

とを記念した県の事業に連携する「ミティラー美術館コレクション展」の開催も、当館の活動の幅を広げる事業となりました。

文化庁委託事業として、太地町歴史資料室、和歌山大学紀州経済史文化史研究所の協力を得て、和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会を組織し、和歌山からアメリカへの移民の歴史と芸術活動についての国際シンポジウムも開催しました。この取り組みは、次年度の特別事業「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」展の開催への貴重な一歩となりました。

本年度に県の新政策事業として始動し、保有する文化遺産のデータベース化を目指す「和歌山博物館施設デジタル化計画」も、まさに現代の博物館事業の根幹を成すものであり、県立博物館との協力の上に、さらなる継続によってその成果の公表を行う予定です。

将来にわたる施設・設備の修繕工事の実施設計なども調査・検討を進め、その維持管理について継続して配慮するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大予防や、危機管理・防災体制について取り組んでまいりました。

当館の活動は、ご来館くださる方々をはじめ、多くの皆様のご支援とご協力によって成り立っています。ここに心から感謝申し上げますとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎とするため、本年報を刊行いたします。

2024（令和6）年3月

和歌山県立近代美術館

# 和歌山県立近代美術館の使命

芸術は、私たちに楽しさや深い感動、精神的な安らぎをもたらします。芸術作品に触れることで、人は豊かな人間性を涵養し、未来への創造力を自らのうちに育むことができます。

和歌山県立近代美術館は、展覧会等を通じて人々に国内外の優れた美術文化に接する機会を提供し、地域や学校と連携しながら各種事業を通じて学校教育や生涯学習を支援することをめざします。そうした活動を通じて文化による地域作りを活性化し、文化資源の保全と活用を図り、文化芸術を担う人作りの推進に努めます。

このような目的を実現するため、以下の基本方針をもって臨みます。

## 1 魅力ある展覧会を開催します。

県民に優れた美術作品を鑑賞する機会を提供するため、魅力的な特別企画展・企画展を開催するとともに、充実した館藏品コレクションを活用して常設展を開催します。展覧会は次の4つの方針によって開催します。

- ①国内の近現代美術を紹介
- ②海外の多様な美術を紹介
- ③和歌山ゆかりの優れた作家を紹介
- ④現在活躍している若手作家を紹介

## 2 調査・研究の充実を図り成果の公表と反映に努めます。

美術史等の研究に寄与するため、充実した調査・研究を行い、その成果を展覧会や教育普及活動等に反映させ、印刷物、インターネット等を通して公開します。

## 3 作品・資料の収集を行います。

美術作品収集方針に沿って作品・資料の収集を行い、県民の文化遺産のさらなる形成に努めます。

## 4 所蔵作品・資料の状態調査、保存修復、保存環境の整備を行います。

収集した作品・資料を文化財として活用し、文化遺産として未来に伝えるため、状態調査及び保存修復、保存環境の整備に努めます。

## 5 地域と連携し学校教育や生涯学習を支援します。

地域の学校と連携して、子どもたちが団体鑑賞、体験的プログラムに参加できる環境を整備することによって、また

鑑賞教材の作成等を通じて、幅広い学習支援を行います。多様化する県民の関心に応えるため、ワークショップや解説会への参加等を通して生涯学習の支援を行います。またボランティアや友の会との協働を図り、他の県立博物館施設をはじめとする生涯学習施設・関係機関・団体等と連携します。

## 6 国内外の美術館や関連組織等と連携し、多様な活動を展開します。

これまで深めてきたわが国の美術館や関連組織等との信頼関係を基に、さらなる学術交流を行い、より質の高い、幅広い事業を展開するように努めます。国内外の美術館に所蔵作品・資料を貸し出すことにより、当館の優れたコレクションの魅力を発信します。本県の美術文化の発展並びに博物館活動を通じて広く知的資源の蓄積に寄与できるよう努めます。

## 7 利用者が安全で快適に利用できるよう美術館運営を行います。

すべての利用者が安全で快適に利用できるよう、施設・設備の維持管理を行うとともに、危機管理、安全、アメニティーに対する職員の意識向上に努めます。また施設の美観の保持と衛生管理に努めます。

## ■和歌山県立美術館

### 1963 (昭和 38) 年

- 3月 17日 旧和歌山城二の丸跡に開館
- 7月 川口軌外展
- 10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展
- 11月 第17回和歌山県美術展 (1969年第23回展まで開催)

### 1964 (昭和 39) 年

- 4月 紀州陶磁器展
- 10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展

### 1965 (昭和 40) 年

- 3月 祇園南海展
- 5月 長沢蘆雪名作展
- 7月 日高昌克展
- 10月 近代洋画名作展特設・原勝四郎遺作展

### 1966 (昭和 41) 年

- 3月 ダリ・シャガール・ピュッフェ版画展
- 6月 石垣栄太郎遺作展
- 6月 日本伝統工芸秀作展
- 7月 川端龍子展
- 10月 松方コレクション展

### 1967 (昭和 42) 年

- 4月 国際青年美術家展・日本/アメリカ展
- 8月 和歌山アンデパンダン展
- 10月 富岡鉄斎展

### 1968 (昭和 43) 年

- 3月 桑山玉洲展
- 4月 浮世絵総合展 (吉川観方コレクション)
- 7月 1968 和歌山アンデパンダン展
- 9月 扇絵展
- 10月 明治100年記念 郷土作家回顧展

### 1969 (昭和 44) 年

- 4月 保田龍門展
- 10月 明治・大正・昭和・名作美術展

### 1970 (昭和 45) 年

- 3月 京都の近代日本画展
- 4月 日本女装展 (吉川観方コレクション)
- 11月 2日 廃館

## ■和歌山県立近代美術館

### 1970 (昭和 45) 年

- 11月 2日 和歌山県民文化会館内に開館
- 第24回和歌山県美術展 (1993年第47回展まで開催)

### 1971 (昭和 46) 年

- 3月 大夢・晩花展
- 4月 竹久夢二展
- 8月 紀州の風景画展

### 1972 (昭和 47) 年

- 1月 浜口陽三版画展
- 3月 原勝四郎展
- 4月 現代日本絵画秀作展
- 10月 アメリカにおける日本人作家回顧展  
- 石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本

### 1973 (昭和 48) 年

- 3月 地中海の古代美術展
- 4月 日本伝統工芸秀作展
- 10月 川口軌外展

### 1974 (昭和 49) 年

- 4月 吉田政次遺作展
- 10月 碓伊之助展

### 1975 (昭和 50) 年

- 10月 木下孝則回顧展

### 1976 (昭和 51) 年

- 2月 1910年代における京都日本画の新動向
- 10月 木下義謙作品展

### 1977 (昭和 52) 年

- 2月 田中恭吉展
- 10月 川端龍子展 龍子 そのすべて

### 1978 (昭和 53) 年

- 10月 日高昌克展

### 1979 (昭和 54) 年

- 2月 神中糸子と工部美術学校展
- 5月 村井正誠展
- 10月 高井貞二展

### 1980 (昭和 55) 年

- 3月 川口軌外とその周辺-和歌山の初期独立展系作家たち-
- 10月 開館10周年記念1930年協会の作家たち展

### 1981 (昭和 56) 年

- 3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展
- 10月 下村観山-その人と芸術-

### 1982 (昭和 57) 年

- 2月 建畠覚造展
- 7月 イタリア美術の一世紀展《1880-1990》
- 10月 稗田一穂展

### 1983 (昭和 58) 年

- 7月 関西の美術家シリーズ1-津高一・泉茂・吉原英雄展
- 10月 日本の洋画秀作展

### 1984 (昭和 59) 年

- 2月 和歌山の作家と県内洋画壇展
- 7月 関西の美術家シリーズ2-元永定正・白髪一雄展
- 10月 紀州の風景を描いた作家たち展

### 1985 (昭和 60) 年

- 3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ3-彫刻の4人-清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展
- 10月 開館15周年記念 近代洋画の展開-初期独立美術協会の作家たち展

### 1986 (昭和 61) 年

- 7月 独創傑出の画家 朝井閑右衛門の世界
- 10月 瑛九とその周辺

### 1987 (昭和 62) 年

- 3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ4-日本画の4人-大野俣嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展
- 9月 太平洋を越えた日本の画家たち アメリカに学んだ18人

### 1988 (昭和 63) 年

- 3月 描かれた動物たち
- 7月 関西の美術家シリーズ5-版画の4人-井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展
- 10月 竹久夢二とその周辺

### 1989 (昭和 64・平成元) 年

- 3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ6-現代の造形-土と布と糸  
荒木高子・前川強・濱谷明夫展

- 10月 親と子で見る世界の名画展
- 1990(平成2)年**
- 7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在-4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展
- 10月 現代の陶芸 1980-1990 関西の作家を中心として

- 1991(平成3)年**
- 3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ8 美術の現在-彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展
- 9月 ポスター芸術100年展 サントリー美術館所蔵グランヴィルコレクション

- 1992(平成4)年**
- 10月 版画芸術の饗宴-ケネス・タイラーと巨匠たち: 1963-1992

- 1993(平成5)年**
- 3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

## ■新館計画

- 1988(昭和63)年**
- 2月 政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建設を決定
- 3月 新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置
- 9月 新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設検討委員会」を設置

- 1989(昭和64・平成元)年**
- 4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置  
新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申
- 8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置  
美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置
- 9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認

- 1990(平成2)年**
- 3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に委託

- 1991(平成3)年**
- 7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル《煉瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入
- 10月 施設着工式を挙行
- 11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ《赤の上の黄褐色と黒》(1957)を購入

- 1992(平成4)年**
- 8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ《ラッカIII》(1968)を購入

- 1993(平成5)年**
- 9月 和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ《ミノトーロマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入

- 1994(平成6)年**
- 2月 定礎式を挙行
- 3月 工事完了
- 4月 新美術館へ移転

## ■和歌山県立近代美術館 新館

- 7月8日 新近代美術館開館  
開館記念展1 美術館へ行こう
- 10月 開館記念展2 大正のまなざし-若き保田龍門とその時代-
- 11月 小企画展 ルオーの「ミゼレーレ」

## 1995(平成7)年

- 1月 恩地孝四郎-色と形の詩人-
- 2月 小企画展 和歌山ゆかりの作家たち
- 4月 1994年度新収蔵作品展
- 4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展-イギリス絵画の350年
- 7月 村井正誠展 色と形と心-人間の詩
- 8月 小企画展 美術館に行ったよ!-風景ってなあに-
- 8月 小企画展 日本の近代版画
- 9月 保田春彦展
- 10月 野田裕示近作展

## 1996(平成8)年

- 1月 線画の世界-かたりの表現-
- 2月 ひかる・うごく・おとがする 20世紀の静かならざる作品たち
- 4月 美術館へ行ったら!?「絵画」というしくみ
- 6月 紀伊半島を歩いて-ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン
- 8月 モスクワ、プーシキン美術館名作展-室内への視線-
- 9月 ホックニーのグリム童話
- 11月 日本のグラフィックデザイン

## 1997(平成9)年

- 1月 和歌山の版画家10人
- 3月 新しい関西の美術家たち ものとあられ
- 4月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見る東京
- 5月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見るパリ
- 7月 アルザスとフランス近代美術の歩み-ストラスブール近代美術館展
- 8月 版画の技法・表現の手法
- 10月 マリノ・マリーニ展
- 11月 アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち

## 1998(平成10)年

- 1月 心のかたち
- 2月 泉茂 初期版画作品を中心に
- 4月 世紀末芸術の華 オープリー・ピアズリー展
- 5月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1
- 6月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2
- 8月 静けさの中から 星の贈りもの
- 9月 和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3
- 10月 意味とイメージ-あらわれる浪漫主義の明治
- 12月 フランス現代美術展 眼と精神

## 1999(平成11)年

- 2月 関西の戦後美術 1950's-1990's
- 4月 めいさく 根掘葉掘 アートと知り合い!
- 6月 デモクラート 1951-1957 開放された戦後美術
- 7月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4
- 8月 熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展
- 9月 サンフランシスコ近代美術館展-カリフォルニア・アートシーン 1920's-1930's
- 11月 川口軌外展 ある洋画家の軌跡
- 12月 越境する想像力 素材との出会い

## 2000(平成12)年

- 2月 コレクションにみる 芸術と社会
- 4月 田中恭吉展
- 5月 定規とコンパス?幾何学図形と美術の表現
- 7月 印象派の巨匠 シスレー展-イル・ド・フランスの光を愛して
- 9月 東欧絵本の世界展 国境を越える 子どものためのアート
- 11月 現代版画の軌跡 ゆめとめざめ
- 12月 日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト

## 2001(平成13)年

- 2月 版画今昔
- 4月 夢の世界のおくりもの アンデルセン童話・絵本原画展
- 5月 うごけば、かわる。

- 8月 宇佐美圭司・絵画宇宙
- 9月 浜口陽三へのオマージュ
- 10月 マックス・エルンスト展
- 12月 一期一会 であう めでる つたえる-コレクションによる全館展示

**2002 (平成 14) 年**

- 4月 あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀
- 5月 「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界
- 7月 アンジェ美術館展
- 9月 山本容子の美術遊園地
- 11月 美術百科「この人のこの一点」の巻-コレクションによる全館展示

**2003 (平成 15) 年**

- 4月 はじめての美術 絵本原画の世界展
- 6月 チャベック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド
- 7月 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展
- 9月 たがやすように 熟す画面の4つのかたち
- 11月 和歌山県特別事業 創設 40 周年記念 文化表彰の歩み展
- 12月 美術百科「七つの鍵」の巻-コレクションによる全館展示

**2004 (平成 16) 年**

- 4月 和歌山県特別事業「日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ジャパントウディ vol.6」
- 4月 和歌山県特別事業 atW vol.1「永坂嘉光・鈴木理策 高野\_熊野\_聖地」
- 6月 小野竹喬展
- 7月 ピノッキオ その誕生から現代まで展
- 11月 チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展

**2005 (平成 17) 年**

- 1月 開館 10 周年記念 美術百科「版画」の巻-コレクションによる全館展示
- 4月 没後 10 年 遺業・泉茂
- 6月 世界の版画名品選
- 7月 夏休み わかやま美術探偵団 関連企画 鈴木昭男「点音 in 和歌山」
- 9月 版画家たちの表情
- 11月 佐伯祐三-芸術家への道-

**2006 (平成 18) 年**

- 1月 美術百科「世界一周」の巻-コレクションによる全館展示
- 4月 ベトナム近代絵画展 花と銃-インドシナ・モダンの半世紀
- 4月 小特集 追悼・建畠覚造+新収蔵作品
- 6月 現代「日本画」の展覧-内と外のあいだで-
- 8月 和歌山県特別事業 和歌山県美術展覧会第 60 回記念 和歌山の美術を担う作家たち展
- 7月 小特集 野田裕示+鈴木理策
- 9月 森鷗外と美術
- 11月 小特集 没後 20 年高井貞二-ニューヨークのタカイ
- 11月 科学の感情-あたらしい時代の感覚と表現-

**2007 (平成 19) 年**

- 1月 美術百科「前衛の関西」の巻-コレクションによる全館展示
- 4月 教育普及課を設置
- 4月 竹久夢二展-描くことが生きること-
- 4月 特集展示 大正デカダンス 「夢二学校」+「テルヲ・パンカ」
- 6月 ふだん美術 -日常に向けた目と心-
- 6月 特集展示 うるわしき技の世界 近現代美術の達人たち
- 7月 relations 関係 -藤本由紀夫 / FUJIMOTO and
- 7月 relations 関係 -藤本由紀夫 / happy conceptual-杉山知子+藤本由紀夫
- 10月 森のなかで
- 12月 美術百科「色・いろいろ」の巻-コレクションによる全館展示

**2008 (平成 20) 年**

- 4月 抒情の様式
- 6月 共作 × 共鳴 × 共感-ともに作られた作品たち
- 7月 ルオーの〈ミセレーレ〉 人間へのまなざし
- 9月 点と面の詩情-上前智祐・山中嘉一・坪田政彦
- 11月 彼岸の美術
- 12月 美術百科「この人はだれ」の巻-コレクションによる全館展示

**2009 (平成 21) 年**

- 4月 原勝四郎展
- 4月 アメリカをめぐる
- 6月 油絵の理由-「あぶらえ」は好きですか?
- 7月 生誕 100 年記念 浜口陽三展
- 7月 サマー・ミュージアム-わかやま発見-
- 9月 自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展
- 9月 コレクション名品展
- 11月 世界遺産登録 5 周年記念 描かれた紀伊山地の霊場と参詣道
- 11月 和歌山県特別事業 第 63 回和歌山県美術展覧会 (以降継続)
- 12月 美術百科「ここはどこ」の巻-コレクションによる全館展示

**2010 (平成 22) 年**

- 4月 開館 40 周年記念展 I ようこそ彫刻の森へ
- 4月 特集展示 宇佐美圭司-絵画の歩み-
- 7月 特集展示 大亦新治郎のスケッチから-明治・大正の和歌山のまち
- 9月 開館 40 周年記念展 II 日本近代の青春創作版画の名品
- 10月 特集展示 保田彦彦 近作デッサンを中心に
- 11月 和歌山県特別事業 平山郁夫追悼展示、小沢道治展

**2011 (平成 23) 年**

- 1月 開館 40 周年記念展 III 油絵の魅力 イズムを超えて
- 3月 版画の「アナ」 ガリ版がたがぐ孔版画の歴史
- 3月 特集展示 吉田政次の世界
- 4月 ポップ? ポップ! ポップ♡ コレクションに見るポップなアートの 50 年
- 6月 特集展示 生誕 120 年記念 恩地孝四郎・藤森静雄
- 7月 なつやすみの美術館「みること」「うつすこと」
- 9月 生誕 100 年 高井貞二展-「昭和」を描いた人-
- 9月 特集展示 生誕 120 年 保田龍門
- 11月 吉原英雄展 画家のドラマ
- 12月 特集展示 生誕 130 年 日高昌克
- 12月 特集展示 吉原英雄を囲む作家たち

**2012 (平成 24) 年**

- 2月 ホックニーのグリム童話
- 3月 特集展示 井田照一
- 4月 人間と自然の美術
- 6月 なつやすみの美術館 2:かたちと色の ABC
- 6月 特集展示 なつやすみ特集 野田哲也
- 9月 生誕 120 年記念 田中恭吉展
- 9月 特集展示 幻想の美術
- 11月 生誕 120 年記念 川口軌外の歩み展
- 12月 特集展示 没後 70 年 建畠大夢

**2013 (平成 25) 年**

- 2月 謄写版の冒険 卓上印刷器からはじまったアート
- 3月 特集展示 版画・図案・オブジェ
- 4月 日本の絵画の五十年
- 6月 特集展示 瑛九:紙の上の仕事
- 7月 なつやすみの美術館 3 『美術の時間』
- 9月 生誕 120 年記念 石垣栄太郎展
- 9月 特集展示 没後 100 年 香山小鳥 ゆめの日のかげ
- 12月 特集展示 人間と宇宙のドラマ:吹田文明・堀井英男・長岡國人
- 12月 物質 (モノ) と美術

## 2014 (平成 26) 年

- 2月 版画について考える-101年目の宿題-
- 3月 特集展示 モノクロームの世界
- 4月 美術館の運営状況等を評価することを目的として「和歌山県立近代美術館評価部会」を設置
- 4月 建島覚造と戦後の彫刻 かたちをさぐる
- 6月 特集展示 生誕 120年 大亦観風
- 7月 なつやすみの美術館 4 生きている!
- 9月 特集展示 没後 50年 野長瀬晩花
- 11月 観光する美術 和歌山から始まる旅
- 12月 特集展示 コレクション/ドネーション

## 2015 (平成 27) 年

- 1月 『月映』展 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 一木版にいのちを刻んだ青春
- 3月 和歌山と関西の美術家たち リアルのリアルのリアルの
- 3月 特集展示 『版画』の明治-印刷と美術のはざままで
- 3月 「和歌山県立近代美術館の使命」を公開
- 5月 保田龍門・保田春彦展
- 6月 特集展示 くりかえしの美
- 7月 なつやすみの美術館 5 つぶやき おはなしものがたり
- 9月 ここだけの日本画
- 9月 特集展示 アメリカ移民の歴史と芸術家たち
- 9月 特集展示 生誕 120年 逸見享
- 12月 生誕 110年 村井正誠展ひとの居る場所
- 12月 特集展示 光について

## 2016 (平成 28) 年

- 3月 宇佐美圭司回顧展 絵画のロゴス
- 3月 特集展示 謄写印刷工房から-印刷と美術のはざままで
- 4月 恩地孝四郎展 抒情とモダン  
関連企画 本の美術:ルリユールへの誘い
- 6月 特集展示 ドローイング-水彩・パステル・紙の世界
- 7月 なつやすみの美術館 6 きろくときおく
- 9月 特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現
- 10月 和歌山県特別事業 第1回和歌山県ジュニア美術展覧会(以降継続)
- 11月 動き出す!絵画 ペール北山の夢-モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち
- 11月 大正の異色画家たち(特別展「動き出す!絵画」第二部)

## 2017 (平成 29) 年

- 1月 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた
- 1月 特集展示 群像-交錯する声
- 4月 現代版画の展開
- 5月 特集 おはなしのなかへ
- 6月 鈴木久雄 彫刻の速度 和歌山展
- 7月 なつやすみの美術館 7 すききらい、すき? きらい?
- 9月 特集 NANGA 俗を去り自ら楽しむ
- 10月 アメリカへ渡った二人 国吉康雄と石垣栄太郎

## 2018 (平成 30) 年

- 1月 特集 はじまりの景色
- 1月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち I  
古きに学(まね)ぶ 下村観山を中心に
- 2月 明治 150年記念 水彩画家・大下藤次郎展
- 4月 産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園
- 4月 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画
- 4月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち II
- 7月 なつやすみの美術館 8 タイムトラベル
- 8月 特集 鈴木昭男 音と場の探究
- 8月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III
- 9月 和歌山-日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる
- 10月 特集 国展の版画
- 11月 創立 100周年記念 国画創作協会の全貌展

## 2019 (平成 31・令和元) 年

- 1月 コレクション名品選
- 1月 空調設備工事のため休館
- 4月 LOVE (your) LIFE! まいにちがアート
- 4月 コレクション展 2019-春 +新収蔵作品
- 6月 ニューヨーク・アートシーン ロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで-滋賀県立近代美術館コレクションを中心に
- 7月 なつやすみの美術館 9 水と美術 feat. 坂井淑恵
- 9月 時代の転換と美術 「大正」とその前後
- 9月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵品より みやこの洗練 明治の京都画壇
- 9月 特集 生誕 130年記念 せんぱん-前川千帆の版画-
- 10月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第1回 紀南地方 坂井淑恵展「水の中」
- 11月 2020日・チェコ交流 100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク
- 11月 特集 ニホンラシサを探せ
- 11月 外交史料展 外交史料と近代日本のあゆみ

## 2020 (令和 2) 年

- 1月 コレクション名品選
- 1月 2階展示室照明機器改修工事のため休館
- 5月 もようづくし
- 5月 特集 浜地清松
- 6月 特集 浜口陽三
- 7月 なつやすみの美術館 10 あまたの先日ひしめいて今日
- 9月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第2回 紀中地方 田中秀介展「かなたの先日ふみこんで今日」
- 9月 もうひとつの日本美術史-近現代版画の名作展 2020
- 9月 和歌山県立近代美術館 コレクションの 50年
- 12月 美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ

## 2021 (令和 3) 年

- 1月 コレクション名品選
- 1月 1階展示室照明改修工事のため休館
- 4月 疎密考
- 4月 特集 うちのなかから
- 6月 もうひとつの世界
- 7月 なつやすみの美術館 11 野田裕示「集まる庭」
- 8月 コミュニケーションの部屋
- 10月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第3回 紀北地方 野田裕示展
- 10月 和歌山の近現代美術の精華 第1部 観山、龍子から黒川紀章まで / 第2部 島村逢紅と日本の近代写真

## 2022 (令和 4) 年

- 1月 コレクション名品選
- 2月 20世紀からおみやげ。近現代美術のたのしみ
- 2月 特集 若き日の野長瀬晩花
- 4月 モダン・プリンツ コレクションにみる世界の版画
- 4月 特集 生誕 130年 田中恭吉
- 7月 なつやすみの美術館 12 妻木良三「はじまりの風景」
- 7月 特集 1960s-1980s 関西の現代美術「再見」
- 9月 稗田一穂展
- 10月 特集 田中恒子コレクション
- 10月 ミティラー美術館コレクション展
- 11月 ニッポンの油絵

## 2023 (令和 5) 年

- 1月 コレクション名品選
- 2月 とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家
- 2月 特集 新収蔵 奈良原一高の写真

## 2022 (令和 4) 年度展覧会一覧

### 1. 特別展

- 1. 稗田一穂展 ..... 12  
9月10日(土)～11月6日(日)
- 2. とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家 ..... 16  
2023年2月4日(土)～4月9日(日)

### 2. 企画展

- 1. モダン・プリンツ コレクションにみる世界の版画 ..... 24  
4月9日(土)～6月26日(日)
- 2. なつやすみの美術館12 妻木良三「はじまりの風景」 ..... 29  
7月5日(火)～9月4日(日)
- 3. ニッポンの油絵 ..... 33  
11月12日(土)～12月25日(日)

### 3. 常設展

- 1. コレクション展 2022 一春夏 特集 生誕 130 年 田中恭吉 ..... 36  
4月29日(金・祝)～7月3日(日)
- 2. コレクション展 2022 一夏秋 特集 1960s-1980s 関西の現代美術「再見」 ..... 40  
7月16日(土)～9月25日(日)
- 3. コレクション展 2022 一秋冬 特集 田中恒子コレクション ..... 43  
10月8日(土)～12月25日(日)
- 4. コレクション名品選 ..... 48  
2023年1月7日(土)～1月22日(日)
- 5. コレクション展 2023 一春 特集 新収蔵 奈良原一高の写真 ..... 50  
2023年2月11日(土・祝)～5月7日(日)

### 4. その他

- 1. ミティラー美術館コレクション展 ..... 56  
10月8日(土)～12月25日(日)

## 1-1. 稗田一穂展

- 会期 : 2022年9月10日(土)～11月6日(日) 50日間(休館日を除く)  
\*前期展示:9月10日(土)～10月10日(日)、後期展示:10月12日(火)～11月6日(日)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館、田辺市立美術館
- 助成 : 一般財団法人地域創造
- 共同開催 : 田辺市立美術館(11月19日～2023年1月15日)、熊野古道なかへち美術館[田辺市立美術館分館](11月19日～2023年1月15日)
- 入場者数 : 6,707名
- 内容 : 2021年3月に100歳で亡くなった、田辺市出身の日本画家・稗田一穂の画業を偲ぶ展覧会を、新政策事業の一部として田辺市立美術館と共同で開催。互いの所蔵品を中心に、アトリエに遺された作品や資料を協力して調査し、その成果も紹介した。「序章 日本画家への道 1920-1947」、「I章 鳥たちによせる 1948-1978」、「II章 風景にはせる 1979-2021」の3部で構成。
- 展示点数 : 1作家78点、資料45点合計123点(前期:作品70点、資料45点/後期:作品72点、資料45点)
- 担当学芸員 : 宮本久宣、藤本真名美
- 関連事業 : ・こども美術館部「あっちとこっち」10月22日(土)、10月23日(日)11:00～12:00 2階展示室にて 7名、7名  
・記念講演会「稗田先生の作品と思い出」講師:滝沢具幸(日本画家、創画会副理事長、飯田市美術博物館館長、武蔵野美術大学名誉教授) 10月16日(日)14:00～15:30 2階ホールにて 52名  
・ワークショップ「月によせる」講師:宮いつき(日本画家、創画会会員、多摩美術大学教授)9月23日(金・祝)10:00～15:30 2階ホールにて9名 \*10代の方を対象とした。  
・フロアレクチャー9月18日(日)、24日(土)、10月9日(日)、30日(日)14:00～15:00 2階展示室にて 15名、12名、24名、41名
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)  
・チラシ(A4判、オフセット印刷)  
・出品目録(A4判6頁)  
・プレスリリース(A4判4頁)  
・作品解説(A4判8頁)  
・図録『稗田一穂展』:和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館、2022年9月10日発行(29.4×22.6cm 192頁、オフセット印刷)  
稗田由季、稗田麻琴 父が描いてきたもの  
滝沢具幸 月影の道—稗田先生のこと  
山野英嗣 稗田一穂の画業  
三谷涉 展覧会の構成について—ふたつの転機  
藤本真名美 解き放たれた花鳥  
宮本久宣 交差する風景
- 入場料金 : 一般800円(640円)、大学生500円(400円)( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 展覧会の開催が決まり、実際にアトリエに調査に入ることができたのは開会まで10か月に迫った頃であった。85年を超える画家活動に関わる膨大な資料が残されていることが判明し、限られた時間のなかで全てを確認、整理するには無理があったが、制作の背景に迫る資料を見出し、展示の中で紹介することができた。画業全体を紹介するほぼ初めての機会として、当館と田辺市立美術館のコレクションを生かしながら、今後の稗田の評価や戦後の日本画の展開に示唆を与える機会を提供できたと考えられる。残された資料の確認と整理が今後の課題として残っている。
- 関連記事 : ・「県立近代美術館 稗田一穂展 9月10日から回顧展」『紀伊民報』2022年8月20日、6面(8月19日ウェブでも配信)  
・「近代美術館と田辺市美術館(ママ)共同 田辺市出身 稗田一穂展」『和歌山特報』第1734号、2022年8月21日、13面  
・「稗田一穂回顧展 9月10日から県立近代美術館」『わかやま新報』2022年8月25日、6面  
・「人気画家・稗田一穂氏の回顧展♡100歳で逝去、「素敵な絵から偲ぼう」9月10日～和歌山県立近代美術館」『橋本新聞』2022年8月25日(ウェブ配信)  
・宮本久宣「稗田一穂展 画業90年をたどる」『新美術新聞』2022年9月11日、2面  
・「日本画家稗田さんの足跡 近代美術館 デッサン画など紹介」『読売新聞』(地域版)2022年9月11日、29面  
・直井政夫「故郷の景色 幻想の世界 県立近代美術館 稗田一穂展」『朝日新聞』(和歌山版)2022年9月11日、21面(同日ウェブでも配信)  
・山田夢留「憂える心を包む風景画 稗田一穂 没後初の回顧展 和歌山近美」『毎日新聞』(大阪版・夕)2022年9月28日、7面(同日ウェブでも配信)  
・西田理人「〈美の履歴書766〉先達の筆にない新しさとは「群鶴」稗田一穂」『朝日新聞』(夕)2022年10月4日、2面  
・「80年以上の創作回顧 近代美術館で稗田一穂展」『わかやま新報』2022年10月16日、6面(同日ウェブでも配信)  
・正木利和「〈金曜は遊ぶ演じる知る〉黄金の夕景 夢のような構図 日本画家 稗田一穂展 和歌山県立近代美術館」『産経新聞』(夕)2022年10月21日、4面
- その他 : ・「県政最前線 稗田一穂展」テレビ和歌山「きのくに21」、2022年10月2日放送
- メディア報道 : ・「連携する県内美術館～県立近代美術館と田辺市立美術館の取組～」テレビ和歌山「はばたく紀の国～教育は今～」、2022年10月16日放送

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年12月28日

稗田一穂展 出品目録

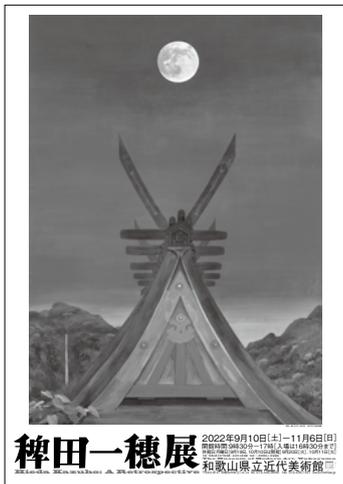
前期 9月10日～10月10日 / 後期 10月12日～11月6日

※画稿、スケッチブック等の習作、また書籍には、「S」で始まる出品番号を付した。

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質、形状	寸法 (cm)	所蔵	前期 / 後期備考
<b>序章 日本画家への道 1920-1947</b>							
1	稗田一穂	初夏の庭	1936 (昭和11)	絹本着色 屏風・二曲一隻	103.2 × 168.0	和歌山県立近代美術館	
2	稗田一穂	温室	1937 (昭和12)	絹本着色 額装	73.1 × 97.9	田辺市立美術館	
3	稗田一穂	霜の朝	1940 (昭和15)	紙本着色 額装	86.0 × 175.8	和歌山県立近代美術館	
4	稗田一穂	昼の波止場	1942 (昭和17)	紙本着色 額装	148.7 × 125.2	和歌山県立近代美術館	
5	稗田一穂	憩う	1943 (昭和18)	紙本着色 額装	197.0 × 161.0	田辺市立美術館	後
6	稗田一穂	午後	1943 (昭和18)	紙本着色 額装	231.0 × 188.7	東京藝術大学	前
7	稗田一穂	東北の秋	1946 (昭和21)	紙本着色 額装	179.7 × 124.8	和歌山県立近代美術館	
8	稗田一穂	羽黒の御塔	1947 (昭和22)	紙本着色 額装	198.4 × 127.0	田辺市立美術館	
S1	稗田一穂	石膏デッサン [ミロのヴィーナス]	1932 (昭和7) 年 12月4日	木炭、紙	62.6 × 47.0	個人蔵	
S2	稗田一穂	石膏デッサン [アポロン]	1935 (昭和10) 年 3月31日	木炭、紙	62.2 × 47.2	個人蔵	
S3	稗田一穂	[静物]	1937 (昭和12)	油彩、キャンバス	72.0 × 60.5	個人蔵	
S4	稗田一穂	[野菜]	1933 (昭和8)	絹本着色 額装	32.7 × 76.9	個人蔵	
S5	稗田一穂	こすもす	1934 (昭和9)	絹本着色 額装	36.2 × 117.0	個人蔵	
S6	稗田一穂	けし	1934 (昭和9)	絹本着色 軸装	116.0 × 36.0	個人蔵	
S7	稗田一穂	スケッチブック a ダリア	1934-36 (昭和9-11) 1935 (昭和10) 年 10月23日	水彩・鉛筆、紙	45.2 × 30.8	個人蔵	前
		b 鴛鴦、巴鴨 雌	1936 (昭和11) 年 11月21日	水彩・鉛筆、紙			後
S8	稗田一穂	習作 [枇杷]	1939 (昭和14) 年 6月29日	顔料、紙	45.1 × 66.8	個人蔵	
S9	稗田一穂	習作 [鳥]	1939 (昭和14) 年 9月30日	顔料・鉛筆、紙	44.7 × 67.7	個人蔵	
S10	稗田一穂	《東北の秋》画稿	1945 (昭和20) 年9月	パステル・水彩・鉛筆、紙	94.5 × 53.9	個人蔵	
S11	稗田一穂	《東北の秋》画稿	1945 (昭和20) 年頃	パステル・水彩・鉛筆、紙	63.1 × 44.0	個人蔵	
S12	稗田一穂	スケッチ [羽黒山]	1945 (昭和20) 年頃	パステル・水彩・鉛筆、紙	37.7 × 51.7	個人蔵	
<b>Ⅰ章 鳥たちによせる 1948-1978</b>							
9	稗田一穂	秋の風景	1949 (昭和24)	紙本着色 額装	99.7 × 87.0	田辺市立美術館	
10	稗田一穂	花と兎	1949 (昭和24)	紙本着色 屏風・二曲一隻	154.7 × 141.5	田辺市立美術館	
11	稗田一穂	鳥	1949 (昭和24)	紙本着色 額装	112.1 × 161.4	和歌山県立近代美術館	
12	稗田一穂	鸚鵡と花	1951 (昭和26)	紙本着色 額装	53.0 × 73.0	田辺市立美術館	
13	稗田一穂	みみづく	1951 (昭和26)	紙本着色 額装	160.8 × 112.0	世田谷美術館	後
14	稗田一穂	そよ風	1951 (昭和26)	紙本着色 額装	156.5 × 141.3	和歌山県立近代美術館	
15	稗田一穂	LAKE SIDE	1952 (昭和27)	紙本着色 額装	60.5 × 50.0	個人蔵	
16	稗田一穂	豹のいる風景	1952 (昭和27)	紙本着色 額装	158.8 × 141.8	世田谷美術館	前
17	稗田一穂	青柳のかけに	1953 (昭和28)	紙本着色 額装	163.6 × 290.8	和歌山県立近代美術館	
18	稗田一穂	からす	1955 (昭和30)	紙本着色 額装	80.5 × 52.8	田辺市立美術館	
19	稗田一穂	かんむりづる	1955 (昭和30)	紙本着色 額装	149.7 × 165.5	世田谷美術館	
20	稗田一穂	ふさほろほろ鳥	1956 (昭和31)	紙本着色 額装	80.5 × 53.0	田辺市立美術館	
21	稗田一穂	鷺と岩	1956 (昭和31)	紙本着色 額装	145.2 × 112.3	和歌山県立近代美術館	
22	稗田一穂	汀	1956 (昭和31)	紙本着色 額装	130.2 × 96.8	和歌山県立近代美術館	
23	稗田一穂	荒原	1956 (昭和31)	紙本着色 額装	157.2 × 139.6	田辺市立美術館	
24	稗田一穂	鳥 (小殺鶏)	1957 (昭和32)	紙本着色 額装	112.0 × 145.0	田辺市立美術館	
25	稗田一穂	磯	1958 (昭和33)	紙本着色 額装	65.0 × 80.0	和歌山県立近代美術館	
26	稗田一穂	羽搏	1958 (昭和33)	紙本着色 額装	97.2 × 145.3	和歌山県立近代美術館	
27	稗田一穂	羽化	1959 (昭和34)	紙本着色 額装	155.3 × 112.3	和歌山県立近代美術館	
28	稗田一穂	岩と魚	1959 (昭和34)	紙本着色 額装	146.8 × 162.3	和歌山県立近代美術館	
29	稗田一穂	囀る鳥達	1961 (昭和36)	紙本着色 額装	111.8 × 161.8	和歌山県立近代美術館	
30	稗田一穂	水影	1962 (昭和37)	紙本着色 額装	112.2 × 145.7	田辺市立美術館	
31	稗田一穂	流鶯	1962 (昭和37)	紙本着色 額装	162.3 × 112.1	和歌山県立近代美術館	
32	稗田一穂	薄氷	1963 (昭和38)	紙本着色 額装	145.4 × 112.2	和歌山県立近代美術館	
33	稗田一穂	月影	1966 (昭和41)	紙本着色 額装	159.5 × 144.2	和歌山県立近代美術館	
34	稗田一穂	寂澆	1966 (昭和41)	紙本着色 額装	242.5 × 142.6	和歌山県立近代美術館	
35	稗田一穂	月暈	1969 (昭和44)	紙本着色 額装	162.0 × 227.7	和歌山県立近代美術館	
36	稗田一穂	小漣	1970 (昭和45)	紙本着色 額装	142.2 × 242.2	和歌山県立近代美術館	
37	稗田一穂	幻映	1971 (昭和46)	紙本着色 額装	142.7 × 242.7	和歌山県立近代美術館	
38	稗田一穂	花精	1973 (昭和48)	紙本着色 額装	206.0 × 181.0	東京藝術大学	前
39	稗田一穂	蒼壁	1974 (昭和49)	紙本着色 額装	100.8 × 81.0	田辺市立美術館	
40	稗田一穂	夕輝	1974 (昭和49)	紙本着色 額装	117.5 × 86.7	和歌山県立近代美術館	後
41	稗田一穂	月下	1974 (昭和49)	紙本着色 額装	229.5 × 178.5	和歌山県立近代美術館	
42	稗田一穂	霧を渡る蝶	1975 (昭和50)	紙本着色 額装	231.7 × 156.0	佐久市立近代美術館	
43	稗田一穂	首夏	1977 (昭和52)	紙本着色 額装	80.4 × 116.7	田辺市立美術館	後
44	稗田一穂	群鶴	1978 (昭和53)	紙本着色 額装	154.7 × 236.2	和歌山県立近代美術館	
S13	稗田一穂	《花花》画稿	1948 (昭和23) 頃	水彩・パステル、紙	21.1 × 19.5	個人蔵	
S14	稗田一穂	《花と兎》画稿	1949 (昭和24) 頃	水彩・パステル、紙	16.3 × 17.0	個人蔵	
S15	稗田一穂	《鳥》画稿	1949 (昭和24) 頃	水彩・パステル・鉛筆、紙	14.7 × 19.1	個人蔵	
S16	稗田一穂	《そよ風》画稿	1951 (昭和26) 頃	水彩・鉛筆、紙	17.6 × 15.5	個人蔵	
S17	稗田一穂	《豹のいる風景》画稿	1952 (昭和27) 頃	水彩・鉛筆、紙	17.7 × 15.6	個人蔵	
S18	稗田一穂	《日向路》画稿	1954 (昭和29) 頃	パステル、紙	13.1 × 7.5	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質、形状	寸法 (cm)	所蔵	前期 / 後期備考
S19	稗田一穂	《月影》画稿	1966 (昭和41) 頃	パステル、紙	23.5 × 23.3	個人蔵	
S20	稗田一穂	《寂流》画稿	1966 (昭和41) 頃	パステル、紙	31.1 × 18.8	個人蔵	
S21	稗田一穂	《霧を渡る蝶》画稿	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	23.3 × 15.3	個人蔵	
S22	稗田一穂	《群鶴》画稿	1978 (昭和53) 頃	鉛筆、紙	21.5 × 31.6	個人蔵	
S23	稗田一穂	スケッチブック	1943-45 (昭和18-20)、 1952 (昭和27)		29.8 × 42.0	個人蔵	
		a 木蓮	1945 (昭和20) 年4月21日	パステル・鉛筆、紙			後
		b 奇異鳥	1952 (昭和27) 頃	パステル、紙			前
S24	稗田一穂	スケッチブック	1951-53 (昭和26-28)		25.2 × 19.5	個人蔵	
		a [巢]	1951 (昭和26) 年 8月14日	パステル・色鉛筆、紙			前
		b [燕尾鶴 (えんびこう)]	1952 (昭和27) 頃	パステル、紙			後
S25	稗田一穂	スケッチブック	1953-55 (昭和28-30)		24.8 × 36.4	個人蔵	
		a [長崎風景]	1953-54 (昭和28-29) 頃	水彩・鉛筆・色鉛筆、紙			前後
		b [鱈]	1955 (昭和30) 年 5月24日	パステル・鉛筆・ペン、紙			後
S26	稗田一穂	スケッチブック	1963 (昭和38)		30.0 × 25.3	個人蔵	
		a [オンフルール]	1963 (昭和38)	鉛筆・色鉛筆・パステル、紙			前後
		b ヴェネツァ [ママ]	1963 (昭和38) 年 10月25日	コンテ、紙			後
S27	稗田一穂	スケッチブック	1963 (昭和38) 頃		37.2 × 31.0	個人蔵	
		a [書記官鳥]	1963 (昭和38) 頃	鉛筆・色鉛筆、紙			前後
		b [鶴]	1963 (昭和38) 頃	鉛筆・色鉛筆、紙			後
S28	稗田一穂	スケッチブック	1969、77 (昭和44、52)		41.0 × 32.7	個人蔵	
		日光 清滝	1969 (昭和44) 年 3月17日	パステル・鉛筆、紙			
S29	稗田一穂	スケッチブック	1971-73 (昭和46-48)		45.5 × 38.5	個人蔵	
		a [巢]	1972 (昭和47) 頃	パステル・鉛筆、紙			後
		b おおあらせいとう	1973 (昭和48) 年 5月5日	鉛筆・色鉛筆、紙			前
S30	稗田一穂	スケッチブック	1973 (昭和48)		53.0 × 45.5	個人蔵	
		[女の顔]	1973 (昭和48) 年 8月15日	色鉛筆・鉛筆、紙			
S31	稗田一穂	スケッチブック	1973 (昭和48) 頃		52.5 × 45.5	個人蔵	
		[凌霄花 (のうぜんかずら)]	1973 (昭和48) 頃	鉛筆・色鉛筆、紙			
S32	稗田一穂	浜田広介「おんしつのはなとすいせん」挿画	1952 (昭和27) 年	書籍	29.8 × 21.0	個人蔵	
		(『チャイルドブック』第18巻第1号掲載)	1月1日				
S33	稗田一穂	いぬいとみこ『しらすぎのくるむら (こどもの のとも) 第31号』装画	1958 (昭和33) 年 10月1日	書籍	25.5 × 18.0	個人蔵	前
<b>II章 風景にはせる 1979-2021</b>							
45	稗田一穂	幻想那智	1979 (昭和54)	紙本着色 額装	212.4 × 169.7	和歌山県立近代美術館	
46	稗田一穂	夏去る	1980 (昭和55)	紙本着色 額装	194.1 × 172.3	和歌山県立近代美術館	
47	稗田一穂	帰り路	1981 (昭和56)	紙本着色 額装	193.8 × 166.5	和歌山県立近代美術館	
48	稗田一穂	黄昏近く	1983 (昭和58)	紙本着色 額装	170.0 × 194.0	東京藝術大学	前
49	稗田一穂	雪止む	1984 (昭和59)	紙本着色 額装	166.7 × 212.2	世田谷美術館	
50	稗田一穂	雲烟熊野灘	1984 (昭和59)	紙本着色 額装	130.3 × 91.0	田辺市立美術館	後
51	稗田一穂	補陀洛那智	1987 (昭和62)	紙本着色 屏風・四曲一隻	152.0 × 242.5	個人蔵	
52	稗田一穂	皎月	1988 (昭和63)	紙本着色 屏風・六曲一隻	174.0 × 356.0	箱根・芦ノ湖 成川美術館	
53	稗田一穂	天宇	1989 (平成元)	紙本着色 額装	212.0 × 151.2	田辺市立美術館	
54	稗田一穂	月影の道	1990 (平成2)	紙本着色 額装	194.0 × 163.0	日本芸術院	
55	稗田一穂	遠き花火	1991 (平成3)	紙本着色 屏風・三曲一隻	146.3 × 208.0	田辺市立美術館	
56	稗田一穂	帰汐晩鐘	1992 (平成4)	紙本着色 額装	194.0 × 156.5	田辺市立美術館	
57	稗田一穂	春夜	1994 (平成6)	絹本着色 屏風・六曲一隻	172.0 × 363.0	箱根・芦ノ湖 成川美術館	
58	稗田一穂	神瀑・那智	1994 (平成6)	紙本着色 額装	130.3 × 91.5	田辺市立美術館	後
59	稗田一穂	茜空	1994 (平成6)	紙本着色 額装	158.0 × 208.0	箱根・芦ノ湖 成川美術館	
60	稗田一穂	春巡る熊野	1995 (平成7)	紙本着色 額装	146.5 × 207.0	田辺市立美術館	
61	稗田一穂	鷹の棲む岬	1996 (平成8)	紙本着色 屏風・四曲一隻	150.4 × 300.0	田辺市立美術館	
62	稗田一穂	太陽を映す花	1997 (平成9)	紙本着色 額装	78.0 × 116.5	田辺市立美術館	前
63	稗田一穂	晩夏	1998 (平成10)	紙本着色 額装	190.0 × 155.0	個人蔵	
64	稗田一穂	風揺れる	1999 (平成11)	紙本着色 額装	80.0 × 115.5	和歌山県立近代美術館	後
65	稗田一穂	伝説・三熊野那智	2003 (平成15)	紙本着色 額装	184.5 × 143.0	田辺市立美術館	前
66	稗田一穂	伝説・熊野	2004 (平成16)	紙本着色 額装	185.0 × 145.0	和歌山県立近代美術館	後
67	稗田一穂	峡壁	2005 (平成17)	紙本着色 額装	135.0 × 190.0	個人蔵	
68	稗田一穂	赫陽	2007 (平成19)	紙本着色 額装	157.2 × 125.2	田辺市立美術館	
69	稗田一穂	煌映	2008 (平成20)	紙本着色 額装	116.0 × 161.0	和歌山県立近代美術館	
70	稗田一穂	飄飛	2009 (平成21)	紙本着色 額装	156.0 × 123.0	田辺市立美術館	
71	稗田一穂	火精幻想《鳳》	2010 (平成22)	紙本着色 額装	130.0 × 97.0	和歌山県立近代美術館	
72	稗田一穂	小雨降る坂路	2011 (平成23)	紙本着色 額装	116.6 × 90.8	和歌山県立近代美術館	
73	稗田一穂	顕現《III》(鳳凰と麒麟)	2012 (平成24)	紙本着色 屏風・六曲一隻	172.5 × 364.5	和歌山県立近代美術館	
74	稗田一穂	満月懸かる	2013 (平成25)	紙本着色 額装	127.0 × 156.0	世田谷美術館	
75	稗田一穂	微風	2015 (平成27)	紙本着色 額装	145.5 × 112.5	田辺市立美術館	
76	稗田一穂	残月惜春	2015 (平成27)	紙本着色 屏風・四曲一隻	172.6 × 240.0	和歌山県立近代美術館	
77	稗田一穂	春おぼろ	2016 (平成28)	紙本着色 額装	73.0 × 90.7	田辺市立美術館	
78	稗田一穂	晩夏	2017 (平成29)	紙本着色 額装	89.4 × 130.2	田辺市立美術館	
S34	稗田一穂	《遠き花火》画稿	1991 (平成3) 頃	鉛筆、紙	17.7 × 23.3	個人蔵	
S35	稗田一穂	《鷹の棲む岬》画稿	1996 (平成8) 頃	鉛筆、紙	17.3 × 32.2	個人蔵	
S36	稗田一穂	スケッチブック	1977 (昭和52)		41.0 × 32.5	個人蔵	
		勝浦より 那智の瀧	1977 (昭和52) 年3月22日	鉛筆、紙			

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質、形状	寸法 (cm)	所蔵	前期/後期備考
S37	稗田一穂	スケッチブック 那智の瀧	1978 (昭和 53) [1977 (昭和 52) 年] 3月 22 日	鉛筆・色鉛筆・パステル、紙	45.5 × 38.0	個人蔵	
S38	稗田一穂	スケッチブック 那智大社	1979 (昭和 54) 1979 (昭和 54) 年 8 月 29 日	鉛筆・色鉛筆、紙	45.6 × 38.4	個人蔵	
S39	稗田一穂	スケッチブック [成城風景]	1970、79、81、85 (昭和 45、54、56、60) 1981 (昭和 56) 年 8 月 17 日	鉛筆、紙	45.7 × 38.5	個人蔵	
S40	稗田一穂	スケッチブック 瀧	1987 (昭和 62) 1987 (昭和 62) 年 11 月 6 日	鉛筆・色鉛筆・パステル、紙	42.6 × 33.0	個人蔵	
S41	稗田一穂	スケッチブック a [瀧峡] b [瀧峡]	1988 (昭和 63) 1988 (昭和 63) 年 7 月 15 日 1988 (昭和 63)	鉛筆、紙 鉛筆、紙	41.0 × 32.7	個人蔵	前 後
S42	稗田一穂	スケッチブック [成城風景]	1986、90 (昭和 61、平成 2) 1990 (平成 2) 年 9 月 3 日	鉛筆、紙	33.7 × 24.9	個人蔵	
S43	稗田一穂	スケッチブック [衣服の描写]	1991 (平成 3) 頃	鉛筆、紙	41.2 × 32.7	個人蔵	
S44	稗田一穂	スケッチブック [多摩川風景]	1991 (平成 3) 頃	鉛筆・色鉛筆、紙	40.7 × 33.0	個人蔵	
S45	稗田一穂	スケッチブック [成城風景]	1986、2001 (昭和 61、平成 13) 2001 (平成 13) 頃	鉛筆、紙	35.6 × 27.7	個人蔵	



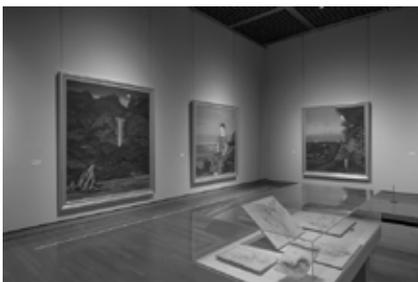
ポスター



チラシ表 / 裏



図録



会場風景

## 1-2. とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家

- 会期 : 2023年2月4日(土)～4月9日(日) 56日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 協力 : 広島市現代美術館
- 共同開催 : 宇都宮美術館(4月30日～6月18日)、長野県立美術館(9月9日～11月5日)、広島市現代美術館(2024年1月20日～3月17日)
- 入場者数 : 4,682名
- 内容 : 広島市現代美術館の池田満寿夫コレクションと当館コレクションおよび個人蔵品により、多彩な活動で知られた池田満寿夫の作品とその出発点となったグループ「デモクラート美術家協会」の作家たちを紹介した。「I デモクラートとの出会い 1950-1956」、「II 起点としての瑛九 1950-1957」、「III 夜明けまえ 1957」、「IV それぞれのとびたつとき 1958-1966」、「V 池田満寿夫 とびたつとき 1958-1966」の5部により構成。
- 展示点数 : 9作家 267点、資料 26点
- 担当学芸員 : 井上芳子
- 関連事業 : ・講演会「わたしの版画事始め」講師:山本容子(銅版画家)2月4日(土)14:00～15:30 2階ホールにて 60名  
・フロアレクチャー(学芸員による解説会)2月12日(日)、3月18日(土)14:00～15:00 2階展示室にて 15名、26名  
・こども美術館部「でも、でも、でも」2月18日(土)、19日(日)11:00～12:00 2階展示室にて 5名、6名
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)  
・チラシ(A4判、オフセット印刷)  
・出品目録(A4判10頁)  
・プレスリリース(A4判4頁)  
・図録『とびたつとき池田満寿夫とデモクラートの作家』:NHKエンタープライズ近畿、2023年2月4日発行(24.1×19.0cm248頁、オフセット印刷)  
松本透 開かれた版画様式の成立—池田満寿夫とデモクラート—  
山野英嗣 「デモクラート美術家協会」断想—「大阪の美術界」とのかかわりから  
寺口淳治 瑛九の〈自由〉と〈とびたつとき〉  
木内真由美 池田満寿夫 最初の瞬間—グループ「実在者」の頃—  
小野佳奈 創造美育とデモクラート  
井上芳子 黎明の予感—池田満寿夫が見た田中恭吉と『月映』  
古家満葉 「西洋のナニワブシ」と「高度な遊戯」—池田満寿夫の豆本と「とびたつとき」  
池田淳史 アメリカにおける池田満寿夫の作品受容と西洋・日本的なるものの関係—1960年代中盤の動向から—  
伊藤伸子 翼を与えるひと—池田満寿夫と久保貞次郎の交流から
- 入場料金 : 一般800円(640円)、大学生500円(400円)( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 広島市現代美術館の改修工事休館に伴って寄託を受けた同館所蔵の池田満寿夫作品と、当館所蔵のデモクラート関連作品を中心に企画した展覧会で、多数所蔵する作品の中から、出品歴が分かる作品や書簡等で触られている作品を中心に選んでそれぞれの作家の歩みを辿るように構成した。出品作品はすべて新たに撮影した。作家資料について、さらなる調査を行うことが今後の課題である。
- 関連記事 : ・「特別展とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家」『美術の窓』no.472、2022年12月20日、p.115  
・「とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家 県立近代美術館で2月4日から」『和歌山特報』第1748号、2023年1月21日、10面  
・松本博子「贅囀 瑛九 泉茂らと競演「とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家」展」『毎日新聞』(和歌山版)2023年2月9日、18面(同日ウェブでも配信)  
・「県近代美術館(ママ)“とびたつとき”広島県立美術館長(ママ)、山本容子銅版画家招き開会式2/3」『和歌山特報』2023年2月11日、9面  
・西田理人「〈美の履歴書785〉奔放な才能 解放させたのは「愛の瞬間」池田満寿夫」『朝日新聞』(夕)2023年2月21日、2面  
・「とびたつとき」展 池田満寿夫らの作品紹介 県立近代美術館『紀伊民報』第24188号、2023年2月25日、6面  
・「版画作品を中心に267点、4月9日(日)まで開催中」『ロカルわかやま』2023年2月27日ウェブ配信  
・山田夢留「飛躍のとき映す銅版画 池田満寿夫の初期作に光 和歌山で企画展」『毎日新聞』(大阪版・夕)2023年3月1日、5面(同日ウェブでも配信)  
・「池田満寿夫とデモクラート4月9日まで 近代美術館で特別展」『わかやま新報』2023年3月8日、3面  
・「池田満寿夫 版画や油彩画 和歌山で展覧会 制作年代順に紹介」『読売新聞』(地域版)2023年4月5日、26面
- その他 : ・「とびたつとき～池田満寿夫とデモクラートの作家たち～」和歌山放送「和歌山県教育広報ラジオ「定期便教育の窓」2023年2月28日放送メディア報道

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年12月28日

とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家 出品目録

\* I-35 は長野県立美術館のみで展示

\* 関連資料には、「M」で始まる出品番号を付した。(和歌山会場のみで展示)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm・イメージ/シート)	所蔵 / 初出展覧会
<b>I. デモクラートとの出会い 1950-1956</b>						
I-1	加藤 正	空ろなる真昼 (王国)	1951 (昭和 26)	油彩、キャンバス	91.0 × 91.1	和歌山県立近代美術館 / 第 1 回東京デモクラート美術展 (1952)
I-2	加藤 正	朝	1953 (昭和 28)	エッチング、紙	20.2 × 17.7 / 27.2 × 22.8	和歌山県立近代美術館 / 今日の新人・1955 年展 (1955)
I-3	加藤 正	閉ざれた季節	1953 (昭和 28)	エッチング、紙	20.0 × 18.1 / 27.0 × 24.1	個人蔵
I-4	加藤 正	愛しあっている二人は殺された (ローゼンバーグ夫妻に捧ぐ)	1953 (昭和 28)	エッチング、紙	36.2 × 20.0 / 41.9 × 23.6	和歌山県立近代美術館 / 個展 (タケミヤ画廊、1953)
I-5	加藤 正	第 2 回「デモクラート美術展」ポスター	1953 (昭和 28)	リトグラフ、紙	54.2 × 37.1	和歌山県立近代美術館
I-6	巖嘯	悲劇よりもより悲痛なるものの静寂	1953 (昭和 28)	油彩・グワッシュ、ボール紙	91.2 × 91.2	和歌山県立近代美術館 / 第 3 回東京デモクラート美術展 (1954)
I-7	泉 茂	昇天	1953 (昭和 28)	エッチング・アクアチント、紙	11.4 × 18.7 / 19.0 × 24.8	和歌山県立近代美術館
I-8	泉 茂	ブラッククリスマス	1953 (昭和 28)	エッチング、紙	11.6 × 19.6 / 15.8 × 23.4	和歌山県立近代美術館
I-9	泉 茂	浮遊	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	11.3 × 17.0 / 21.8 × 27.7	和歌山県立近代美術館 / 泉茂作品展 (松島ギャラリー、1954)
I-10	泉 茂	走れメロス	1954-58 (昭和 29-33)	エッチング、紙	11.2 × 20.4 / 18.9 × 28.5	和歌山県立近代美術館 / デモクラート・エッチング展 (1954)
I-11	泉 茂	深夜のセロ弾き	1954 (昭和 29 年)	エッチング・アクアチント、紙	18.3 × 10.6 / 26.2 × 19.5	和歌山県立近代美術館 / デモクラート・エッチング展 (1954)
I-12	泉 茂	回想の幼年期	1954 (昭和 29 年)	エッチング・アクアチント、紙	16.9 × 12.5 / 27.5 × 21.5	和歌山県立近代美術館 / デモクラート・エッチング展 (1954)
I-13	泉 茂	かざぐるま夜話	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	20.0 × 12.0 / 30.5 × 21.8	和歌山県立近代美術館 / デモクラート・エッチング展 (1954)
I-14	泉 茂	靡人	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	17.5 × 14.1 / 31.7 × 23.6	和歌山県立近代美術館 / デモクラート・エッチング展 (1954)
I-15	泉 茂	さまよえるオランダ人	1954 (昭和 29)	エッチング、紙	36.3 × 29.9 / 42.8 × 39.6	和歌山県立近代美術館 / 泉茂作品展 (松島ギャラリー、1954)
I-16	泉 茂	リンゴ物語	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	32.5 × 27.5 / 36.7 × 31.5	和歌山県立近代美術館 / 泉茂作品展 (松島ギャラリー、1954)
I-17	泉 茂	待機	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	29.9 × 35.7 / 41.1 × 46.0	和歌山県立近代美術館 / 第 4 回大阪デモクラート美術展 (1954)
I-18	泉 茂	ノースモーキング	1954 (昭和 29)	エッチング・アクアチント、紙	30.0 × 35.9 / 39.6 × 54.8	和歌山県立近代美術館 / 今日の新人・1955 年展 (1955)
I-19	利根山 光人	うたごえ	1954 (昭和 29)	リトグラフ、紙	36.7 × 53.3 / 41.3 × 53.4	和歌山県立近代美術館 / 第 1 回利根山光人リトグラフ展 (文房堂、1955)
I-20	利根山 光人	舞台の人	1954 (昭和 29)	リトグラフ、紙	38.0 × 19.0 / 45.9 × 29.6	和歌山県立近代美術館 / 第 1 回利根山光人リトグラフ展 (文房堂、1955)
I-21	巖嘯	現代の恋人	1954 (昭和 29)	油彩、板	69.2 × 92.0	広島市現代美術館 / 第 4 回大阪デモクラート美術展 (1954)
I-22	巖嘯	現代人	1954 (昭和 29)	油彩、板	92.0 × 113.5	広島市現代美術館 / 読売アンデパンダン新人展 (1954)
I-23	巖嘯	鉄骨とクレーンと人と	1954 (昭和 29)	油彩、板	116.5 × 91.6	和歌山県立近代美術館
I-24	巖嘯	雲と鉄骨の男	1954-55 (昭和 29-30)	エッチング、紙	33.8 × 18.0 / 38.0 × 21.9	個人蔵
I-25	巖嘯	雲のかげ	1955 (昭和 30)	エッチング、紙	18.0 × 20.2 / 22.7 × 27.2	和歌山県立近代美術館
I-26	巖嘯	倦怠	1955 (昭和 30)	油彩、板	92.0 × 116.5	個人蔵
I-27	巖嘯	雲と太陽	1955 (昭和 30)	リトグラフ、紙	39.1 × 26.4 / 54.5 × 38.4	和歌山県立近代美術館
I-28	巖嘯	田圃に横たわる人々	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	57.2 × 80.0 / 60.4 × 90.2	和歌山県立近代美術館
I-29	巖嘯	田圃	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	53.4 × 72.8 / 70.3 × 105.0	和歌山県立近代美術館
I-30	巖嘯	ネクタイの男	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	35.5 × 25.5 / 54.5 × 38.4	個人蔵
I-31	巖嘯	女 (I)	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	42.8 × 31.0 / 54.5 × 38.2	和歌山県立近代美術館
I-32	池田 満寿夫	作品	1954 (昭和 29)	油彩、キャンバス	45.2 × 73.1	広島市現代美術館
I-33	池田 満寿夫	骨を持つ人 (C)	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	72.8 × 57.2	和歌山県立近代美術館 / 第 8 回日本アンデパンダン展 (1955)
I-34	池田 満寿夫	退屈な時間	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	87.0 × 141.7	広島市現代美術館 / グループ「実在者」第 2 回展〈テーマ「無人間時代」〉(1955)
I-36	泉 茂	目	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	60.5 × 72.5	和歌山県立近代美術館 / 個展 (タケミヤ画廊、1955)
I-37	泉 茂	太陽の家族	1955 (昭和 30)	エッチング、紙	35.4 × 48.9 / 42.8 × 57.6	和歌山県立近代美術館 / 第 7 回読売アンデパンダン展 (1955) か
I-38	泉 茂	上海帰りのリル	1955 (昭和 30)	リトグラフ、紙	33.5 × 24.5 / 54.5 × 38.6	和歌山県立近代美術館 / 1956 グループ連合展 (1956)
I-39	泉 茂	タイマー	1955 (昭和 30)	リトグラフ、紙	33.5 × 22.0 / 56.0 × 37.2	和歌山県立近代美術館 / 1956 グループ連合展 (1956)
I-40	泉 茂	ささやかな不安	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	31.2 × 21.0 / 55.9 × 37.1	和歌山県立近代美術館
I-41	泉 茂	少年	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	20.5 × 15.3 / 56.0 × 37.5	和歌山県立近代美術館 / 個展 (梅田画廊、1957)
I-42	泉 茂	インディアン	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	48.8 × 39.0 / 66.2 × 51.4	和歌山県立近代美術館 / リトグラフィ個展 (タケミヤ画廊、1957)
I-43	利根山 光人	17	1955 (昭和 30)	リトグラフ、紙	27.8 × 38.0 / 28.2 × 45.4	個人蔵
I-44	利根山 光人	黒の人物	1955 (昭和 30)	リトグラフ、紙	27.6 × 38.0 / 38.4 × 45.4	個人蔵 / 第 1 回利根山光人リトグラフ展 (文房堂画廊、1955)
I-45	利根山 光人	ドラマ	1955 (昭和 30)	リトグラフ、紙	32.0 × 22.0 / 53.6 × 37.5	個人蔵 / 利根山光人個展 (風月堂画廊、1955)
I-46	利根山 光人	蛾	1955 (昭和 30)	リトグラフ、紙	42.4 × 53.0 / 55.5 × 74.5	和歌山県立近代美術館
I-47	利根山 光人	いれずみ	1956 (昭和 31)	油彩、キャンバス	91.2 × 116.8	広島市現代美術館
I-48	利根山 光人	射場風景 A	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	40.5 × 51.8 / 56.0 × 75.0	和歌山県立近代美術館
I-49	利根山 光人	弾道	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	36.6 × 53.0 / 47.7 × 62.8	和歌山県立近代美術館
I-50	船井 裕	顔	1955 (昭和 30)	木版、紙	20.8 × 114.8 / 25.0 × 18.0	和歌山県立近代美術館
I-51	船井 裕	エスキス	1955 (昭和 30)	エッチング、紙	9.8 × 7.8 / 17.9 × 13.3	和歌山県立近代美術館

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm・イメージ/シート)	所蔵/初出展覧会
I-52	船井 裕	夜	1956 (昭和 31)	エッチング、紙	9.8 × 7.8 / 17.9 × 13.3	和歌山県立近代美術館
I-53	船井 裕	小さなデモン	1956 (昭和 31)	エッチング、紙	29.7 × 20.0 / 36.0 × 25.2	和歌山県立近代美術館
I-54	船井 裕	花を守る人々	1956 (昭和 31)	エッチング、紙	24.7 × 20.4 / 35.8 × 27.2	和歌山県立近代美術館 / 第 6 回大阪デモクラート美術展 (1956)
I-55	池田 満寿夫	アフリカの女	1956 (昭和 31)	エッチング・アクアチント、紙	18.1 × 12.0 / 28.0 × 23.0	広島市現代美術館
I-56	池田 満寿夫	原始の太陽	1956 (昭和 31)	エッチング・アクアチント、紙	12.1 × 18.2 / 22.5 × 28.3	広島市現代美術館
I-57	池田 満寿夫	影	1956 (昭和 31)	エッチング・アクアチント、紙	18.0 × 12.0 / 28.3 × 22.7	広島市現代美術館
I-58	磯辺 行久	古代の顔 (B)	1955 (昭和 30)	リトグラフ、紙	29.5 × 42.8 / 34.3 × 53.8	個人蔵 / 第 5 回東京デモクラート美術展 (1955) か
I-59	磯辺 行久	パイロットの夢	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	70.5 × 45.5 / 75.0 × 56.0	和歌山県立近代美術館
I-60	磯辺 行久	危険な探索	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	60.7 × 44.6 / 76.8 × 54.3	個人蔵
I-61	磯辺 行久	コンポジション	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	43.0 × 59.8 / 54.8 × 76.8	個人蔵
I-62	吉原 英雄	はじらい	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	40.4 × 25.0 / 55.0 × 39.6	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-63	吉原 英雄	夜明け	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	34.0 × 25.2 / 54.4 × 38.5	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-64	吉原 英雄	ひまわり	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	40.5 × 29.0 / 50.4 × 37.2	和歌山県立近代美術館 / 第 1 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1957)
I-65	吉原 英雄	華	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	39.6 × 29.6 / 54.4 × 38.6	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-66	吉原 英雄	フェニックス	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	44.5 × 28.0 / 46.0 × 32.6	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-67	吉原 英雄	ヴィーナス誕生	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	44.6 × 56.1 / 47.4 × 58.4	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-68	吉原 英雄	たわむれ	1956 (昭和 31)	油彩、板	129.9 × 91.0	和歌山県立近代美術館
I-69	吉原 英雄	トランペット	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	27.7 × 39.7 / 38.6 × 49.5	和歌山県立近代美術館 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-70	吉原 英雄	鳥人	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	49.5 × 38.8 / 60.3 × 45.0	和歌山県立近代美術館 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-71	吉原 英雄	水族館	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	51.0 × 38.0 / 66.8 × 54.7	和歌山県立近代美術館 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-72	吉原 英雄	キリキリ舞 b	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	39.0 × 27.5 / 49.8 × 36.2	個人蔵 / 個展 (サトウ画廊、1958)
I-73	吉原 英雄	赤い風景	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	49.0 × 42.0 / 58.0 × 49.0	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-74	吉原 英雄	木の中の鳥	1956-57 (昭和 31-32)	リトグラフ、紙	37.5 × 27.5 / 53.3 × 38.5	和歌山県立近代美術館 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
I-75	吉原 英雄	火の鳥	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	42.5 × 56.2 / 47.2 × 59.8	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
<b>II. 起点としての瑛九 1950-1957</b>						
II-1	瑛九	犬と女	1950 (昭和 25 年)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	21.9 × 28.1 / 21.9 × 28.1	和歌山県立近代美術館
II-2	瑛九	愛撫	1951 (昭和 26)	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	26.3 × 21.9	和歌山県立近代美術館
II-3	瑛九	眼	1951 (昭和 26)	エッチング、紙	21.0 × 15.4 / 31.7 × 23.5	個人蔵 / 第 1 回東京デモクラート美術展 (1952)
II-4	瑛九	ヴァイオリン	1952 (昭和 27)	エッチング、紙	17.8 × 12.0 / 32.5 × 23.5	個人蔵 / 第 1 回東京デモクラート美術展 (1952)
II-5	瑛九	散歩	1952 (昭和 27 年)	エッチング、紙	17.8 × 12.0 / 31.7 × 23.6	個人蔵 / 第 1 回東京デモクラート美術展 (1952)
II-6	瑛九	背中合わせ	1952 (昭和 27 年)	エッチング、紙	14.4 × 12.9 / 31.9 × 23.6	個人蔵 / 個展 (宮崎県立図書館ギャラリー、1952)
II-7	瑛九	ゴーストアップ	1953 (昭和 28)	エッチング、紙	36.2 × 26.5 / 44.0 × 30.5	和歌山県立近代美術館
II-8	瑛九	母	1953 (昭和 28)	エッチング、紙	29.0 × 23.5 / 37.8 × 28.0	個人蔵 / 第 5 回秀作美術展 (1954)
II-9	瑛九	人魚の恋	1953 (昭和 28)	エッチング、紙	236 × 310 / 294 × 398	和歌山県立近代美術館
II-10	瑛九	小さな人魚	1954 (昭和 29 年)	エッチング、紙	36.2 × 26.5 / 38.5 × 29.5	個人蔵
II-11	瑛九	鳥と動物	1955 (昭和 30)	エッチング、紙	28.5 × 23.7 / 37.8 × 28.4	個人蔵
II-12	瑛九	自転車	1956 (昭和 31)	油彩、キャンバス	50.0 × 60.8	和歌山県立近代美術館
II-13	瑛九	裏庭	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	52.0 × 37.4 / 60.2 × 44.4	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-14	瑛九	木の上	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	36.6 × 22.6 / 41.7 × 29.5	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-15	瑛九	丘	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	39.7 × 28.6 / 54.5 × 38.4	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-16	瑛九	テーブルの上	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	37.1 × 21.0 × / 54.4 × 38.6	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-17	瑛九	蟻のあしあと	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	35.2 × 22.2 / 54.7 × 38.4	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-18	瑛九	いたざら	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	45.9 × 30.5 / 54.4 × 38.4	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-19	瑛九	街の灯	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	390 × 25.0 / 47.2 × 30.2	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-20	瑛九	リンゴの木	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	39.6 × 30.8 / 54.5 × 38.5	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-21	瑛九	林の会話	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	37.8 × 23.6 / 54.3 × 38.4	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-22	瑛九	夜の白	1957 (昭和 32)	リトグラフ、紙	36.0 × 22.2 / 54.0 × 38.1	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-23	瑛九	鳥のピアノ	1957 (昭和 32)	リトグラフ、紙	36.5 × 22.4 / 54.4 × 38.3	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-24	瑛九	鳥のソナタ	1957 (昭和 32)	リトグラフ、紙	38.9 × 24.8 / 54.6 × 38.5	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-25	瑛九	森の中	1957 (昭和 32)	リトグラフ、紙	40.0 × 25.0 / 54.6 × 38.5	個人蔵 / 個展 (タケミヤ画廊、1957)
II-26	瑛九	四人	1957 (昭和 32)	リトグラフ、紙	22.9 × 38.8 / 38.5 × 54.5	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-27	瑛九	シグナル	1957 (昭和 32)	リトグラフ、紙	38.8 × 25.0 / 54.5 × 38.6	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-28	瑛九	渡り鳥	1957 (昭和 32)	リトグラフ、紙	38.0 × 23.2 / 54.5 × 38.4	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm・イメージ/シート)	所蔵/初出展覧会
II-29	瑛九	赤い鳥	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	38.2 × 26.0 / 54.5 × 38.4	個人蔵 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-30	瑛九	ふるさとの木	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	35.3 × 24.4 / 54.3 × 38.7	個人蔵
II-31	瑛九	小鳥の誘い	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	46.5 × 30.0 / 54.6 × 38.6	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-32	瑛九	春のおとずれ	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	51.0 × 40.0 / 65.7 × 50.3	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-33	瑛九	ペリカン	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	24.8 × 17.0 / 38.3 × 27.1	和歌山県立近代美術館
II-34	瑛九	指	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	24.0 × 15.3 / 38.3 × 26.8	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-35	瑛九	雲	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	35.5 × 51.2 / 49.4 × 65.5	和歌山県立近代美術館 / 瑛九石版画展 (武生市公会堂、1958)
II-36	瑛九	拡声器 [墨刷]	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	51.5 × 36.6 / 54.4 × 38.4	和歌山県立近代美術館
II-37	瑛九	旅人	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	37.1 × 52.0 / 49.0 × 65.7	和歌山県立近代美術館 / 第1回東京国際版画ビエンナーレ展 (1957)
II-38	瑛九	旅人 [墨刷]	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	36.6 × 52.0 / 37.1 × 52.2	和歌山県立近代美術館
II-39	瑛九	[失題]	1957 (昭和32)	ステンシル、板	25.7 × 20.0 / 27.2 × 22.0	個人蔵
<b>III. 夜明けまえ 1957</b>						
III-1	利根山 光人	子供のいる風景	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	42.5 × 53.0 / 48.6 × 57.8	和歌山県立近代美術館 / 個展 (サトウ画廊、1957)
III-2	泉茂	セレナード	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	48.6 × 40.0 / 62.9 × 46.5	和歌山県立近代美術館 / 泉茂リトグラフィ個展 (タケミヤ画廊、1957)
III-3	泉茂	Japanese Folk Dance	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	54.5 × 39.0 / 57.0 × 44.5	和歌山県立近代美術館 / 泉茂リトグラフィ個展 (タケミヤ画廊、1957)
III-4	泉茂	闘鶏	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	50.0 × 42.0 / 62.3 × 50.0	和歌山県立近代美術館 / 第1回東京国際版画ビエンナーレ展 (1957) *新人奨励賞
III-5	泉茂	漂流	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	36.2 × 55.0 / 47.6 × 61.6	和歌山県立近代美術館 / 第1回大阪朝日新人展 (1957)
III-6	泉茂	雷蝶	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	43.0 × 55.0 / 48.3 × 62.7	和歌山県立近代美術館
III-7	泉茂	しゃも	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	65.2 × 48.5	和歌山県立近代美術館
III-8	加藤 正	夜の記憶	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	38.2 × 26.0 / 54.4 × 39.5	和歌山県立近代美術館
III-9	加藤 正	風の塔	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	40.2 × 25.7 / 56.5 × 38.6	和歌山県立近代美術館
III-10	加藤 正	風が止まった	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	24.3 × 38.5 / 39.5 × 54.6	和歌山県立近代美術館
III-11	加藤 正	街に夕陽が落ちる	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	41.5 × 53.7 / 50.9 × 70.0	和歌山県立近代美術館
III-12	靉嘯	[失題]	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	19.3 × 29.6 / 38.6 × 54.6	個人蔵
III-13	靉嘯	群集 (灰色)	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	38.7 × 24.8 / 56.3 × 37.8	個人蔵
III-14	靉嘯	鉄骨	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	54.0 × 40.5 / 64.0 × 49.5	和歌山県立近代美術館
III-15	靉嘯	中間子炉	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	28.5 × 43.2 / 39.5 × 54.6	和歌山県立近代美術館 / 第1回東京国際版画ビエンナーレ展 (1957)
III-16	靉嘯	鉄骨・ウィンチ・2人	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	39.0 × 52.7 / 50.7 × 64.0	和歌山県立近代美術館 /
III-17	靉嘯	ジャイアンツ	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	55.0 × 40.5 / 64.7 × 51.8	和歌山県立近代美術館 / 第1回東京国際版画ビエンナーレ展 (1957)
III-18	靉嘯	サド侯爵	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	40.0 × 29.0 / 54.5 × 38.5	個人蔵
III-19	靉嘯	アダムとイヴ	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	39.8 × 54.4 / 48.7 × 69.6	個人蔵 / 靉嘯石版画展 (村松画廊、1957)
III-20	靉嘯	ラブ・スネーク	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	29.5 × 44.0 / 38.5 × 54.7	和歌山県立近代美術館
III-21	靉嘯	鉄骨と雲	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	41.5 × 27.0 / 54.4 × 38.5	個人蔵
III-22	靉嘯	緑の雲	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	27.5 × 42.5 / 38.5 × 54.4	個人蔵
III-23	靉嘯	アンフォルメール No.91	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	38.2 × 24.5 / 54.0 × 38.0	個人蔵
III-24	吉原 英雄	陽気な魚 (パンブキンフィッシュ)	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	47.7 × 39.0 / 58.5 × 45.4	個人蔵 / 巨匠版画展 (1957)
III-25	吉原 英雄	火の鳥	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	55.5 × 45.3 / 69.1 × 54.6	和歌山県立近代美術館 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
III-26	吉原 英雄	花粉	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	35.5 × 28.5 / 54.7 × 38.5	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
III-27	吉原 英雄	いやな野郎	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	57.00 × 41.0 / 64.4 × 46.0	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
III-28	吉原 英雄	サクソフォン	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	42.3 × 52.6 / 46.0 × 61.0	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
III-29	吉原 英雄	アラビアンナイト	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	32.5 × 40.7 / 38.0 × 56.2	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
III-30	吉原 英雄	赤い実	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	46.5 × 56.0 / 54.5 × 65.5	個人蔵 / 吉原英雄リトグラフィ個展 (白鳳画廊、1957)
III-31	吉原 英雄	白い花	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	52.0 × 42.0 / 67.2 × 52.6	個人蔵 / 個展 (サトウ画廊、1958)
III-32	吉原 英雄	潜水A	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	40.8 × 54.8 / 47.1 × 59.7	個人蔵 / 第1回グレンヘン国際色彩版画トリエンナーレ (1958)
III-33	船井 裕	CHILD & SPELL	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	40.5 × 23.0 / 53.9 × 38.1	和歌山県立近代美術館 / 第1回グレンヘン国際色彩版画トリエンナーレ展入選日本作家展 (1958) か
III-34	船井 裕	鳥寄せ	1957 (昭和32)	リトグラフ、紙	40.2 × 55.9 / 49.3 × 64.3	和歌山県立近代美術館 / 第1回グレンヘン国際色彩版画トリエンナーレ (1958)
III-35	池田 満寿夫	作品	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	65.3 × 54.2	広島市現代美術館
III-36	池田 満寿夫	朝の光	1957 (昭和32)	エッチング・アクアチント、紙	11.9 × 17.9 / 25.2 × 32.5	広島市現代美術館
III-37	池田 満寿夫	海の音楽家	1957 (昭和32)	エッチング・アクアチント、紙	11.9 × 18.1 / 17.5 × 26.2	広島市現代美術館
III-38	池田 満寿夫	作品	1957 (昭和32)	エッチング・アクアチント、紙	18.0 × 11.9 / 26.0 × 16.9	広島市現代美術館
III-39	池田 満寿夫	白い岩石	1957 (昭和32)	エッチング・アクアチント、紙	11.9 × 18.0 / 17.5 × 26.5	広島市現代美術館
III-40	池田 満寿夫	古代人	1957 (昭和32)	エッチング・アクアチント、紙	17.9 × 11.9 / 32.7 × 25.3	広島市現代美術館
III-41	池田 満寿夫	赤の中の鳥	1957 (昭和32)	エッチング・アクアチント、紙	11.9 × 17.8 / 25.0 × 32.8	広島市現代美術館
III-42	池田 満寿夫	小さな喜び	1957 (昭和32)	エッチング・アクアチント、紙	90.0 × 23.8 / 16.8 × 30.8	広島市現代美術館
III-43	池田 満寿夫	埋葬	1957 (昭和32)	エッチング、紙	14.2 × 14.9 / 15.9 × 23.4	和歌山県立近代美術館
III-44	池田 満寿夫	風景としての花嫁	1957 (昭和32)	エッチング、紙	23.7 × 32.0	広島市現代美術館
III-45	池田 満寿夫	夜明けの窓	1957 (昭和32)	ドライポイント、紙	15.8 × 15.2 / 27.3 × 26.6	和歌山県立近代美術館
III-46	池田 満寿夫	月に吠える	1957 (昭和32)	エッチング・アクアチント、紙	16.7 × 32.2 / 31.8 × 47.0	和歌山県立近代美術館
III-47	池田 満寿夫	表面A	1957 (昭和32)	エッチング・アクアチント、紙	30.3 × 23.1 / 47.2 × 32.3	和歌山県立近代美術館

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm・イメージ/シート)	所蔵 / 初出展覧会
III-48	磯辺 行久	鳥	1957 (昭和 32)	リトグラフ、紙	40.5 × 54.5 / 53.5 × 70.0	和歌山県立近代美術館
III-49	磯辺 行久	作品	1957 (昭和 32)	油彩、板	62.0 × 73.8	広島市現代美術館
<b>IV. それぞれのとびたつとき 1958-1966</b>						
IV-1	利根山 光人	シグナル	1958 (昭和 33)	リトグラフ、紙	32.0 × 40.2 / 45.8 × 58.5	和歌山県立近代美術館
IV-2	利根山 光人	ドーム	1959 (昭和 34)	油彩、キャンバス	24.2 × 33.2	広島市現代美術館
IV-3	泉茂	七面鳥	1958 (昭和 33)	リトグラフ、紙	51.5 × 38.0 / 61.0 × 46.5	和歌山県立近代美術館
IV-4	泉茂	対決	1958 (昭和 33)	リトグラフ、紙	51.5 × 39.5 / 70.0 × 56.0	和歌山県立近代美術館 / 第 26 回日本版画協会展 (1958)
IV-5	泉茂	春	1958 (昭和 33)	リトグラフ、紙	43.9 × 34.0 / 54.2 × 28.3	和歌山県立近代美術館 / 第 3 回現代日本美術展 (1958)
IV-6	泉茂	難民	1959 (昭和 34)	リトグラフ、紙	38.3 × 50.7 / 47.3 × 63.9	和歌山県立近代美術館 / 第 27 回日本版画協会展 (1959)
IV-7	泉茂	池	1960 (昭和 35)	リトグラフ、紙	45.5 × 60.5 / 50.2 × 66.5	和歌山県立近代美術館 / 第 2 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1960)
IV-8	泉茂	そよ風	1960 (昭和 35)	エッチング、紙	45.6 × 53.1 / 51.5 × 67.2	和歌山県立近代美術館 / 第 2 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1960)
IV-9	泉茂	層	1961 (昭和 36)	エッチング、紙	45.0 × 51.9 / 50.1 × 65.5	和歌山県立近代美術館 / 第 3 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1962)
IV-10	泉茂	BS5013	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	100.0 × 100.0	和歌山県立近代美術館
IV-11	泉茂	流れ	1965 (昭和 40)	リトグラフ、紙	65.2 × 50.2	和歌山県立近代美術館
IV-12	加藤 正	都市の残光	1958 (昭和 33)	リトグラフ、紙	49.5 × 37.1 / 68.5 × 51.2	和歌山県立近代美術館
IV-13	加藤 正	聖者が街にやって来た	1958 (昭和 33)	リトグラフ、紙	48.9 × 35.3 / 64.5 × 45.8	和歌山県立近代美術館
IV-14	加藤 正	へばいストの人形	1958 (昭和 33)	リトグラフ、紙	49.7 × 36.8 / 63.5 × 45.9	和歌山県立近代美術館
IV-15	鵜嶋	コニーアイランド	1960 (昭和 35)	リトグラフ、紙	86.0 × 42.0 / 91.5 × 44.5	和歌山県立近代美術館 / 第 2 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1960)
IV-16	鵜嶋	地下鉄	1960 (昭和 35)	リトグラフ、紙	41.5 × 84.0 / 45.3 × 88.0	和歌山県立近代美術館 / 第 2 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1960)
IV-17	鵜嶋	Animated Rainbow. What's in a Jump?	1966 (昭和 41)	シルクスクリーン、紙	53.1 × 33.0 / 74.2 × 54.6	和歌山県立近代美術館
IV-18	吉原 英雄	赤い花	1958 (昭和 33)	リトグラフ、紙	52.0 × 43.0 / 59.8 × 47.6	個人蔵 / 個展 (サトウ画廊、1958)
IV-19	吉原 英雄	ボンゴのおどり	1959 (昭和 34)	リトグラフ、紙	55.3 × 40.4 / 64.2 × 47.1	和歌山県立近代美術館 / 日本・フランス現代版画展 (1959)
IV-20	吉原 英雄	リトグラフ・レッド	1962 (昭和 37)	リトグラフ・コラグラフ・エンボス、紙	57.4 × 44.4 / 63.8 × 47.0	和歌山県立近代美術館 / 第 3 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1962)
IV-21	吉原 英雄	リトグラフ・グレー・グリーン	1962 (昭和 37)	リトグラフ・コラグラフ・エンボス、紙	57.6 × 44.5 / 63.5 × 46.7	和歌山県立近代美術館 / 第 3 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1962)
IV-22	吉原 英雄	リトグラフ・ブラック	1962 (昭和 37)	リトグラフ・コラグラフ、紙	58.0 × 44.0 / 63.8 × 47.2	個人蔵 / 第 3 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1962)
IV-23	吉原 英雄	作品 No. 7	1963 (昭和 38)	油彩、板	75.7 × 91.7	個人蔵
IV-24	吉原 英雄	オレンジ・イエロー 2	1964 (昭和 39)	リトグラフ、紙	38.8 × 44.0 / 47.2 × 61.0	個人蔵 / 第 32 回日本版画協会展 (1964)
IV-25	吉原 英雄	ブルー 1	1964 (昭和 39)	リトグラフ、紙	36.2 × 43.0 / 46.6 × 55.0	個人蔵 / 第 32 回日本版画協会展 (1964)
IV-26	吉原 英雄	出会い 3	1964 (昭和 39)	リトグラフ、紙	76.7 × 54.4 / 83.2 × 59.3	和歌山県立近代美術館 / 第 4 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1964)
IV-27	吉原 英雄	出来事	1966 (昭和 41)	リトグラフ・ドライポイント、紙	52.5 × 38.5 / 60.3 × 46.0	個人蔵 / 第 5 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1966)
IV-28	吉原 英雄	出来事 II	1966 (昭和 41)	リトグラフ・ドライポイント、紙	51.1 × 38.1 / 58.1 × 44.1	和歌山県立近代美術館 / 個展 (岩番館画廊、1967)
IV-29	吉原 英雄	カーニバル	1966 (昭和 41)	リトグラフ・ドライポイント、紙	56.0 × 41.5 / 65.6 × 46.1	個人蔵 / 個展 (岩番館画廊、1967)
IV-30	吉原 英雄	北北西	1966 (昭和 41)	リトグラフ・ドライポイント、紙	52.4 × 38.5 / 59.8 × 46.0	個人蔵 / 第 5 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1966)
IV-31	船井 裕	CHILD & SPELL	1958 (昭和 33)	リトグラフ、紙	37.7 × 24.8 / 47.1 × 31.8	和歌山県立近代美術館
IV-32	船井 裕	化石	1959 (昭和 34)	リトグラフ、紙	53.3 × 38.0 / 63.8 × 47.3	和歌山県立近代美術館
IV-33	船井 裕	夜	1961 (昭和 36)	リトグラフ、紙	27.4 × 31.3 / 31.6 × 47.2	和歌山県立近代美術館
IV-34	船井 裕	Something Always Happens	1963 (昭和 38)	油彩・コンテ・コラージュ、キャンバス、板	87.0 × 146.0	和歌山県立近代美術館
IV-35	船井 裕	ANGLE	1966 (昭和 41)	リトグラフ・エンボス、紙	66.2 × 38.0 / 70.5 × 53.0	和歌山県立近代美術館 / 個展 (ギャラリー安土、1966)
IV-36	磯辺 行久	夜通し歩くこと	1959 (昭和 34)	リトグラフ、紙	42.0 × 57.2 / 47.2 × 64.2	和歌山県立近代美術館
IV-37	磯辺 行久	無題	1960 (昭和 35)	リトグラフ、紙	58.0 × 44.0 / 64.0 × 47.2	和歌山県立近代美術館
IV-38	磯辺 行久	無題	1961 (昭和 36)	リトグラフ、紙	52.0 × 39.2 / 63.6 × 47.3	和歌山県立近代美術館
IV-39	磯辺 行久	WORK 62-12	1962 (昭和 37)	油彩、紙、大理石粉、塗料、木	182.2 × 127.6	和歌山県立近代美術館
IV-40	磯辺 行久	ワッペン	1964 (昭和 39)	エンボス、紙	28.4 × 18.8 / 46.3 × 31.9	和歌山県立近代美術館
IV-41	磯辺 行久	ワッペン	1965 (昭和 40)	リトグラフ、紙	47.5 × 36.3 / 59.6 × 45.4	和歌山県立近代美術館
<b>V. 池田満寿夫 とびたつとき 1958-1966</b>						
V-1	池田 満寿夫	案内状のためのデザイン	1958 (昭和 33)	レリーフエッチング、紙	12.8 × 10.7 / 24.3 × 17.0	和歌山県立近代美術館
V-2	池田 満寿夫	私の処女	1958 (昭和 33)	エッチング・アクアチント、紙	13.5 × 10.1 / 23.7 × 19.6	和歌山県立近代美術館
V-3	池田 満寿夫	坐った娘	1960 (昭和 35)	ドライポイント、紙	18.1 × 8.8 / 30.2 × 21.9	広島市現代美術館
V-4	池田 満寿夫	女・動物たち	1960 (昭和 35)	ドライポイント・アクアチント、紙	23.8 × 18.0 / 32.8 × 25.3	広島市現代美術館 / 第 2 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1960) * 文部大臣賞
V-5	池田 満寿夫	女	1960 (昭和 35)	ドライポイント・アクアチント、紙	23.7 × 18.1 / 32.8 × 25.3	広島市現代美術館 / 第 2 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1960) * 文部大臣賞
V-6	池田 満寿夫	女	1961 (昭和 36)	ドライポイント・ルーレット、紙	20.5 × 18.0 / 32.6 × 25.0	広島市現代美術館
V-7	池田 満寿夫	室内の女	1961 (昭和 36)	ドライポイント・雁皮刷、紙	17.9 × 15.4 / 27.3 × 22.8	広島市現代美術館 / 池田満寿夫銅版画展 (不忍画廊、1961)
V-8	池田 満寿夫	退屈な朝	1961 (昭和 36)	ドライポイント・雁皮刷、紙	17.6 × 15.5 / 26.6 × 22.7	広島市現代美術館 / 池田満寿夫銅版画展 (不忍画廊、1961)
V-9	池田 満寿夫	女王	1961 (昭和 36)	ドライポイント・ルーレット・雁皮刷、紙	24.8 × 23.5 / 38.0 × 28.3	広島市現代美術館 / 池田満寿夫銅版画展 (不忍画廊、1961)
V-10	池田 満寿夫	瞳の中の星	1961 (昭和 36)	ドライポイント・ルーレット・雁皮刷、紙	24.8 × 23.6 / 30.3 × 32.7	広島市現代美術館 / 池田満寿夫銅版画展 (不忍画廊、1961)
V-11	池田 満寿夫	子供のいのり	1961 (昭和 36)	ドライポイント・ルーレット、紙	11.9 × 11.3 / 22.2 × 22.0	広島市現代美術館 / 池田満寿夫銅版画展 (不忍画廊、1961)

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm・イメージ/シート)	所蔵/初出展覧会
V-12	池田 満寿夫	Tの肖像	1961 (昭和 36)	ドライポイント・ルーレット・ 雁皮刷、紙	21.6 × 21.3 / 39.1 × 34.9	広島市現代美術館 / 池田満寿夫銅版画 展 (不惑画廊、1961)
V-13	池田 満寿夫	草むらの中	1962 (昭和 37)	ドライポイント・ルーレット、紙	26.6 × 22.8 / 38.2 × 28.4	広島市現代美術館
V-14	池田 満寿夫	女・五月	1962 (昭和 37)	ドライポイント・ルーレット・ 雁皮刷、紙	26.1 × 24.5 / 38.0 × 28.1	広島市現代美術館
V-15	池田 満寿夫	赤いセーターの女	1962 (昭和 37)	ドライポイント・ルーレット、紙	24.0 × 18.0 / 38.0 × 28.0	広島市現代美術館 / 池田満寿夫版画 展 (信濃美術館、1966)
V-16	池田 満寿夫	S字型のヘビ	1962 (昭和 37)	ドライポイント・エッチング、紙	26.2 × 18.0 / 38.0 × 28.0	広島市現代美術館 / 第7回サンパウ ロ・ビエンナーレ (1963)
V-17	池田 満寿夫	急ぐ人	1962 (昭和 37)	ドライポイント・ルーレット、紙	18.1 × 16.8 / 27.9 × 24.5	広島市現代美術館
V-18	池田 満寿夫	日光浴する貴婦人たち	1962 (昭和 37)	ドライポイント・アクアチント・ 雁皮刷、紙	36.2 × 33.7 / 48.9 × 38.0	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1964)
V-19	池田 満寿夫	二人の天使	1962 (昭和 37)	ドライポイント・エッチング・ ルーレット、紙	18.0 × 15.8 / 32.2 × 25.3	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1963)
V-20	池田 満寿夫	出を待つ天使	1962 (昭和 37)	ドライポイント・ルーレット、紙	18.2 × 17.8 / 34.5 × 26.2	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1963)
V-21	池田 満寿夫	水曜日の犬の散歩	1962 (昭和 37)	ドライポイント・ルーレット・ 雁皮刷、紙	36.2 × 33.6 / 56.7 × 38.2	広島市現代美術館 / 第5回現代日本美術展 (1962)
V-22	池田 満寿夫	動物の婚礼	1962 (昭和 37)	ドライポイント・エッチング・ 雁皮刷、紙	36.2 × 33.3 / 57.1 × 38.6	広島市現代美術館 / 第3回東京国際 版画ビエンナーレ展 (1962) * 東京都知事賞
V-23	池田 満寿夫	金曜日は雨	1962 (昭和 37)	ドライポイント・ルーレット・ 雁皮刷、紙	36.2 × 34.6 / 56.6 × 38.2	広島市現代美術館 / 第5回現代日本美術展 (1962)
V-24	池田 満寿夫	小さな沼たち	1963 (昭和 38)	ドライポイント・雁皮刷、紙	36.0 × 33.3 / 65.6 × 50.1	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1963)
V-25	池田 満寿夫	大きな沼その他の沼	1963 (昭和 38)	ドライポイント・雁皮刷、紙	36.4 × 33.8 / 57.0 × 38.5	広島市現代美術館 / 第5回リュブ リア国際版画ビエンナーレ (1963)
V-26	池田 満寿夫	生徒の名はイヴ	1963 (昭和 38)	ドライポイント・ルーレット・ 雁皮刷、紙	36.0 × 33.5 / 57.0 × 38.5	広島市現代美術館 / 第7回サンパウ ロ・ビエンナーレ (1963)
V-27	池田 満寿夫	婚礼の準備	1963 (昭和 38)	ドライポイント・ルーレット・ 雁皮刷、紙	39.8 × 34.5 / 56.8 × 38.1	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1963)
V-28	池田 満寿夫	恋人がやってくる	1963 (昭和 38)	ドライポイント・ルーレット・雁 皮刷、紙	36.2 × 33.5 / 57.5 × 38.5	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1963)
V-29	池田 満寿夫	昆虫採集	1963 (昭和 38)	ドライポイント・ルーレット・ 雁皮刷、紙	36.5 × 33.6 / 53.7 × 45.9	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1963)
V-30	池田 満寿夫	日付のない日	1963 (昭和 38)	ドライポイント・ルーレット・ エッチング・雁皮刷、紙	36.1 × 33.4 / 53.5 × 46.0	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1963)
V-31	池田 満寿夫	タエコの朝食	1963 (昭和 38)	ドライポイント・ルーレット・エッ チング、紙	37.3 × 35.8 / 56.7 × 38.2	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1963)
V-32	池田 満寿夫	自画像	1964 (昭和 39)	ドライポイント、紙	17.7 × 19.7 / 32.8 × 25.3	広島市現代美術館
V-33	池田 満寿夫	私をみつめる私	1964 (昭和 39)	ドライポイント・ルーレット、紙	20.0 × 17.8 / 32.5 × 25.0	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1964)
V-34	池田 満寿夫	静物	1964 (昭和 39)	ドライポイント・ルーレット・ エッチング・雁皮刷、紙	36.2 × 33.7 / 65.3 × 50.3	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1964)
V-35	池田 満寿夫	鏡の前の女	1964 (昭和 39)	ドライポイント・ルーレット・ エッチング、紙	36.0 × 33.5 / 56.8 × 38.5	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1964)
V-36	池田 満寿夫	花嫁	1964 (昭和 39)	ドライポイント・ルーレット・エッ チング、紙	39.3 × 36.3 / 63.5 × 45.7	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1964)
V-37	池田 満寿夫	夏 1	1964 (昭和 39)	ルーレット・エッチング、紙	39.5 × 36.2 / 60.1 × 45.3	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1964)
V-38	池田 満寿夫	私は何も食べたくない	1964 (昭和 39)	ドライポイント・ルーレット・ エッチング、紙	35.5 × 33.3 / 49.4 × 38.2	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1964)
V-39	池田 満寿夫	アダムとイヴ (捕らえられたイヴ)	1964 (昭和 39)	ドライポイント・ルーレット、紙	36.1 × 33.6 / 65.3 × 48.8	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1964)
V-40	池田 満寿夫	聖なる手 1	1965 (昭和 40)	ドライポイント・ルーレット、紙	36.2 × 33.8 / 57.6 × 38.3	広島市現代美術館 / 第6回リュブ リア国際版画ビエンナーレ (1965) * 優秀賞
V-41	池田 満寿夫	海のスカート	1965 (昭和 40)	ドライポイント・ルーレット、紙	63.0 × 44.8	広島市現代美術館 / 第8回サンパウ ロ・ビエンナーレ (1965)
V-42	池田 満寿夫	花をもつ少女	1965 (昭和 40)	ドライポイント・ルーレット・ エッチング、紙	36.2 × 33.3 / 57.4 × 38.3	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1965)
V-43	池田 満寿夫	私の詩人・私の猫	1965 (昭和 40)	ドライポイント・ルーレット、紙	35.8 × 33.7 / 57.2 × 38.4	広島市現代美術館 / 第8回サンパウ ロ・ビエンナーレ (1965)
V-44	池田 満寿夫	ロマンチックな風景	1965 (昭和 40)	ドライポイント・ルーレット・ エッチング、紙	36.1 × 33.6 / 57.3 × 38.2	広島市現代美術館 / 池田満寿夫の版 画展 (ニューヨーク近代美術館、1965)
V-45	池田 満寿夫	みつめる天使	1965 (昭和 40)	ドライポイント・ルーレット・ エッチング、紙	31.0 × 29.6 / 57.0 × 38.5	広島市現代美術館 / 個展 (日本橋画廊、1965)
V-46	池田 満寿夫	姉妹たち	1965 (昭和 40)	ドライポイント・ルーレット・ エッチング、紙	35.9 × 33.5 / 53.2 × 38.4	広島市現代美術館 / 池田満寿夫の版画 展 (ニューヨーク近代美術館、1965)
V-47	池田 満寿夫	花園にて	1965 (昭和 40)	ドライポイント・ルーレット・ エッチング、紙	36.3 × 34.0 / 53.5 × 38.5	広島市現代美術館 / 池田満寿夫の版画 展 (ニューヨーク近代美術館、1965)
V-48	池田 満寿夫	夏の夢	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット・ エングレーヴィング、紙	45.3 × 39.9 / 70.0 × 53.5	広島市現代美術館 / 第33回ヴェネ チア・ビエンナーレ (1966) * 版画部門国際大賞
V-49	池田 満寿夫	シンデレラの広告	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット、紙	47.9 × 42.1 / 71.0 × 53.5	広島市現代美術館 / 第33回ヴェネ チア・ビエンナーレ (1966) * 版画部門国際大賞
V-50	池田 満寿夫	バラはバラ	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット・ エングレーヴィング、紙	45.4 × 40.4 / 68.0 × 54.5	広島市現代美術館 / 第33回ヴェネ チア・ビエンナーレ (1966) * 版画部門国際大賞
V-51	池田 満寿夫	Spring and Springs	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット、紙	40.0 × 45.3 / 54.1 × 69.1	広島市現代美術館 / 第33回ヴェネ チア・ビエンナーレ (1966) * 版画部門国際大賞
V-52	池田 満寿夫	青い椅子	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット・ エングレーヴィング、紙	45.6 × 40.2 / 70.2 × 53.2	広島市現代美術館 / 第33回ヴェネ チア・ビエンナーレ (1966) * 版画部門国際大賞
V-53	池田 満寿夫	愛の瞬間	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット・ エングレーヴィング、紙	45.8 × 40.2 / 67.0 × 53.8	広島市現代美術館 / 第33回ヴェネ チア・ビエンナーレ (1966) * 版画部門国際大賞

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm・イメージ/シート)	所蔵 / 初出展覧会
V-54	池田 満寿夫	ある種の関係	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット・ エングレーヴィング、紙	46.0 × 40.5 / 70.4 × 53.7	広島市現代美術館 / 第 33 回ヴェネチア・ビエンナーレ (1966) *版画部門国際大賞
V-55	池田 満寿夫	Something 1	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット・ メゾチント・エングレーヴィング、紙	45.3 × 40.2 / 69.2 × 54.1	広島市現代美術館 / 第 33 回ヴェネチア・ビエンナーレ (1966) *版画部門国際大賞
V-56	池田 満寿夫	欲望の原理 (赤)	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット・ メゾチント・エングレーヴィング、紙	45.9 × 40.7 / 68.9 × 53.4	広島市現代美術館 / 第 7 回現代日本美術展 (1966)
V-57	池田 満寿夫	手の意味	1966 (昭和 41)	ドライポイント・ルーレット・ メゾチント・エングレーヴィング、 紙	40.1 × 31.5 / 56.7 × 38.1	広島市現代美術館
V-58	池田 満寿夫	最初のドローイング	1966 (昭和 41)	リトグラフ、紙	42.0 × 66.2 / 56.0 × 76.3	広島市現代美術館
V-59	池田 満寿夫	開いたブラウス	1966 (昭和 41)	リトグラフ、紙	51.9 × 53.4 / 74.0 × 53.4	広島市現代美術館
V-60	池田 満寿夫	閉ざされた夜のために	1966 (昭和 41)	リトグラフ、紙 (3 枚組)	52.2 × 117.1	広島市現代美術館 / 第 5 回東京国際版画ビエンナーレ展 (1966)
V-61	池田 満寿夫	アメリカの女	1966 (昭和 41)	リトグラフ、紙	79.1 × 61.0 / 84.3 × 61.4	広島市現代美術館
V-62	池田 満寿夫	秘められた年	1966 (昭和 41)	リトグラフ、紙	62.4 × 44.8	広島市現代美術館
V-63	池田 満寿夫	窓からの眺め C	1966 (昭和 41)	リトグラフ、紙	53.3 × 37.1	広島市現代美術館
V-64	池田 満寿夫	ブダペストからの自画像	1968 (昭和 43)	リトグラフ、紙	58.4 × 46.0	広島市現代美術館
<b>(関連資料)</b>						
M-1		瑛九フォト・デッサン作品展パンフレット	1951 (昭和 26) 年 2 月	印刷・写真、紙		個人蔵
M-2		瑛九・勝田寛一展 案内はがき	1951 (昭和 26) 年 4 月	印刷、紙		個人蔵
M-3		第 1 回大阪デモクラート美術展 目録	1951 (昭和 26) 年 6 月	印刷、紙		個人蔵
M-4		第 3 回大阪デモクラート美術展 案内はがき	1952 (昭和 27) 年 2 月	印刷、紙		個人蔵
M-5		第 1 回東京デモクラート美術展 目録	1952 (昭和 27) 年 3 月	印刷、紙		個人蔵
M-6		デモクラート美術家協会 宣言文	1952 (昭和 27) 年	印刷、紙		個人蔵
M-7		加藤正個展 目録	1952 (昭和 27) 年 7 月	印刷、紙		個人蔵
M-8		『DEMOKRATO』No.1	1952 (昭和 27) 年 8 月 -12 月頃	印刷、紙		個人蔵
M-9		『DEMOKRATO』No.2	1953 (昭和 28) 年 5 月頃	印刷、紙		個人蔵
M-10		『DEMOKRATO』No.3	1953 (昭和 28) 年 11 月頃	印刷、紙		個人蔵
M-11		デモクラートエッチング展 瑛九・泉茂・ 加藤正 案内はがき	1954 (昭和 29) 年 5 月	印刷、紙		個人蔵
M-12		泉茂作品展 案内状	1954 (昭和 29) 年 7 月	印刷、紙		個人蔵
M-13		第 4 回大阪・東京デモクラート美術展 目録	1954 (昭和 29) 年 1 月	印刷、紙		個人蔵
M-14		久保コレクション西洋版画展と日本前衛版 画展 案内はがき	1954 (昭和 29) 年 11 月	印刷、紙		個人蔵
M-15		瑛九フォト・デッサン展 目録	1955 (昭和 30) 年 1 月	印刷、紙		個人蔵
M-16		第 1 回利根山光人リトグラフ展 案内状・目録	1955 (昭和 30) 年 4 月	印刷、紙		個人蔵
M-17		グループ「実在者」テーマ〈戦争〉展 案内状・目録	1955 (昭和 30) 年 7 月	印刷、紙		個人蔵
M-18		グループ「実在者」テーマ〈無人間時代〉 案内状・目録	1955 (昭和 30) 年 8 月	印刷、紙		個人蔵
M-19		グループ「実在者」連鎖展 池田満寿夫展 案内状	1956 (昭和 31) 年 1 月	印刷、紙		個人蔵
M-20		グループ「実在者」連鎖展 饗嘯個展 テーマ〈若い仲間たち〉案内状・目録	1955 (昭和 30) 年 2 月	印刷、紙		個人蔵
M-21		泉茂リトグラフィ個展 案内はがき	1957 (昭和 32) 年 2 月	印刷、紙		個人蔵
M-22		池田満寿夫個展 PRINTS MASUO IKEDA 日本橋画廊 パンフレット	1963 (昭和 38) 年 9 月	印刷、紙		個人蔵
M-23		池田満寿夫個展 PRINTS MASUO IKEDA 日本橋画廊 個展パンフレット	1964 (昭和 39) 年 9 月	印刷、紙		個人蔵
M-24		池田満寿夫個展 PRINTS MASUO IKEDA 日本橋画廊 個展パンフレット	1965 (昭和 40) 年 11 月	印刷、紙		個人蔵
M-25		池田満寿夫版画展 信濃美術館 図録	1966 (昭和 41) 年 11 月	印刷、紙		個人蔵
M-26		池田満寿夫銅版画展 パンフレット	1966 (昭和 41) 年 11 月	印刷、紙		個人蔵



## 2-1. モダン・プリント コレクションにみる世界の版画

- 会期 : 2022年4月9日(土)～6月26日(日) 68日間(休館日を除く)  
 ＊前期展示:4月9日(土)～5月22日(日)、後期展示:5月24日(火)～6月26日(日)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 6,625名
- 内容 : 和歌山県立近代美術館が誇る版画コレクションから19世紀末以降の西洋版画の名品を紹介し、「近代と版画」、「木版画とジャポニスム」、「画家と版画」、「版画と書籍」、「版画と印刷」、「色彩と版画」、「版画と協働」、「ふたつのピエンナーレ:東京・和歌山」の8章構成で、版画と近代美術の関係を再考した。
- 展示点数 : 54作家237点(前期:54作家202点/後期:54作家203点)、資料7点
- 担当学芸員 : 青木加苗
- 関連事業 : ・フロアレクチャー4月30日(土)、5月15日(日)、29日(日)14:00～15:00 40名、10名、34名  
 ・子ども美術館部「それはこうかもしれない」5月14日(土)、15日(日)11:00～12:00 6名、6名
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)  
 ・チラシ(A4判、オフセット印刷)  
 ・出品目録(A4判4頁)  
 ・プレスリリース(A4判3頁)
- 入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円)( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 近代美術の根本的な視点を軸に、版画の特性、近年の展覧会成果や当館の歴史を絡めて構成した。書籍作品のページをスライドショー化し、翻訳をつけたアニメーションを作成してモニターで展示し、理解の一助として提供した。一般来館者の関心も高く、通常のコレクションによる企画展枠としては比較的人館者を集めることができた。
- 関連記事 : ・「モダン・プリント コレクションにみる世界の版画 作品通じ近代の意味考える 県立近代美術館9日から企画展」『紀伊民報』第23925号 2022年4月9日、6面(4月8日ウェブでも配信)  
 ・加藤敦久「欧米の版画 多彩な240点 県立近代美術館で企画展」『毎日新聞』(和歌山版)2022年4月19日、18面(同日ウェブでも配信)  
 ・「モダン・プリント コレクションにみる世界の版画」『和歌山特報』第1722号 2022年4月21日、10面  
 ・「多種多様、世界の版画6月26日まで近代美術館」『わかやま新報』2022年4月27日、3面(同日ウェブでも配信)  
 ・正木利和「〈金曜は遊ぶ演じる知る〉多様な版画の作品群 モダン・プリント 和歌山県立近代美術館」『産経新聞』(夕)2022年5月27日、4面  
 ・山田夢留「近現代芸術に種々の問い 世界の版画紹介 企画展和歌山近美」『毎日新聞』(大阪版・夕)2022年6月1日、7面(同日ウェブでも配信)
- その他 : ・「近代版画」の展示開催中・県立近代美術館で「和歌山放送「和歌山放送ニュース」、2022年4月16日放送(同日ウェブでも配信)
- メディア報道 : ・「#41 和歌山県立近代美術館で開催中「モダン・プリント展」から考える近代版画の魅力!特集」Podcast「本屋ブラブララジオ」、2022年5月4日公開

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年12月28日

### モダン・プリント 出品目録

前期4月9日～5月22日/後期5月24日～6月26日

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(イメージ・cm)	所蔵/備考	前期/後期
<b>近代と版画</b>							
1-24	オディロン・ルドン	『聖アントワヌの誘惑』第3集	1896(明治29)	リトグラフ、紙			
		1.扉			56.5×39.8		前
		2.聖アントワヌ:主よ!助けたまえ!			22.7×13.2		前
		3.そしていたところに玄武岩の円柱がある…光線が丸天井から射してくる			24.2×19.0		前
		4.わたしの接吻には、おまえの心のなかでとろける果実の味わいがある!…私を馬鹿にするのだね!さようなら!			20.0×16.5		前
		5.花々が散り落ちる。一そして一匹の錦蛇の頭が現われる			26.0×19.7		前
		6.ものかげでは、人々が泣いたり祈禱したりしている。その周囲を取巻いて、彼らを激励する人々がいる…			26.5×21.5		前
		7…そして彼は、不毛の起伏の多い原野を認める			25.1×19.9		前
		8.彼女は懐から真黒な海綿をとり出して、それを接吻で覆う			19.2×15.3		前
		9…わたしは孤独のうちに沈んだ。わたしはうしろの木に住んでいたのだ。			30.0×22.6		前
		10.ヘレーナ(エンノイヤ)			9.3×8.3		前
		11.たちまち三人の女神がおどり出る			21.8×16.5		前
		12.大智はわがものとなった!私は仏陀になった!			32.0×22.0		前
		13…そして頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた			31.0×22.5		後
		14.オアンネス:混沌の最初の意識であるわたしは、物質を固くし、形体を定めるために、深淵からおどりてきた			28.0×21.8		後
		15.ここにはお恵み深い女神様、山にはいますイダの女神だ			15.0×13.0		後
		16.私はいつまでも偉大なイシス!まだ誰も私のパールをかかげたものはいない!私の果実が太陽なのだ!			28.4×20.5		後
		17.かれはまさかさまに深淵へおちてゆく			27.7×21.2		後
		18.アントワヌ:これらすべての目的は何だろうか?悪魔:目的などはないのだ!			31.0×25.0		後
		19.老婆:何が怖いのだ?大きな暗い穴じゃないか!中からはらっぱさ、きつと			16.5×10.8		後
		20.死神:わたしのおかげで、お前も本気になることができるのだ。さあ抱きあおう!			30.3×21.4		後
		21…私は、時おり、空に精霊の形のようなものをもとめたことがあった			26.5×18.1		後
		22.革袋のようにまるい、海の獣たち			22.3×19.3		後
		23.さまざまな住民が大洋の国々にすんでいる			31.0×23.2		後
		24.ついに太陽が現われる…そしてまた太陽のただなかに、イエス・キリストの顔が光りかがやく			27.5×20.0		後
25	アンリ・ファンタン=ラトゥール	バルジファルと花の精たち(第2ステート)	1885(明治18)	リトグラフ、紙	45.0×31.2	橋本忠美氏寄贈	
26	アンリ・ファンタン=ラトゥール	神々の黄昏:ジークフリートとラインの乙女(第2ステート)	1898(明治31)	リトグラフ、紙	47.8×37.8	橋本忠美氏寄贈	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (イメージ・cm)	所蔵 / 備考	前期 / 後期
27	アンリ・ファンタン=ラトゥール	水浴する女たち	1898 (明治 31)	リトグラフ、紙	30.8 × 39.4	橋本忠美氏寄贈	
28-39	マックス・クリンガー	『間奏曲』作品 IV  熊と妖精 海辺で 追われるケンタウロス 月夜 戦うケンタウロス 山崩れ ジンプリチウスの勉強 隠者の墓の傍らのジンプリチウス 兵士たちに取り囲まれたジンプリチウス さびしい森の中のジンプリチウス 落馬した騎士 愛・死・彼岸	1881 (明治 14) 年初版	エッチング・アクアチント、紙 *製版・刷 Hermann Sagert	39.5 × 23.2 19.5 × 37.8 16.4 × 37.2 36.2 × 26.4 38.1 × 24.9 39.3 × 27.6 28.8 × 23.1 29.3 × 23.4 23.5 × 40.4 23.2 × 39.4 32.2 × 20.0 16.0 × 40.7		
40	ジェームズ・ティソ	海辺にて	1880 (明治 13)	エッチング・ドライポイント、紙	38.0 × 14.0	橋本忠美氏寄贈	
41	ジェームズ・ティソ	陽光のもと	1881 (明治 14)	エッチング・ドライポイント、紙	20.0 × 29.7	橋本忠美氏寄贈	
42	ジェームズ・ティソ	庭のベンチ (第 1 ステート)	1883 (明治 16)	メゾチント、紙	41.7 × 56.5	橋本忠美氏寄贈	
<b>木版画とジャポニスム</b>							
43	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	アリスティド・ブリュアン	1893 (明治 26)	リトグラフ、紙	139.0 × 99.8	個人蔵	
44-55	ウィリアム・ニコルソン	12 人の肖像 ヴィクトリア女王 H. R. H. The Prince of Wales ビスマルク W. E. グラッドストーン カンタベリー大主教 ロバート卿 セシル・ローズ サー・ヘンリー・ホーキンス ジェームズ=マクニール・ホイッスラー ラドヤード・キプリング サー・ヘンリー・アーヴィング サラ・ベルナール	1899 (明治 32)	リトグラフ (木版原画)、紙	25.1 × 22.8 26.1 × 23.1 25.0 × 23.2 26.1 × 23.1 26.6 × 23.2 25.2 × 23.1 25.2 × 23.2 26.5 × 23.1 25.2 × 22.5 29.2 × 22.1 26.2 × 23.1 24.4 × 22.8		
56	エミール・オルリク	旧プラハ	1897 (明治 30)	木版、紙	18.1 × 13.8		
57	エミール・オルリク	プラハのオルリク裁縫工場 『小木版画集 1896-1899』1920 年発行より]	1898 (明治 31)	木版、紙	12.1 × 18.3		
58-70	エミール・オルリク	『日本への旅』 目次 石炭採掘 ジェノバの港にて ボートサイドより アラビアのカフェ セイロンにて (竹林) シンガポールの思い出 香港近郊 上海の娘たち 日本の農民たち 冬の装い 日本の娘たち 富士山 (箱根近郊)	1921 (大正 10)	エッチング・ドライポイント、紙	36.0 × 29.5 12.0 × 19.8 12.5 × 19.6 17.7 × 12.7 9.9 × 8.2 9.9 × 8.2 17.0 × 13.5 11.1 × 11.9 17.0 × 10.0 17.3 × 12.5 8.6 × 6.8 11.0 × 12.0 14.3 × 17.5		
71	エミール・オルリク	日本の彫師	1900 (明治 33)	木版、紙	19.5 × 16.2		
72	エミール・オルリク	日本の摺師	1900 (明治 33)	木版、紙	19.5 × 16.0		
73	エミール・オルリク	日本のこどもたち	1900 (明治 33) 頃	木版、紙	15.9 × 11.3		
74	エミール・オルリク	祭りの行列を見る日本の子供たち	1902 (明治 35)	エッチング・アクアチント、紙	21.3 × 34.0		
75	エミール・オルリク	夕 (2)	1902 (明治 35)	エッチング、紙 *刷 Otto Felsing	16.6 × 11.9	個人蔵	
76	エミール・オルリク	薪を集める女性	1902 (明治 35) 頃	木版、紙	14.2 × 11.7		
77	エミール・オルリク	画家フェルディナント・ホドラーの肖像	1904 (明治 37) / 1905 (明治 38)	木版、紙	35.2 × 23.0		
78	エミール・オルリク	絵師・彫師・摺師 (『印刷芸術』25 巻 1902 年発行に綴込)	1900 (明治 33)	印刷	左: 19.5 × 15.7 中: 19.3 × 16.2 右: 19.2 × 15.8	個人蔵	
79	オスカー・グラーフ	近づく雷雨	1915 (大正 4) 頃	エッチング、紙	30.0 × 49.0	個人蔵	
80	ヴァルター・クレム	スケート場	1909 (明治 42)	木版、紙	40.0 × 43.6		
81	ヴァルター・クレム	森のなかの騎士たち	制作年不詳	木版、紙	36.5 × 21.5	個人蔵	
82	カール・ティーマン	夕暮れ、ベニス近郊	1910 (明治 43) / 1911 (明治 44)	木版、紙	30.0 × 50.5	個人蔵	
83	カール・ティーマン	菊	1934 (昭和 9)	木版、紙	46.3 × 34.0	個人蔵	
資料 1		『DERSTURM』97 号表紙: アルトゥール・シーガル《生きる喜び》	1912 (明治 45) 年 2 月 発行	印刷 (木版原画)、紙	44.5 × 32.5		
資料 2		『第 14 回オーストリア造形芸術家協会 (ウィーン分離派) 展覧会カタログ』	1902 (明治 35) 年 発行	印刷 (冊子)	18.0 × 16.0		
資料 3		『美術における日本と東洋』展カタログ	1909 (明治 42) 年 発行	印刷 (冊子)	22.5 × 13.0	個人蔵	
<b>画家と版画</b>							
84	フィンセント・ファン・ゴッホ	馬鈴薯を食べる人々	1885 (明治 18)	リトグラフ、紙	26.5 × 31.9	個人蔵	
85	エドヴァルド・ムンク	骸骨の腕のある自画像	1895 (明治 28)	リトグラフ、紙	45.6 × 32.0		
86	エドヴァルド・ムンク	病める子	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	42.0 × 52.0		前
87	エドヴァルド・ムンク	ビルギッテ III	1930 (昭和 5)	木版、紙	52.8 × 32.3	個人蔵	後



No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(イメージ・cm)	所蔵/備考	前期/後期
<b>版画と印刷</b>							
資料 4		「フェルナン・レジェ 労働：絵画による我々の時代の証言」展ポスター(パリ市立近代美術館、1951年)	1951(昭和26)	オフセットリトグラフ、紙	77.0×52.1	矢尾利秀氏寄贈	
資料 5		「ピカソ：1900-1953展」ポスター(リヨン美術館、1953年)	1953(昭和28)	オフセットリトグラフ、紙	68.6×52.4	矢尾利秀氏寄贈	
資料 6		「ジョルジュ・ブラック最近作」展ポスター(ギャルリー・マーズ、パリ、1967年)	1967(昭和42)	オフセットリトグラフ、紙	71.2×42.1	矢尾利秀氏寄贈	
資料 7		「カンディンスキー：デッサウのパウハウス1927-1933」展ポスター(ギャルリー・マーズ、パリ、1965年)	1965(昭和40)	オフセットリトグラフ、紙	72.2×45.2	矢尾利秀氏寄贈	
156	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープII ホットドッグピーン(柔らかい豆とフランクフルトスライス入り)	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	88.0×58.6		前
157	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープII ニューイングランド風クラムチャウダー	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	89.1×58.6		前
158	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープII アルファベットスープ(動物性食材不使用)	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	89.1×58.6		前
159	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープII オールドファッション・ベジタブル(ビーフストック仕立て)	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	89.0×58.6		前
160	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープII スコッチブロス(具だくさん肉入り)	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	89.1×58.6		後
161	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープII チキンと蒸し団子	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	89.0×58.5		後
162	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープII 丸パスタ入りマトビーフ	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	89.0×58.6		後
163	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープII ゴールデン・マッシュルーム(スライスマッシュルームたっぷり)	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	89.0×58.6		後
<b>色彩と版画</b>							
164-189	ジョセフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーションI およびIIより、26点	1972(昭和47)	シルクスクリーン、紙	各38.1×50.8 [本紙]		
190-199	アド・ラインハート	10のスクリーンプリント	1966(昭和41)	シルクスクリーン、紙	各55.8×43.2[本紙]		
200	ヴィクトル・ヴァザルリ	GESTALT	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	80.0×80.0	個人蔵	
201	ヴィクトル・ヴァザルリ	BO-RA [版画集『パッハーヴァザルリ』より]	1973(昭和48)	シルクスクリーン、紙	56.7×49.3	西本伊都子氏寄贈	
<b>版画と協働</b>							
202	ジャスパー・ジョーンズ	旗	1960-69(昭和35-44)	鉛	48.2×53.4		
203	フランク・ステラ	タラデガIII(サーキット・シリーズ)	1982(昭和57)	インタリオエッチング、紙	166.0×131.2		
204	デイヴィッド・ホックニー	陽光(天候シリーズ)	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	76.9×64.3		
205	デイヴィッド・ホックニー	雨(天候シリーズ)	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	93.7×73.3		
206	デイヴィッド・ホックニー	雪(天候シリーズ)	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	87.0×72.2		
207	デイヴィッド・ホックニー	風(天候シリーズ)	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	79.5×61.6		
208	デイヴィッド・ホックニー	霧(天候シリーズ)	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	74.2×63.8		
209	デイヴィッド・ホックニー	雷(天候シリーズ)	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	79.0×65.2		
210	デイヴィッド・ホックニー	グレゴリーのイメージ	1984-85(昭和59-60)	リトグラフ・コラージュ、紙	222.3×104.1		
211	ロイ・リキテンシュタイン	ふたつの絵画：ダグウッド	1984(昭和59)	木版・リトグラフ、紙	129.2×91.0		
212	ジェームズ・ローゼンクイスト	スペース・ダスト	1989(平成元)	リトグラフ・コラージュ、紙	169.0×267.5		
213	トム・ウェッセルマン	写真のある寝室のブロードのいたずらがき	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ボード	146.2×170.5		
214	ソル・ルウィット	無題[シリーズ「4×4×4」より]	1990(平成2)	シルクスクリーン、紙	122.0×122.0		
215	ロバート・マンゴールド	無題[シリーズ「4×4×4」より]	1990(平成2)	シルクスクリーン、紙	122.0×122.0		
216	ロバート・マンゴールド	三つのアクアチント：B オレンジ	1979(昭和54)	アクアチント、紙	91.2×83.3		
217	ロバート・マンゴールド	三つのアクアチント：A 赤	1979(昭和54)	アクアチント、紙	83.2×83.5		
218	ロバート・マンゴールド	三つのアクアチント：C 黄色	1979(昭和54)	アクアチント、紙	45.5×129.0		
219	エルズワース・ケリー	緑の曲線(第2ステート)	1987(昭和62)	リトグラフ、紙	65.0×182.5		
<b>ふたつのビエンナーレ：東京・和歌山</b>							
220	サム・フランシス	白い線	1960(昭和35)	リトグラフ、紙	84.7×63.3		
221	ロバート・ラウシェンバーク	スカイ・ガーデン	1969(昭和44)	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	225.2×106.9		
222	パトリック・コールフィールド	浴室の鏡	1968(昭和43)	シルクスクリーン、紙	69.9×92.2		
223	ユッカ・ヴェンティネン	創造I	1988(昭和63)	メゾチント、紙	74.5×50.1	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
224	シュテファン・ガリッチ	記録—VIII-A	1986(昭和61)	木版、紙	53.5×48.5	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
225	ジグリッド・ヴァルティンゴージャー	風景I	1986(昭和61)	エッチング、紙	23.7×77.9	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
226	オールドジク・クルハーネク	法廷	1990(平成2)	リトグラフ、紙	66.1×50.7	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
227	姜 丞熹	5時30分の夜明け—1990年夏	1990(平成2)	銅版、紙	58.8×115.3	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
228	申 璋澁	アリラン—幸せな日	1992(平成4)	木版、紙	90.1×182.6	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
229	ルネ・ソデルクイスト	TAKEFIVE-3	1986(昭和61)	シルクスクリーン、紙	65.8×89.1	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
230	ウイジット・アピチャートクリ アックライ	沈黙のゲーム03	1988(昭和63)	銅版、紙	60.1×86.4	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
231	ニパン・オラニウェー	1/1988	1988(昭和63)	銅版、紙	70.8×50.4	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
232	タヴォン・コウドンヴィット	儀式における象徴1992/3	1992(平成4)	シルクスクリーン・木版・紐・ コラージュ、紙	78.7×80.0	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
233	パトリシア・アンネ・ピアス	APPROACHINGRED	1988(昭和63)	コラグラフ・手彩ほか、紙	91.4×196.8	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
234	ボール・L. ステュワート	VillageII	1992(平成4)	ディープエッチング、紙	75.0×99.2	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
235	池 石哲	反作用(Reaction) No.2	1986(昭和61)	シルクスクリーン、紙	47.8×72.1	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
236	マクシミリアン・スノッホ	眺めNo.6	1992(平成4)	リノカット、紙	61.2×47.2	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	
237	イェルジー・ヤウンドリジャック	ヤノの家	1990(平成2)	リノカット、紙	48.8×63.0	和歌山版画ビエンナーレ 展実行委員会寄贈	



ポスター



チラシ表 / 裏



## 2-2. なつやすみの美術館 12 妻木良三「はじまりの風景」

- 会期 : 2022年7月5日(火)～9月4日(日) 54日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 7,919名
- 内容 : だれもが気軽に美術館を訪れ、美術の楽しみ方を体験できる展覧会の12回目。鉛筆などで独自の世界を描き出す和歌山県湯浅町出身の妻木良三(1974-)をゲストに迎え、「はじまりの○(まる)」「境界」「のぞき見る○(まる)」「外界との境界-「Zone(ゾーン)」」「襷(ひだ)について-「境現の襷」「始景」「コレクションの部屋」「化石とはじまり-「untitled」から」の6章によって、展覧会を構成した。作家の作品と、作家が収集した標本類、当館コレクションなどを組み合わせた展示により、作家のものの見方や感覚を共有した。新政策事業の一部として、田辺市立美術館分館・熊野古道なかへち美術館でもワークショップや展示を行った(「ワークショップ「くまびで作ろう1 妻木良三 風景を形づくる」熊野古道なかへち美術館、2023年3月4日/「妻木良三 侵蝕する風景」展 田辺市立美術館、2023年4月15日～6月18日)。
- 展示点数 : 妻木良三作品32点、当館コレクション42点、標本資料など16点1件
- 担当学芸員 : 奥村一郎、青木加苗
- 関連事業 :
  - ・妻木良三ギャラリートーク 7月18日(月・祝)15:00～16:00 2階展示室にて 55名
  - ・フロアレクチャー 8月6日(土)、20日(土)14:00～15:00 2階展示室にて 6名、12名
  - ・こども美術館「さいしょのさいしょ」7月23日(土)、24日(日)11:00～12:00 2階展示室にて 6名、6名
  - ・夏休みアートワークショップ 7月31日(日)13:00～15:00 2階展示室、2階ホールなどにて 講師:妻木良三(出品作家)26名 / 夏休みアートワークショップ 串本編 8月21日(日)10:00～13:00 和歌山県立潮岬青少年の家研修室、化石資料館にて 講師:妻木良三(出品作家)、左向幸雄(化石研究家)15名 主催:和歌山県文化振興財団 協力:和歌山県立近代美術館、NPO法人潮岬おもしろランド体験学習推進協議会(串本編のみ) 企画運営協力:NPO法人和歌山芸術文化支援協会(wacss)
  - ・たまごせんせいとわくわくアートツアー(和歌山大学美術館館)8月14日(日)、16日(火)～19日(金)13:00～14:00、15:00～16:00 43名
  - ・対談:中島智×妻木良三 9月3日(土)15:00～ 2階ホールにて 講師:中島智(芸術人類学者)、妻木良三(出品作家)84名  
\*7月18日(月・祝)の予定を延期して開催
  - ・会期中、ワークスペース「はじまりの風景のつづき」を2階展示室入口前に設置
- 制作物 :
  - ・ポスター(B2判、オフセット印刷)
  - ・チラシ(A4判、オフセット印刷)
  - ・出品目録(A4判5頁)
  - ・プレスリリース(A4判4頁)
  - ・ワークシート「つまきりょうぞ〜ん」(A4判4頁)
  - ・記録集『なつやすみの美術館12 妻木良三「はじまりの風景」』:21.0×29.8cm、和歌山県立近代美術館、2023年3月31日発行(21.0×29.8cm48頁、オフセット印刷)  
奥村泰彦 はじまりはどこにあるのか—妻木良三のはじまりの風景の在処—  
青木加苗 漂着するコレクション、あるいは「墓場」に生きるものたちとともに  
奥村一郎 「妻木良三 はじまりの風景」によせて
- 入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円) ( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 妻木作品は、どこかであり/どこでもない、時間や場所の制限を超えて存在する原初的な世界への入口であるようにも感じられるが、こうした世界へのつながりを、作家はため池のほとりや浜辺を歩くなかで見つける化石や骨、ウニの殻など、さまざまな自然物のなかにも見出している。展示では、イメージの源泉としての自然と、作品にあらわれる原初的な世界の共通点に注目し、これらを組み合わせた構成を試みた。さらに妻木が選び出した所蔵作品がここに加わることで、個でありつつ普遍性を持った展覧会になったと思う。和歌山美術館教育研究会やNPOなどとの連携事業にも、作家が積極的に協力できる関係を築くことで、より充実した事業内容となった。コロナ禍の影響は依然としてあり、子どもたちの来館者数が、それ以前の数字まで未だ回復していないことは課題である。
- 関連記事 :
  - ・「美術家の妻木良三さん迎え 夏休みワークショップ」『わかやま新報』2022年5月11日、6面
  - ・「夏休みアート・ワークショップ」県立近代美術館で7月末 県文化振興財団 参加者募集『紀伊民報』第23952号、2022年5月14日、6面
  - ・「湯浅町のアーティスト(僧侶)妻木良三さんワークショップ 夏休み近代美術館で作品展」『和歌山特報』第1726号、2022年6月1日、10面
  - ・「美術家・妻木さんの作品展 5日から県立近代美術館」『わかやま新報』2022年7月1日、3面
  - ・「訪れたら絶対手に入れたい個性派ミュージアムグッズ」『リビング和歌山』第2045号2022年7月16日、1面
  - ・「和歌山県立近代美術館で「妻木良三 はじまりの風景」展夏休み企画で」『和歌山経済新聞』2022年7月8日(ウェブ配信)
  - ・「妻木良三「はじまりの風景」9月4日まで県立近代美術館」『紀伊民報』2022年7月16日、6面(7月15日ウェブでも配信)
  - ・「鉛筆で多彩な表現追求 湯浅町出身・美術家、妻木良三さん展覧会 県立近代美術館」『毎日新聞』(地方版)2022年7月27日、20面(7月27日ウェブでも配信)
  - ・「美術家・妻木さんの世界 近代美術館 ひだをモチーフに描く」『わかやま新報』2022年7月27日、3面
  - ・田中畠れ奈「存在と存在ぶつかり生まれる「ひだ」妻木良三展@和歌山」『朝日新聞』(夕)2022年8月23日、3面
  - ・田中畠れ奈「世界の境界は波を打つ 妻木良三が描くはじまりの風景」『朝日新聞』2022年8月25日(ウェブ配信)
  - ・正木利和「金曜は遊ぶ演じる知る」妻木良三「はじまりの風景」和歌山県立近代美術館 やわらかな「彼岸」の白『産経新聞』(夕)2022年9月2日、4面
- その他 :
  - ・[なつやすみの美術館12について]NHK「ニュース・インフォメーション」、2022年7月8日放送
- メディア報道 :
  - ・「#56 アートと化石や漂流物が共鳴し合う展覧会、妻木良三「はじまりの風景」展特集」Podcast「本屋プラグラジオ」、2022年8月25日配信
  - ・「連携する県内美術館～県立近代美術館と田辺市立美術館の取組～」テレビ和歌山「はばたく紀の国～教育は今～」、2022年10月16日放送

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年12月28日

なつやすみの美術館 12 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年 / 採集年	技法材質 / 採集地	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
1	妻木 良三	untitled	1998 (平成 10)	鉛筆、紙	51.5 × 36.5	作家蔵
<b>はじまりの〇ー「境景」</b>						
2	妻木 良三	境景 II	2009-11 (平成 21- 23)	鉛筆・アクリル絵具・ ジェツツ、板	90.0 × 90.0	
3	妻木 良三	境景 IV	2009 (平成 21)	鉛筆、紙	径 43.5	作家蔵
4	妻木 良三	境景 V	2011 (平成 23)	鉛筆、紙	径 26.0	個人蔵
5	妻木 良三	境景 VI	2013 (平成 25)	鉛筆、紙	径 30.0	作家蔵
6	妻木 良三	境景 E-II	2011 (平成 23)	鉛筆、紙	101.0 × 72.0	
7	妻木 良三	境景 e-1	2011 (平成 23)	鉛筆、紙	16.3 × 13.0	個人蔵
8	妻木 良三	境景 e-2	2011 (平成 23)	鉛筆、紙	16.3 × 13.0	作家蔵
9	妻木 良三	境景 e-3	2011 (平成 23)	鉛筆、紙	16.3 × 13.0	作家蔵
10	岸田 劉生	『天地創造』より 欲望	1914 (大正 3) [1975 (昭和 50) 刷]	エッチング、紙	12.6 × 12.6	
11	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ 29 朝の祈りを歌え、陽はまた昇る	1922 (大正 11)	銅版、紙	50.8 × 36.4	
12	鷹山 宇一	月の形象	1933 (昭和 8)	木版、紙	28.3 × 22.5	高井志づ氏寄贈
13	泉 茂	輝 I	1972 (昭和 47)	油彩、キャンバス	90.9 × 72.7	
14	浜口 陽三	くるみ	1961 (昭和 36)	メゾチント、紙	14.4 × 10.2	
15	手塚 愛子	縫う絵	2005 (平成 17)	布、糸	径 67.0	田中恒子氏寄贈
16	日和崎 尊夫	詩画集『卵』より 1. 見つめる…	1970 (昭和 45)	木口木版、紙	19.7 × 18.1	日和崎園子、星児、陽児、光児氏寄贈
17	日和崎 尊夫	[木材の断面]	制作年不明	木版、紙	16.2 × 15.8	日和崎園子、星児、陽児、光児氏寄贈
<b>(資料)</b>						
1		ハトの巢	2015 年採集	和歌山県有田郡湯浅町	39.0 × 45.0 × 8.0	作家蔵
2		カメの甲骨	2013 年採集	和歌山県有田郡広川町	11.0 × 15.3 × 6.7	作家蔵
3		タコノマクラの殻	2021 年採集	和歌山県御坊市	10.5 × 9.0 × 2.7	作家蔵
4		ウニの殻	2021 年採集	和歌山県御坊市	7.0 × 7.0 × 4.2	作家蔵
<b>のぞき見る〇</b>						
18	妻木 良三	境現の襷 C-s	2008 (平成 20)	鉛筆、紙	径 15.5	作家蔵
19	妻木 良三	境景 s-1	2012 (平成 24)	鉛筆、紙	径 4.6	作家蔵
20	駒井 哲郎	夢の始まり	1949 (昭和 24)	アクアチント・ドライポイント、紙	9.4 × 12.8	
21	保田 龍門	風景	1915 (大正 4)	インク、紙	32.8 × 19.5	保田春彦氏寄贈
22	恩地 孝四郎	抒情『あかるい時』(公刊『月映』V)	1915 (大正 4)	木版、紙	13.6 × 9.8	
23	バーナード・リーチ	『白樺』9 巻 2 号 表紙	1918 (大正 7)	印刷、紙	22.1 × 15.0 × 0.9	
24	新田 穰	忘歸洞 (『新版画』第 1 号)	1932 (昭和 7)	木版、紙	14.0 × 11.3	杉本義夫氏寄贈
25	武藤 完一	耶馬溪青洞門 (『新版画』第 4 号 都市 田園診断号)	1932 (昭和 7)	木版、紙	9.0 × 14.0	杉本義夫氏寄贈
26	宮内 富男	青洞門 (『九州版画』第 20 号)	1939 (昭和 14)	木版、紙	17.0 × 13.0	
27	平塚 運一	賀状 (平塚 運一、前川 千帆、川上 澄生 共著 創作版画『賀状集』)	1929 (昭和 4)	木版、紙	14.1 × 9.0	
<b>(資料)</b>						
5		幻灯機スライド (カラー)	制作年不詳 (2009 年収集)	古道具屋 (ロンドン) にて購入	8.3 × 8.3 × 0.6	作家蔵
6		幻灯機スライド (モノクローム)	制作年不詳 (2009 年収集)	古道具屋 (ロンドン) にて購入	8.3 × 8.3 × 0.3	作家蔵
<b>外界との境界ー「Zone (ゾーン)」</b>						
28	妻木 良三	Zone no.7	2008 (平成 20)	鉛筆、紙	19.0 × 33.0	作家蔵
29	妻木 良三	Zone no.11	2011 (平成 23)	鉛筆、紙	13.0 × 19.5	個人蔵
30	妻木 良三	Zone no.12	2011 (平成 23)	鉛筆、紙	10.0 × 15.0	個人蔵
31	妻木 良三	Zone no.15	2013 (平成 25)	鉛筆、紙	25.7 × 18.2	個人蔵
32	妻木 良三	ZONE I	2017-21 (平成 29- 令和 4)	鉛筆、紙	103.0 × 73.0	作家蔵
<b>襷 (ひだ) についてー「境現の襷」「始景」</b>						
33	妻木 良三	untitled	2004 (平成 16)	鉛筆・黒鉛・アクリル絵具、紙	65.0 × 85.0	個人蔵
34	妻木 良三	untitled	2004 (平成 16)	鉛筆・水彩・墨、紙	38.0 × 45.5	作家蔵
35	妻木 良三	境現の襷 I	2005 (平成 17)	鉛筆・黒鉛・墨・アクリル絵具、紙	84.0 × 131.0	作家蔵
36	妻木 良三	境現の襷 III	2006 (平成 18)	鉛筆・黒鉛・墨・アクリル絵具、紙	72.7 × 91.0	作家蔵
37	妻木 良三	始景 I	2014 (平成 26)	鉛筆、紙	71.0 × 122.0	作家蔵
38	妻木 良三	始景 II	2014 (平成 26)	鉛筆・アクリル絵具、紙	51.7 × 73.0	作家蔵
39	妻木 良三	始景 (習作)	2014 (平成 26)	鉛筆、紙	31.8 × 41.0	個人蔵
40	妻木 良三	Sign 120710a	2012 (平成 24)	インクジェットプリント	31.9 × 42.7	個人蔵
41	浜口 陽三	雲	1958 (昭和 33)	メゾチント、紙	26.2 × 49.0	
42	戸谷 成雄	森化 IX	2004 (平成 16)	木、灰、アクリル絵具	左: 155.0 × 32.0 × 38.0 右: 155.0 × 30.0 × 36.0	
<b>(資料)</b>						
7		コンボリユートラミナ (渦巻状葉理)	2018 年採集	和歌山県東牟婁郡串本町 (左向幸雄氏採集)	14.5 × 23.0 × 12.0	作家蔵
8		溶けたアルミ板	2013 年採集	和歌山県有田郡広川町	26.3 × 22.5 × 4.0	作家蔵
<b>コレクションの部屋</b>						
43	今村 源	1998-3 あわシダ I	1998 (平成 10)	ステンレススチール、塗料	60.0 × 65.0 × 70.0	田中恒子氏寄贈
44	堀 香子	あまねく その指で	2011 (平成 23)	陶	33.0 × 34.0 × 36.0	田中恒子氏寄贈
45	日和崎 尊夫	KAOS-2	1977 (昭和 52)	木口木版、紙	13.5 × 21.2	日和崎園子、星児、陽児、光児氏寄贈
46	日和崎 尊夫	魚のカーニバル	1983 (昭和 58)	木口木版、紙	8.1 × 11.4	日和崎園子、星児、陽児、光児氏寄贈
47	加藤 太郎	『版画集』より「朴」	1938 (昭和 13) 頃	木版、紙	36.1 × 23.5	

No.	作者名	作品名	制作年 / 採集年	技法材質 / 採集地	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
48	大久保 英治	海流・島シリーズ 対馬 田の浜	1993 (平成 5)	木、金属、陶器	50.0 × 48.5 × 5.5	田中恒子氏寄贈
49	上野 真知子	untitled	1998 (平成 10)	楮、陶土、竹	34.0 × 20.0 × 20.0	田中恒子氏寄贈
50	駒井 哲郎	九つの夢から 4 向うの世界の入口にうつつているのは、つるつるしたのっぺらぼうのもの、その形状から…	1969 (昭和 44)	エッチング、紙	21.4 × 11.5	中村太郎氏・光子氏寄贈
51	駒井 哲郎	ピケの残像	1973 (昭和 48)	アクアチント、紙	23.4 × 20.9	
52	駒井 哲郎	夢の場と閃光現象	1949 (昭和 24)	アクアチント・ドライポイント、紙	12.0 × 14.6	
53	オディロン・ルドン	…わたしは孤独のうちに沈んだ。わたしはうしろの木に住んでいたのだ。(『聖アントワヌの誘惑』第3集より)	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	30.0 × 22.6	
54	オディロン・ルドン	革袋のようにまるい、海の獣たち(『聖アントワヌの誘惑』第3集より)	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	22.3 × 19.3	
55	瑛 九	旅人 [墨刷]	1957 (昭和 32) 頃	リトグラフ、紙	36.6 × 52.0	谷口ミヤ子氏寄贈
56	泉 茂	風車	1955 (昭和 30)	エッチング・アクアチント、紙	16.3 × 12.0	泉照子氏寄贈
57	長谷川 潔	金魚鉢の中の小鳥	1927 (昭和 2)	ドライポイント、紙	27.8 × 20.4	
58	パウル・クレー	情熱の園	1913 (大正 2)	エッチング、紙	9.3 × 14.2	
59	浜口 陽三	9つの貝殻	1979 (昭和 54)	メゾチント、紙	47.5 × 62.2	
60	保田 春彦	デッサン	1950 年代	コンテ・鉛筆、紙	35.7 × 25.2	青木治男氏寄贈

(資料)

9		コレクション:アオウミガメの甲骨、シカの頭骨、ウニの殻、タコノマクラの殻、化石(貝)、化石(植物)、古書籍、木の板、戸棚、絵具キャビネット	1985 年から 2022 年採集			作家蔵
---	--	---	-------------------	--	--	-----

化石とはじまりー「untitled」から

61	妻木 良三	untitled	1998 (平成 10)	鉛筆、紙	51.5 × 63.5	作家蔵
62	妻木 良三	untitled	1998 (平成 10)	鉛筆、紙	36.5 × 51.5	作家蔵
63	妻木 良三	untitled	2001 (平成 13)	鉛筆・水彩・墨、紙	91.0 × 91.0	作家蔵
64	妻木 良三	untitled	2002 (平成 14)	鉛筆・アクリル絵具・水彩・墨、紙	130.0 × 172.0	作家蔵
65	妻木 良三	untitled	2005 (平成 17)	鉛筆・水彩、紙	97.0 × 130.0	作家蔵
66	妻木 良三	collage [1]	2012 (平成 24)	印刷・紙、トレーシングペーパー	10.0 × 12.7	作家蔵
67	妻木 良三	collage [2]	2013 (平成 25)	印刷・紙、トレーシングペーパー	10.0 × 12.6	作家蔵
68	妻木 良三	collage [3]	2013 (平成 25)	印刷・紙、トレーシングペーパー	10.0 × 12.7	作家蔵
69	瑛 九	[題不詳]	制作年不詳	ゼラチンシルバープリント	20.2 × 25.2	谷口ミヤ子氏寄贈
70	小松 均	森	制作年不詳	銅版、紙	61.2 × 44.4	
71	内海 聖史	眼前の黒	2003 (平成 15)	油彩、綿布	80.0 × 160.0	田中恒子氏寄贈
72	加納 光於	HYPNOS	1964 (昭和 39)	銅版、紙	45.0 × 42.1	
73	真島 直子	地ごく楽 S-2000	2000 (平成 12)	鉛筆、紙	42.5 × 33.5	田中恒子氏寄贈
74	殿敷 侃	[題不詳]	1980-81 (昭和 55-56) 頃	シルクスクリーン、紙	34.1 × 25.0	天野紋子氏寄贈
75	宮下 善爾	[題不詳]	1968 (昭和 43) 頃	黒陶	13.5 × 33.0 × 34.0	宮下英子氏寄贈

(資料)

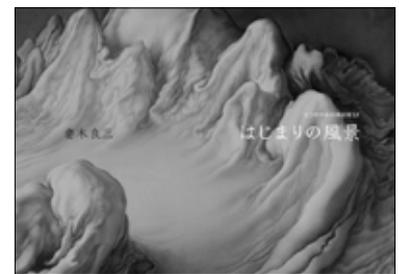
10		化石 (植物)	2019 年採集	和歌山県有田郡広川町	13.5 × 10.0 × 9.0	作家蔵
11		化石 (植物)	2021 年採集	和歌山県有田郡広川町	30.0 × 24.0 × 5.0	作家蔵
12		化石 (植物)	2019 年採集	和歌山県有田郡広川町	22.8 × 13.8 × 9.5	作家蔵
13		化石 (植物)	2019 年採集	和歌山県有田郡広川町	19.2 × 14.3 × 6.0	作家蔵
14		化石 (植物)	2019 年採集	和歌山県有田郡広川町	14.3 × 11.0 × 8.5	作家蔵
15		化石 (アンモナイト)	採集年不明	北海道夕張市	18.4 × 11.7 × 14.1	和歌山県立自然博物館
16		化石 (アンモナイト)	採集年不明	北海道羽幌町	17.7 × 13.4 × 9.7	和歌山県立自然博物館
17		化石 (アンモナイト)	採集年不明	北海道夕張市	24.7 × 12.6 × 10.7	左向幸雄氏



ポスター



チラシ表 / 裏



記録集



## 2-3. ニッポンの油絵 近現代美術をかたち作ったもの

- 会期 : 2022年11月12日(土)～12月25日(日) 38日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室C(2階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 4,078名
- 内容 : 所蔵品を中心に、和歌山県出身の画家、神中糸子、川口軌外、村井正誠、原勝四郎をはじめ、明治期以降に普及した日本の油彩画を紹介した。「油絵へのまなざし」、「油絵がきた」、「油絵で学ぶ」、「油絵で育つ」、「油絵の表情」、「あたらしい画材のなかでも油絵」の6部で構成。当時の画家たちと作品を見る人たちが感じていた油彩画の魅力、そして現在、さまざまな画材が開発されるなかでも、油彩画が私たちに惹きつける理由をあらためて探った。
- 展示点数 : 48作家85点、資料14点
- 担当学芸員 : 植野比佐見
- 関連事業 : ・スライドレクチャー 11月19日(土)、12月3日(土)、12月24日(土) 14:00～15:00 2階ホールにて 38名、13名、34名  
・こども美術館部「ア・ブ・ラ・カ・ダ・ブ・ラ」12月17日(土) 11:00～12:00 2階展示室にて 5名
- 制作物 : ・ポスター (B2判、オフセット印刷)  
・チラシ (A4判、オフセット印刷)  
・出品目録 (A4判4頁)  
・プレスリリース (A4判4頁)
- 入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円) ( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : ・図録やパンフレットを作れないなかで、章パネルの解説に力を入れた。また、油絵作品を紹介しながら同時代の人々の憧れをかきたてた雑誌などの資料展示も充実させ、来館者の知りたい気持ちに応えようと努めた。解説パネルを撮影する来館者も多く、レクチャーのときには解説をまとめた配布物を作った。
- 関連記事 : ・「ニッポンの油絵 近現代美術をかたち作ったもの」展 県立近代美術館 来月25日まで『毎日新聞』(和歌山版) 2022年11月10日、20面 (同日ウェブでも配信)  
・「近現代美術をかたち作ったもの「ニッポンの油絵」開催 県立近代美術館『紀伊民報』第24104号、2022年11月12日、8面 (11月11日ウェブでも配信、11月12日訂正を配信)  
・「企画展「ニッポンの油絵—近現代美術をかたち作ったもの—」『わかやま探検ミュージアム』Vol.74、2022年12月1日、p.4  
・「〈Museum〉ニッポンの油絵 近現代美術をかたち作ったもの」『月刊ギャラリー』452、2022年12月1日、p.49  
・「日本の油絵 変遷たどる 県立近代美術館 村井正誠 抽象画など」『読売新聞』(地域版) 2022年12月22日、26面
- その他 : ・[ニッポンの油絵について] テレビ和歌山 2022年12月13日放送
- メディア報道

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日: 2023年12月28日

### ニッポンの油絵 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
<b>序: 油絵へのまなざし</b>						
1	五姓田 芳柳	相川龍藏守胤肖像	1887 (明治20)	顔料、絹	127.0 × 40.3	
2	五姓田 芳柳	相川鍋次郎守正肖像	1887 (明治20)	顔料、絹	128.2 × 40.4	
<b>油絵がきた</b>						
3	神中 糸子	海岸風景	1888-92 (明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0 × 80.4	神中茂次氏寄贈
4	神中 糸子	妙義山	1918 (大正7)	油彩、キャンバス	60.8 × 50.0	
5	神中 糸子	模写 フォンタネージ作《風景》	1878-80 (明治11-13)	鉛筆、紙	15.5 × 23.4	神中茂次氏寄贈
6	神中 糸子	模写 フォンタネージ作《ローマ水道跡》	1878-80 (明治11-13)	鉛筆、紙	12.5 × 23.5	神中茂次氏寄贈
7	神中 糸子	風景	1878-80 (明治11-13)	鉛筆、紙	13.2 × 20.8	神中茂次氏寄贈
8	神中 糸子	飯田町風景	1879 (明治12)	鉛筆、紙	18.7 × 23.9	神中茂次氏寄贈
<b>油絵で学ぶ</b>						
9	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906 (明治39)	油彩、キャンバス	79.6 × 64.0	
10	香山 小鳥	風景	1911 (明治44)	油彩、板	22.7 × 14.6	恩地邦郎氏寄贈
11	田中 恭吉	ニコライ	1912 (明治45 / 大正元)	油彩、板	22.0 × 15.5	恩地邦郎氏寄贈
12	田中 恭吉	バラの刺	1914 (大正3)	油彩、キャンバス	45.5 × 33.4	恩地邦郎氏寄贈
13	恩地 孝四郎	海の女	1912 (明治45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.0 × 33.3	恩地邦郎氏寄贈
14	恩地 孝四郎	妻のぶ像	1916 (大正5)	油彩、キャンバス	60.6 × 40.9	
15	岸田 劉生	男性肖像	1912 (明治45)	油彩、キャンバスボード	32.9 × 23.6	
16	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914 (大正3)	油彩、キャンバス	61.0 × 45.5	個人蔵
17	萬 鐵五郎	雪の景	1916-18 (大正5-7) 頃	油彩、キャンバス	50.0 × 60.6	個人蔵
18	黒田 重太郎	ドルドオニユ山村の初秋	1923 (大正12)	油彩、キャンバス	37.0 × 45.3	
19	中村 不折	白頭翁	1907 (明治40)	油彩、キャンバス	200.2 × 136.6	個人蔵
20	山下 新太郎	臥婦	制作年不詳 (1910年代)	油彩、キャンバス	79.5 × 140.7	個人蔵
21	梅原 龍三郎	小川 (フルターニユ風景)	1909 (明治42)	油彩、キャンバス	24.6 × 32.4	個人蔵
22	有島 生馬	樹下の裸婦	1913 (大正2)	油彩、キャンバス	52.5 × 45.5	
<b>油絵で育つ</b>						
23	保田 龍門	村の娘	1916 (大正5)	油彩、キャンバス	82.4 × 66.9	保田淳子氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
24	保田 龍門	少年	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.8 × 60.6	保田春彦氏寄贈
25	保田 龍門	K夫人の像	1920 (大正 9)	油彩、キャンバス	54.7 × 45.8	龍門展開催委員会寄贈
26	保田 龍門	ティツィアーノ《キュービッドの教育》部分横写	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	99.3 × 99.3	橋本忠美氏寄贈
27	佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	73.3 × 53.9	玉井一郎氏寄贈
28	佐伯 祐三	ベッドに坐る裸婦	1923 (大正 12)	油彩、キャンバス	91.1 × 65.5	玉井一郎氏寄贈
29	佐伯 祐三	森と広場	1924 (大正 13) 頃	油彩、キャンバス	37.5 × 45.2	玉井一郎氏寄贈
30	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	60.0 × 73.1	玉井一郎氏寄贈
31	佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	59.9 × 73.2	玉井一郎氏寄贈
32	佐伯 祐三	ポスターとロソク立て	1925 (大正 14) 頃	油彩、キャンバス	45.5 × 53.6	玉井一郎氏寄贈
33	佐伯 祐三	男の顔 (K氏の像)	1927 (昭和 2)	油彩、板	33.0 × 23.8	玉井一郎氏寄贈
34	佐伯 祐三	オペセルヴァトワール附近	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	73.2 × 91.8	玉井一郎氏寄贈

(資料)						
1		『白樺』創刊号 1910 (明治 43) 年 4 月				
2		『白樺社主催 南薫造作品・有島壬生馬 (生馬) 作品 滞欧記念絵画展覧会目録』 1910 (明治 43) 年				
3		『白樺』1-8「ロダン号 (ロダン第七十一回誕生記念号)」 1910 (明治 43) 年 11 月				
4		『白樺』2-3「ルノワール特集」 1911 (明治 44) 年 3 月				
5		『白樺』2-10「ゴッホ特集」 1911 (明治 43) 年 10 月				
6		『白樺』3-1「後期印象派特集 (セザンヌ、ゴッホ、ゴーガン、マティス)」 1912 (明治 45) 年 1 月				
7		『白樺』3-2「ロダン彫刻来朝特集」 1912 (明治 45) 年 2 月				
8		『現代の洋画』2 1912 (明治 45) 年 5 月				
9		『現代の洋画』17 1913 (大正 2) 年 9 月				
10		『現代の洋画』24「ロダンの芸術 上巻」 1914 (大正 3) 年 3 月				
11		『現代の洋画』25「ロダンの芸術 下巻」 1914 (大正 3) 年 4 月				
12		『現代の洋画』27 1914 (大正 3) 年 6 月				
13		『現代の美術』3-1 1915 (大正 3) 年 8 月				
14		『現代の美術』3-2 1915 (大正 3) 年 9 月				

35	浜地 清松	暖炉	1911 (明治 44)	油彩、キャンバス	102.2 × 82.1	古座町立津荷小学校寄贈
36	浜地 清松	赤い帽子	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	100.0 × 73.0	
37	清水 登之	ヨコハマ・ナイト	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	76.2 × 96.5	
38	石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	75.4 × 91.2	
39	石垣 栄太郎	ポーナス・マーチ	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	145.4 × 107.0	石垣綾子氏寄贈
40	原 勝四郎	画工像	1932 (昭和 7)	油彩、厚紙	65.0 × 52.6	
41	原 勝四郎	小湾	1940 (昭和 15)	油彩、厚紙	59.9 × 71.7	
42	川口 軌外	ボヘミアン	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	117.0 × 80.7	
43	川口 軌外	花	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	116.8 × 90.8	川口京村氏寄贈
44	川口 軌外	貝殻	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	80.4 × 115.2	川口京村氏寄贈
45	川口 軌外	地雑	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	155.5 × 195.5	
46	村井 正誠	ロンバルディア	1929 (昭和 4) 頃	油彩、キャンバス	80.8 × 66.0	作者寄贈
47	村井 正誠	パンチュール No. 2	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	100.2 × 80.0	作者寄贈
48	村井 正誠	パンチュール No. 3	1929-33 (昭和 4-8)	油彩、キャンバス	113.5 × 194.5	作者寄贈
49	村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	112.2 × 194.2	
50	高井 貞二	感情の遊離	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	150.7 × 91.0	作者寄贈
51	高井 貞二	支那の市場	1939 (昭和 14)	油彩、キャンバス	130.0 × 162.6	作者寄贈
52	高井 貞二	北の国境	1943 (昭和 18)	油彩、キャンバス	160.2 × 127.4	作者寄贈
53	松本 竣介	三人	1943 (昭和 18)	油彩、キャンバス	162.2 × 112.5	個人蔵
54	石垣 栄太郎	人民戦線の人々	1937 (昭和 12) 頃	油彩、キャンバス	148.5 × 207.0	
55	青山 熊治	雪の馬	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	201.2 × 362.5	個人蔵
56	保田 龍門	光明皇后賜瘡	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	190.0 × 557.8	保田春彦氏寄贈

油絵の表情						
57	白髪 一雄	平治元年十二月二十六日	1966 (昭和 41)	油彩、キャンバス	273.0 × 367.7	
58	藤田 嗣治	[鳥と少女]	制作年不詳	油彩、キャンバス	46.5 × 33.0	個人蔵
59	岡 鹿之助	燈台	1953 (昭和 28)	油彩、キャンバス	65.0 × 80.5	個人蔵
60	香月 泰男	鱈魚	1958 (昭和 33) 頃	油彩、キャンバス	26.8 × 45.5	篠田博之氏・篠田めぐみ氏寄贈
61	熊谷 守一	白のはだか	1960 (昭和 35)	油彩、板	15.9 × 22.1	個人蔵
62	浅野 弥衛	無題	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	72.5 × 90.8	
63	浅野 弥衛	無題	1981 (昭和 56)	油彩、キャンバス	72.8 × 91.0	
64	菅井 汲	夜の風景	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	77.5 × 195.5	
65	菅井 汲	雷神	1958 (昭和 33)	油彩、キャンバス	162.6 × 130.7	
66	松谷 武判	作品-C	1961 (昭和 36)	油彩、カスガイ、セメント、合板	182.5 × 91.5	
67	津高 和一	爆発	1954 (昭和 29)	油彩、キャンバス	131.0 × 163.0	
68	難波田 龍起	作品 A	1964 (昭和 39)	油彩・ろう、キャンバス	90.3 × 181.1	
69	宇佐美 圭司	還元 No.6	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	135.0 × 184.8	
70	麻生 三郎	生きている気配 2	1978 (昭和 53)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.5	個人蔵
71	山口 長男	連	1965 (昭和 40)	油彩、板	182.0 × 365.4	

あたらしい画材のなかでも油絵						
72	今井 俊満	蝕	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	130.8 × 191.5	
73	杉全 直	✓と題して	1961 (昭和 36)	油彩、キャンバス	162.3 × 193.7	
74	泉 茂	FS2008	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	154.0 × 249.5	泉照子氏寄贈
75	上田 薫	スプーンのジャム B	1975 (昭和 50)	油彩、キャンバス	181.9 × 227.3	
76	館 勝生	September. 1. 2008	2008 (平成 20)	油彩、キャンバス	130.3 × 194.0	
77	辰野 登恵子	WORK 87-P-26	1987 (昭和 62)	油彩、キャンバス	227.0 × 182.2	
78	菅井 汲	Soleil Vert [緑の太陽]	1968 (昭和 43)	油彩、キャンバス	244.8 × 330.0	
79	村井 正誠	強そうな人	1989 (平成元)	油彩、キャンバス	227.4 × 182.0	村井伊津子氏寄贈
80	川口 軌外	港	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	117.0 × 80.4	作者寄贈
81	押江 千衣子	みづえ	1995 (平成 7)	油彩・オイルパステル、キャンバス	162.0 × 388.0	榎本長治氏寄贈
82	田中 秀介	古今台頭摩擦	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	259.0 × 194.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
83	坂井 淑恵	漏れた人	1997 (平成9)	油彩、キャンバス	130.7 × 161.7	
84	渡部 満	五月の由希子	1995 (平成7)	油彩・金泥、テンペラ地、板	径 46.3	個人蔵
85	渡部 満	ひわの聖母と由希子	1995 (平成7)	油彩・金泥、テンペラ地、キャンバス	45.6 × 38.2	個人蔵



ポスター



チラシ表 / 裏



会場風景

## 3-1. コレクション展 2022 –春夏 / 特集 生誕 130 年 田中恭吉

- 会期 : 2022 年 4 月 29 日 (金・祝) ~ 7 月 3 日 (日) 57 日間 (休館日を除く)
- 会場 : 展示室 A・B (1 階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 4,837 名
- 内容 : 所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示した。特集として「生誕 130 年 田中恭吉」を実施した。
- 展示点数 : 64 作家 171 点、資料 16 点 \*展示室外を含む【特集 田中恭吉】1 作家 74 点、資料 16 点
- 担当学芸員 : 井上芳子
- 関連事業 : ・フロアレクチャー 4 月 29 日 (金・祝)、6 月 12 日 (日) 14:00 ~ 15:30 1 階展示室にて 10 名、18 名
- 制作物 : ・コレクション展 出品目録 (A4 判 4 頁) / 特集 出品目録 (A4 判 4 頁)  
・プレスリリース (A4 判 3 頁)
- 入場料金 : 一般 350 円 (270 円)、大学生 240 円 (180 円) ( ) 内は 20 名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 田中恭吉の特集展示として、イメージが生成し展開する様子が伝わるよう、画稿と完成作や文字草稿をあわせて展示した。10 年ぶりの機会なのに、広報が足りないという意見が寄せられた。情報を必要としている人いかに伝わるように告知するかが課題である。また、フロアレクチャーでは、初めて田中恭吉作品に触れる人と、すでによく知っている人の両方に関心を高めてもらうのが難しかった。
- 関連記事 : ・「コレクション展 2022 年春夏 特集「生誕 130 年 田中恭吉」 7 月 3 日まで 県立近代美術館」『紀伊民報』第 23946 号 2022 年 5 月 7 日、6 面 (2022 年 5 月 6 日ウェブでも配信)  
・「生誕 130 年 田中恭吉」コレクション展開催中 和歌山県立近代美術館『太平洋新聞』2022 年 5 月 11 日ウェブ配信  
・「コレクション展 2022 春夏 特集「生誕 130 年 田中恭吉」」『和歌山特報』第 1724 号 2022 年 5 月 11 日、10 面  
・「絶望か 希望か「冬虫夏草」田中恭吉」『朝日新聞』2022 年 6 月 21 日、第 50460 号、2 面

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日: 2023 年 12 月 28 日

### コレクション展 2022- 春夏 / 特集 生誕 130 年 田中恭吉 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

\*資料には「M」で始まる出品番号を付した。

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
1	建昌 大夢	おゆのつかれ	1913 (大正 2) / 1970 (昭和 45) 铸造	ブロンズ	68.0 × 40.0 × 56.0	
2	中村 不折	白頭翁	1907 (明治 40)	油彩、キャンバス	200.2 × 136.6	個人蔵
3	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914 (大正 3)	油彩、キャンバス	61.0 × 45.5	個人蔵
4	保田 龍門	自画像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	60.9 × 50.2	
5	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正 3)	油彩、板	51.3 × 39.2	個人蔵
6	高須 光治	自画像	1915 (大正 4)	油彩、板	45.4 × 37.3	
7	恩地 孝四郎	妻のぶ像	1916 (大正 5)	油彩、キャンバス	60.6 × 40.9	
8	恩地 孝四郎	海の女	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.0 × 33.3	恩地邦郎氏寄贈
9	田中 恭吉	すずらん	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、板	22.2 × 15.8	恩地邦郎氏寄贈
10	藤森 静雄	花	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	33.0 × 24.0	恩地邦郎氏寄贈
11	香山 小鳥	風景	1911 (明治 44)	油彩、板	22.7 × 14.6	恩地邦郎氏寄贈
12	作者不詳 [恩地孝四郎周辺の画家]	建物	大正初期頃	油彩、キャンバスボード	33.3 × 24.2	恩地邦郎氏寄贈
13	久本 信男	和服婦人	大正初期頃	油彩、キャンバス	41.4 × 27.7	恩地邦郎氏寄贈
14	萬 鏡五郎	風景	1922 (大正 11) 頃	油彩、キャンバス	33.3 × 46.0	個人蔵
15	保田 龍門	少女	1925 (大正 14)	ブロンズ	184.9 × 67.0 × 51.0	
16	五姓田 芳柳	相川龍藏守胤肖像	1887 (明治 20)	顔料、絹	127.0 × 40.3	
17	五姓田 芳柳	相川鍋次郎守正肖像	1887 (明治 20)	顔料、絹	128.2 × 40.4	
18	川端 龍子	草	大正時代	顔料・金泥、絹	128.5 × 36.5	
19	岸田 劉生	瓜之絵	1925 (大正 14)	顔料、絹	26.3 × 28.0	個人蔵
20	速水 御舟	竹生図	1928 (昭和 3)	顔料、絹	124.8 × 41.2	個人蔵
21	小林 古徑	若鮎	1937 (昭和 12)	顔料、絹	39.8 × 49.9	森佑一郎氏寄贈
22	井上 永悠	鶉	1955 (昭和 30) 頃	墨、紙	41.4 × 58.0	篠田博之氏寄贈
23	井上 永悠	南瓜	1955-59 (昭和 30-34)	顔料、紙	31.3 × 54.0	篠田博之氏寄贈
24	井上 永悠	南瓜	1955-59 (昭和 30-34)	顔料、紙	33.8 × 43.2	篠田博之氏寄贈
25	近藤 浩一路	白雲去来	制作年不詳	墨、紙	138.8 × 54.0	個人蔵
26	日高 昌克	初夏峰巒図	1953 (昭和 28)	顔料・墨、紙	51.6 × 31.0	青木正夫氏寄贈
27	日高 昌克	春霞遙曳図	1953 (昭和 28)	顔料・墨、紙	29.2 × 63.0	青木正夫氏寄贈
28	日高 昌克	初夏晴嵐図	1957 (昭和 32)	顔料・墨、紙	28.2 × 41.1	青木正夫氏寄贈
29	坂井 芳泉	伏虎城	制作年不詳	顔料、絹	119.0 × 36.8	坂井淑子氏寄贈
30	坂井 芳泉	明光浦雑賀祭之図	1929 (昭和 4)	顔料、紙	107.0 × 522.0	曾我春代氏、寺田隼人氏寄贈
31	田中 恭吉	和歌山風景	1914 (大正 3) 頃	水彩・インク、紙	34.1 × 27.3	恩地邦郎氏寄贈
32	田中 恭吉	和歌山城 不明門付近	1914 (大正 3) 頃	水彩ほか、紙	28.3 × 24.3	恩地邦郎氏寄贈
33	石垣 栄太郎	女の顔	1916 (大正 5)	油彩、ボード	27.4 × 21.0	石垣綾子氏寄贈
34	石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	75.4 × 91.2	
35	国吉 康雄	乳しぼり	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.5	
36	清水 登之	ヨコハマ・ナイト	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	76.2 × 96.5	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
37	浜地 清松	赤い帽子	1928 (昭和3)	油彩、キャンバス	100.0 × 73.0	
38	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	72.3 × 60.8	玉井一郎氏寄贈
39	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	60.0 × 73.1	玉井一郎氏寄贈
40	佐伯 祐三	下落合風景	1926 (大正15/昭和元) 頃	油彩、キャンバス	49.7 × 60.4	玉井一郎氏寄贈
41	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.3	個人蔵
42	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和2)	油彩、キャンバス	73.2 × 91.8	玉井一郎氏寄贈
43	佐伯 祐三	モラン風景	1928 (昭和3)	油彩、ボード	38.0 × 44.5	玉井一郎氏寄贈
44	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和9)	油彩、キャンバス	167.3 × 267.2	
45	村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和11)	油彩、キャンバス	112.2 × 194.2	
46	加藤 正	空ろなる真昼 (王国)	1951 (昭和26)	油彩、キャンバス	91.0 × 91.1	
47	齋 嘯	鉄骨とクレーンと人と	1954 (昭和29)	油彩、板	116.5 × 91.6	
48	内間 俊子	スーベニール	1954 (昭和29)	油彩、キャンバス	49.9 × 72.5	作者寄贈
49	泉 茂	目	1955 (昭和30)	油彩、キャンバス	60.5 × 72.5	
50	池田 満寿夫	骨を持つ人 (C)	1955 (昭和30)	油彩、キャンバス	72.8 × 57.2	
51	池田 満寿夫	たいくつな時間	1955 (昭和30)	油彩、キャンバス	87.0 × 141.7	広島市現代美術館
52	吉原 英雄	たわむれ	1956 (昭和31)	油彩、板	129.9 × 91.0	
53	瑛九	自転車	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	50.0 × 60.8	
54	オノサト トシノブ	A-11	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	116.0 × 91.2	
55	難波田 龍起	緑の空間	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	91.4 × 117.2	
56	白髪 一雄	地察星 青眼虎	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	194.0 × 130.6	
57	堂本 尚郎	二元的なアンサンプル	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	162.0 × 122.0	
58	泉 茂	FS2008	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	154.0 × 249.5	泉照子氏寄贈
59	今井 俊満	蝕	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	130.8 × 191.5	
60	建昌 覚造	貌	1955 (昭和30)	セメント	139.0 × 100.0 × 64.0	* 2021 年度新収蔵品
61	ハミッシュ・フルトン	ヒーブスタウン・ケルン	1986 (昭和61)	写真、テキスト	119.5 × 137.3 × 2.0	
62	ハミッシュ・フルトン	ラガジャー	1987 (昭和62)	写真、テキスト	147.0 × 119.2 × 2.0	
63	ハミッシュ・フルトン	プレコン・ピーコンズ	1987 (昭和62)	写真、テキスト	119.6 × 137.6 × 2.0	
64	クリスチャン・ボルタ ンスキー	モニュメント4 (レッド)	1986 (昭和61)	写真、電球、電線、鉄、ガラス	207.7 × 70.2 × 7.7	
65	バーバラ・ヘップワース	絃を張った円板 (太陽)	1969 (昭和44)	ブロンズ、紐	48.0 × 47.0 × 8.5	
66	バーバラ・ヘップワース	12月の形	1970 (昭和45)	シルクスクリーン、紙	72.7 × 48.5	
67	バーバラ・ヘップワース	オーキッド	1970 (昭和45)	シルクスクリーン、紙	46.2 × 39.5	
68	ベン・ニコルソン	無題	1965 (昭和40)	インク・紙・油彩、板	63.0 × 46.0	個人蔵
69	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情 No.1 諸井三郎「プレリュード」	1930 (昭和5)	木版、紙	18.2 × 14.3	広島市現代美術館
70	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情 No.3 ラベル「道化師の朝の歌」	1933 (昭和8)	木版、紙	18.2 × 14.3	広島市現代美術館
71	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情 No.2 ボロディン「スケルツォ」	1932 (昭和7)	木版、紙	22.5 × 15.8	広島市現代美術館
72	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情 ドビュッシー「金色の魚」	1950 (昭和25)	木版、紙	29.3 × 14.5	
73	恩地 孝四郎	音楽作品による抒情 ドビュッシー「小さい羊飼」	1950 (昭和25)	紙版・木版、紙	24.2 × 17.1	
74	駒井 哲郎	東の間の幻影	1951 (昭和26)	アクアチント・エッチング・ドライ ポイント、紙	17.4 × 29.4	個人蔵
75	浜田 知明	初年兵哀歌 歩哨	1954 (昭和29)	エッチング・アクアチント、紙	23.3 × 15.7	
76	ジョルジュ・ルオー	サーカスの娘	1937 (昭和12)	油彩、キャンバス	9.2 × 9.3	篠田博之氏、めぐみ氏寄贈
77	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6	
78	イサム・ノグチ	ヴォイド	1971 (昭和46) / 1979 (昭和54) 鑄造	ブロンズ	116.0 × 86.0 × 66.0	
79	シンディ・シャーマン	無題 #128	1983 (昭和58)	写真	175.0 × 115.0	
80	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁でいかに歩く男	1988 (昭和63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6 × 359.9 × 270.4	
81	エドワード・アーリントン	あなたに名前がなかったら	1991 (平成3)	ブロンズ、写真	ブロンズ: 35.3 × 61.7 × 48.6 / 額: 81.1 × 65.6 × 4.6	

#### 特集 生誕130年 田中恭吉

82	田中 恭吉	画帖	1913 (大正2)	インク・ペン、紙	26.1 × 18.0 シート (8点)	恩地邦郎氏寄贈
83	田中 恭吉	病める自画像 (『密室』7)	1914 (大正3)	黒インク・ペン・筆、紙	9.8 × 8.5 シート	恩地邦郎氏寄贈
84	田中 恭吉	[自画像]	1913-14 (大正3-4)	木版、紙	15.4 × 10.0 シート	恩地邦郎氏寄贈
85	田中 恭吉	竹の花 (『密室』8)	1914 (大正3)	黒インク・ペン・水彩、紙	10.8 × 14.1 シート	恩地邦郎氏寄贈
86	田中 恭吉	[バラの刺]	制作年不詳	油彩、キャンバス	45.5 × 33.0 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
M1	田中 恭吉	田中恭吉の肖像写真	1914 (大正3) 頃	写真		
M2	田中 恭吉	草稿「いまのところ死の手から」	1913 (大正2)	インク・ペン、紙		恩地邦郎氏寄贈
M3	田中 恭吉	草稿「ペンを出来るだけつかって画をかかう」	1914 (大正3)	インク・ペン、紙		恩地邦郎氏寄贈
M4	田中 恭吉	[少女]の版木	1914 (大正3)	木		恩地邦郎氏寄贈
87	田中 恭吉	[少女]	1914 (大正3)	黒インク・ペン、紙	15.5 × 8.8 シート	恩地邦郎氏寄贈
88	田中 恭吉	[少女]	1914 (大正3)	木版、紙	20.6 × 10.6 シート	恩地邦郎氏寄贈
89	田中 恭吉	[白昼のなまけもの 下絵]	1913 (大正2)	墨書、紙	15.7 × 12.3 シート	恩地邦郎氏寄贈
90	田中 恭吉	白昼のなまけもの (『密室』8)	1914 (大正3)	黒インク・彩色、紙	11.6 × 10.5 シート	恩地邦郎氏寄贈
91	田中 恭吉	[飛び去る前 下絵]	1913 (大正2)	墨書、紙	14.9 × 8.9 シート	恩地邦郎氏寄贈
92	田中 恭吉	飛び去る前 (『密室』8)	1914 (大正3)	黒インク・彩色、紙	18.2 × 9.9 シート	恩地邦郎氏寄贈
93	田中 恭吉	小とりら (『密室』8)	1914 (大正3)	黒インク・ペン・筆、紙	10.5 × 8.8 シート	恩地邦郎氏寄贈
94	田中 恭吉	恩地孝四郎あて葉書 「夕告草あなしほしほと葉をとづる」	1912 (大正元)	黒インク・彩色、紙	14.0 × 9.0 シート	恩地邦郎氏寄贈
95	田中 恭吉	暗の笑 (『密室』II)	1913 (大正2)	墨書・水彩・紙片貼付、紙	16.3 × 7.6 シート	恩地邦郎氏寄贈
96	田中 恭吉	二人の家 (『密室』I)	1912 (大正元)	黒インク・ペン・筆、紙	15.2 × 15.0 シート	恩地邦郎氏寄贈
97	田中 恭吉	恩地孝四郎あて葉書「花ざくろの赤々と散る音」	1912 (明治45)	黒インク・ペン、紙	14.0 × 9.1 シート	恩地邦郎氏寄贈
98	田中 恭吉	[木立]	1914 (大正3)	木版、紙	20.5 × 10.8 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
99	田中 恭吉	[伏す女]	1912 (大正元) 頃	インク、紙	10.9 × 8.2 シート	恩地邦郎氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
100	田中 恭吉	[失題]	1914 (大正 3)	木版、紙	19.0 × 13.3 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
101	田中 恭吉	[失題]	1914 (大正 3)	木版、紙	19.0 × 13.3 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
102	田中 恭吉	[失題]	1914 (大正 3)	木版、紙	18.8 × 9.9 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
103	田中 恭吉	死人とあとに残れるもの	1914 (大正 3)	黒インク・ペン・鉛筆、紙	15.8 × 19.7 シート	恩地邦郎氏寄贈
104	田中 恭吉	ある日の恐れ(『密室』8)	1914 (大正 3)	黒インク・ペン・淡彩、紙	17.9 × 9.0 シート	恩地邦郎氏寄贈
105	田中 恭吉	[風景]	1914 (大正 3) 頃	黒インク・ペン、紙	22.4 × 16.0 シート	恩地邦郎氏寄贈
106	田中 恭吉	太陽と花	1913 (大正 2)	木版、紙	17.8 × 11.7 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
107	田中 恭吉	焦心(私輯『月映』II)	1914 (大正 3)	木版、紙	20.9 × 10.1 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
108	田中 恭吉	五月の呪(私輯『月映』IV うつそみ)	1914 (大正 3)	木版、紙	15.8 × 10.8 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
109	田中 恭吉	去勢者と排娼粟(公刊『月映』III)	1914 (大正 3)	木版、紙	18.6 × 14.0 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
110	田中 恭吉	病児(私輯『月映』IV うつそみ)	1914 (大正 3)	木版、紙	11.8 × 15.8 イメージ	
111	田中 恭吉	生ふるもの去るもの(私輯『月映』II)	1914 (大正 3)	木版、紙	26.4 × 19.1 シート	恩地邦郎氏寄贈
112	田中 恭吉	冬虫夏草(公刊『月映』III)	1914 (大正 3)	木版、紙	15.7 × 13.0 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
113	田中 恭吉	[地に伏す男]	1914 (大正 3)	黒インク・筆、紙	11.2 × 13.7 シート	恩地邦郎氏寄贈
114	田中 恭吉	[風景]	1914 (大正 3)	木版、紙	13.0 × 18.9 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
115	田中 恭吉	[死の支配者の微笑 / 死(私輯『月映』I)]	1914 (大正 3)	木版、紙	22.8 × 15.5 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
116	田中 恭吉	わが影の中にわれを呼ぶものあるを見たり	1914 (大正 3)	黒インク・ペン・金彩、紙	14.8 × 10.2 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
117	田中 恭吉	ひそめるもの	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・筆、紙	8.5 × 8.5 シート	恩地邦郎氏寄贈
118	田中 恭吉	[こもるみのむし]	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・筆、紙	19.3 × 14.0 シート	恩地邦郎氏寄贈
119	田中 恭吉	夕 咯血を予感しつつ	1914 (大正 3)	黒インク・筆、紙	14.2 × 8.1 シート	恩地邦郎氏寄贈
120	田中 恭吉	病める夕べ(『密室』8)	1913 (大正 2)	木版、紙	17.0 × 11.3 シート	恩地邦郎氏寄贈
M5	田中 恭吉	草稿	制作年不詳	インク・ペン、紙		恩地邦郎氏寄贈
M6	田中 恭吉	草稿「悶へは悶へをうみつづける」	制作年不詳	インク・ペン、紙		恩地邦郎氏寄贈
121	田中 恭吉	つくはえ序歌(公刊『月映』I)	1914 (大正 3)	冊子	25.8 × 19.0 × 0.4	
122	田中 恭吉	詩歌「流転 微笑寮記」(公刊『月映』III)	1914 (大正 3)	冊子	26.3 × 19.9 × 0.4	
M9	田中 恭吉	版木 [失題]	1914 (大正 3)	木		恩地邦郎氏寄贈
M10	田中 恭吉	版木《生ふるもの去るもの》	1914 (大正 3)	木		恩地邦郎氏寄贈
M11	田中 恭吉	藤森静雄・恩地孝四郎あて書簡 「ふたりよ なつかしきかな」	1914 (大正 3) 年 7月6日付	封書	方眼紙 2 枚	恩地邦郎氏寄贈
123	田中 恭吉	[ろうそく]	1914 (大正 3)	黒インク・筆、紙	8.5 × 8.4 シート	恩地邦郎氏寄贈
124	田中 恭吉	萌芽(つぐみ)	1915 (大正 4)	黒インク・ペン、紙	14.2 × 9.1 シート	恩地邦郎氏寄贈
125	田中 恭吉	[意志と災害]	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・鉛筆、紙	14.2 × 9.2 シート	恩地邦郎氏寄贈
126	田中 恭吉	[縋はれゆく歓喜と悲愁]	1915 (大正 4)	黒インク・ペン、紙	9.0 × 14.3 シート	恩地邦郎氏寄贈
127	田中 恭吉	[夜のおそれ]	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・筆・鉛筆、紙	9.1 × 14.3 シート	恩地邦郎氏寄贈
128	田中 恭吉	[画稿・地上の幸福者ほか]	制作年不詳	黒インク・ペン、紙	24.8 × 34.4 シート	恩地邦郎氏寄贈
129	田中 恭吉	縋はれゆく歓喜と悲愁	1915 (大正 4)	木版、紙	12.0 × 17.9 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
130	田中 恭吉	大槻憲二あて葉書「縋はれゆく歓喜と悲哀」	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・鉛筆、紙	14.1 × 9.1 シート	恩地邦郎氏寄贈
131	田中 恭吉	劫初の一入	1915 (大正 4)	木版、紙	18.1 × 12.1 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
132	田中 恭吉	[失題]	1915 (大正 4) 原画 / 1917 (大正 6) 木版	木版、紙	14.2 × 8.6 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
133	田中 恭吉	[葉包紙画稿]	1915 (大正 4)	黒インク・ペン、紙	11.3 × 11.8 シート	恩地邦郎氏寄贈
M12	田中 恭吉	萩原朔太郎著『月に吠える』挿画 「画稿より I / II / III」	1917 (大正 6)	印刷、紙		恩地邦郎氏寄贈
M13	田中 恭吉	『月に吠える』初版	1917 (大正 6)	書籍、カバー	20.1 × 14.0 × 2.8	
M14	田中 恭吉	[葉包紙草稿「ゆうつげぐさ」]	1915 (大正 4)	インク、紙	11.3 × 11.9 シート	恩地邦郎氏寄贈
M15	田中 恭吉	[葉包紙草稿「寂しくば悲しくば」]	1915 (大正 4)	インク、紙	11.3 × 11.9 シート	恩地邦郎氏寄贈
M16	田中 恭吉	[葉包紙草稿「丸薬を掌に」]	1915 (大正 4)	インク、紙	11.3 × 11.9 シート	恩地邦郎氏寄贈
134	田中 恭吉	『心原幽趣 I』表紙	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン、紙	19.2 × 29.3 シート	恩地邦郎氏寄贈
135	田中 恭吉	『心原幽趣 I』I 屏繪 萌芽	1915 (大正 4)	金泥・ペン、紙	4.3 × 4.3 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
136	田中 恭吉	『心原幽趣 I』II 序詞	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン、紙	19.2 × 14.6 シート	恩地邦郎氏寄贈
137	田中 恭吉	『心原幽趣 I』III 意志と災害 第一	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・筆、紙	15.2 × 10.7 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
138	田中 恭吉	『心原幽趣 I』IV 意志と災害 第二	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン・筆・鉛筆、紙	15.2 × 10.7 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
139	田中 恭吉	『心原幽趣 I』V 悔恨 第一	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン・筆、紙	15.2 × 10.7 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
140	田中 恭吉	『心原幽趣 I』VI 悔恨 第二	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン・筆・鉛筆、紙	15.2 × 10.7 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
141	田中 恭吉	『心原幽趣 I』VII 墓場	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・筆・鉛筆、紙	15.2 × 10.7 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
142	田中 恭吉	『心原幽趣 I』VIII 智慧咲く	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン・筆・鉛筆、紙	15.2 × 10.7 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
143	田中 恭吉	『心原幽趣 I』IX なやみのうちに栄光をみる	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・筆・鉛筆、紙	15.1 × 10.8 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
144	田中 恭吉	『心原幽趣 I』X 魂の手もて現身を葬むる	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン・筆・鉛筆、紙	15.1 × 10.8 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
145	田中 恭吉	『心原幽趣 I』XI わが死ぬ日を数ふる魔	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン・筆、紙	15.2 × 10.6 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
146	田中 恭吉	『心原幽趣 I』XII 懈怠	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン・筆、紙	15.2 × 11.0 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
147	田中 恭吉	『心原幽趣 I』XIII うすきなやみ	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・筆、紙	15.1 × 10.8 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
148	田中 恭吉	『心原幽趣 I』XIV 清飲	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン・筆、紙	15.2 × 10.8 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
149	田中 恭吉	『心原幽趣 I』XV 地上の幸福者	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・筆、紙	15.3 × 10.8 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
150	田中 恭吉	『心原幽趣 I』XVI 夜のおそれ 第一	1915 (大正 4)	黒インク・ペン・筆・鉛筆、紙	15.2 × 10.7 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
151	田中 恭吉	『心原幽趣 I』XVII 夜のおそれ 第二	1915 (大正 4)	黒インク・金泥・ペン・筆、紙	15.2 × 10.7 イメージ	恩地邦郎氏寄贈
152	田中 恭吉	『心原幽趣 I』XVIII 目次	1915 (大正 4)	金泥・ペン、紙	19.3 × 14.6 シート	恩地邦郎氏寄贈
153	田中 恭吉	『密室』7 表紙・裏表紙	1914 (大正 3)	木版、紙	30.0 × 39.1 シート	恩地邦郎氏寄贈
154	田中 恭吉	[年賀状 大正三年]	1914 (大正 3) 頃	木版、紙	13.9 × 8.5 シート	恩地邦郎氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
(展示室外の作品)						
155	宇佐美 圭司	遺作・制動 (プレーキ)・大洪水	2012 (平成 24)	油彩、キャンバス	291.0 × 291.0	個人蔵
156	建畠 覚造	DISK 4	1977 (昭和 52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0	
157	建畠 覚造	対話 (DIALOGUE)	2001 (平成 13)	木、化学粘土、ウレタン塗料	233.5 × 162.0 × 60.0	建畠嘉氏寄贈
158	建畠 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	作者寄贈
159	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
160	秋山 陽	META - VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	匿名寄贈
161	フランク・ステラ	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0 × 760.0	
162	バリー・フラナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
163	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	
164	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成 6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
165	イサム・ノグチ	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
166	ケネス・スネルソン	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
167	北尾 博史	アシモノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈
168	鈴木 久雄	木の現象 <喬木 1>	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
169	鈴木 久雄	木の現象 <喬木 2>	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
170	鈴木 久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	作者寄贈
171	鈴木 久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	作者寄贈



会場風景

## 3-2. コレクション展 2022 –夏秋 / 特集 1960s–1980s 関西の現代美術「再見」

- 会期 : 2022年7月16日(土)～9月25日(日) 62日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室A・B(1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 6,635名
- 内容 : 所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示した。展示室全体で特集として「1960s–1980s 関西の現代美術「再見」」を実施し、当館が開館した1970年前後に制作され、その後当館のコレクションとなった1960年代から80年代の作品群によって、「現代美術」と呼ばれる動向を再見し、時代状況を探った。
- 展示点数 : 64作家111点、資料19点 \*展示室外を含む
- 担当学芸員 : 山野英嗣(館長)、藤本真名美
- 関連事業 : ・フロアレクチャー 7月23日(土)、8月11日(木・祝) 14:00～15:30 1階展示室にて 6名、10名  
・こども美術館部「ふたたびたびたび」 9月10日(土)、11日(日) 11:00～12:00 1階展示室にて 6名、6名
- 制作物 : ・チラシ(A5判、オフセット印刷)  
・出品目録(A4判8頁)  
・プレスリリース(A4判3頁)
- 入場料金 : 一般350円(270円)、大学生240円(180円) ( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・課題・改善案 : 特集として展示室のほぼ全てを使って各作家の代表的作品を多数展示することで、当館の関西の戦後美術コレクションが、質・量ともに全国トップクラスであると示すことができた。また、当館で過去に開催された「関西の美術家シリーズ」や「和歌山版画ビエンナーレ」の展覧会図録等の資料も同時に展示し、積極的な収蔵がなされた時代の活動も紹介できた。同時期に兵庫県立美術館や西宮市大谷記念美術館等で開催された他館の展覧会とも連動し、関西の戦後美術再評価の機運を盛り上げることができた。図録の予算がなく、詳細な記録を残せなかったのは今後の課題である。
- 関連記事 : ・「夏秋コレクション 県立近代美術館 関西の現代美術「再見」『和歌山特報』第1728号2022年6月21日、10面  
・「県立近代美術館 関西の現代美術“再見” 7月16日から コレクション展22年夏秋」『紀伊民報』第23988号2022年6月25日、6面(6月24日にウェブでも配信)  
・「〈展覧会〉コレクション展2022-夏秋」『毎日新聞』(和歌山版)2022年7月21日、22面  
・「関西の現代美術「再見」 近代美術館コレクション展」『わかやま新報』2022年8月3日、3面
- その他 : ・「#59 1960s～1980sの関西の現代美術シーンについて、和歌山県立近代美術館の館長に聞く！特集」Podcast「本屋ブラブララジオ」
- メディア報道 : 2022年9月14日配信

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日：2023年12月28日

### コレクション展 2022-夏秋 / 特集 1960s–1980s 関西の現代美術「再見」 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

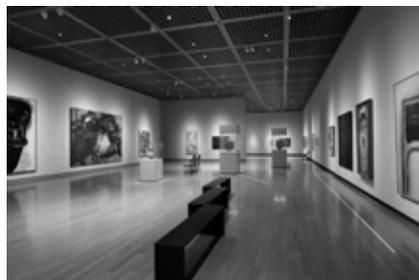
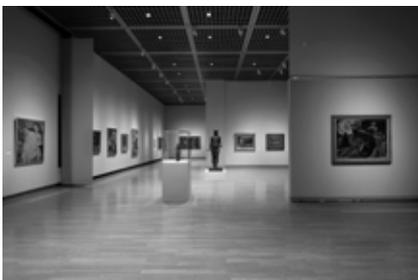
No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
<b>序章 コレクションに見る戦前の「日本の前衛」作品</b>						
1	古賀 春江	海水浴	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	91.3 × 117.0	
2	恩地 孝四郎	海の女	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.0 × 33.3	恩地邦郎氏寄贈
3	萬 鐵五郎	風景	1922 (大正 11) 頃	油彩、キャンバス	33.3 × 46.0	個人蔵
4	川口 軌外	写像	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	115.9 × 81.5	川口京村氏寄贈
5	川口 軌外	ボヘミアン	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	117.0 × 80.7	
6	石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	75.4 × 91.2	
7	原 勝四郎	画工像	1932 (昭和 7)	油彩、厚紙	65.0 × 52.6	
8	高井 貞二	感情の遊離	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	150.7 × 91.0	作者寄贈
9	建島 大夢	魔法使いの女	1923 (大正 12) / 鋳造年不詳	ブロンズ	45.3 × 12.5 × 20.0	建島覚造氏寄贈
10	佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	73.3 × 53.9	玉井一郎氏寄贈
11	佐伯 祐三	オワーズ河周辺風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	45.5 × 53.0	玉井一郎氏寄贈
12	佐伯 祐三	下落合風景	1926 (大正 15 / 昭和元) 頃	油彩、キャンバス	49.7 × 60.4	玉井一郎氏寄贈
13	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	72.3 × 60.8	玉井一郎氏寄贈
14	佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	59.9 × 73.2	玉井一郎氏寄贈
15	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	73.2 × 91.8	玉井一郎氏寄贈
16	保田 龍門	少女	1925 (大正 14)	ブロンズ	184.9 × 67.0 × 51.0	
<b>1. 戦前の「前衛」からの持続</b>						
17	高井 貞二	機械	1931 (昭和 6) 頃	油彩、キャンバス	52.9 × 45.5	作者寄贈
18	高井 貞二	小さな街	1937 (昭和 12)	油彩、キャンバス	90.7 × 116.8	作者寄贈
19	村井 正誠	パンチュール No. 3	1929–33 (昭和 4–8)	油彩、キャンバス	113.5 × 194.5	作者寄贈
20	村井 正誠	形象 A	1939 (昭和 14)	油彩、板	89.4 × 145.8	作者寄贈
<b>2. 「近代美術館」の誕生と「現代美術」の動向</b>						
21	村井 正誠	黒い太陽	1962 (昭和 37)	リトグラフ、紙	56.0 × 42.0	村井伊津子氏寄贈
22	吉原 英雄	水族館	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	51.0 × 38.0	荒木高子氏寄贈
23	山田 光	作品	1953 (昭和 28)	陶	25.5 × 13.2 × 16.0	作者寄贈
24	オノサト トシノブ	A-11	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	116.0 × 91.2	
25	泉 茂	祭	1957 (昭和 32)	リトグラフ、紙	54.1 × 41.2	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
26	泉 茂	インディアン	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	48.8 × 39.0	荒木高子氏寄贈
27	森口 宏一	The Deep	1961 (昭和 36)	油彩、釘、ベニヤ板	94.0 × 137.8	森口まどか氏寄贈
28	上前 智祐	作品	1963 (昭和 38)	油彩ほか、板	184.0 × 94.0	作者寄贈
29	田中 敦子	'61 赤と黒	1961 (昭和 36)	ビニール絵具、キャンバス	175.0 × 129.5	
30	白髪 一雄	平治元年十二月二十六日	1966 (昭和 41)	油彩、キャンバス	273.0 × 363.8	
31	元永 定正	作品	1964 (昭和 39)	アクリル絵具、小石、キャンバス	281.0 × 181.2	
32	磯辺 行久	ワッペン	1964 (昭和 39)	空押、紙	28.4 × 18.8	
33	磯辺 行久	ワッペン	1964 (昭和 39)	空押、紙	30.5 × 19.2	
34	オノサト トシノブ	シルク No. 7	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、紙	50.0 × 50.0	
35	井田 照一	konyaku No.8	1965 (昭和 40)	リトグラフ、紙	51.5 × 63.0	イダショウウイチスタ ジオ寄贈
36	船井 裕	OCTAGON	1968 (昭和 43)	リトグラフ、紙	48.0 × 59.8	
37	今村 輝久	不在の中のかたち 3	1969 (昭和 44)	真鍮	30.0 × 30.0 × 10.0	今村悦美氏・今村源 氏寄贈
38	宇佐美 圭司	水族館の中の水族館 No.2	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	185.2 × 276.0	
39	鈴木 治	土偶 野武士	1959 (昭和 34)	陶	43.0 × 26.0 × 18.0	
40	山田 光	塔	1964 (昭和 39)	陶	60.4 × 36.8 × 27.4	
41	柳原 睦夫	鳩巢	1963 (昭和 38)	陶	61.5 × 41.0 × 26.0	
42	下村 良之介	夜の曲	1951 (昭和 26)	顔料、紙	121.0 × 121.0	
43	下村 良之介	鳥のほころ	1965 (昭和 40)	紙粘土、顔料、紙	182.5 × 170.1	
44	星野 眞吾	喪中の作品 A	1965 (昭和 40)	顔料、紙	180.6 × 89.5	
45	津高 和一	アシタハキノウニナル	1964 (昭和 39)	油彩、キャンバス	193.0 × 129.8	
<b>3. 1970 年代の新たな展開</b>						
46	三島 喜美代	パッケージ	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、陶	大: 26.0 × 36.5 × 27.0 中: 13.5 × 23.0 × 22.0 小: 9.5 × 12.5 × 14.5	
47	三島 喜美代	パッケージ	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、陶	14.0 × 35.0 × 27.0	
48	荒川 修作	最後の次に	1967 (昭和 42)	シルクスクリーン、紙	54.7 × 106.0	
49	高井 貞二	あかときん	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	187.1 × 178.5	作者寄贈
50	白髪 一雄	作品	1972 (昭和 47)	油彩、キャンバス	130.4 × 162.5	鈴木直弥氏寄贈
51	元永 定正	無題	1972 (昭和 47)	アクリル絵具、キャンバス	130.5 × 162.5	
52	村井 正誠	風の中の除幕式	1968 (昭和 43)	油彩、キャンバス	194.5 × 259.8	
53	井田 照一	Baby	1970 (昭和 45)	リトグラフ、紙	52.3 × 66.0	
54	井田 照一	Tissue in the grass	1971 (昭和 46)	シルクスクリーン、紙	54.5 × 69.0	イダショウウイチスタ ジオ寄贈
55	船井 裕	MAJOR SCALE	1971 (昭和 46)	シルクスクリーン、紙	65.2 × 47.0	
56	北辻 良央	WORK (Cézanne) I、II	1978 (昭和 53)	銅版、紙	20.8 × 15.0 / 21.3 × 15.7	
57	北辻 良央	WORK (Gauguin) I、II	1978 (昭和 53)	銅版、紙	19.2 × 15.1 / 19.1 × 15.6	
58	森口 宏一	動詞の習作・差し出す	1975 (昭和 50)	ステンレススチール、アルミ鋳物	3.8 × 30.0 × 21.0	森口まどか氏寄贈
59	木村 秀樹	Pencil 2-3	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、紙	75.2 × 106.8	
60	福岡 道雄	坂道	1974 (昭和 49)	黒色強化ポリエステル	118.0 × 50.5 × 60.5	作者寄贈
61	木村 光佑	OUT OF TIME - 24	1970 (昭和 45)	リトグラフ、紙、シルクスクリーン、 アクリル	77.8 × 54.0	
62	木村 光佑	OUT OF TIME - 25	1970 (昭和 45)	リトグラフ、紙、シルクスクリーン、 アクリル	77.8 × 53.8	
63	木村 光佑	OUT OF TIME - 26	1970 (昭和 45)	リトグラフ、紙、シルクスクリーン、 アクリル	77.8 × 53.8	
64	麻田 浩	土の風景	1975 (昭和 50)	銅版、紙	30.7 × 47.0	
65	吉原 英雄	版画集『公園』5 雨の日	1974 (昭和 49)	リトグラフ、銅版、紙	50.1 × 37.9	
66	吉原 英雄	版画集『公園』2 かきつばた	1974 (昭和 49)	リトグラフ、銅版、紙	50.0 × 38.0	
67	斎藤 智	Untitled C	1976 (昭和 51)	シルクスクリーン、紙	65.0 × 80.3	
68	斎藤 智	Untitled 79-a	1979 (昭和 54)	シルクスクリーン、紙	74.0 × 71.0	
<b>4. 1980 年代への持続</b>						
69	川島 慶樹	Yellow Vacation II	1986 (昭和 61)	木、鉄、真鍮、石、アクリル絵具	255.0 × 250.0 × 44.0	作者寄贈
70	荒木 高子	顔麿の聖書	1983 (昭和 58)	シルクスクリーン、磁土	14.5 × 22.3 × 20.3	
71	荒木 高子	砂の聖書	1983 (昭和 58)	シルクスクリーン、シャモット、砂	18.0 × 64.0 × 46.0	
72	北山 善夫	飴でもどうかね	1987 (昭和 62)	竹、紙、革	69.0 × 214.5 × 61.0	
73	山田 光	陶面の中の数字	1976 (昭和 51)	陶	53.5 × 34.0 × 7.0	
74	鈴木 治	馬	1984 (昭和 59)	陶	74.6 × 48.9 × 23.0	
75	宮永 理吉	台密の屋根	1987 (昭和 62)	陶	26.0 × 37.0 × 17.0	作者寄贈
76	柳原 睦夫	紺釉銀彩作品	1983 (昭和 58)	陶	48.5 × 36.5 × 25.5	作者寄贈
77	山口 牧生	四面体へのアプローチ	1982 (昭和 57)	黒銅彫石、ベンガラ	40.0 × 197.0 × 46.0	作者寄贈
78	小清水 漸	花・赤い	1986 (昭和 61)	木、水銀朱、水、白大理石	75.0 × 240.0 × 240.0	竹田功氏寄贈
79	田中 孝	Street	1982 (昭和 57)	銅版、紙	36.0 × 49.6	作者寄贈
80	井田 照一	Surface is the Between-Between Vertical and Horizon-Field Horizon No.101 "	1981 (昭和 56)	リトグラフ、紙	65.5 × 50.0	イダショウウイチスタ ジオ寄贈
81	井田 照一	Descended Level-Between Vertical and Horizon-Two Square No.5-F-No.122	1982 (昭和 57)	成形した紙	82.0 × 118.0 × 6.0	イダショウウイチスタ ジオ寄贈
82	今村 輝久	'84 封じられた風景 1	1984 (昭和 59)	アルミニウム、鉄	60.0 × 55.0 × 55.0	今村悦美氏・今村源 氏寄贈
83-86	森村 泰昌	だぶらかし肖像 A、B、C、D	1988 (昭和 63)	写真	120.0 × 120.0 / 120.1 × 120.1 / 120.0 × 120.1 / 120.1 × 120.0	
87	秋岡 美帆	ゆるるかげ	1990 (平成 2)	ネコプリント、紙	154.6 × 213.5	和歌山版画ビエン ナーレ展実行委員会 寄贈
88	池垣 タダヒコ	untitled	1990 (平成 2)	銅、半田、インク	110.0 × 130.0 × 30.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
<b>(資料)</b>						
		「現代美術の動向」 会場写真 (現・京都国立近代美術館の旧館で開催 1964年、1965年、1967年、1968年)				
		「アート・ナウ '75 '76 '77 '86」 会場写真 (同展図録と朝日新聞記事より)				
		「アート・ナウ」 展図録 (旧・兵庫県立近代美術館 1987年、1988年)				
		「関西の美術家シリーズ」 展図録 (和歌山県立近代美術館 1983年から1991年まで8回開催)				
		「第1回和歌山版画ビエンナーレ展」 図録 (和歌山県立近代美術館、1985年)				
<b>海外の現代美術</b>						
89	ジョルジュ・ブラック	コンポジション (静物I)	1911 (明治44) / 1950 (昭和25) 刷	エッチング、紙	34.7 × 21.8	
90	パブロ・ピカソ	泣く女	1937 (昭和12)	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	72.3 × 49.3	
91	サム・フランシス	幸福な墓石	1960 (昭和35)	リトグラフ、紙	62.9 × 88.3	
92	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6	
93	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6 × 359.9 × 270.4	
94	トム・ウェッセルマン	シースケープ #8	1966 (昭和41)	アクリル絵具、キャンバス	172.9 × 106.8	
<b>(展示室外の作品)</b>						
95	宇佐美 圭司	遺作・制動 (ブレーキ)・大洪水	2012 (平成24)	油彩、キャンバス	291.0 × 291.0	個人蔵
96	建畠 覚造	DISK 4	1977 (昭和52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0	
97	建畠 覚造	対話 (DIALOGUE)	2001 (平成13)	木、化学粘土、ウレタン塗料	233.5 × 162.0 × 60.0	建畠嘉氏寄贈
98	建畠 覚造	MANJI	1982 (昭和57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	作者寄贈
99	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963 (昭和38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
100	秋山 陽	META - VOID	2004 (平成16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	匿名寄贈
101	フランク・ステラ	ラッカ III	1968 (昭和43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0 × 760.0	
102	パリー・フラナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
103	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	
104	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
105	イサム・ノグチ	雲の山	1982 (昭和57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
106	ケネス・スネルソン	着地	1969 (昭和44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
107	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈
108	鈴木 久雄	木の現象 (喬木1)	1997 (平成9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
109	鈴木 久雄	木の現象 (喬木2)	1997 (平成9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
110	鈴木 久雄	散距離	2008 (平成20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	作者寄贈
111	鈴木 久雄	交叉距離	2009 (平成21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	作者寄贈



チラシ表 / 裏



会場風景

### 3-3. コレクション展 2022 ー秋冬 / 特集 田中恒子コレクション

- 会期 : 2022年10月8日(土)～12月25日(日) 68日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室A(1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 7,365名 \*「ミティラー美術館コレクション展」と共通
- 内容 : 所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示した。「インドによせて」、「秋冬の日本画」、「和歌山ゆかりの作家と近代の美術」、「特集 田中恒子コレクション」、「展示室外の作品」の5部により紹介。「ミティラー美術館コレクション展」に合わせ、館蔵作品からインドに関連する作品の紹介で始まり、日本画、洋画、海外の作品に続いて、2009(平成21)年に「自宅から美術館へ」展で紹介して以降、継続して寄贈を受け入れている「田中恒子コレクション」の特集展示に至る構成とした。
- 展示点数 : 95作家295点 \*展示室外を含む【特集 田中恒子コレクション】59作家241点
- 担当学芸員 : 奥村泰彦
- 関連事業 : ・フロアレクチャー 10月8日(土)、11月3日(木・祝)、12日(土)、12月25日(日) 14:00～15:30 1階展示室にて 6名、23名、7名、16名
- 制作物 : ・出品目録(A4判12頁)  
・プレスリリース(A4判3頁)
- 入場料金 : 一般350円(270円)、大学生240円(180円) ( )内は20名以上の団体料金 \*「ミティラー美術館コレクション展」と共通
- 自己評価 : ・「自宅から美術館へ」展で紹介した以降に受け入れた作品を合わせて、1300点を超える田中恒子氏のコレクションの核となる部分を紹介できた。会期中には中学生が小学生に鑑賞を手引きする形での教育普及活動にも取り組むことができた(詳細59頁)。新たに受け入れた課題・改善案 作品も含めてまとめた印刷物の作成も望まれるが、オンラインでのデータベース公開により、把握できるようになることが期待される。
- 関連記事 : ・「田中恒子コレクション 県立近代美術館10月8日～」『和歌山特報』2022年9月11日、10面  
・「異彩を放つ現代美術 10月8日～近代美術館所蔵品展」『わかやま新報』2022年9月14日、3面  
・「近年の寄贈中心に約150点 和歌山県立近代美術館「田中恒子コレクション」展」『毎日新聞』(地方版)2022年10月27日、19面(同日ウェブでも配信)  
・「見る楽しみを広げる現代美術 25日まで田中恒子コレクション展」『わかやま新報』2022年12月14日、3面
- その他 : ・「今回は博物館&美術館を巡りました」テレビ和歌山「ちゃぶ台おかわり」、2022年11月5日放送(11月12日再放送)
- メディア報道

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年12月28日

#### コレクション展 2022-秋冬 / 特集 田中恒子コレクション 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

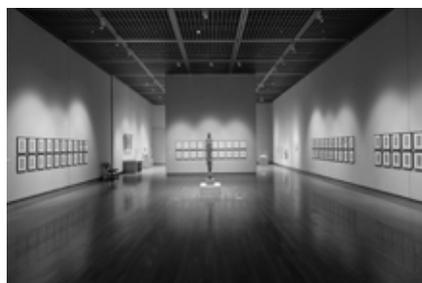
No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
<b>インドによせて</b>						
1	ブラカーシュ・チャン	窓-II	1990(平成2)	リノ・エッチング、紙	238.0×137.5	和歌山版画ビエンナーレ実行委員会寄贈
2	池田良二	Ancestors	1980(昭和55)	銅版、紙	44.4×25.3	作者寄贈
3	池田良二	Together again	1979(昭和54)	銅版、紙	55.9×26.2	作者寄贈
4	池田良二	Scattered Seeds 散種	1979(昭和54)	銅版、紙	79.1×56.2	作者寄贈
5	池田良二	Varanasi	1980(昭和55)	銅版、紙	53.5×25.9	作者寄贈
6	横尾忠則	聖ジャンバラ 1 土其天	1974(昭和49)	オフセット・シルクスクリーン、紙	86.3×57.4	和歌山県立近代美術館友の会寄贈
7	横尾忠則	聖ジャンバラ 2 土其人	1974(昭和49)	オフセット・シルクスクリーン、紙	85.5×57.0	青木治男氏寄贈
8	横尾忠則	聖ジャンバラ 7 火其地	1974(昭和49)	オフセット・シルクスクリーン、紙	86.2×57.3	和歌山県立近代美術館友の会寄贈
<b>秋冬の日本画</b>						
9	川端 龍子	野に咲く花	大正中期	顔料、絹	92.7×76.8	
10	川端 龍子	菊	制作年不詳	顔料、絹	129.5×35.3	加納庸元氏寄贈
11	山口 八九子	月見草と少女	1912(大正元)頃	顔料、絹	171.8×65.6	山口由季子氏寄贈
12	村上 華岳	仲秋月明之図	1937(昭和12)	顔料・墨、紙	33.4×63.7	個人蔵
13	林 司馬	舞妓	1934(昭和9)	顔料、絹	40.3×51.0	内山蘇乃氏寄贈
14	湯川 松堂	菊ニ美人図	制作年不詳	顔料、絹	104.3×41.1	巽三郎氏寄贈
15	近藤 浩一路	近江富士秋晴	制作年不詳	顔料・墨、紙	42.3×53.5	個人蔵
16	日高 昌克	初冬山溪図	1951(昭和26)	墨、紙	38.6×51.0	青木正夫氏寄贈
<b>和歌山ゆかりの作家と近代の美術</b>						
17	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
18	保田 龍門	自画像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2	
19	保田 龍門	アンドレの首	1922(大正11)	ブロンズ	20.3×20.0×20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈
20	建畠 大夢	おゆのつかれ	1913(大正2)/1970(昭和45) 鑄造	ブロンズ	68.0×40.0×56.0	
21	萬 鐵五郎	風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
22	谿 伊之助	ブザンソン風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	小島善太郎氏寄贈
23	木下 孝則	赤衣の女	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	72.9×53.2	
24	木下 義謙	赤衣半身像	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	91.4×73.0	作者寄贈
25	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
26	佐伯 祐三	オワーズ河周辺風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	45.5×53.0	玉井一郎氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
27	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	72.3 × 60.8	玉井一郎氏寄贈
28	佐伯 祐三	下落合風景	1926 (大正 15 / 昭和元) 頃	油彩、キャンバス	49.7 × 60.4	玉井一郎氏寄贈
29	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.3	個人蔵
30	佐伯 祐三	モラン風景	1928 (昭和 3)	油彩、ボード	38.0 × 44.5	玉井一郎氏寄贈
31	ヘンリー・杉本	カーメルハイランド海辺	1937 (昭和 12)	油彩、キャンバス	80.6 × 106.0	作者寄贈
32	国吉 康雄	乳しぼり	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.5	
33	石垣 栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0 × 91.0	
34	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6 × 359.9 × 270.4	
35	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6	
36	モーリス・ユトリロ	ムーラン・ド・サノワのバル・レストラン	1912-13 (明治 45-大正 2)	油彩、ボード	37.5 × 54.8	個人蔵
37	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	制作年不詳	油彩、キャンバス	38.0 × 45.5	個人蔵
38	アンドレ・ロート	ミルマンドの城壁	制作年不詳	油彩、キャンバス	33.0 × 24.0	
<b>特集 田中恒子コレクション</b>						
39	戸谷 成雄	吊された森	1995 (平成 7)	木、灰、鉄、アクリル絵具	140.0 × 35.0 × 25.0	田中恒子氏寄贈
40	坂上 チユキ	情熱のコレクター T 女史に捧ぐ	2012 (平成 24)	インク、紙	15.4 × 13.1	田中恒子氏寄贈
41	藤 浩志	ヤセ犬	1996 (平成 8)	木、塗料	30.5 × 64.0 × 20.0	田中恒子氏寄贈
42	藤 浩志	ヤセ犬	1996 (平成 8)	木、塗料	28.0 × 56.0 × 21.0	田中恒子氏寄贈
43	藤 浩志	ヤセ犬	1996 (平成 8)	木、塗料	30.0 × 61.0 × 20.5	田中恒子氏寄贈
44	藤 浩志	ヤセ犬	1996 (平成 8)	木、塗料	30.0 × 60.0 × 26.0	田中恒子氏寄贈
45	奈良 美智	どんまい Q ちゃん	1993 (平成 5)	木、彩色	123.0 × 37.5 × 43.5	田中恒子氏寄贈
46	安藤 榮作	狛犬	2018 (平成 30)	木	57.0 × 23.0 × 28.0	田中恒子氏寄贈
47	ジョアン・ミロ	鏡の前の女	1956 (昭和 31)	石版、紙	37.5 × 55.0	田中恒子氏寄贈
48	ピエール・アレシンスキー	海面下	1969 (昭和 44)	銅版、紙	65.8 × 48.2	田中恒子氏寄贈
49	ピエール・アレシンスキー	地下	1969 (昭和 44)	銅版、紙	56.4 × 39.2	田中恒子氏寄贈
50-55	田淵 安一	風静々 1 風靈 2 五星界 3 菱の風景 4 石花 5 水天渺々 6 赤い崖	1991 (平成 3)	銅版、紙	各 26.8 × 20.2	田中恒子氏寄贈
56-60	高松 次郎	アンドロメダ A-1 A-2 A-3 A-4 A-5	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	各 76.0 × 57.0	田中恒子氏寄贈
61-68	彦坂 尚嘉	ハーフ・モダンズム 1 デューク・エリントンとかれのオーケストラ 2 猯犬 3 寄生植物 4 狂人 5 台北 6 交響曲 7 サラブレッド 8 ファミリー・ポートレート	1989 (平成元)	ドライポイント、紙	各 65.0 × 42.5	田中恒子氏寄贈
69	菊畑 茂久馬	海宮 七	2000 (平成 12)	油彩、キャンバス	91.0 × 60.6	田中恒子氏寄贈
70	菊畑 茂久馬	海宮 八	2000 (平成 13)	油彩、キャンバス	91.0 × 60.6	田中恒子氏寄贈
71	菊畑 茂久馬	海宮 九	2000 (平成 14)	油彩、キャンバス	91.0 × 60.6	田中恒子氏寄贈
72	孫 雅由	予響色 DW96-07	1996 (平成 8)	木炭、水溶性クレヨン、紙	65.5 × 100.0	田中恒子氏寄贈
73	宮崎 豊治	眼下の庭	1995 (平成 7)	鉄、銅、真鍮、漆	78.0 × 71.0 × 35.0	田中恒子氏寄贈
74	野村 仁	内部構造：弦 3	1996 (平成 8)	ガラス、大理石	40.0 × 74.0 × 43.8	田中恒子氏寄贈
75	江口 週	聖なる樹	1992 (平成 4)	木	33.0 × 45.0 × 24.0	田中恒子氏寄贈
76	岡本 敦生	記憶体積	1990 (平成 2)	白御影石、紙	16.5 × 15.7 × 36.3	田中恒子氏寄贈
77	福岡 道雄	田中をまねる	1996 (平成 8)	FRP、木	17.0 × 18.0 × 20.5	田中恒子氏寄贈
78	安藤 榮作	歩く富士山	2015 (平成 27)	木	23.5 × 15.0 × 14.0	田中恒子氏寄贈
79	李 禹煥	East Winds	1985 (昭和 60)	水彩、紙	76.8 × 57.2	田中恒子氏寄贈
80	眞板 雅文	Landscape #4	1994 (平成 6)	鉄、布、和紙、糸、紐	38.0 × 164.0 × 22.0	田中恒子氏寄贈
81	若林 奮	ミスキの一枝	1986 (昭和 61)	銅版、鉛筆、紙、金属製の箱	28.5 × 22.5 × 2.0	田中恒子氏寄贈
82	植松 奎二	置 - 1 本の枝 (マルティプル)	1991 (平成 3)	銅、真鍮、鉄	77.6 × 9.0 × 9.0	田中恒子氏寄贈
83	堀 浩哉	波光 - 4	1994 (平成 6)	アクリル絵具・墨、和紙、キャンバス	91.0 × 65.2	田中恒子氏寄贈
84	野田 裕示	WORK 657	1991 (平成 3)	アクリル絵具、キャンバス	123.0 × 86.0	田中恒子氏寄贈
85	橋本 夏夫	無題	1991 (平成 3)	アルミニウム	60.0 × 48.0 × 3.0	田中恒子氏寄贈
86	長谷川 直人	ただそこにあるもの	2000 (平成 12)	陶、金属	20.0 × 9.0 × 13.0	田中恒子氏寄贈
87	村上 隆	Mr. DOB	1994 (平成 6)	塩化ビニール	235.0 × 305.0 × 180.0	田中恒子氏寄贈
88	名和 晃平	PixCell-Sheep	2002 (平成 14)	ミクストメディア	80.0 × 37.0 × 124.0	田中恒子氏寄贈
89	今中 信一	金虎	2015 (平成 27)	ガッシュ、麻布	396.0 × 150.0	田中恒子氏寄贈
90	堀尾 貞治	[ドローイング]	2003 (平成 15)	墨・絵具、紙	186.0 × 189.0	田中恒子氏寄贈
91	今村 源	ダイ・カエル	2017 (平成 29)	針金	6.0 × 18.0 × 13.0	田中恒子氏寄贈
92	今村 源	カエル・2D	2017 (平成 30)	針金	8.5 × 8.0	田中恒子氏寄贈
93	原田 要	楕円の絵	2020 (令和 2)	顔料・アクリル絵具、パネル	145.0 × 142.0	田中恒子氏寄贈
94	折元 立身	Bread-Man Son + Alzheimer Mama	1996 (平成 8) / 1998 (平成 10)	ポスター	103.5 × 73.5	田中恒子氏寄贈
95	鷺見 磨	The Sincere Faker No.3	1997 (平成 9)	ミクストメディア	49.7 × 45.0 × 10.2	田中恒子氏寄贈
96	安田 辰雄	絵日記 365 日	2009 (平成 21)	クレヨン・鉛筆、紙	25.6 × 18.2	田中恒子氏寄贈
97	澤田 真一	竜	2009 (平成 21)	陶	14.0 × 37.0 × 20.0	田中恒子氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
98	坂上 チユキ	さがしもの		ミクストメディア	20.0 × 31.5 × 26.0	田中恒子氏寄贈
99-110	齊藤 彩	無題	2004 (平成 16)	油彩、紙	各 65.0 × 50.0 シート (12 点)	田中恒子氏寄贈
111-114	小泉 雅代	眉- EYEBROW	1996 (平成 8)	布、綿、水性ニス、アクリル絵具	各 10.0 × 34.0 × 5.0 (4 点)	田中恒子氏寄贈
115	渡辺 英司	机の中	2001 (平成 13)	携帯電話、接着剤、紙ほか	22.0 × 10.0 × 3.5	田中恒子氏寄贈
116-122	太田 三郎	POST WAR 46-47 兵士の肖像	1994 (平成 6)	コピー、紙	各 28.5 × 15.2	田中恒子氏寄贈
		1 堀山信太郎 (1921-1944) 1992 年 7 月 2 日 朝日新聞東京版夕刊掲載 2 中山成雄 (1913-1940) 1992 年 9 月 3 日 朝日新聞東京版夕刊掲載 3 兵藤春次郎 (1922-1946) 1992 年 9 月 10 日 朝日新聞 東京版夕刊掲載 4 村田弘道 (1918-1944) 1992 年 10 月 1 日 朝日新聞東京版夕刊掲載 5 松山孝次 (1926-1945) 1993 年 4 月 1 日 朝日新聞東京版夕刊掲載 6 片田彰吾 (1915-1944) 1993 年 4 月 8 日 朝日新聞東京版夕刊掲載 7 片田四郎 (1917-1945) 1993 年 4 月 8 日 朝日新聞東京版夕刊掲載				
123-142	太田 三郎	POST WAR 66 戦災痕	2011 (平成 23)	レーザープリント、紙	各 28.8 × 15.7	田中恒子氏寄贈
		1 田町橋 北区中央町 2 蔭涼寺石塔 北区中央町 3 蔭涼寺水鉢 北区中央町 4 大雲寺灯籠 北区表町 5 光乗院百度石 北区東中央町 6 蓮昌寺頌徳碑 北区田町 7 蓮昌寺題目石 北区田町 8 蓮昌寺法華塔 北区田町 9 金刀比羅神社狛犬 北区野田屋町 10 金刀比羅神社灯籠 北区野田屋町 11 旧南方小煉瓦塀 北区南方 12 本行寺山門 北区番山町 13 岡山神社灯籠 北区石関町 14 岡山城石山門跡 北区丸の内 15 春日神社玉垣 北区七日市西町 16 大福寺大地蔵 中区御成町 17 浄教寺山門 中区御成町 18 玉井宮鳥居 中区東山 19 玉井宮狛犬 中区東山 20 玉井宮本殿屋根 中区東山				
143-162	太田 三郎	POST WAR 68 戦ノ碑 広島-長崎-沖縄-鹿児島-東京	2013 (平成 25)	レーザープリント、紙	各 28.8 × 15.7	田中恒子氏寄贈
		1 平和記念公園「原爆の子の像」(広島) 2 平和記念公園「韓国人原爆犠牲者慰霊碑」(広島) 3 平和記念公園「峠三吉詩碑」(広島) 4 大久野島「毒ガス障害死没者慰霊碑」(広島) 5 平和公園「原子爆弾落下中心の碑」(長崎) 6 平和公園「乙女の像と長崎刑務所浦上刑務支所跡」(長崎) 7 平和公園「松尾あつゆきの句碑」(長崎) 8 沖縄戦「平和の礎」(沖縄) 9 沖縄戦「沖縄師範健児之塔」(沖縄) 10 沖縄戦「韓国人慰霊塔」(沖縄) 11 沖縄戦「魂魄之塔」(沖縄) 12 沖縄戦「ひめゆりの塔」(沖縄) 13 沖縄戦「小桜の塔」(沖縄) 14 知覧「特攻隊慰霊碑」(鹿児島) 15 出陣学徒壮行の地の碑 (東京) 16 戦没プロ野球選手「鎮魂の碑」(東京) 17 移動劇団さくら隊「原爆殉難碑」(広島) 18 満蒙開拓団殉難者の碑 (東京) 19 千島ヶ淵戦没者墓園 (東京) 20 慰霊碑哀しみの東京大空襲 (東京)				
163-182	太田 三郎	POST WAR 69 戦争遺児	2014 (平成 26)	レーザープリント、紙	各 28.8 × 15.9	田中恒子氏寄贈
		1 真木淳夫 2 服部慶子 3 田淵潔 4 岸本清美 5 小椋章光 6 小林幹夫 7 安井一枝 8 近藤卓志 9 藤原信子 10 福元基 11 佐々木義和 12 秀平良子 13 松田孝信 14 大島路子 15 岡清美 16 小倉延行 17 横田秀夫 18 浅野實 19 中島千保美 20 枝松登貴代				

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
183-202	太田 三郎	POST WAR 72 世紀の遺書 1 大場金次 2 白岩定夫 3 石上保 4 岩広一二 5 桑島恕一 6 吉田昌司 7 野口秀夫 8 緑川寿 9 江草忠義 10 星愛喜 11 日高己雄 12 岩田光儀 13 甲村武雄 14 海老根七之助 15 中村武男 16 安部未男 17 浜崎直記 18 菅原亥三郎 19 平野庫太郎 20 木村保	2017 (平成 29)	レーザープリント、紙	各 30.0 × 21.0	田中恒子氏寄贈
203-222	太田 三郎	POST WAR 74 折鶴焼 1 鳩 岩口愛良 [いわぐちあいら] 2002 年 7 月 18 日 2 年 長崎県東彼杵郡川棚町 2 命を繋げ 岩永健吾 [いわながけんご] 2002 年 9 月 2 日 2 年 長崎県東彼杵郡川棚町 3 PEACE PARK 江 陽莉 [えはまひより] 2002 年 5 月 2 日 2 年 長崎県東彼杵郡川棚町 4 平和を描く 岡村果南子 [おかむらかなこ] 2002 年 6 月 16 日 2 年 長崎県佐世保市 5 みんなの宝物 梶原真歩 [かじはらまほ] 2002 年 8 月 10 日 2 年 長崎県佐世保市 6 何も知らずに生きている 川添あすか [かわぞえあすか] 2002 年 9 月 1 日 3 年 長崎県佐世保市 7 折々 菊永絢音 [きくながあやね] 2003 年 1 月 13 日 2 年 長崎県佐世保市 8 手助け 古賀風羽 [こがふうわ] 2002 年 11 月 17 日 2 年 長崎県東彼杵郡川棚町 9 祈り 後藤明香 [ごとうあすか] 2003 年 1 月 12 日 2 年 長崎県佐世保市 10 折り鶴への想い 佐藤瑠偉 [さとうるい] 2002 年 8 月 4 日 2 年 長崎県東彼杵郡東彼杵町 11 日常 杉坂美理愛 [すぎさかみりあ] 2001 年 12 月 3 日 3 年 長崎県佐世保市 12 平和の木 堤朝飛 [つつみあさひ] 2002 年 8 月 22 日 2 年 長崎県大村市 13 ランドセル 堤美優子 [つつみみゆこ] 2002 年 4 月 6 日 2 年 長崎県佐世保市 14 Pigeon of peace 西林百叶 [にしばやしももか] 2002 年 9 月 27 日 2 年 長崎県佐世保市 15 願い 日守咲季 [ひうさき] 2002 年 1 月 31 日 3 年 長崎県東彼杵郡波佐見町 16 幸せを運ぶ青い鳥 本田未来都 [ほんだみこと] 2002 年 9 月 13 日 2 年 長崎県北松浦郡佐々町 17 笑い 松本未来 [まつもとみらい] 2002 年 4 月 16 日 2 年 長崎県佐世保市 18 羽ばたく鶴 宮崎虎之介 [みやざきとらのすけ] 2003 年 2 月 26 日 2 年 長崎県大村市 19 見つめる 宮崎未季 [みやざきみき] 2003 年 2 月 21 日 2 年 長崎県東彼杵郡川棚町 20 繋ぐ 吉岡春菜 [よしおかはるな] 2001 年 4 月 10 日 3 年 長崎県東彼杵郡川棚町	2019 (令和元)	レーザープリント、紙	各 29.2 × 16.2	田中恒子氏寄贈
223-242	太田 三郎	POST WAR 75 広島の種子 1 シマトネリコ 2 トウカエデ 3 モミジバズカケノキ 4 クログネモチ 5 イロハカエデ 6 セイヨウタンポポ 7 ノボロギク 8 ナズナ 9 アオカモジグサ 10 カモジグサ 11 ナギナタガヤ 12 シロツメクサ 13 タチアオイ 14 ナガミヒナゲシ 15 イヌビロ 16 メヒシバ 17 オオテンニンギク 18 センニチコウ 19 フレンチマリーゴールド 20 シマズメノヒエ	2020 (令和 2)	レーザープリント・種子、紙	各 21.0 × 11.8	田中恒子氏寄贈
243	安藤 榮作	磁力の核へ・HUMAN BEING	2021 (令和 3)	木	166.0 × 23.0 × 33.0	田中恒子氏寄贈
244	國府 理	アートカレンダー 2010 KOKUFUMOBIL ♥ SAMBAR	2009 (平成 21)	インク、紙	38.0 × 29.0	田中恒子氏寄贈
245	パラモデル	極楽百景 第八景 新世界 八重勝 ニュー配達	2007 (平成 19)	ラムダプリント	100.0 × 120.0	田中恒子氏寄贈
246-249	パラモデル	トミ串	2007 (平成 19)	トミカ (ダイカスト製ミニカー)、 ブライザー、ジオラママット、 アルミ製トレイほか	各 5.0 × 25.0 × 19.0 (4 点)	田中恒子氏寄贈
250-253	パラモデル	トミ串	2007 (平成 19)	トミカ (ダイカスト製ミニカー)、 ブライザー、ジオラママット、 アルミ製トレイほか	各 5.0 × 30.0 × 25.0 (4 点)	田中恒子氏寄贈
254	大西 伸明	katorisenkou	2004 (平成 16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	0.5 × 11.0 × 10.6	田中恒子氏寄贈
255-259	岩村 遠	お家	2013 (平成 25)	陶	19.0 × 14.0 × 17.0 / 11.0 × 13.0 × 16.0 / 11.0 × 19.0 × 15.0 / 19.0 × 18.0 × 12.0 / 12.0 × 11.0 × 12.0 (5 点)	田中恒子氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
260	中岡 慎太郎	My Family	2014 (平成 26)	富士山溶岩、木曽檜杓	10.0 × 8.0 × 7.5	田中恒子氏寄贈
261	染谷 聡	みしき	2016 (平成 28)	漆、石、錫ほか	9.0 × 8.0 × 7.0	田中恒子氏寄贈
262	染谷 聡	むすび	2013 (平成 25)	漆、発泡スチロールほか	5.5 × 8.0 × 7.5	田中恒子氏寄贈
263	國政 聡志	tsubo	2012 (平成 24)	結東バンド、ビニールチューブ	102.0 × 55.0 × 55.0	田中恒子氏寄贈
264	熊井 恭子	Folding	1998 (平成 10)	ステンレススチール線	サイズ可変 [20.0 × 20.0 × 20.0 に収納可能]	田中恒子氏寄贈
265-269	山口 敏郎	赤い花	2013 (平成 25)	ワイヤー、和紙、石膏、顔料	各 34.0 × 5.0 × 5.0 (5点)	田中恒子氏寄贈
270	関島 寿子	#550 構造を持つ量塊 IV	2009 (平成 21)	クルミ樹皮、アケビ	15.5 × 25.0 × 24.5	田中恒子氏寄贈
271	関島 寿子	#589 域を印す I	2013 (平成 25)	ヤマボウシ、エノキ、麻糸、釘	23.0 × 57.0 × 24.0	田中恒子氏寄贈
272	ひろい のぶこ	A MILLION EYE-TWINKLING STARS- 千眼	2009 (平成 21)	貝ボタン、リネン、糸	105.0 × 280.0 × 7.0	田中恒子氏寄贈
273	手塚 愛子	縫う絵	2005 (平成 17)	布、糸	67.0 × 67.0	田中恒子氏寄贈
274	宮田 彩加	篤流水図	2015 (平成 27)	ミシン糸、綿布	11.5 × 25.2 × 20.5	田中恒子氏寄贈
275	亀谷 彩	蓮の舟	2007 (平成 19)	漆、布、竹、粘土	6.5 × 6.5 × 6.0	田中恒子氏寄贈
276	山野 千里	ヒラメサーファー	2008 (平成 20)	陶	4.0 × 9.0 × 4.5	田中恒子氏寄贈
277	中村 潤	めいめいの重なり 6	2018 (平成 30)	ポリエチレン製糸	40.0 × 36.0 × 36.0	田中恒子氏寄贈
278	堀 香子	あまねく その指で	2011 (平成 23)	陶	33.0 × 34.0 × 36.0	田中恒子氏寄贈
279	西田 潤	No.3-A 絶	2001 (平成 13)	磁土、釉薬	74.0 × 74.0 × 66.0	田中恒子氏寄贈
<b>(展示室外の作品)</b>						
280	宇佐美 圭司	遺作・制動 (プレーキ)・大洪水	2012 (平成 24)	油彩、キャンバス	291.0 × 291.0	個人蔵
281	建島 覚造	DISK 4	1977 (昭和 52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0	
282	建島 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0 × 170.0 × 75.0	作者寄贈
283	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	57.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
284	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	匿名寄贈
285	フランク・ステラ	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0 × 760.0	
286	バリー・フラナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
287	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	
288	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成 6-7)	鉄	60.0 × 127.5 × 451.2	
289	イサム・ノグチ	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0 × 113.0 × 71.8	
290	ケネス・スネルソン	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0 × 1000.0 × 360.0	
291	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0 × 500.0 × 500.0	田中恒子氏寄贈
292	鈴木 久雄	木の現象 <喬木 1>	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 82.0	作者寄贈
293	鈴木 久雄	木の現象 <喬木 2>	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0 × 76.0 × 83.0	作者寄贈
294	鈴木 久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0 × 590.0 × 180.0	作者寄贈
295	鈴木 久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0 × 800.0 × 624.0	作者寄贈



会場風景

## 3-4. コレクション名品選

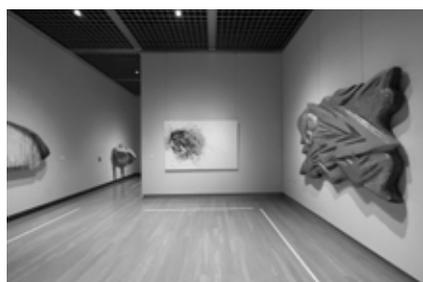
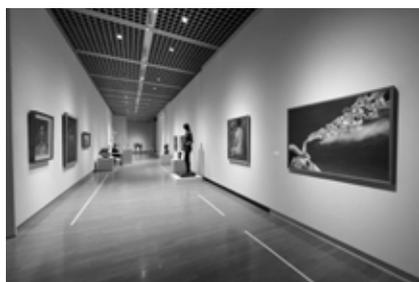
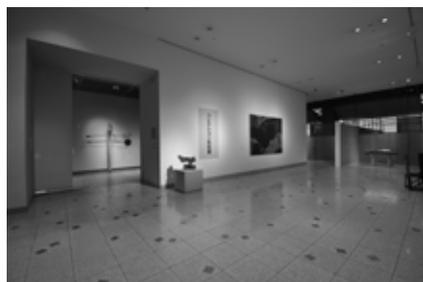
- 会期 : 2023年1月7日(土)～1月22日(日) 14日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室B(1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 1,476名
- 内容 : 県展、ジュニア県展の会期に合わせて、コレクションから名品を選び、特に彫刻作品を多く展示した。
- 展示点数 : 45作家54点 \*展示室外を含む
- 担当学芸員 : 奥村泰彦
- 制作物 : ・出品目録(A4判8頁)  
・プレスリリース(A4判2頁)
- 入場料金 : 無料
- 自己評価・ : 展示室の一部を作品保管のために使わざるを得ず、限られた面積に多数の作品を展示することとなり、窮屈な印象を与えたかもしれない。
- 課題・ : ジュニア県展の会期と重なるため、作品の展示を低めに設定し、親しみやすさを演出した。作家や作品についての情報をより多く提供できるように取り組みたい。
- 改善案
- 関連記事 : ・「保田龍門 春彦父子ら40点 来月・県立近代美術館コレクション名品選」『毎日新聞』(和歌山版)2022年12月22日、20面  
・「近代から現代への美術「コレクション名品選」1月7日から 県立近代美術館」『紀伊民報』第24139号2022年12月24日、5面  
・「コレクション名品選 1月7日～ 県立近代美術館」『わかやま新報』2022年12月28日、3面  
・「県立近代美術館 コレクション名品選」『和歌山特報』第1746号2023年1月1日、29面  
・「独創的アート 名品50点 県立近代美術館 県ゆかり作家展」『読売新聞』(地域版)2023年1月9日、27面
- その他 : ・[コレクション名品選について] テレビ和歌山、2023年1月7日放送か
- メディア報道 : ・[コレクション名品選について] NHK和歌山「ギュギュっと和歌山」、2023年1月13日放送か

### コレクション名品選 出品目録

\*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵/備考
1	保田 春彦	父の像	1951 (昭和26) / 2013 (平成25)	ブロンズ	65.0 × 53.0 × 28.0	
2	保田 龍門	自画像	1915 (大正4)	油彩、キャンバス	60.9 × 50.2	
3	保田 龍門	アンドレ像	1921 (大正10)	油彩、キャンバス	54.7 × 45.8	
4	保田 龍門	アンドレの首	1922 (大正11)	ブロンズ	20.3 × 20.0 × 20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈
5	保田 龍門	少女	1925 (大正14)	ブロンズ	184.9 × 67.0 × 51.0	
6	神中 糸子	海岸風景	1888-92 (明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0 × 80.4	神中茂次氏寄贈
7	石垣 栄太郎	街	1925 (大正14)	油彩、キャンバス	126.0 × 91.0	
8	原 勝四郎	画工像	1932 (昭和7)	油彩、厚紙	65.0 × 52.6	
9	浜地 清松	裸婦	制作年不詳	油彩、キャンバス	98.8 × 80.5	
10	高井貞二	煙	1933 (昭和8)	油彩、キャンバス	91.1 × 117.0	高井志づ氏寄贈
11	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和9)	油彩、キャンバス	167.3 × 267.2	
12	建畠 大夢	感に打たれた女	1932 (昭和7) / 鑄造年不詳 (生前鑄造)	ブロンズ	161.0 × 40.0 × 44.0	
13	建畠 大夢	おゆのつかれ	1913 (大正2) / 1970 (昭和45) 鑄造	ブロンズ	68.0 × 40.0 × 56.0	
14	村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和11)	油彩、キャンバス	112.2 × 194.2	
15	野長瀬 晩花	奈良	1917 (大正6) 頃	顔料、絹	43.4 × 56.4	田中明里子氏寄贈
16	日高 昌克	静物	1926 (大正15)	顔料、絹	34.4 × 41.8	瀧北敏久氏寄贈
17	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6 × 359.9 × 270.4	
18	イサム・ノグチ	ヴォイド	1971 (昭和46) / 1979 (昭和54) 鑄造	ブロンズ	116.0 × 86.0 × 66.0	
19	ドナルド・ジャッド	無題	1988 (昭和63)	アルミニウム	30.0 × 210.4 × 30.0	
20	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6	
21	ルイーゼ・ニーヴェルソン	空のザグII	1974 (昭和49)	木	95.0 × 136.0 × 22.0	
22	アンソニー・カロ	カタロニアのふぶき(カタロニア・シリーズ)	1987-88 (昭和62-63)	鉄	104.5 × 60.0 × 72.0	
23	ジャコモ・マンズー	ジュリア像	制作年不詳	ブロンズ	60.0 × 70.0 × 64.0	玉井一郎氏寄贈
24	アルマン	黄色のチューブ	1960 (昭和35)	アクリル絵具、チューブ、合成樹脂	44.7 × 25.0 × 6.0	
25	柳原 義達	道標・鳩	1973 (昭和48)	ブロンズ	41.0 × 52.0 × 28.0	
26	柳原 義達	道標・鴉	1978 (昭和53)	ブロンズ	57.0 × 66.0 × 27.5	
27	建畠 覚造	核	1956 (昭和31)	セメント、鉄	63.0 × 53.0 × 43.0	作者寄贈
28	木村 賢太郎	話	1964 (昭和39)	石	74.8 × 46.0 × 43.9	藤田慎一郎氏寄贈
29	今村 輝久	不在の中のかたち 33	1978 (昭和53)	亜鉛	15.0 × 40.0 × 40.0	今村悦美氏・今村源氏寄贈
30	保田 春彦	斜面のある風景 二題	1973 (昭和48)	ステンレススチール	115.8 × 50.0 × 60.3	
31	清水 九兵衛	WIG 7	1980 (昭和55)	アルミニウム	97.5 × 18.5 × 12.2	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考
32	森口 宏一	作品	1981 (昭和 56)	ステンレススチール、スチール、スチールネット、メラミン樹脂焼付塗装	240.0 × 120.0 × 50.0	
33	山口 牧生	かたむくかたち A	1984 (昭和 59)	黒御影石、ベンガラ	177.0 × 75.5 × 50.5	
34	福岡 道雄	石をおとす (2)	1977 (昭和 52)	黒色強化ポリエステル	97.0 × 46.0 × 60.5	
35	宮崎 豊治	身辺モデル類似化-	1985 (昭和 60)	鉄、漆	150.0 × 54.0 × 45.0	
36	川島 慶樹	三色	1989 (平成元)	木、鉄、顔料、アクリル絵具	210.0 × 260.0 × 50.0	
37	中西 學	THUNDER	1988 (昭和 63)	発泡スチロール、アクリル樹脂ほか	138.0 × 181.0	南口友厚氏寄贈
38	館 勝生	September. 1. 2008	2008 (平成 20)	油彩、キャンバス	130.3 × 194.0	
39	中川 佳宣	果実あつめ I	1989 (平成元)	アクリル絵具、再生紙	94.5 × 180.0 × 15.0	
40	山崎 亨	帰宅の器	1992-94 (平成 4-6)	ポリエステル樹脂、油彩	88.0 × 101.0 × 75.0	個人蔵
41	小泉 雅代	KAGAMIMOCHI (PINK)	2002 (平成 14)	石粘土、カシュー、アクリル絵具ほか	24.0 × 36.0 × 36.0	田中恒子氏寄贈
42	小泉 雅代	KAGAMIMOCHI (BLACK)	2002 (平成 14)	石粘土、カシュー、アクリル絵具ほか	21.0 × 25.0 × 25.0	田中恒子氏寄贈
43	安藤 榮作	歩く富士山	2015 (平成 27)	木	23.5 × 15.0 × 14.0	田中恒子氏寄贈
44	北辻 良央	オーリーブ・祈る人	1989 (平成元)	鉄、木、石、銅、ステンレススチール	245.0 × 202.0 × 52.0	
<b>(展示室外の作品)</b>						
45	湯川 雅紀	福耳	2011 (平成 23)	油彩、キャンバス	182.0 × 259.0	
46	小河 朋司	COLOR TINTRED AND BLUE-	1996 (平成 8)	木、アクリル絵具、ミックスホワイト	240.0 × 25.0 × 20.0	作者寄贈
47	戸谷 成雄	吊された森	1995 (平成 7)	木、灰、鉄、アクリル絵具	140.0 × 35.0 × 25.0	田中恒子氏寄贈
48	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	匿名寄贈
49	フランク・ステラ	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0 × 760.0	
50	宇佐美 圭司	遺作・制動 (ブレーキ)・大洪水	2012 (平成 24)	油彩、キャンバス	291.0 × 291.0	個人蔵
51	建畠 覚造	DISK 4	1977 (昭和 52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0	
52	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈
53	バリー・フラナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5	
54	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	



会場風景

## 3-5. コレクション展 2023 ー春 / 特集 新収蔵 奈良原一高の写真

- 会期 : 2023年2月11日(土)～3月31日(金) [5月7日(日)] 74日間(休館日を除く)  
 \*前期展示:2月11日(土)～3月26日(日)、後期展示:3月28日(火)～5月7日(日)
- 会場 : 展示室A・B(1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 5,403名 [7,301名]
- 内容 : 所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示した。「とびたつとき」展に関連して、デモクラート美術家協会に参加した泉茂や吉原英雄らの同僚や教え子らの作品を多く紹介した。また、新たに収蔵された奈良原一高の写真作品から、「無国籍地」「人間の土地」「王国」を特集して展示した。
- 展示点数 : 【コレクション展】89作家125点(前期:89作家117点/後期:88作家117点)\*展示室外を含む【特集 奈良原一高】1作家95点
- 担当学芸員 : 【コレクション展】奥村泰彦【特集 奈良原一高】奥村一郎
- 関連事業 : ・講演会「『写真家 奈良原一高の誕生した瞬間』より」講師:新美虎夫(奈良原一高アーカイブズ代表) 2月11日(土)14:00～15:30 2階ホールにて 31名  
 ・講演会「壁 奈良原一高「人間の土地」から「王国」へ」講師:蔦谷典子(島根県立美術館主任学芸員)3月19日(日)14:00～15:30 2階ホールにて 35名  
 ・フロアレクチャー 3月11日(土)、4月8日(土)14:00～15:00 1階展示室にて 52名、35名 奥村一郎\*照井莊平(写真家)とともに
- 制作物 : ・「特集 新収蔵 奈良原一高の写真」チラシ(A4判、オフセット印刷)  
 ・「コレクション展」出品目録(A4判8頁)  
 ・「特集 新収蔵 奈良原一高の写真」出品目録(A4判6頁)  
 ・プレスリリース(A4判5頁)
- 入場料金 : 一般350円(270円)、大学生240円(180円) ( )内は20名以上の団体料金
- 自己評価・改善案 : 【コレクション展】前半は「とびたつとき」展に関連してデモクラート美術家協会の作家たちの大学での教え子や同僚の作品を紹介。季節にちなんだ洋画、日本画を挟んでキュビズムの表現を紹介した。【特集 奈良原一高】「とびたつとき」展の出品作家池田満寿夫と奈良原が同じグループなどで行動をとともにした1950年代に注目して、この時代の奈良原の代表作「無国籍地」「人間の土地」「王国」から展示を構成することで、美術と写真における時代の革新を示すことができた。奈良原の師弟や研究者それぞれの視点による講演や、写真家照井氏と共に行ったレクチャーも作品理解のための充実した機会となった。写真展示を楽しみに来館される方も多く、継続してこの分野の充実を図っていきたい。
- 関連記事 : ・「日本を代表する写真家「奈良原一高の写真」開催中！」『和歌山特報』第1751号2023年2月21日、10面  
 ・松本博子「新収蔵 奈良原一高の写真展 5月7日まで 県立近代美術館」『毎日新聞』(地方版)2023年2月23日、17面(同日ウェブでも配信)  
 ・「奈良原一高の写真」5月7日まで 県立近代美術館『紀伊民報』第24194号2023年3月4日、5面(3月3日ウェブでも配信)  
 ・「県立近代美術館で奈良原一高写真展 95点展示、和歌山刑務所写した代表作も」『和歌山経済新聞』2023年3月10日ウェブ配信
- その他 : ・「#89 特集:和歌山県立近代美術館で開催中「奈良原一高の写真」展の魅力<ゲスト>奥村一郎さん(学芸員)」Podcast「本屋プラグラジオ」メディア報道 2023年4月6日配信

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年12月28日

### コレクション展 2023- 春 / 特集 新収蔵 奈良原一高の写真 出品目録

前期2月11日-3月26日/後期3月28日-5月7日

\*特に記載のない作品は当館蔵 \*特集の奈良原一高作品はすべて榎原恵子氏(奈良原一高アーカイブズ)寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考	前期 / 後期
(展示室B)							
和歌山ゆかりの作家たち							
1	保田 春彦	父の像	1951(昭和26)/ 2013(平成25) 鋳造	ブロンズ	65.0×53.0×28.0		
2	保田 龍門	自画像	1915(大正4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2		
3	保田 龍門	アンドレ像	1921(大正10)	油彩、キャンバス	54.7×45.8		
4	保田 龍門	アンドレの首	1922(大正11)	ブロンズ	20.3×20.0×20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈	
5	保田 龍門	少女	1925(大正14)	ブロンズ	184.9×67.0×51.0		
6	神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈	
7	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0		
8	原 勝四郎	画工像	1932(昭和7)	油彩、厚紙	65.0×52.6		
9	浜地 清松	裸婦	制作年不詳	油彩、キャンバス	98.8×80.5		
10	高井 貞二	煙	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	91.1×117.0	高井志づ氏寄贈	
11	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2		
12	建島 大夢	感に打たれた女	1932(昭和7)/ 鋳造年不詳(生前鋳造)	ブロンズ	161.0×40.0×44.0		
13	建島 大夢	おゆのつかれ	1913(大正2)/ 1970(昭和45) 鋳造	ブロンズ	68.0×40.0×56.0		
14	村井 正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2		
15	野長瀬 晩花	鳥の春	1919(大正8) 頃	顔料、絹	33.6×42.0		前
16	野長瀬 晩花	初夏	1912(明治45)	顔料、絹	110.2×41.8		後
17	日高 昌克	草	1923(大正12)	顔料、絹	39.4×44.8	池田壽一氏寄贈	前

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考	前期 / 後期
18	日高 昌克	初夏峰巒図	制作年不詳	墨・彩色、紙	58.1 × 30.7	池田壽一氏寄贈	後
<b>(エントランスホールに展示)</b>							
19	宇佐美 圭司	遺作・制動 (ブレーキ)・大洪水	2012 (平成 24)	油彩、キャンバス	291.0 × 291.0		
20	湯川 雅紀	福耳	2011 (平成 23)	油彩、キャンバス	182.0 × 259.0 × 4.5		
21	小河 朋司	COLOR TINT -RED AND BLUE-	1996 (平成 8)	木、アクリル絵具、ミックスホワイト	240.0 × 25.0 × 20.0	作者寄贈	
<b>現代の美術—彫刻を中心に</b>							
22	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6 × 359.9 × 270.4		
23	イサム・ノグチ	ヴォイド	1971 (昭和 46) / 1979 (昭和 54) 鑄造	ブロンズ	116.0 × 86.0 × 66.0		
24	ドナルド・ジャッド	無題	1988 (昭和 63)	アルミニウム	30.0 × 210.4 × 30.0		
25	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	176.2 × 136.6		
26	ルイズ・ニーヴェルソン	空のザグ II	1974 (昭和 49)	木	95.0 × 136.0 × 22.0		
27	アンソニー・カロ	カタロニアのふぶき (カタロニア・シリーズ)	1987-88 (昭和 62-63)	鉄	104.5 × 60.0 × 72.0		
28	ジャコモ・マンズー	ジュリア像	制作年不詳	ブロンズ	60.0 × 70.0 × 64.0	玉井一郎氏寄贈	
29	アルマン	黄色のチューブ	1960 (昭和 35)	アクリル絵具、チューブ、合成樹脂	44.7 × 25.0 × 6.0		
<b>戦後の日本美術—彫刻を中心に</b>							
30	柳原 義達	道標・鳩	1973 (昭和 48)	ブロンズ	41.0 × 52.0 × 28.0		
31	柳原 義達	道標・鳩	1978 (昭和 53)	ブロンズ	57.0 × 66.0 × 27.5		
32	建畠 覚造	核	1956 (昭和 31)	セメント、鉄	63.0 × 53.0 × 43.0	作者寄贈	
33	建畠 覚造	DISK 4	1977 (昭和 52)	アルミニウム、真鍮	56.0 × 156.0 × 88.0	*エントランスホールに展示	
34	木村 賢太郎	話	1964 (昭和 39)	石	74.8 × 46.0 × 43.9	藤田慎一郎氏寄贈	
35	今村 輝久	不在の中のかたち 33	1978 (昭和 53)	亜鉛	15.0 × 40.0 × 40.0	今村悦美氏・今村源氏寄贈	
36	清水 九兵衛	WIG 7	1980 (昭和 55)	アルミニウム	97.5 × 18.5 × 12.2		
37	保田 春彦	斜面のある風景 二題	1973 (昭和 48)	ステンレススチール	115.8 × 50.0 × 60.3		
38	保田 春彦	格子と壁	1998 (平成 10)	ブロンズ	60.0 × 29.9 × 44.0	作者寄贈 *エントランスホールに展示	
39	保田 春彦	梯子と壁	1998 (平成 10)	ブロンズ	62.0 × 29.9 × 46.6	作者寄贈 *エントランスホールに展示	
40	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0 × 335.0 × 305.0	*屋外に展示	
41	森口 宏一	作品	1981 (昭和 56)	ステンレススチール、スチール、スチールネット、メラミン樹脂焼付塗装	240.0 × 120.0 × 50.0		
42	山口 牧生	かたむくかたち A	1984 (昭和 59)	黒御影石、ベンガラ	177.0 × 75.5 × 50.5		
43	福岡 道雄	石をおとす (2)	1977 (昭和 52)	黒色強化ポリエステル	97.0 × 46.0 × 60.5		
44	宮崎 豊治	身辺モデル—類似化—	1985 (昭和 60)	鉄、漆	150.0 × 54.0 × 45.0		
45	北辻 良央	オリーブ・祈る人	1989 (平成元)	鉄、木、石、銅、ステンレススチール	245.0 × 202.0 × 52.0		
46	戸谷 成雄	吊された森	1995 (平成 7)	木、灰、鉄、アクリル	140.0 × 35.0 × 25.0	田中恒子氏寄贈 *エントランスホールに展示	
<b>デモクラートの残響 泉茂と吉原英雄の同僚・教え子たち</b>							
47	川島 慶樹	三色	1989 (平成元)	木、鉄、顔料、アクリル絵具	210.0 × 260.0 × 50.0		
48	中西 學	THUNDER	1988 (昭和 63)	発泡スチロール、アクリル樹脂ほか	138.0 × 181.0	南口友厚氏寄贈	
49	館 勝生	September. 1. 2008	2008 (平成 20)	油彩、キャンバス	130.3 × 194.0		
50	中川 佳宣	果実あつめ I	1989 (平成元)	アクリル絵具、再生紙	94.5 × 180.0 × 15.0		
51	山崎 亨	帰宅の器	1992-94 (平成 4-6)	ポリエステル樹脂、油彩	88.0 × 101.0 × 75.0	個人蔵	
52	北堅 吉彦	山並 - senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0 × 1020.0	*作者の厚意により保存大階段踊場に展示	
53	八木 一夫	陰気な曆	1977 (昭和 52)	黒陶	30.4 × 30.6 × 7.8		
54	鈴木 治	土偶 野武士	1959 (昭和 34)	陶	43.0 × 26.0 × 18.0		
55	堀内 正和	人差指	1965 (昭和 40)	ブロンズ	33.1 × 16.3 × 16.0		
<b>(展示室 A)</b>							
56	木村 秀樹	H 君の水鳥	1983 (昭和 58)	シルクスクリーン、キャンバス	88.8 × 89.6	匿名寄贈	
57	木村 秀樹	Pencil 2-1	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、紙	75.5 × 107.1	ブリッジ寄贈	
58	木村 秀樹	Pencil 2-2	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、紙	75.6 × 107.1	ブリッジ寄贈	
59	木村 秀樹	Pencil 2-3	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、紙	75.2 × 106.8		
60	田中 孝	風向 -1	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、紙	162.0 × 162.0	個人蔵	
61	田中 孝	方位 -3	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、紙	162.0 × 162.0	個人蔵	
62	中路 規夫	Paper on the Paper 6P# Caribbean Sea	1985 (昭和 60)	シルクスクリーン、紙	55.6 × 75.6	ブリッジ寄贈	
63	安東 菜々	Work I-21	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、紙	180.5 × 261.0	個人蔵	
64	山本 容子	A Birth <June Brand '75>	1975 (昭和 50)	銅版・シルクスクリーン、紙	61.0 × 88.0	個人蔵	
65	山本 容子	Cock Jonathan <June Brand '75>	1975 (昭和 50)	銅版・シルクスクリーン、紙	61.0 × 88.0	個人蔵	
66	山本 容子	Walking Worker-Warhol <Portrait>	1982 (昭和 57)	銅版、紙	45.1 × 60.4	ブリッジ寄贈	
67	山本 容子	Dancing Drinker <Portrait>	1982 (昭和 57)	銅版、紙	45.0 × 60.0	金子光晴氏寄贈	
68	柳原 睦夫	破顔笑口壺	1990 (平成 2)	陶	65.0 × 32.5 × 32.0		
69	坪田 政彦	描・描・点	2002 (平成 14)	油彩、キャンバス	100.0 × 80.3		
70	呉本 俊松	兎のまね	1991 (平成 3)	油彩、パステル、キャンバス	40.9 × 28.9	小倉キサ子氏寄贈	
71	杉山 英行	スクラップ	1958 (昭和 33)	油彩、キャンバス	73.0 × 53.3	荒木高子氏寄贈	
72	津高 和一	キム キム	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	91.3 × 117.0		
73	山田 光	作品	1956 (昭和 31)	陶	20.2 × 35.0 × 22.3		
<b>近代の洋画と季節の日本画</b>							
74	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正 3)	油彩、板	51.3 × 39.2	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考	前期 / 後期
75	萬 鐵五郎	雪の景	1916-18 (大正 5-7) 頃	油彩、キャンバス	50.0 × 60.6	個人蔵	
76	国枝 金三	梅林 (みなべ)	制作年不詳	油彩、キャンバス	60.5 × 72.5	個人蔵	
77	玉村 方久斗	梅	大正末 - 昭和初期	顔料、絹	124.9 × 34.3	北川久氏寄贈	前
78	山口 八九子	月ヶ瀬梅溪	1921 (大正 10) 頃	顔料、絹	144.0 × 55.9		前
79	野長瀬 晩花	春景色	制作年不詳	顔料、絹	129.0 × 26.8	個人蔵	前
80	日高 昌克	早春の山	1942 (昭和 17) 頃	墨、紙	37.8 × 52.0	池田壽一氏寄贈	前
81	玉置 照信	久地の梅	1930-31 (昭和 5-6)	顔料、絹	171.5 × 316.0	個人蔵	前
82	小野 竹喬	春浅き海辺	1918 (大正 7)	顔料、絹	30.0 × 43.0		後
83	大亦 親風	春の水	1925 (大正 14)	顔料、紙	138.8 × 30.3	大亦博彦氏寄贈	後
84	野長瀬 晩花	さみだれのころ	1920 (大正 9)	顔料、絹	154.5 × 51.0		後
85	日高 昌克	春溪	1952 (昭和 27)	墨、紙	43.5 × 52.0	個人蔵	後
86	保田 龍門	四季 (春夏秋冬)	昭和初期	水彩・色鉛筆、紙	177.5 × 374.0	木原達夫氏寄贈	後
87	木下 孝則	猫	1926 (大正 15 / 昭和元)	油彩、キャンバス	50.2 × 59.0		
88	木下 義謙	カーニウ風景	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	62.0 × 73.2	作者寄贈	
89	碓 伊之助	プザンソン風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	50.1 × 60.8	小島善太郎氏寄贈	
90	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	61.0 × 50.3	個人蔵	

#### なんかカクカクーキュビズムについて

91	パブロ・ピカソ	テーブル [マックス・ジャコブ著『聖マトレル』より]	1910-11 (明治 43-44)	銅版、紙	20.0 × 14.1		前
92	パブロ・ピカソ	レオニー嬢 [マックス・ジャコブ著『聖マトレル』より]	1910-11 (明治 43-44)	銅版、紙	20.0 × 14.2		後
93	ジョルジュ・ブラック	コンポジション (静物 I)	1911 (明治 44) / 1950 (昭和 25) 刷	銅版、紙	34.7 × 21.8		
94	アンドレ・ロート	ミルマンドの城壁	制作年不詳	油彩、キャンバス	33.0 × 24.0		
95	フェルナン・レジェ	軽業師マリー	1948 (昭和 23)	石版、紙	55.2 × 42.9		
96	パウル・クレー	高い、高い!	1928 (昭和 3)	銅版、紙	23.0 × 22.8		
97- 107	パブロ・ピカソ アンドレ・ドラ ジョルジュ・ブラック ジャン・メッツァンジェ マリー・ローランサン アルベール・グレイズ フェルナン・レジェ ファン・グリ フランス・ピカビア ジャック・ヴィヨン マルセル・デュシャン	アルベール・グレイズ、ジャン・メッツァンジェ 著『キュビズムについて』 1. 帽子をかぶった男 2. 無題 3. 無題 4. 無題 5. 無題 6. 無題 7. 無題 8. 無題 9. 無題 10. 無題 11. 無題	1947 (昭和 22)	銅版、紙	6.8 × 5.6 17.8 × 13.0 17.9 × 13.0 17.9 × 12.8 17.9 × 12.9 18.0 × 12.9 17.9 × 12.9 17.8 × 14.0 18.0 × 13.0 7.9 × 13.0 18.1 × 8.2	所明義氏寄贈	
108	黒田 重太郎	少女マドオの像	1924 (大正 13)	パステル、紙	48.3 × 31.5		
109	黒田 重太郎	ドルドオニユ山村の初秋	1923 (大正 12)	油彩、キャンバス	37.0 × 45.3		
110	川口 軌外	風景	1925 (大正 14) 頃	油彩、キャンバス	65.0 × 81.2	川口京村氏寄贈	
111	川口 軌外	裸婦群像	1925 (大正 14) 頃	油彩、キャンバス	88.2 × 94.1	川口京村氏寄贈	
112	川口 軌外	水差しのある静物	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	80.0 × 65.7	川口京村氏寄贈	
113	川口 軌外	地雑	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	155.5 × 195.5		
114	東郷 青児	静物	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	46.0 × 38.0		
115	古賀 春江	海水浴	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	91.3 × 117.0		
116	石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	75.4 × 91.2		
117	建畠 覚造	はにわ	1953 (昭和 28)	木	83.5 × 36.0 × 18.8	作者寄贈	
118	建畠 覚造	かぼ	1953 (昭和 28)	木	69.5 × 21.5 × 30.2	作者寄贈	
119	今村 輝久	作品・座	1955 (昭和 30)	石膏	50.0 × 38.0 × 34.0	今村悦美氏・今村源氏 寄贈	
120	林 康夫	人体	1950 (昭和 25)	陶	46.0 × 23.0 × 18.5		
121	林 康夫	作品 (弧)	1955 (昭和 30)	陶	39.5 × 34.0 × 24.3		

#### (展示室外の作品)

122	フランク・ステラ	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0 × 760.0		
123	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0 × 186.5 × 12.0	玉井一郎氏寄贈	
124	バリー・フラナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0 × 187.0 × 128.5		
125	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0 × 125.0 × 136.0	匿名寄贈	

#### 特集 新収蔵 奈良原一高の写真

##### <無国籍地 Stateless Land>

126	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 2016 (平成 28) プリント	ラムダプリント	32.7 × 21.7	[台帳番号: 12650]	
127	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	22.3 × 33.0	[台帳番号: 12651]	
128	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	21.7 × 32.9	[台帳番号: 12652]	
129	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	32.9 × 21.6	[台帳番号: 12653]	
130	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.0 × 21.5	[台帳番号: 12654]	
131	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.0 × 21.8	[台帳番号: 12655]	
132	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.1 × 21.7	[台帳番号: 12656]	
133	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.1 × 21.7	[台帳番号: 12657]	
134	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.0 × 21.6	[台帳番号: 12658]	

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵 / 備考	前期 / 後期
135	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.0 × 21.8	[台帳番号: 12659]	
136	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.0 × 21.8	[台帳番号: 12660]	
137	奈良原 一高	<無国籍地> より	1954-56 (昭和 29-31) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.1 × 21.4	[台帳番号: 12661]	
<b>&lt;人間の土地 Human Land&gt;</b>							
138	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: 軍艦島全景 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1986 (昭和 61) プリント	ゼラチンシルバープリント	22.0 × 32.9	[台帳番号: 12662]	
139	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: 岩壁 (ベトン) <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	47.7 × 32.0	[台帳番号: 12663]	
140	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: 岩壁 (ベトン) <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1986 (昭和 61) プリント	ゼラチンシルバープリント	22.0 × 32.8	[台帳番号: 12664]	
141	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: 地下道 (トンネル) <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.9 × 37.9	[台帳番号: 12665]	
142	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: 地下道 (トンネル) <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.9 × 37.9	[台帳番号: 12666]	
143	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: 雪の貯炭場 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.8 × 48.3	[台帳番号: 12667]	
144	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: 浴場 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.8 × 48.0	[台帳番号: 12668]	
145	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: 浴場 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 2020 (令和 2) プリント	ラムダプリント	32.9 × 21.8	[台帳番号: 12669]	
146	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: アパート俯瞰、 昼景 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 2002 (平成 14) プリント	ゼラチンシルバープリント	47.9 × 32.0	[台帳番号: 12670]	
147	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: お使いの子供 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1986 (昭和 61) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.0 × 21.8	[台帳番号: 12671]	
148	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: アマリリスのあるバルコ ニー <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.1 × 48.0	[台帳番号: 12673]	
149	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: 中ノ島の無緑墓地 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1996 (平成 8) プリント	ゼラチンシルバープリント	32.6 × 21.5	[台帳番号: 12674]	
150	奈良原 一高	緑なき島—軍艦島: アパートの屋上 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	48.1 × 32.1	[台帳番号: 12675]	
151	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 破れた野良 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1999 (平成 11) プリント	ゼラチンシルバープリント	32.8 × 21.7	[台帳番号: 12676]	
152	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 薪運び <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	21.6 × 32.8	[台帳番号: 12677]	
153	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: メンコ遊び <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.0 × 21.6	[台帳番号: 12678]	
154	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 露天風呂 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1999 (平成 11) プリント	ゼラチンシルバープリント	32.9 × 21.6	[台帳番号: 12679]	
155	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 牛を追う少年、燃島 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	22.8 × 33.0	[台帳番号: 12680]	
156	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 燃島の流木 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	33.0 × 21.8	[台帳番号: 12681]	
157	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 埋れた鳥居 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 2020 (令和 2) プリント	ラムダプリント	40.5 × 27.0	[台帳番号: 12682]	
158	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 船底に横たわる怪我人 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1987 (昭和 62) プリント	ゼラチンシルバープリント	21.8 × 33.0	[台帳番号: 12683]	
159	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 雨の日の熔岩の入江 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.8 × 48.0	[台帳番号: 12684]	
160	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 月の出の入江 <人間の土地> より	1954-57 (昭和 29-32) / 1999 (平成 11) プリント	ゼラチンシルバープリント	32.8 × 21.6	[台帳番号: 12685]	
<b>&lt;王国 Domains&gt;</b>							
161	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1996 (平成 8) プリント	ゼラチンシルバープリント	47.6 × 31.3	[台帳番号: 12686]	
162	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1998 (平成 10) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.8 × 48.1	[台帳番号: 12687]	
163	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1984 (昭和 59) プリント	ゼラチンシルバープリント	47.8 × 31.5	[台帳番号: 12688]	
164	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1998 (平成 10) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.7 × 47.7	[台帳番号: 12690]	
165	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	47.6 × 34.1	[台帳番号: 12691]	
166	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.9 × 47.8	[台帳番号: 12693]	
167	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	36.2 × 47.7	[台帳番号: 12696]	
168	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	47.7 × 37.8	[台帳番号: 12697]	
169	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.6 × 47.8	[台帳番号: 12698]	
170	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1998 (平成 10) プリント	ゼラチンシルバープリント	38.1 × 47.7	[台帳番号: 12699]	
171	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.8 × 47.8	[台帳番号: 12701]	
172	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1998 (平成 10) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.8 × 47.8	[台帳番号: 12702]	
173	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	47.8 × 32.1	[台帳番号: 12706]	
174	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1996 (平成 8) プリント	ゼラチンシルバープリント	47.7 × 30.2	[台帳番号: 12708]	
175	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.9 × 47.5	[台帳番号: 12709]	
176	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1997 (平成 9) プリント	ゼラチンシルバープリント	31.7 × 47.8	[台帳番号: 12710]	
177	奈良原 一高	沈黙の園 <王国> より	1958 (昭和 33) / 1998 (平成 10) プリント	ゼラチンシルバープリント	47.6 × 31.8	[台帳番号: 12713]	





チラシ表 / 裏



会場風景

## 4-1 和歌山県とインド・マハラシュトラ州との友好交流による ミティラー美術館コレクション展 インド・コスモロジーアートの世界

- 会期 : 2022年10月8日(土)～12月25日(日) 68日間(休館日を除く)
- 会場 : 展示室B(1階)
- 主催 : 和歌山県、和歌山県立近代美術館
- 特別協力 : 在大阪・神戸インド総領事館
- 協力 : エアインディア
- 入場者数 : 7,365名 \*「コレクション展 2022- 秋冬」と共通
- 内容 : 2022(令和4)年、日本とインドの国交樹立70周年、インド独立75周年を迎え、さらに2023(令和5)年に和歌山県とマハラシュトラ州との覚書締結10周年を迎えることを記念し、独自のコスモロジーを表現するインド美術を収集してきたミティラー美術館(新潟県)のコレクションからミティラー画、ワルリー画、ゴンド画、テラコッタなどを紹介した。
- 展示点数 : 18作家45点に加え、リーディング・コーナーでミティラー画等116点を展示
- 担当学芸員 : 奥村一郎、藤本真名美
- 関連事業 :
  - ・インド舞踊のパフォーマンス(展覧会オープニングに合わせて実施)出演:グル・ジェーラム・アビナーシュ・プランジャパー主宰オディッシー舞踊団「スマタレ」10月7日(金)15:00～15:30 屋外アプローチプラザにて 約100名
  - ・ミティラー美術館館長によるフロアレクチャー 講師:長谷川時夫(ミティラー美術館館長)10月9日(日)13:00～14:00 1階展示室Bにて 43名
  - ・インドの伝統工芸士5名によるデモンストレーション「インド独立75周年・日印国交樹立70周年記念 インド手しごとの世界～木・竹・布・革～」10月18日(火)～20日(木)11:00～15:00 1階リーディングコーナーにて
  - ・長谷川時夫トーク&ライブ「タージ・マハル旅行団からミティラー美術館へ」11月5日(土)15:30～18:30 2階ホールにて 68名  
協力:和歌山県立近代美術館友の会、特別協力:re\_location  
トーク出演:川崎弘二(電子音楽研究)、長谷川時夫  
ライブ出演:Stone Music(長谷川時夫、金子ユキ、堺啓介、むんな、Endurance、Tatsuro Murakami、TOMC、大野馨、櫻井秀武、西村仁美、藤原るか、前谷康太郎)
  - ・講演会「現代に生きるインドのフォークアート」講師:中尾智路(福岡アジア美術館学芸員)12月18日(日)14:00～15:30 2階ホールにて 17名
- 制作物 :
  - ・ポスター(B2判、オフセット印刷)
  - ・チラシ(A4判、オフセット印刷)
  - ・出品目録(A4判4頁)
  - ・作家解説(A4判3頁)
  - ・作品解説(A4判8頁)
  - ・プレスリリース(A4判3頁)
  - ・長谷川時夫トーク&ライブ「タージ・マハル旅行団からミティラー美術館へ」リーフレット(A3判二折4頁、オフセット印刷)
- 入場料金 : 一般350円(270円)、大学生240円(180円) ( )内は20名以上の団体料金 \*「コレクション展 2022- 秋冬」と共通
- 自己評価・課題・改善案 : ミティラー美術館での滞在制作による大型作品を中心に、インドと日本の出会いによって生まれた新しいフォークアートを紹介。来場者にインパクトを与え、多数のリピーター客を獲得できた。また、関連事業も、ミティラー美術館のほか、在大阪・神戸インド総領事館の協力もあってバラエティ豊かなものとなり、各種トークや講演会のほか、長谷川時夫館長を含むアーティストたちのライブ、現地の人々を招いてのインド舞踊やインド伝統工芸士5名による実演等も実施することができた。
- 関連記事 :
  - ・「和歌山県とインド・マハラシュトラ州友好交流 ミティラー美術館コレクション展 10月8日～」『和歌山特報』第1737号 2022年9月21日、第1737号、10面
  - ・「ミティラー美術館コレクション展 インド・コスモロジーアートの世界」『毎日新聞』(和歌山版)2022年10月6日、20面
  - ・「伝統の技を目の前で 20日まで インドの工芸士来和」『わかやま新報』2022年10月19日
  - ・「神秘的 インド美術の世界 県立近代美術館 ミティラー画など」『読売新聞』(地域版)2022年10月21日、25面
  - ・「インド伝統美術の魅力 12月25日まで近代美術館で ミティラー美術館所蔵展」『わかやま新報』2022年10月26日、3面
  - ・「インド美術の魅力に触れて 12月25日まで県立近代美術館」『紀伊民報』第24092号 2022年10月29日、6面(10月28日ウェブでも配信)
- その他 :
  - ・「日本とインド国交樹立70年 インド美術の作品展 和歌山」NHK和歌山「ギョギョっと和歌山」2022年10月7日放送
- メディア報道 :
  - ・「ミティラー美術館コレクション展」テレビ和歌山「6waka イブニング」2022年10月7日放送
  - ・「今回は博物館&美術館を巡りました」テレビ和歌山「ちゃぶ台おかわり」、2022年11月5日放送(11月12日再放送)
  - ・「#72 インドのミティラー地方で3000年にわたって伝承されてきた壁画、ミティラー画の魅力と和歌山県立近代美術館の学芸員さんに聞いてきた特集」Podcast「本屋プラグラジオ」2022年12月7日配信

\*以上ウェブ上の情報への最終アクセス日:2023年12月28日

ミティラー美術館コレクション展 出品目録

\*すべてミティラー美術館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)	備考
<b>ミティラー画</b>						
1	ゴードナー・ワリー・ダッタ	両性具有のシヴァ	1990 (平成 2)	コンクリート	128.0 × 97.0	
2	ゴードナー・ワリー・ダッタ	チャクラ	1990 (平成 2)	コンクリート	190.0 × 190.0	
3	ゴードナー・ワリー・ダッタ	トゥリシュウラ	1994 (平成 6)	コンクリート	356.0 × 117.4	
4	ガンガー・デーヴィー	上弦の月を喰べる獅子	1990 (平成 2)	紙	17.0 × 21.0 / 26.0 × 32.0	
5	ガンガー・デーヴィー	マツヤ (魚)	1989 (平成元)	紙	30.2 × 31.2 / 46.0 × 46.0	
6	ガンガー・デーヴィー	インドの汽車	1990 (平成 2)	紙	33.5 × 50.5 / 38.0 × 56.0	
7	ガンガー・デーヴィー	結婚式	1990 (平成 2)	コンクリート	109.0 × 140.0	
8	ガンガー・デーヴィー	ドッド・ナハーン・アリバン	1990 (平成 2)	コンクリート	140.0 × 109.0	
9	ガンガー・デーヴィー	スーリヤムッキーの木	1990 (平成 2)	コンクリート	281.0 × 190.5	
10	ボーワ・デーヴィー	月に引かれる汽車	2008 (平成 20)	キャンバス	73.0 × 91.0	
11	ボーワ・デーヴィー	月神チャンドラマ	1992 (平成 4)	コンクリート	192.0 × 283.0	
12	ボーワ・デーヴィー	太陽神スーリヤ	1992 (平成 4)	コンクリート	162.0 × 366.0	
13	シーター・デーヴィー	クリシュナとラーダー	1985 (昭和 60)	紙	220.0 × 112.0	
14	ヤムナー・デーヴィー	36 の月神チャンドラマ	1985 (昭和 60)	紙	152.0 × 150.0	
15	ヤムナー・デーヴィー	太陽と月の儀礼	1993 (平成 5)	コンクリート	185.5 × 371.0	
16	シャーンディー・デーヴィー	家	1998 (平成 10)	コンクリート	180.0 × 140.0	
17	シャーンディー・デーヴィー	ラージャ・サレーシュ神とクスマ・マリンの結婚式	1998 (平成 10)	コンクリート	180.0 × 140.0	
18	ビムラー・ダッタ	バーンス	1989 (平成元)	コンクリート	190.0 × 99.0	
19	カルプーリー・デーヴィー	チャクパ	1992 (平成 4)	コンクリート	129.0 × 97.0	
20	カルプーリー・デーヴィー	コーワル	1994 (平成 6)	コンクリート	99.0 × 128.0	
21	カルプーリー・デーヴィー	クリシュナとラーダー	2008 (平成 20)	キャンバス	128.0 × 98.0	
22	マハー・スندانリー・デーヴィー	デーブターン・エカーダシー・カ・アリバン	1995 (平成 7)	コンクリート	150.0 × 180.0	
23	リーラー・デーヴィー	ヴィシュヌ神と宇宙創造	1994 (平成 6)	コンクリート	96.5 × 128.0	
<b>ワルリー画</b>						
24	ジヴヤ・ソーマ・マーシェ	ペールから生まれた娘	1996 (平成 8)	コンクリート	97.0 × 128.0	
25	ジヴヤ・ソーマ・マーシェ	タルバーダンス	1996 (平成 8)	コンクリート	185.0 × 372.0	
26	ジヴヤ・ソーマ・マーシェ	村の結婚式	1994 (平成 6)	ベニヤ	343.0 × 190.5	
27	ジヴヤ・ソーマ・マーシェ	魚を捕る大きな網	1996 (平成 8)	コンクリート	99.0 × 99.0	
28	バルー・ジヴヤ・マーシェ	馬とバーチシラー神	1999 (平成 11)	キャンバス	91.5 × 180.0	
29	サダシ・ジヴヤ・マーシェ	ヴィール神	2017 (平成 29)	ベニヤ	373.0 × 190.5	
30	シャンタラム・ゴルカナ	船	2015 (平成 27)	ベニヤ	182.5 × 362.0	
31	シャンタラム・ゴルカナ	月から雪の大地に落ちた枯れ葉	2003 (平成 15)	キャンバス	91.5 × 115.0	
32	マユール・ワイエダ	月	2017 (平成 29)	ベニヤ	190.0 × 373.0	
<b>ゴンド画</b>						
33	ジャンガル・シン・シュヤム	飛行機	1999 (平成 11)	コンクリート	189.0 × 371.0	
34	ジャンガル・シン・シュヤム	虎	1999 (平成 11)	コンクリート	189.0 × 371.0	
35	ジャンガル・シン・シュヤム	チャーンディー女神	1999 (平成 11)	コンクリート	98.0 × 78.0	
36	ジャンガル・シン・シュヤム	バデ神	1999 (平成 11)	コンクリート	98.0 × 78.0	
<b>テラコッタ</b>						
37	ニラマニ・デーヴィー	壺	1998 (平成 10)	テラコッタ	18.0 × 18.0 × 16.0	
38	ニラマニ・デーヴィー	壺	1998 (平成 10)	テラコッタ	48.0 × 48.0 × 40.0	
39-43	ニラマニ・デーヴィー	皿、女性胸像、女性立像、母子像、蛇	1998 (平成 10)	テラコッタ	17.0 × 17.0 × 16.0 / 10.0 × 15.0 × 15.0 / 13.2 × 6.0 × 3.5 / 10.0 × 8.0 × 6.5 / 3.0 × 4.8 × 5.0	
44	ララ・バンディット	仮面	2005 (平成 17)	テラコッタ	25.0 × 20.0 × 15.0	
45	ララ・バンディット	自動車	2005 (平成 17)	テラコッタ	20.0 × 33.0 × 20.0	
<b>(参考出品)</b>						*リーディングコーナーに展示
46	永六輔	[ミティラー画]	1991 (平成 3)	紙	38.0 × 31.0 / 44.0 × 36.0	
47	ハシモト タカヒサ	Snowflake Men / Groom Run	2011 (平成 23)	紙	36.0 × 48.0 / 44.0 × 56.0	
48-161		インド現地で制作されたミティラー画 114 点				

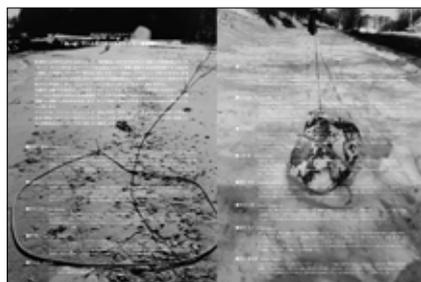


チラシ表 / 裏

ポスター



会場風景



長谷川時夫トーク & ライブ「タージ・マハル旅行団からミティラー美術館へ」チラシ表 / 裏

# 普及事業

展覧会にあわせてレクチャー等を行うほか、学校との連携や団体鑑賞の受け入れに取り組んだが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて引き続き中止した事業も多い。

## 1 講演会、ワークショップなどの開催

- 各展覧会に関連した講演会やフロアレクチャーなどを開催した。(展覧会事業を参照)
- 「なつやすみの美術館 12」を課題に学校からの来館を促し、教員らとワークシートの制作に取り組んだ。(展覧会事業を参照)
- 「こども美術館部」の実施  
小学生を対象に、展示作品と関連したワークショップを行いながら作品を鑑賞する「こども美術館部」を6回(各回2日、同内容)開催した。感染症対策のため参加人数に制限を設け、事前申込制とした。  
5月14日(土)、15日(日)(モダン・プリント) 10名  
7月23日(土)、24日(日)(妻木良三「はじまりの風景」) 12名  
9月10日(土)、11日(日)(1960s-1980s 関西の現代美術「再見」) 12名  
10月22日(土)、23日(日)(稗田一穂展) 13名  
12月17日(土)(ニッポンの油絵) 5名 \* 18日(日)中止  
2023年2月18日(土)、19日(日)(とびたつとき) 14名  
いずれも 11:00～12:00
- ゴールデンウィークの取り組み  
\* 例年実施しているゴールデンウィーク中の講演会や鑑賞ワークショップ、バックヤードツアーなどのイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年に引き続き実施を見送った。

## 2 学校教育・社会教育との連携

### 1 学校・団体鑑賞の受入

- 団体での来館数  
2022年4月～2023年3月

団体種別	美術館による対応有		自由鑑賞	
	件数	のべ人数	件数	のべ人数
一般	4件	30名	4件	72名
教員	15件	254名	0件	0名
大学	16件	212名	2件	54名
高等学校	14件	413名	4件	42名
中学校	23件	588名	8件	509名
小学校	29件	1,008名	4件	220名
幼稚園	0件	0名	0件	0名
その他(専門学校など)	7件	378名	2件	22名
計	108件	2,883名	24件	919名
総計		132件	3,802名	

### 2 学校・教員等と連携した事業

施設利用の浸透を図り、学校教育との連携を深め、団体での来館に際して事前に要望のあった場合には担当者・教員との打ち合わせを行い、必要に応じて鑑賞用補助プリントを作成するなどの活動を行った。

- 和歌山美術館教育研究会  
2011(平成23)年度より、学校教育との連携強化を目的とした研究会を継続して開催している。2022(令和4)年度末までに104回の会合を開催。2013(平成25)年度から、夏季休暇中に開催する展覧会「なつやすみの美術館」のワークシートの作成を教員たちと協力して行っている。

開催記録：95回 2022年4月30日(土) 30名 / 96回 5月21日(土) 17名 / 97回 6月11日(土) 11名 / 98回 6月25日(土) 12名 / 99回 7月9日(土) 14名 / 100回 7月16日(土) 13名 / 101回 9月10日(土) 11名 / 102回 11月12日(土) 7名 / 103回 12月17日(土) 4名 / 104回 2023年1月28日(日) 9名

- 和歌山大学教育学部・和歌山県教育委員会連携協議会連携事業  
和歌山大学教育学部と県教育委員会連携協議に基づくミュージアム・ボランティアについて今年度は希望者がなかった。  
・和歌山市中学校教科等別研修会(美術科)の開催  
当館での開催に協力し、意見交換等を行った。  
2022年4月20日(水) 21名参加、11月2日(水) 16名参加
- 放送大学面接授業の実施  
2022年6月8日(水)、9日(木) 19名受講
- 和歌山大学教育学部の学芸員資格取得に関する一部開設授業科目への協力  
2022年9月29日(金)「和歌山大学博物館展示論」講義を当館で実施 12名出席  
2023年1月22日(日)「和歌山大学博物館資料保存論」講義を担当 50名出席
- 日本教育美術連盟図工・美術教育研究全国大会の開催受入 2022年10月28日(金) 40名参加  
「特集：田中恒子コレクション」をテーマとした和歌山大学教育学部附属中学校2年生(授業者：高岸俊文)の公開授業に準備段階から協力した。同授業では、伏虎義務教育学校の生徒たちも参加した。
- 全国高等学校美術工芸教育研究会第65回近畿地区府県代表者会議  
2023年2月10日(金) 27名参加
- 『わかやま探検ミュージアム』(季刊・県内全小学校4～6年生に配布、和歌山県教育委員会 和歌山県PTA 連合会発行) 隔号に展覧会紹介記事を掲載した。

### 3 博物館実習生・インターンシップ・教員研修などの受け入れ

大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期間：2022年8月11日(木)～15日(日)、16日(火)～17日(水)  
(計6日間)

受入校	受入人数
大阪芸術大学	1名
武庫川女子大学	1名
和歌山大学	1名
計3大学	3名

文部科学省の推進するキャリア教育の一環として、教育委員会並びに各学校の取り組んでいる職場体験学習、インターンシップ等を受け入れた。

2022年4月～2023年3月

受入件数	校数	人数	日数	のべ人数
大学生	9校	15名	1日	15名
高校生	2校	3名	2日	6名
中学生	1校	4名	2日	8名
計	12校	22名	3日	29名

2022年8月30日(水)、28日(木) 職場体験学習  
泉南市立信達中学校 4名

- 2022年7月27日(水)、28日(木) 和歌山県教育庁インターンシップ  
和歌山県立橋本高等学校 1名  
和歌山県立新宮高等学校 2名
- 2022年8月18日(木) 自民党和歌山県連インターンシップ  
3大学 大学生3名参加
- 2022年8月24日(水) 和歌山県教育総務インターンシップ  
4大学 大学生10名参加
- 2023年2月15日(水) 自民党和歌山県連インターンシップ  
2大学 大学生2名参加

### 3 機関誌「NEWS」の刊行

年4回、各2,500部を発行した。

- No.111 (2022年6月24日発行)  
奥村一郎：〈「和歌山の近現代美術の精華」展3つのノート〉  
ノート1「第2部 島村逢紅と日本の近代写真」展示後記  
植野比佐見：〈「和歌山の近現代美術の精華」展3つのノート〉  
ノート2 新宮というところで。—西村伊作の気配  
井上芳子：〈「和歌山の近現代美術の精華」展3つのノート〉  
ノート3 黒川紀章のスケッチ  
植野比佐見：保存の話をして。21 チャタテムシとわたし  
Museum Calendar、メールマガジン Facebook Twitter ご案内、友の会案内
- No.112 (2022年9月30日発行)  
青木加苗：近代美術館と「世界」の版画  
井上芳子：「特集：生誕130年 田中恭吉」に際してのメモ 恭吉と朔太郎の出会い  
山野英嗣：「特集：1960s-1980s 関西の現代美術『再見』」をふりかえって、コレクションを再考する。  
植野比佐見：保存の話をして。22 ほかの美術館では  
Museum Calendar、メールマガジン Facebook Twitter ご案内、友の会案内
- No.113 (2022年12月28日発行)  
宮本久宣：風景をゆきかう 和歌山—東京、熊野—成城  
奥村泰彦：現代美術と一緒に暮らす美術館は可能か  
植野比佐見：油絵は好きですか？ 何度でも会いに来たい絵を探して  
植野比佐見：「保存」の話をして。23 とん・とん・とん…  
Museum Calendar、メールマガジン Facebook Twitter ご案内、友の会案内
- No.114 (2023年3月28日発行)  
藤本真名美：ミティラー美術館コレクション展 in 和歌山  
奥村一郎：長谷川時夫トーク & ライブ「タージ・マハル旅行団からミティラー美術館へ」  
長谷川時夫：ミティラー美術館コレクション展によせて  
青木加苗：現代のミュージアムコミュニティが描く「これから」  
ICOM プラハ大会 2022 報告  
植野比佐見：保存の話をして。24 生きものたちの冬  
Museum Calendar、メールマガジン Facebook Twitter ご案内、友の会案内

ニュース



### 4 広報および情報提供

#### 1 メディア等への情報発信

- 県内外の新聞社、放送局、出版社等約380か所に事業案内を送付し(うち約150か所にメールによるプレスリリース)、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。
- 展覧会や特別事業ごとに県庁記者クラブ、教育記者クラブにて資料提供を行い、県内の新聞社、放送局に事業案内の報道、掲載を依頼した。
- カレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供することで、美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等の周知、利用促進を図った。
- 展覧会ごとに、ポスター、チラシ等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関など約3,000か所に配布した。
- 県発行の広報誌『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
- 電波、印刷、インターネット媒体の取材に協力し、展覧会等の紹介を行った。
- 和歌山市観光課海外向けホームページ my secret Wakayama に情報を提供した。(https://www.mysecretwakayama.com/introduce/1939/)
- 泉州・紀北ミュージアムネットワークを通じた広報活動を行った。
- 和歌山県職員に対し電子掲示板、庁内メール等で展覧会の案内をした。
- ミュージアムぐるっとパス・関西2022に加入。
- 本屋プラグラジオへの出演  
本屋プラグ(和歌山市万町4)が配信するポッドキャストで展覧会の紹介を行った。(各展覧会報告の項を参照)  
2022年5月4日 モダン・プリント  
2022年8月25日 妻木良三「はじまりの風景」  
2022年9月14日 特集 関西の現代美術「再見」  
2022年12月7日 ミティラー美術館コレクション展
- 美術館の認知度を高めるため、施設内におけるロケーション撮影等に協力した。  
カタログ撮影等5件

#### 2 WEBによる広報

- ホームページで美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールの情報を提供した。
- メールマガジン(テキスト版・html版)にて、美術館で開催されるさまざまな展覧会及びプログラムへの参加をよびかけた。(2022年5月1日発行の171号から2023年3月31日に発行の183号まで計12回発行。登録読者数HTML版634名、テキスト版38名、計672名、2023年8月18日現在)
- Facebook、Twitter、Instagram、Google My Businessを通じて情報を発信した。

#### 3 広報印刷物の制作

- 2022年度展覧会カレンダー  
6.1×10.5cm 巻き5ツ折  
(10頁)
- ポスター、チラシ等  
(各展覧会報告の項を参照)



カレンダー

## 4 県民への直接的情報提供

- ・作者や展覧会等についての問い合わせ 6 件に対応した。

## 5 県民や地域との連携

### 1 ボランティア活動の受け入れ

- ・図書ボランティアの活動は新型コロナウイルス感染症予防の観点から休止している。
- ・和歌山大学教育学部との県教育委員会連携協議に基づくミュージアム・ボランティアについては、今年度は希望者がなかった。

### 2 友の会等の支援組織の活動

#### (1) 和歌山県立近代美術館友の会

「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、当館の活動に支援を受けるとともに、楽しみながら美術作品に親しむ機会を設けた。

##### ・会員の状況

一般会員：151 名、学生：2 名、賛助会員：11 名 特別会員：1 名 計 165 名

##### ・助成事業の実績

会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみをもち、出来るよう常設展及び企画展・特別展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行った。

展覧会入場者のべ人数：184 名

「モダン・プリンツ」展 56 名、「妻木良三」展 21 名、「稗田一穂展」51 名、「ニッポンの油絵」展 19 名、「とびたつとき」展 36 名、「コレクション展」1 名

図録購入：7 冊

- ・主催事業 \*新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、例年実施する美術鑑賞ツアー等の事業は休止した。

##### ・協力事業

長谷川時夫トーク & ライブ「タージ・マハル旅行団からミティラー美術館へ」（ミティラー美術館コレクション展関連事業）

2022 年 11 月 5 日（土）15:00- 2 階ホールにて（詳細 56 頁）

##### ・版画プレゼント

若木くるみ氏制作の版画（3 種類）の中から 1 点を選んでもらいプレゼントした。

講演会：2022 年 11 月 26 日（土）15:30- 2 階ホールにて

引換期間：2022 年 11 月 26 日（土）- 2023 年 3 月 31 日（金）

##### ・館広報誌、その他への情報提供

美術館が発行するミュージアムカレンダー、美術館ニュース、広報紙などを配布し、その他への情報提供をした。

#### (2) NPO 和歌山文化芸術支援協会（wacss）

##### ・「森のちから XIII」への協力

期間：2022 年 11 月 14 日（月）- 11 月 30 日（金）

内容：古座川町と串本町で開催されたアーティスト・イン・レジデンス・プログラム「森のちから XIII 森の聲（参加作家：吉野祥太郎）」に協力した。「森のちからアート・ツアー & “語りば”」11 月 23 日（水・祝）で司会・進行を奥村泰彦が務めた。

- ・「夏休みアートワークショップ 串本編」に協力した。（詳細 29 頁）

### 3 地域と連携した事業

- ・第 76 回和歌山県美術展覧会（県展）〈日本画・書・工芸・洋画・写真・彫塑〉

2023 年 1 月 11 日（水）- 1 月 15 日（日） 展示室 A（1 階）・展示室 C（2

階） 入場料金：無料

\*当館では一般部門を展示するほか、県民ギャラリー等において華道部門と招待作家展を開催した。

第 8 回和歌山県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）

2023 年 1 月 18 日（水）- 1 月 22 日（日） 展示室 A（1 階）

入場料金：無料

主催：和歌山県

共催：和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、和歌山県美術家協会、毎日新聞社和歌山支局、一般財団法人 和歌山県文化振興財団、橋本市、新宮市、上富田町

協賛：公益財団法人 大桑教育文化振興財団

- ・紀陽文化財団の日

紀陽文化財団の協力により毎月第 4 土曜日に大学生の入場を無料とした。

- ・県警音楽隊たそがれコンサート

2022 年 6 月 10 日（金）、24 日（金）、7 月 22 日（金）、8 月 12 日（金）、26 日（金）

場所：アプローチプラザ

主催：和歌山県警音楽隊

- ・ミュージアム クリフ映画会

2022 年 7 月 22 日（金） 約 100 名参加

場所：アプローチプラザ

主催：和歌山県 BBS 連盟

- ・WAKAYAMA COFFEE MARKET Local Communication

2022 年 10 月 8 日（土）、9 日（日）、10 日（月・祝）

場所：美術館・博物館エントランス前

主催：market Wakayama

- ・わかやまミュージアムパレット 2022

2022 年 10 月 23 日（日）

場所：アプローチプラザほか

主催：わかやまミュージアムパレット実行委員会

- ・関西文化の日

2022 年 11 月 19 日（土）、20 日（日）

関西一円の文化施設の取り組みにあわせ、全館の入場を無料とした。入場者数約 1,300 名

- ・きのくに建築賞審査会への協力

2022 年 11 月 20 日（日）

場所：2 階ホール

主催：建築三団体まちづくり協議会

- ・関西文化の日プラス

2023 年 1 月 7 日（土）- 22 日（日）

全館の入場を無料とした。入場者数 1,476 名

### 4 県内博物館・図書館施設等と連携した事業

- ・県立 5 館が連携してスタンプラリーを実施した。

- ・和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議の活動に事務局として参加。「和歌山県文化財災害対応マニュアル（案）」について、次年度以降の役員幹事について協議した。

（令和 4 年度幹事会：2023 年 3 月 17 日 和歌山県立博物館）

\*以下は新型コロナウイルスの影響のため中止

- ・和歌山県立紀伊風土記の丘「風土記まつり」 10 月 30 日（日）



# 作品貸付

下記 8 件の展覧会に作品の貸付を行った。

展覧会名、会期、貸出先、作家名《作品名》、制作年、所蔵註記の順に記載。

---

## 1. Group Dynamics—Collectives of the Modernist Period[前年度より]

2021年10月19日-2022年6月12日 レンバツハハウス美術館（ミュンヘン）

野長瀬晩花《街の四季》1916

野長瀬晩花《島の女》1916 頃

野長瀬晩花《秋の頃》1917 頃

以上 3 点

---

## 2. 関西の 80 年代

2022年6月18日-8月21日 兵庫県立美術館

北辻良央《WORK-RR2》1982

池垣タダヒコ《series “old melancholy” 「胡鯨」》1985

以上 2 点

---

## 3. 太田三郎展 人と災いとのおりよう

2022年7月5日-9月11日 BB プラザ美術館

太田三郎《POST WAR 46-47 兵士の肖像》（全 7 点）1994

太田三郎《POST WAR 50 私は誰ですか》（全 40 点）1995

太田三郎《POST WAR 56 無言館》（全 16 点）2001

太田三郎《POST WAR 60 被爆者》（全 13 点）2005

太田三郎《POST WAR 69 戦争遺児》（全 20 点）2014

太田三郎《POST WAR 75 広島の種子》（20 点中 4 点 3 モミジバスズカケノキ / 6 セイヨウタンポポ / 9 アオカモジグサ / 19 フレンチマリーゴールド）2020

以上 100 点

---

## 4. 日本の中のマネ展—出会い、120年のイメージ

2022年9月4日-11月3日 練馬区立美術館

森村泰昌《肖像（娘 II）》1988

以上 1 点

---

## 5. Back to 1972 50年前の現代美術へ

2022年10月8日-12月11日 西宮市大谷記念美術館

松田豊《SRU-SRU-L》1972

吉原英雄《ミラー・オブ・ザ・ミラー K》1972

吉原英雄《ミラー・オブ・ザ・ミラー ニューヨーク 1 モーニング・コーヒー》1972

吉原英雄《ミラー・オブ・ザ・ミラー ニューヨーク 2 ランチ》1972

吉原英雄《ミラー・オブ・ザ・ミラー ニューヨーク 3 パーティー》1972

深沢幸雄《窓》1972

中林忠良《剥離される風景 III》1972

野田哲也《日記 1972 年 10 月 2 日 (b)》1972

黒崎彰《失われた楽園 5》1972

木村光佑《現在位置—存在 (a)》1971

井田照一《Measure and Pig》1972

両角修《No.13》1972

泉茂《From Silver Foil (72cm × 72cm シリーズ) No.6》1972

泉茂《From Silver Foil (72cm × 72cm シリーズ) No.13》1972

泉茂《From Silver Foil (72cm × 72cm シリーズ) No.15》1972

以上 15 点

---

## 6. 鉄道と美術の 150 年

2022年10月8日-2023年1月9日 東京ステーションギャラリー

藤森静雄《自然と人生》1914

木村莊八《水道橋》1918

平川清蔵《貨車（地獄行）》1932

浜口陽三《魚河岸の汽車》1951

宮島達男《Study of Counter Train》1994

宮島達男《Study of Counter Train》1994

パラモデル《極楽百景 第八景—新世界 パーク温泉 斬新な入浴—》2007

以上 7 点

---

## 7. 呉の美術—激動の時代を越えて

2022年11月26日-2023年1月29日 呉市立美術館

水船六洲《手燭（『新版画』第 10 号 2）》1932

水船六洲《機械を動かす女（『新版画』第 11 号 11）》1933

平川清蔵《クレーン》1932 頃

南薫造《舟おろし》1910-13

朝井清《ポンプをおす男》1933

以上 5 点

---

## 8. 佐伯祐三—自画像としての風景

2023年1月21日-4月2日 東京ステーションギャラリー

2023年4月15日-6月25日 大阪中之島美術館 [次年度]

佐伯祐三《自画像》1919 頃

佐伯祐三《帽子をかぶる自画像》1922

佐伯祐三《オワーズ河周辺風景》1924

佐伯祐三《広告のある門》1925

佐伯祐三《レ・ジュ・ド・ノエル》1925

佐伯祐三《リュ・デュ・シャトーの歩道》1925

佐伯祐三《ポスターとローソク立て》1925 頃

佐伯祐三《パリの街角》1925

佐伯祐三《下落合風景》1926 頃

佐伯祐三《男の顔（K 氏の像）》1927

佐伯祐三《オプセルヴァトワール附近》1927

佐伯祐三《モラン風景》1928

以上 12 点

# 調査・研究・発表活動および対外協力活動

## 山野英嗣

・「コレクション展 2022-夏秋 / 特集 1960s-1980s 関西の現代美術「再見」」の企画および関連事業の実施

\* \* \*

・講義（非常勤講師）：立命館大学大学院「博物館コミュニケーション論」（2022 年前期 semester / 立命館大学）

・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ⑳〉 着地 絶妙のバランス（ケネス・スネルソン《着地》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022 年 4 月 13 日、22 面

・講義：放送大学 1 学期面接授業「美術館を知ろう」第 7 時限・第 8 時限（2022 年 6 月 9 日 / 和歌山県立近代美術館）

・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉑〉 写真表現 新たな地平（森村泰昌《だぶらかし 肖像 C》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022 年 7 月 20 日、26 面

・執筆：「特集：1960s-1980s 関西の現代美術『再見』をふりかえって、コレクションを再考する。」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.112、2022 年 9 月 30 日、pp.6-7

・執筆：「稗田一穂の画業」『稗田一穂展』図録、2022 年 9 月 10 日、pp.12-15

・執筆：「美の随想 最初に手がけた展覧会への思い」『紫明』第 51 号、2022 年 10 月 25 日、pp.48-53

・講演（聞き手）：日本博物館協会近畿支部第 25 期総会「これからのミュージアムが目指すもの—近畿で新たに開館した美術館長に聞く、講師：大阪中之島美術館長菅谷富夫」（2022 年 11 月 4 日 / 和歌山県立近代美術館）

・執筆：「「デモクラート美術家協会」断想—「大阪の美術界」とのかかわりから」『とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家』展図録、2023 年 2 月 4 日、pp.13-17

\* \* \*

・徳島県立近代美術館資料収集委員会に出席（2022 年 4 月 23 日 / 徳島県立近代美術館）

・兵庫県立美術館作品収集会議に出席（2022 年 5 月 13 日、2023 年 2 月 11 日 / 兵庫県立美術館）

・京都国立近代美術館美術品収集委員会に出席（2022 年 8 月 29 日、2023 年 2 月 13 日 / 京都国立近代美術館）

・大阪中之島美術館作品収集委員会に出席（2022 年 11 月 8 日 / 大阪中之島美術館）

・神戸市立小磯記念美術館協議会に出席（2022 年 11 月 30 日 / 神戸市立小磯記念美術館）

・高知県立美術館資料収集委員会に出席（2022 年 12 月 14 日 / 高知県立美術館）

・第 2 回枚方市展（洋画・版画部門）審査会に出席（2022 年 12 月 22 日 / 枚方市総合文化芸術センター）

・愛媛県美術品等収集評価委員会に出席（2023 年 2 月 15 日 / 愛媛県美術館）

・新居浜市美術館作品評価委員会に出席（2023 年 2 月 16 日 / 新居浜市美術館）

所属学会：美学会、美術史学会

## 奥村泰彦

・「コレクション展 2022-秋冬 / 特集 田中恒子コレクション」の企画および関連事業の実施

・「コレクション名品選」の企画

・「コレクション展 2023-春」の企画

\* \* \*

・執筆：「Story」『陶芸の提案 2022-Story-』ギャラリー白、2022 年 4 月 4 日、pp.2-3 [ノンブルなし]

・講義（非常勤講師）：同志社大学「博物館展示論」（2022 年 4 月 21 日、4 月 28 日、5 月 12 日、5 月 19 日、5 月 26 日 / 同志社大学）

・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉒〉 高い描写力 受難のすえに（オルドジク・クルハーネク《法廷》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022 年 6 月 8 日、26 面

・講義：放送大学 1 学期面接授業「美術館を知ろう」第 5 時限・第 8 時限（2022 年 6 月 9 日 / 和歌山県立近代美術館）

・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉓〉 捧げものとしての存在感（タヴォン・コウドンヴィット《儀式における象徴 1992 / 3》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022 年 6 月 22 日、28 面

・講義：和歌山県立高等看護学院「人間探索（人間と美術）」（2022 年 7 月 5 日 / 和歌山県立高等看護学院）

・講義：東京造形大学「美術教育のための美術史」（2022 年 7 月 22 日 / 東京造形大学）

・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉔〉 刃の跡 怒りと祈りと（安藤榮作《磁力の核へ—Human Being》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022 年 10 月 26 日、28 面

・講義：和歌山大学「博物館資料論」（2022 年 11 月 10 日 / 和歌山大学）

・ファシリテーター：「森のちから XIII」アート・ツアー & 「語りば」（2022 年 11 月 23 日 / 北海道大学和歌山研究林）

・司会：若木くるみ氏による友の会版画プレゼント記念講演会（2022 年 11 月 26 日 / 和歌山県立近代美術館）

・執筆：「現代美術と一緒に暮らす美術館は可能か」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.113、2022 年 12 月 28 日、pp.4-5

・講義：和歌山大学「博物館保存論」（2023 年 1 月 22 日 / 和歌山県立近代美術館）

・執筆：「はじまりはどこにあるのか—妻木良三のはじまりの風景の在処」『なつやすみの美術館 12 妻木良三「はじまりの風景」記録集』2023 年 3 月 31 日、pp.36-37

\* \* \*

・歯と口の健康ポスター審査会に出席（2022 年 8 月 25 日 / 和歌山県歯科医師会）

・和歌山県文化表彰選考委員

・公益財団法人堀江オルゴール博物館理事

所属学会：美学会、美術史学会、美学芸術学会、アートドキュメンテーション学会、版画学会（運営委員）

## 井上芳子

・「とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家」展の企画および図録の執筆・編集、関連事業の実施

・「コレクション展 2022-春夏 / 特集 生誕 130 年 田中恭吉」の企画および関連事業の実施

\* \* \*

- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ⑳〉 朔太郎の詩と一体感（田中恭吉「悔恨 第一」）」『読売新聞』（和歌山版）、2022年5月25日、28面
- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」第1時限・第8時限（2022年6月8日・9日/和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「ひとりで立つ浜辺のように 浅野絵理の作品」（極小美術館 espoir39 [会期：2022年11月6日-12月4日] チラシ）
- ・執筆：「萩原朔太郎と田中恭吉 『月に吠える』の装幀・挿画」『萩原朔太郎大全』春陽堂書店、2022年11月9日、pp.162-167
- ・執筆：「『特集：生誕130年 田中恭吉』に際してのメモ 恭吉と朔太郎の出会い」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.112、2022年9月30日、pp.2-3
- ・執筆：「コレクション 表紙掲載の作品より 田中恭吉《焦心》（私蔵『月映』II）『博物館研究』Vol.58 No.1（No.656）、2022年12月25日、p.1
- ・執筆：「黎明の予感—池田満寿夫が見た田中恭吉と『月映』」『とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家』展図録 展図録、2023年2月4日、pp.201-204

\* \* \*

- ・令和4年度田辺市立美術館作品選定委員会・協議会に出席（2022年10月31日/田辺市立美術館）

所属学会：夢二学会

## 植野比佐見

- ・「ニッポンの油絵」展の企画および関連事業の実施
- \* \* \*
- ・執筆：「ノート2 新宮というところで。—西村伊作の気配」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.111、2022年6月24日、pp.4-5
  - ・執筆：「〈保存の話をしよう。21〉 チャタテムシとわたし」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.111、2022年6月24日、p.8
  - ・執筆：「〈保存の話をしよう。22〉 ほかの美術館では」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.112、2022年9月30日、p.8
  - ・執筆：「ガリ版文化研究者・志村章子さんへ」『新ガリ版ネットワーク通信』45、ガリ版ネットワーク、2022年11月11日、pp.13-14
  - ・執筆：「孔版の近代：簡易印刷術からアートが生まれる時間」『版画芸術』198、阿部出版、2022年12月1日、pp.36-39
  - ・執筆：「油絵は好きですか？ 何度でも会いに来たい絵を探して」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.113、2022年12月28日、p.8
  - ・執筆：「〈保存の話をしよう。23〉 とん・とん・とん…」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.113、2022年12月28日、p.8
  - ・講演：「志村章子さんの仕事—ガリ版文化研究者としての」（2023年1月14日/ガリ版伝承館）
  - ・執筆：「〈保存の話をしよう。24〉 生きものたちの冬」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.114、2023年3月28日、p.8

\* \* \*

- ・ガリ版伝承館「志村章子のガリ版ものがたり—ガリ版文化研究第一人者の探究と伝承の足跡」展（会期：2022年11月19日-2023年1月29日）への企画協力
- ・「特集：日本のシルクスクリン」（『版画芸術』198、阿部出版、2022年12月1日）への編集協力
- ・いの町 紙の博物館「源太の紙、世界へ—明治期に輸出された印刷用紙」展（会期：2023年1月20日-3月21日）への企画協力

所属学会：保存修復学会、明治美術学会

## 奥村一郎

- ・「なつやすみの美術館12 妻木良三「はじまりの風景」」の企画および関連事業、教育普及事業の実施、記録集の執筆・編集
- ・「特集 新収蔵 奈良原一高の写真」の企画および関連事業の実施
- ・「ミティラー美術館コレクション展」の企画および関連事業の実施
- ・和歌山移民研究に関連した各事業の企画立案実施

\* \* \*

- ・執筆：「「よき日」に 点音をめぐって」『アートオブリスト21 鈴木昭男 音のみちくさ「点音」 in 大府 資料編』アートオブリスト実行委員会（大府市役所文化交流課）、2022年5月30日〔ノンブルなし〕
- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」第3時限・第8時限（2022年6月8日・9日/和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「ノート1「第2部 島村逢紅と日本の近代写真」展示後記」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.111、2022年6月24日、pp.2-3
- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉔〉 原初の世界 覗き込むよう（妻木良三《境界 II》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022年7月13日、26面
- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉔〉 思索し続けた彫刻の本源（戸谷成雄《森化 IX》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022年8月27日、24面
- ・発表：マイグレーション研究会10月例会「和歌山からアメリカへ—移民と美術 和歌山県立近代美術館の取組みについて」（2022年10月1日/＊オンライン）
- ・執筆：「〈資料解説〉147 紀州公論 第三号/148 浜地清松筆 濱口梧陵とナイアガラの瀑布/149 紀州公論 第五巻八月号」『濱口梧陵と廣八幡宮 法蔵寺・養源寺・安楽寺の文化財とともに』展図録、和歌山県立博物館、2022年10月15日、p.223
- ・発表：移民と美術をめぐるシンポジウム Vol.1 和歌山/アメリカ：研究の「現在地」和歌山からアメリカへ—移民と美術 和歌山県立近代美術館の取組みについて（2022年12月11日/和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「長谷川時夫トーク&ライブ「タージ・マハル旅行団からミティラー美術館へ」」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.114、2023年3月28日、p.3
- ・執筆：「妻木良三 はじまりの風景」によせて」『なつやすみの美術館12 妻木良三「はじまりの風景」記録集』2023年3月31日、pp.44-45

\* \* \*

- ・全国美術館会議第37回学芸員研修会「美術館の防災対策」に出席（2023年3月20日/国立西洋美術館＊オンライン）
- ・文化庁委託事業「令和4年度 障害者等による文化芸術活動推進事業 公立美術館における障害者等による文化芸術活動を促進させるためのコア人材のコミュニティ形成を軸とした基盤づくり事業」（主催：文化庁/一般社団法人HAPS）における「カンファレンス」への参加（2022年8月31日・10月26日・11月10日・12月14日）
- ・和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議令和4年度幹事に出席（2023年3月17日/和歌山県立博物館）
- ・「戦前の渡米芸術家たちの研究—西海岸を中心に」令和3年度美術館職員調査研究助成（ポーラ美術振興財団）＊コロナ禍により1年延長

所属学会：日本移民学会、マイグレーション研究会

## 宮本久宣

- ・「稗田一穂展」の企画および図録の執筆・編集、関連事業の実施

\* \* \*

- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」第2時限・第8時限（2022年6月8日・9日/和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ⑳〉 ほほえましくも幻想的（稗田一穂《初夏の庭》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022年9月14日、26面
- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉑〉 現実と非現実の間（稗田一穂《帰り路》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022年10月12日、30面
- ・執筆：「交差する風景」『稗田一穂展』図録、2022年9月10日、pp.144-150
- ・講演：御坊ロータリークラブ例会「稗田一穂の作品をめぐって」（2022年11月11日/御坊商工会議所）
- ・執筆：「風景をゆきかゝ 和歌山—東京、熊野—成城」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.113、2022年12月28日、pp.2-3

所属学会：美術史学会

## 青木加苗

- ・「モダン・プリンツ」展の企画および関連事業の実施
- ・「なつやすみの美術館 12 妻木良三「はじまりの風景」」の企画および関連事業、教育普及事業の実施、記録集の執筆・編集
- ・「こども美術館部」の企画および実施
- ・和歌山移民研究に関連した各事業の企画立案実施

\* \* \*

- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉒〉 躍る色と形（アンリ・マティス《『ジャズ』より橋》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022年4月27日、22面
- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉓〉 ジャポニスム 木版の技（ヴァルター・クレム《スケート場》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022年5月11日、22面
- ・講義（非常勤講師）：和歌山大学教育学部「美術鑑賞演習」（2022年4月24日、5月8日、5月28日/和歌山大学）
- ・講義：「コミュニティデザイン概論「美術館とコミュニティがつながりつづけるしくみを考える」（2022年5月26日/成安造形大学 \* オンライン事前収録）
- ・コーディネーター：「ラウンドテーブル① 社会教育法 70 年と社会教育法制をめぐる課題（その6）—博物館法「改正」をめぐる（その3）」（2022年6月5日/2022年度日本社会教育学会 六月集会）
- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」第6時限・第8時限（2022年6月9日/和歌山県立近代美術館）
- ・発表：Adolf Hölzel im Kontext der Internationalen Moderne 「Possibility of Introducing Adolf Hölzel in Japan: Position and Context」（2022年6月24日/\*オンライン）
- ・講義：岡山大学「生涯学習社会論「ミュージアムのサステナビリティと社会のサステナビリティはどうかかわっているのか」（2022年7月13日/\*オンライン）
- ・講義（非常勤講師）：京都市立芸術大学大学院美術研究科「美術史特論2」（2022年8月8日、8月10日、8月12日、8月15日/\*オンライン）
- ・コーディネーター：日本社会教育学会 第69回研究大会「ラウンドテーブル③社会教育法 70 年と社会教育法制をめぐる課題（その5）—博物館法「改正」と関連法をめぐって（その4）」（2022年9月18日/\*オンライン）
- ・執筆：「近代美術館と「世界」の版画」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.112、2022年9月30日、pp.2-3
- ・講義（非常勤講師）：和歌山大学教育学部「美術史概論」（2022年10月1日、10月15日、11月6日/和歌山大学）

- ・発表：日本博物館教育研究所「日本の博物館は「ミュージアム」になれるか」第5回 JILIM\_PUB「深読み！ ICOMの新たな「ミュージアム」定義」（2022年11月24日/\*オンライン）
- ・登壇：「田中秀介展：絵をくぐる」関連シンポジウム「自然史博物館で絵画を展示すること」（2022年11月27日/大阪市立自然史博物館）
- ・執筆：『「絵をくぐる」、あるいは美術という「術」を借りてみる』『田中秀介展：絵をくぐる』パンフレット、大阪市立自然史博物館、2022年11月27日、p.1
- ・執筆：「オリジナル木版画」と水性木版—ヴァルター・クレムとカール・ティーマンの試みを中心に』『DNP文化振興財団 学術研究助成紀要』4、公益財団法人 DNP文化振興財団、2022年12月2日、pp.10-19
- ・執筆：「現代のミュージアムコミュニティが描く「これから」ICOM プラハ大会 2022 報告」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.114、2023年3月28日、pp.6-7
- ・執筆：「漂着するコレクション、あるいは「墓場」に生きるものたちとともに」『なつやすみの美術館 12 妻木良三「はじまりの風景」記録集』2023年3月31日、p.43

\* \* \*

- ・『新・アートの裏側を知るキーワード』（美術出版社、2022年5月20日）への監修協力
- ・大阪市立自然史博物館「田中秀介展：絵をくぐる 大阪市立自然史博物館」（会期：2022年10月25日-12月11日）への企画協力
- ・第365回全国美術館会議に美術館運営制度研究会メンバーとして出席（2022年12月2日/\*オンライン）
- ・「美術検定 2022」2級問題作成者
- ・和歌山大学美術館部サークル外部指導員（2015-）
- ・ICOM-ICFA ボードメンバー（2019-2022）
- ・ICOM-ICFA 委員長（2022-）

所属学会：ICOM-ICFA、意匠学会、美学会、美術科教育学会、美術史学会

## 藤本真名美

- ・「コレクション展 2022-春夏 / 特集 1960s-1980s 関西の現代美術『再見』」の企画および関連事業の実施
- ・「稗田一穂展」の企画および図録の執筆・編集、関連事業の実施
- ・「ミティラー美術館コレクション展」の企画および関連事業の実施

\* \* \*

- ・講義：放送大学1学期面接授業「美術館を知ろう」第4時限・第8時限（2022年6月8日・9日/和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「〈県立近代美術館 コレクションの愉しみ㉔〉 鶴の生命力強調（稗田一穂《群鶴》）」『読売新聞』（和歌山版）、2022年9月28日、24面
- ・発表：「国展落選作品について」（2023年3月6日/第68回近代京都美術研究会）
- ・執筆：「ミティラー美術館コレクション展 in 和歌山」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.114、2023年3月28日、p.2

\* \* \*

- ・全国美術館会議地域美術研究部会第14回会合に出席（2023年2月14日/大阪中之島美術館）
- ・和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議令和4年度幹事会に出席（2023年3月17日/和歌山県立博物館）
- ・歴史資料保全ネット・わかやまの会合に出席（2023年3月30日/和歌山県立博物館）

所属学会：大正イマジネーション学会、明治美術学会、美術史学会

# 収集事業

## 和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- |     |   |
|-----|---|
| 日本画 | 1. 下村観山、川端龍子を軸とする院展の作家たち                        |
|     | 2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち                        |
| 洋画  | 3. 川口軌外を軸とする 1930 年協会、初期独立美術協会の作家たち             |
|     | 4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち               |
|     | 5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち           |
| 版画  | 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画 |
| 彫刻  | 7. 本県にゆかりのある建島覚造、保田春彦を軸とする現代彫刻                  |
| その他 | 8. 戦後美術   |
|     | ア パンリアル美術協会                                     |
|     | イ 走泥社   |
|     | ウ デモクラート美術家協会                                   |
|     | エ 具体美術協会  |
|     | 9. 現代の美術  |
|     | 10. 海外の美術                                       |

## 和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員

榎本長治	会社社長 *協議会会長 (オブザーバー)
五十殿利治	筑波大学名誉教授、同特命教授、独立行政法人国立美術館理事
建島哲	多摩美術大学学長、埼玉県立近代美術館館長
三木哲夫	兵庫陶芸美術館館長

## 第 46 回美術作品選定委員会

日時：2023 年 3 月 7 日 (火) 午後 2 時より開催

出席：榎本長治協議会会長、五十殿利治委員、建島哲委員 (委員長)、三木哲夫委員

内容：購入候補作品ならびに受贈候補作品について、受け入れの妥当性について協議を行った。

## 2022 年度収蔵作品点数

購入作品 17 点 (日本画 2 点、洋画 3 点、版画 12 点)

受贈作品 16 件 168 点 (日本画 20 点、洋画 5 点、水彩・素描 1 点、版画 139 点、彫塑 1 点、資料 2 点)

# 2022年度収蔵作品

\*各作品について、作者名（和英）、作品名、制作年、技法材質（形状）、寸法（cm、特記なき平面作品はイメージサイズ／シートサイズ）、台帳番号、種別を記した。

\*作者名（五十音順、日本人作家／外国人作家）、制作年（昇順）に従って配列している。ただし、「東京百景」シリーズについては、まとめて掲載した。

## 購入

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p>1. 鹿子木 孟郎 KANOKOGI Takeshiro<br/>溪流<br/>1938（昭和13）頃<br/>エッチング、紙<br/>30.6 × 23.4 / 37.1 × 31.8<br/>13093 版画</p> | <p>2. 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo<br/>白い器の中の果物<br/>1927（昭和2）<br/>リトグラフ、紙<br/>34.0 × 51.0 / 39.8 × 57.6<br/>13094 版画</p> | <p>3. 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo<br/>静物（桃と葡萄）<br/>1927（昭和2）<br/>リトグラフ、紙<br/>37.3 × 51.3 / 40.5 × 58.0<br/>13095 版画</p> |
|---|---|---|



4. 清水 登之 SHIMIZU Toshi  
[横浜]  
1921（大正10）  
油彩、キャンバス  
38.0 × 45.5  
13090 洋画



表面

5. 高橋 太三郎 TAKAHASHI Tasaburo  
[籠にいちご]  
1928（昭和3）  
木版、紙  
16.8 × 26.4 / 21.7 × 26.4  
13096 版画



裏面

6. 高橋 太三郎 TAKAHASHI Tasaburo  
[魚を漁る二人の女性]  
1930（昭和5）[推定]  
木版、紙  
23.8 × 28.7 / 25.6 × 30.4  
13097 版画



7. 高橋 太三郎 TAKAHASHI Tasaburo  
[黒い卓上の鯛と人形]  
不詳  
木版、紙  
28.1 × 37.3 / 30.2 × 39.6  
13098 版画



8. 中川 伊作 NAKAGAWA Isaku  
[人形二態]  
1930（昭和5）頃  
木版、紙  
43.2 × 52.2 / 45.9 × 54.8  
13099 版画



9. 中川 伊作 NAKAGAWA Isaku  
[カフェにて]  
昭和戦前期  
木版、紙  
39.6 × 32.7 / 41.6 × 34.5  
13100 版画



10. 中川 伊作 NAKAGAWA Isaku  
入船  
昭和戦前期  
木版、紙  
28.6 × 37.8 / 31.6 × 40.4  
13101 版画



11. 中田 幾久治 NAKADA Kikuji  
勝鬨の渡し  
1934（昭和9）  
エッチング、紙  
24.3 × 32.3 / 34.5 × 43.8  
13102 版画



12. 中田 幾久治 NAKADA Kikuji  
荒川風景  
1935（昭和10）  
エッチング、紙  
45.2 × 36.2 / 55.1 × 44.3  
13103 版画



13. 中田 幾久治 NAKADA Kikuji  
干潟  
1947（昭和22）  
エッチング、紙  
25.5 × 33.5 / 35.5 × 44.1  
13104 版画



14. 野長瀬 晩花 NONAGASE Banka  
 栄光之南紀五景  
 1930 (昭和5)  
 顔料、紙 (色紙5枚組)  
 各 24.3 × 27.2  
 13088 日本画



- 1 潮岬燈台  
 13088-1



- 2 大島より串本港を望む  
 13088-2



- 3 櫻野崎燈台  
 13088-3



- 4 網不知港  
 13088-4



- 5 湯崎温泉より臨海研究所を望む  
 13088-5



15. 浜地 清松 HAMAJI Seimatsu  
 厨房  
 1928 (昭和3)  
 油彩、キャンバス  
 116.0 × 88.5  
 13091 洋画



16. 稗田 一穂 HIEDA Kazuho  
 峡壁  
 2005 (平成17)  
 顔料、紙  
 135.0 × 190.0  
 13089 日本画

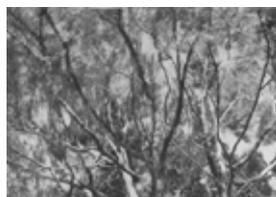


17. 保田 龍門 YASUDA Ryumon  
 北米シアトル郊外  
 1921 (大正10)  
 油彩、板  
 23.3 × 33.0  
 13092 洋画



寄 贈

1. 秋岡 美帆 AKIOKA Miho  
 ゆれるかげ  
 1987 (昭和62)  
 NECO プリント、紙  
 152.5 × 212.0  
 秋岡洋交氏寄贈  
 13107 版画



2. 秋岡 美帆 AKIOKA Miho  
 ゆれるかげ  
 1993 (平成5)  
 NECO プリント、紙  
 218.0 × 275.0  
 秋岡洋交氏寄贈  
 13108 版画



3. 秋岡 美帆 AKIOKA Miho  
 光の間 02-5-15-6  
 2002 (平成14)  
 NECO プリント、紙  
 217.0 × 276.0  
 秋岡洋交氏寄贈  
 13109 版画



4. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 1  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
49.0 × 29.7 / 66.3 × 50.0  
加納光於氏寄贈  
13110 版画



5. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 2  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
41.7 × 33.7 / 66.3 × 50.1  
加納光於氏寄贈  
13111 版画



6. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 3  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
45.1 × 42.2 / 66.0 × 50.0  
加納光於氏寄贈  
13112 版画



7. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 4  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
45.2 × 42.7 / 66.0 × 50.5  
加納光於氏寄贈  
13113 版画



8. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 5  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
35.2 × 50.1 / 58.6 × 50.1  
加納光於氏寄贈  
13114 版画



9. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 6  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
43.2 × 40.0 / 65.8 × 50.2  
加納光於氏寄贈  
12115 版画



10. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 7  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
44.5 × 28.8 / 66.0 × 50.1  
加納光於氏寄贈  
13116 版画



11. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 8  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
49.3 × 29.9 / 66.0 × 50.0  
加納光於氏寄贈  
13117 版画



12. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 9  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
34.5 × 30.7 / 66.2 × 50.0  
加納光於氏寄贈  
13118 版画



13. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 12  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
42.0 × 56.7 / 54.6 × 76.6  
加納光於氏寄贈  
13119 版画



14. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 13  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
57.0 × 42.0 / 76.4 × 56.5  
加納光於氏寄贈  
13120 版画



15. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 14  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
44.5 × 61.7 / 56.6 × 76.5  
加納光於氏寄贈  
13121 版画



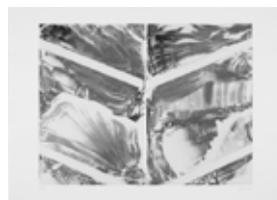
16. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 16  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
59.9 × 42.2 / 76.2 × 56.8  
加納光於氏寄贈  
13122 版画



17. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 17  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
59.9 × 42.0 / 76.2 × 56.5  
加納光於氏寄贈  
13123 版画



18. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 19  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
44.5 × 58.2 / 57.0 × 58.2  
加納光於氏寄贈  
13124 版画



19. 加納光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 21  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
59.7 × 42.1 / 76.3 × 56.8  
加納光於氏寄贈  
13125 版画



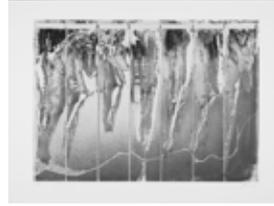
20. 加納 光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 22  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
59.7 × 42.1 / 76.3 × 56.8  
加納光於氏寄贈  
13126 版画



21. 加納 光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 23  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
44.6 × 61.7 / 56.8 × 76.0  
加納光於氏寄贈  
13127 版画



22. 加納 光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 24  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
44.6 × 61.7 / 56.5 × 76.3  
加納光於氏寄贈  
13128 版画



23. 加納 光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 26  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
59.7 × 42.0 / 76.3 × 57.0  
加納光於氏寄贈  
13129 版画



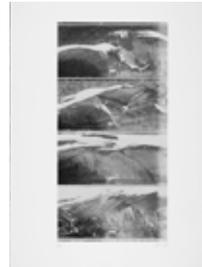
24. 加納 光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 29  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
61.5 × 44.1 / 75.8 × 57.0  
加納光於氏寄贈  
13130 版画



25. 加納 光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 30  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
61.5 × 44.1 / 75.8 × 57.0  
加納光於氏寄贈  
13131 版画



26. 加納 光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 31  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
61.7 × 30.7 / 76.0 × 57.0  
加納光於氏寄贈  
13132 版画



27. 加納 光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 32  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
68.8 × 49.6 / 91.0 × 63.0  
加納光於氏寄贈  
13133 版画



28. 加納 光於 KANO Mitsuo  
「波動説」- intaglio をめぐって  
No. 33  
1984-85 (昭和 59-60)  
カラーインタリオ、紙  
68.8 × 49.6 / 91.0 × 63.0  
加納光於氏寄贈  
13134 版画



29. 加納 光於 KANO Mitsuo  
身を起こした蛇のために ob-1  
1998 (平成 10)  
木、金属  
96.8 × 40.4 × 23.5  
加納光於氏寄贈  
13135 版画



30. 河内 成幸 KAWACHI Seiko  
作品  
1971 (昭和 46)  
木版・銅版、紙  
14.9 × 17.6 / 24.6 × 32.7  
松浦敬紀氏寄贈  
13164 版画



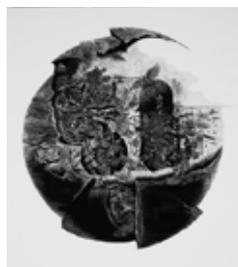
31. 河内 成幸 KAWACHI Seiko  
ただ意味のないアライバイ II  
1975 (昭和 50)  
木版 (凸凹摺)、紙  
60.5 × 44.1 / 66.6 × 48.2  
松浦敬紀氏寄贈  
13165 版画



32. 河内 成幸 KAWACHI Seiko  
白い花  
1980 (昭和 55)  
木版 (凸凹摺)、紙  
30.0 × 22.3 / 42.6 × 33.4  
松浦敬紀氏寄贈  
13166 版画



33. 小林 敬生 KOBAYASHI Keisei  
蘇生の刻 - 緑の星 -  
1996 (平成 8)  
木口木版 (雁皮刷)、紙  
85.4 × 81.6 / 109.5 × 93.6  
松浦敬紀氏寄贈  
13167 版画



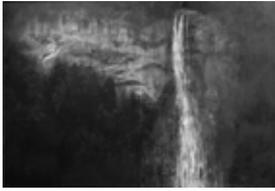
34. 佐藤 春夫 SATO Haruo  
[蓬萊山]  
制作年不詳  
顔料、紙  
123.0 × 30.0  
澤村経夫氏寄贈  
13143 日本画



35. 清水 達三 SHIMIZU Tatsuzo  
日蝕  
1991 (平成 3)  
顔料、紙  
224.5 × 179.8  
清水薫氏寄贈  
13148 日本画



36. 清水達三 SHIMIZU Tatsuzo  
朝の那智  
2014 (平成 26)  
顔料、紙  
182.0 × 258.0  
清水薫氏寄贈  
13149 日本画



37. 清水達三 SHIMIZU Tatsuzo  
京舞妓  
2020 (令和 4)  
顔料、紙  
144.0 × 88.0  
清水薫氏寄贈  
13150 日本画



38. 園部邦香 SONOBE Kunika  
[風景]  
1928-31 (昭和 3-6)  
油彩、キャンバス  
37.8 × 54.5  
堀内俊延氏寄贈  
13162 洋画



39. 中田幾久治 NAKADA Kikuji  
干潟 (デッサン)  
1947 (昭和 22)  
鉛筆、紙  
24.2 × 32.5  
吉留直輝氏寄贈  
13269 水彩・素描



40. 新田穰 NITTA Jo  
[ランプ]  
1944 (昭和 19)  
木版、紙  
40.7 × 31.1  
澤村経夫氏寄贈  
13144 版画



41. 新田穰 NITTA Jo  
[水辺]  
1948 (昭和 23)  
パステル、紙  
23.2 × 29.5  
澤村経夫氏寄贈  
13145 洋画



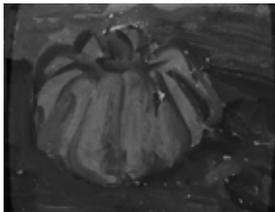
42. 野長瀬晩花 NONAGASE Banka  
往年のサチガイモと砂漠を行く行商  
制作年不詳  
顔料、紙  
30.0 × 33.2  
木谷幹一氏寄贈  
13136 日本画



43. 馬場彬 BABA Akira  
余白のある風景・A  
1980 (昭和 55)  
油彩・コラージュ、キャンバス  
45.4 × 53.3  
松浦敬紀氏寄贈  
13168 洋画



44. 原勝四郎 HARA Katsushiro  
[南瓜]  
制作年不詳  
油彩、厚紙  
21.5 × 27.4  
澤村経夫氏寄贈  
13146 洋画



45. 稗田一穂 HIEDA Kazuho  
晩夏  
1998 (平成 10)  
顔料、紙  
190.0 × 155.0  
木原達夫氏寄贈  
13137 日本画



46. 稗田一穂 HIEDA Kazuho  
野菜  
1933 (昭和 8)  
顔料、絹  
32.7 × 76.9  
稗田由季氏、田中麻琴氏寄贈  
13155 日本画



47. 稗田一穂 HIEDA Kazuho  
こずもす  
1942 (昭和 9)  
顔料、絹  
36.2 × 117.0  
稗田由季氏、田中麻琴氏寄贈  
13156 日本画



48. 稗田一穂 HIEDA Kazuho  
けし  
1934 (昭和 9)  
顔料、絹  
116.0 × 36.0  
稗田由季氏、田中麻琴氏寄贈  
13157 日本画



49. 稗田一穂 HIEDA Kazuho  
蛾  
1959 (昭和 34)  
顔料、紙  
80.5 × 65.0  
稗田由季氏、田中麻琴氏寄贈  
13158 日本画



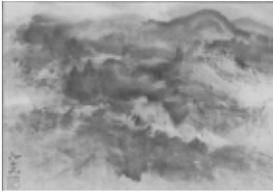
50. 日高昌克 HIDAKA Shokoku  
双鶴図  
1935 (昭和 10)  
顔料、絹  
151.1 × 51.1  
近藤基子氏寄贈  
13138 日本画



51. 日高昌克 HIDAKA Shokoku  
達磨大師  
1942 (昭和 17)  
顔料・墨、紙  
150.7 × 44.3  
近藤基子氏寄贈  
13139 日本画



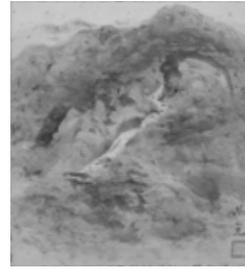
52. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku  
初夏雨晴図  
1954 (昭和 29)  
顔料・墨、紙  
30.1 × 43.2  
近藤基子氏寄贈  
13140 日本画



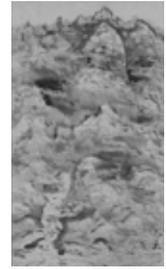
53. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku  
初秋の山  
1954 (昭和 29)  
顔料・墨、紙  
29.6 × 26.4  
近藤基子氏寄贈  
13141 日本画



54. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku  
深秋図  
1954-1959 (昭和 29-34) 頃  
顔料・墨、紙  
27.6 × 25.0  
近藤基子氏寄贈  
13142 日本画



55. 日高 昌克 HIDAKA Shokoku  
[巖峰図]  
1951-59 (昭和 26-34)  
顔料・墨、紙  
53.5 × 29.7  
澤村経夫氏寄贈  
13147 日本画



56. 保田 龍門 YASUDA Ryumon  
[風景]  
制作年不詳  
油彩、キャンバスボード  
23.8 × 32.8  
灰智慧子氏寄贈  
13151 洋画



57. 湯川 三舟 YUKAWA Sanshu  
[雪景溪流図]  
昭和初期  
墨、紙  
148.0 × 156.0  
平松栄次氏寄贈  
13159 日本画



58. 湯川 三舟 YUKAWA Sanshu  
[有田川之図]  
昭和初期  
墨、紙  
146.0 × 206.0  
平松栄次氏寄贈  
13160 日本画



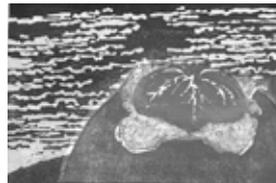
59. 湯川 三舟 YUKAWA Sanshu  
山村初冬図  
昭和初期  
墨、紙  
132.5 × 37.5  
平松栄次氏寄贈  
13161 日本画



60. 湯川 三舟 YUKAWA Sanshui  
[山村初冬図]  
昭和初期  
墨、紙  
150.0 × 157.2  
堀内俊延氏寄贈  
13163 日本画



61. 若木 くるみ WAKAKI Kurumi  
赤蜜柑  
2022 (令和 4)  
木版、紙  
14.0 × 20.0 / 20.5 × 26.0  
和歌山県立近代美術館友の会寄贈  
13270 版画



62. 若木 くるみ WAKAKI Kurumi  
未完  
2022 (令和 4)  
木版、紙  
13.2 × 19.8 / 21.2 × 26.0  
和歌山県立近代美術館友の会寄贈  
13271 版画



63. 若木 くるみ WAKAKI Kurumi  
みかんジュー図  
2022 (令和 4)  
木版、紙  
13.2 × 19.5 / 21.0 × 26.8  
和歌山県立近代美術館友の会寄贈  
13272 版画



64. 若林 奮 WAKABAYASHI Isamu  
S字-I  
1977 (昭和 52) / 1994 (平成 6)  
銅版、紙  
23.0 × 17.0  
長谷見雄二氏寄贈  
13152 版画



65. 若林 奮 WAKABAYASHI Isamu  
鮭の振動尺I-A  
1978 (昭和 53)  
銅版、紙  
17.8 × 140.2  
長谷見雄二氏寄贈  
13153 版画



66. 若林 奮 WAKABAYASHI Isamu  
版画集『52 記』  
1988-93 (昭和 63-平成 5) /  
1995 (平成 7) 発行  
銅版ほか、紙、(冊子)  
39.8 × 30.3 × 3.9 (箱)  
長谷見雄二氏寄贈  
13154 版画



1 52 記-1  
15.3 × 10.0 / 38.2 × 28.4  
13154-1



2 52 記 -2  
15.3 × 9.9 / 38.2 × 28.4  
13154-2



3 52 記 -3  
15.3 × 9.9 / 38.0 × 28.4  
13154-3



4 52 記 -4  
14.7 × 10.0 / 38.0 × 28.5  
13154-4



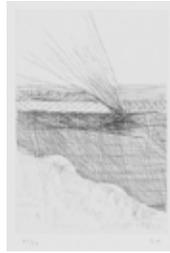
5 52 記 -5  
14.8 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-5



6 52 記 -6  
14.8 × 9.9 / 38.3 × 28.3  
13154-6



7 52 記 -7  
14.8 × 9.9 / 38.2 × 28.6  
13154-7



8 52 記 -8  
14.6 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-8



9 52 記 -9  
15.3 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-9



10 52 記 -10  
15.2 × 9.9 / 38.3 × 28.5  
13154-10



11 52 記 -11  
14.7 × 9.9 / 38.2 × 28.6  
13154-11



12 52 記 -12  
15.3 × 9.9 / 38.3 × 28.6  
13154-12



13 52 記 -13  
14.7 × 9.9 / 38.3 × 28.4  
13154-13



14 52 記 -14  
14.8 × 9.9 / 38.1 × 28.4  
13154-14



15 52 記 -15  
15.3 × 9.9 / 38.3 × 28.4  
13154-15



16 52 記 -16  
14.7 × 9.9 / 38.2 × 28.4  
13154-16



17 52 記 -17  
14.7 × 9.9 / 38.2 × 28.6  
13154-17



18 52 記 -18  
14.7 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-18



19 52 記 -19  
14.7 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-19



20 52 記 -20  
14.7 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-20



21 52 記 -21  
15.0 × 10.0 / 38.3 × 28.5  
13154-21



22 52 記 -22  
18.2 × 11.7 / 38.4 × 28.7  
13154-22



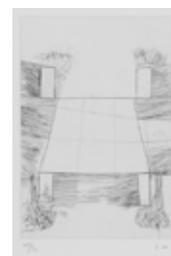
23 52 記 -23  
18.2 × 9.7 / 38.5 × 28.7  
13154-23



24 52 記 -24  
15.3 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-24



25 52 記 -25  
14.7 × 9.9 / 38.3 × 28.5  
13154-25



26 52 記 -26  
15.3 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-26



27 52 記 -27  
14.8 × 9.9 / 38.2 × 28.6  
13154-27



28 52 記 -28  
16.9 × 12.2 / 38.2 × 28.5  
13154-28



29 52 記 -29  
17.0 × 12.3 / 38.2 × 28.6  
13154-29



30 52 記 -30  
17.0 × 12.2 / 38.2 × 28.5  
13154-30



31 52 記 -31  
17.0 × 12.2 / 38.2 × 28.5  
13154-31



32 52 記 -32  
17.0 × 12.3 / 38.3 × 28.5  
13154-32



33 52 記 -33  
15.3 × 9.9 / 38.3 × 28.4  
13154-33



34 52 記 -34  
17.0 × 12.3 / 38.4 × 28.5  
13154-34



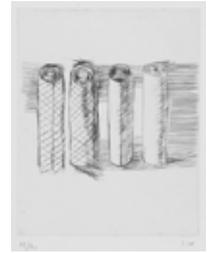
35 52 記 -35  
15.0 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-35



36 52 記 -36  
15.0 × 9.9 / 38.2 × 28.5  
13154-36



37 52 記 -37  
14.9 × 9.9 / 38.2 × 28.4  
13154-37



38 52 記 -38  
14.7 × 9.9 / 38.1 × 28.5  
13154-38



39 52 記 -39  
14.6 × 9.9 / 38.1 × 28.5  
13154-39



40 52 記 -40  
14.7 × 9.9 / 38.1 × 28.5  
13154-40



41 52 記 -41  
14.7 × 10.0 / 38.1 × 28.6  
13154-41



42 52 記 -42  
15.3 × 11.0 / 38.1 × 28.5  
13154-42



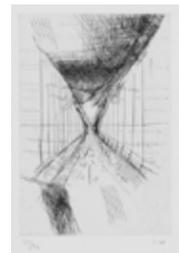
43 52 記 -43  
14.8 × 9.9 / 38.1 × 28.5  
13154-43



44 52 記 -44  
15.3 × 11.0 / 38.1 × 28.5  
13154-44



45 52 記 -45  
14.7 × 10.0 / 38.1 × 28.5  
13154-45



46 52 記 -46  
14.7 × 10.0 / 38.1 × 28.5  
13154-46



47 52 記 -47  
15.3 × 11.0 / 38.1 × 28.5  
13154-47



48 52 記 -48  
15.3 × 11.0 / 38.1 × 28.5  
13154-48



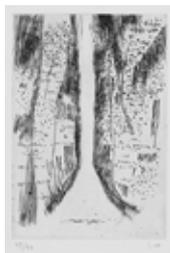
49 52 記 -49  
14.7 × 10.0 / 38.1 × 28.5  
13154-49



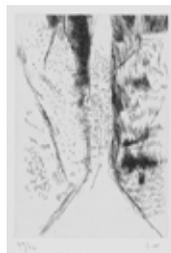
50 52 記 -50  
14.7 × 10.0 / 38.1 × 28.5  
13154-50



51 52 記 -51  
14.7 × 10.0 / 38.1 × 28.5  
13154-51



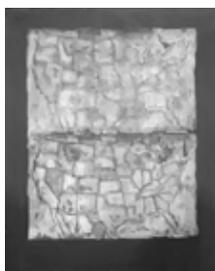
52 52 記 -52  
14.7 × 10.0 / 38.1 × 28.5  
13154-52



67. クリスト CHRISTO (Javacheff)  
ランニング・フェンス  
1977 (昭和 52)  
オフセットリトグラフ、紙、\*ポスター  
63.5 × 99.0  
志水陽子氏寄贈  
13105 資料



68. ジャスパー・ジョンズ Jasper JOHNS  
Two Maps I  
1965-66 (昭和 40-41)  
リトグラフ、紙  
84.5 × 67.5  
志水陽子氏寄贈  
13106 版画



東京百景  
(松浦敬紀氏寄贈)

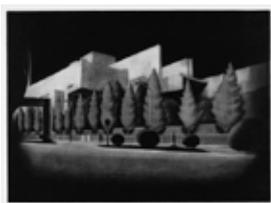
69. 萩原 英雄 HAGIWARA Hideo  
東京百景 第一集 1  
東京たそがれ  
1989 (平成元)  
木版、紙  
52.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13169 版画



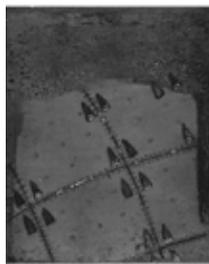
70. 北岡 文雄 KITAOKA Fumio  
東京百景 第一集 2  
湾岸芝浦  
1989 (平成元)  
木版、紙  
40.0 × 55.0 / 45.0 × 63.0  
13170 版画



71. 深沢 幸雄 FUKAZAWA Yukio  
東京百景 第一集 3  
最高裁の見える風景  
1989 (平成元)  
アクアチント・メゾチント、紙  
36.1 × 49.7 / 45.0 × 63.0  
13171 版画



72. 清塚 紀子 KIYOTSUKA Noriko  
東京百景 第一集 4  
空港 - 1989  
1989 (平成元)  
エッチング・アクアチント・鉛箔・ハンダ、紙  
51.2 × 41.3 / 63.0 × 45.0  
13172 版画



73. 吉田 穂高 YOSHIDA Hodaka  
東京百景 第一集 5  
数寄屋橋交番  
1989 (平成元)  
亜鉛凸版・板目木版、紙  
39.0 × 57.0 / 45.0 × 63.0  
13173 版画



74. 原 健 HARA Takeshi  
東京百景 第一集 6  
東京ドーム  
1989 (平成元)  
リトグラフ、紙  
36.0 × 53.0 / 45.0 × 63.0  
13174 版画



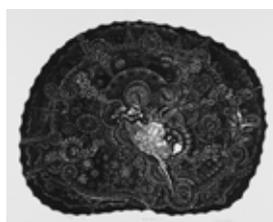
75. 宮下 登喜雄 MIYASHITA Tokio  
東京百景 第一集 7  
摩天楼 - Shinjuku  
1989 (平成元)  
木版・銅版、紙  
49.5 × 36.0 / 63.0 × 45.0  
13175 版画



76. 田村 文雄 TAMURA Fumio  
東京百景 第一集 8  
幻影風景 - 佃小橋  
1989 (平成元)  
リトグラフ、紙  
39.0 × 52.5 / 45.0 × 63.0  
13176 版画



77. 日和崎 尊夫 HIWASAKI Takao  
東京百景 第一集 9  
未来都市 - T  
1989 (平成元)  
木口木版、紙  
30.0 × 37.5 / 45.0 × 63.0  
13177 版画



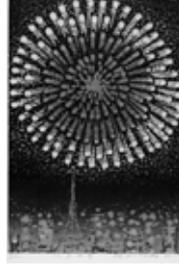
78. 多賀 新 TAGA Shin  
東京百景 第一集 10  
江戸川からの見晴らし  
(金町、紫又方面)  
1989 (平成元)  
エッチング、紙  
48.0 × 30.0 / 63.0 × 45.0  
13178 版画



79. 笹島 喜平 SASAJIMA Kihei  
東京百景 第二集 11  
四谷風景  
1990 (平成 2)  
木版拓刷、紙  
45.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13179 版画



80. 吹田 文明 FUKITA Fumiaki  
東京百景 第二集 12  
江戸の花  
1990 (平成 2)  
木版、紙  
51.7 × 35.2 / 63.4 × 46.7  
13180 版画



81. 高橋 力雄 TAKAHASHI Rikio  
東京百景 第二集 13  
東京タワー  
1990 (平成 2)  
木版、紙  
49.7 × 37.0 / 63.0 × 45.0  
13181 版画



82. 吉田 遠志 YOSHIDA Toshi  
東京百景 第二集 14  
東京港野鳥公園  
1990 (平成 2)  
板目木版・並鉛凸版、紙  
57.0 × 39.0 / 63.0 × 45.0  
13182 版画



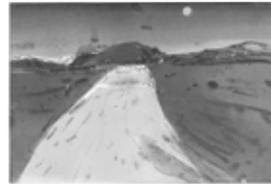
83. 馬場 禱男 BABA Kashio  
東京百景 第二集 15  
浅草  
1990 (平成 2)  
リトグラフ、紙  
38.0 × 53.0 / 45.0 × 63.0  
13183 版画



84. 中林 忠良 NAKABAYASHI Tadayoshi  
東京百景 第二集 16  
転位 '90 - 地 - 上野  
1990 (平成 2)  
エッチング・アクアチント、紙  
50.0 × 40.0 / 63.0 × 45.0  
13184 版画



85. 堀井 英男 HORII Hideo  
東京百景 第二集 17  
多摩川遠望  
1990 (平成 2)  
アクアチント・エッチング、紙  
29.0 × 42.5 / 45.0 × 63.0  
13185 版画



86. 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi  
東京百景 第二集 18  
怪魚圖  
1990 (平成 2)  
木口木版・カーボンコピー、紙  
27.3 × 40.8 / 45.0 × 63.0  
13186 版画



87. 小林 清子 KOBAYASHI Kiyoko  
東京百景 第二集 19  
赤坂見附  
1990 (平成 2)  
リトグラフ、紙  
40.0 × 57.5 / 45.0 × 63.0  
13187 版画



88. 東谷 武美 AZUMAYA Takemi  
東京百景 第二集 20  
晴海周辺 - 午睡  
1990 (平成 2)  
リトグラフ、紙  
34.0 × 49.0 / 45.0 × 63.0  
13188 版画



89. 金守 世士夫 KANAMORI Yoshio  
東京百景 第三集 21  
湖山く幻涵・日本橋節子の像  
1991 (平成 3)  
木版、紙  
52.0 × 34.5 / 63.0 × 45.0  
13189 版画



90. 小作 青史 OZAKU Seishi  
東京百景 第三集 22  
国会議事堂  
1991 (平成 3)  
リトグラフ、紙  
50.0 × 35.5 / 63.0 × 45.0  
13190 版画



91. 岩見 禮花 IWAMI Reika  
東京百景 第三集 23  
銀座幻想  
1991 (平成 3)  
木版、金箔、紙  
52.0 × 37.0 / 63.0 × 45.0  
13191 版画



92. 天野 邦弘 AMANO Kunihiro  
東京百景 第三集 24  
春の銀座四丁目  
1991 (平成 3)  
木版、紙  
35.0 × 53.0 / 45.0 × 63.0  
13192 版画



93. 坂東 壮一 BANDO Soichi  
東京百景 第三集 25  
竹芝棧橋  
1991 (平成 3)  
エッチング、紙  
25.0 × 36.0 / 63.0 × 45.0  
13193 版画



94. 相笠 昌義 AIGASA Masayoshi  
東京百景 第三集 26  
皇居、二重橋  
1991 (平成 3)  
エッチング・アクアチント、紙  
28.0 × 48.0 / 45.0 × 63.0  
13194 版画



95. 船坂 芳助 FUNASAKA Yoshisuke  
東京百景 第三集 27  
闇の銀座  
1991 (平成 3)  
木版、紙  
38.0 × 53.0 / 45.0 × 63.0  
13195 版画



96. 加藤 清美 KATO Kiyomi  
東京百景 第三集 28  
明治神宮表参道 I  
1991 (平成 3)  
エッチング・アクアチント・ドライポイント、紙  
40.0 × 33.0 / 63.0 × 45.0  
13196 版画



97. 磯見 輝夫 ISYOMI Teruo  
東京百景 第三集 29  
上野恩賜公園  
1991 (平成 3)  
木版、紙  
38.0 × 55.0 / 45.0 × 63.0  
13197 版画



98. 園山 晴巳 SONOYAMA Harumi  
東京百景 第三集 30  
歌舞伎座  
1991 (平成 3)  
リトグラフ、紙  
42.0 × 52.0 / 45.0 × 63.0  
13198 版画



99. 岡本 省吾 OKAMOTO Shogo  
東京百景 第四集 31  
初冬不忍  
1992 (平成 4)  
エッチング・メゾチント、紙  
30.0 × 45.6 / 45.0 × 63.0  
13199 版画



100. 山野辺 義雄 YAMANOBE Yoshio  
東京百景 第四集 32  
バルテノン多摩  
1992 (平成 4)  
リトグラフ、紙  
47.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13200 版画



101. 西澤 静男 NISHIZAWA Shizuo  
東京百景 第四集 33  
'91.5 東京駅  
1992 (平成 4)  
アクアチント、紙 (唐紙ハメ込み)  
21.7 × 49.5 / 45.0 × 63.0  
13201 版画



102. 二見 彰一 FUTAMI Shoichi  
東京百景 第四集 34  
神田駿河台ニコライ堂  
1992 (平成 4)  
アクアチント・  
ソフトグラウンドエッチング、紙  
41.5 × 28.0 / 63.0 × 45.0  
13202 版画



103. 小畑 勉 OBATA Tsutomu  
東京百景 第四集 35  
Inside scene of Kabukiza  
1992 (平成 4)  
木版、紙  
34.0 × 53.0 / 45.0 × 63.0  
13203 版画



104. 栗山 茂 KURIYAMA Shigeru  
東京百景 第四集 36  
東京国立博物館  
1992 (平成 4)  
紙木混凸版、紙  
29.0 × 42.0 / 45.0 × 63.0  
13204 版画



105. 日下 賢二 KUSAKA Kenji  
東京百景 第四集 37  
羽田空港暮色  
1992 (平成 4)  
木版、紙  
31.0 × 49.0 / 45.0 × 63.0  
13205 版画



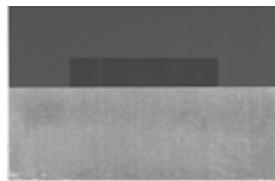
106. 黒崎 彰 KUROSAKI Akira  
東京百景 第四集 38  
王子紙の博物館  
1992 (平成 4)  
木版、紙  
53.0 × 36.0 / 63.0 × 45.0  
13206 版画



107. 若生 秀二 WAKO Shuji  
東京百景 第四集 39  
夕凧・勝鬨橋  
1992 (平成 4)  
リトグラフ、純金箔、紙  
32.0 × 48.0 / 45.0 × 63.0  
13207 版画



108. 天野 純治 AMANO Junji  
東京百景 第四集 40  
WATER FRONT  
1992 (平成 4)  
シルクスクリーン、紙  
32.0 × 41.0 / 45.0 × 63.0  
13208 版画



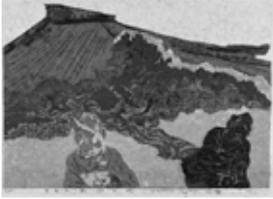
109. 由木 礼 YUKI Rei  
東京百景 第五集 41 黄昏  
(お茶の水)  
1993 (平成 5)  
木版、紙  
55.0 × 36.0 / 63.0 × 45.0  
13209 版画



110. 河内 成幸 KAWACHI Seiko  
東京百景 第五集 42  
今を翔べ (都庁-I)  
1993 (平成 5)  
木版凸凹刷、紙  
55.8 × 37.8 / 63.0 × 45.0  
13210 版画



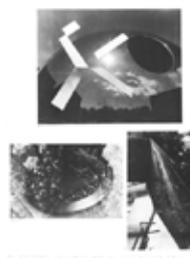
111. 田島 征彦 TAJIMA Yukihiko  
東京百景 第五集 43  
小岩不動尊、善養寺、影向の松  
1993 (平成 5)  
シルクスクリーン、紙  
43.0 × 61.0 / 45.0 × 63.0  
13211 版画



112. 坂爪 厚生 SAKAZUME Atsuo  
東京百景 第五集 44  
都庁  
1993 (平成 5)  
メゾチント・アクアチント・エッチング、紙  
35.0 × 49.5 / 45.0 × 63.0  
13212 版画



113. 田辺 和郎 TANABE Kazuro  
東京百景 第五集 45  
多重露光・美術館三景  
1993 (平成 5)  
シルクスクリーン、紙  
37.0 × 50.0 / 45.0 × 63.0  
13213 版画



114. 柳澤 紀子 YANAGISAWA Noriko  
東京百景 第五集 46  
東京の杜 花園神社 (新宿)  
1993 (平成 5)  
アクアチント・メゾチント・  
エッチング、紙  
39.5 × 45.0 / 45.0 × 63.0  
13214 版画



115. 佐藤 暢男 SATO Nobuo  
東京百景 第五集 47  
靖国神社「みたままつり」  
(千代田区靖国神社)  
1993 (平成 5)  
メゾチント・エッチング、紙  
20.0 × 36.0 / 45.0 × 63.0  
13215 版画



116. 上野 遼 UENO Shu  
東京百景 第五集 48  
上野駅  
1993 (平成 5)  
木版、紙  
35.0 × 51.0 / 45.0 × 63.0  
13216 版画



117. 森野 真弓 MORINO Mayumi  
東京百景 第五集 49  
夢の島 (第五福龍丸)  
1993 (平成 5)  
エッチング、紙  
51.0 × 37.0 / 63.0 × 45.0  
13217 版画



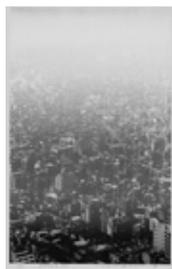
118. 利根山 光人 TONEYAMA Kojin  
東京百景 第五集 50  
東京ラプソディー  
1993 (平成 5)  
リトグラフ、紙  
43.0 × 60.0 / 45.0 × 63.0  
13218 版画



119. 池田 満寿夫 IKEDA Masuo  
東京百景 第六集 51  
東京タワー  
1995 (平成 7)  
エッチング・アクアチント  
ドライポイント・ルーレット、紙  
39.2 × 19.6 / 63.3 × 45.0  
13219 版画



120. 吉田 千鶴子 YOSHIDA Chizuko  
東京百景 第六集 52  
望首都西郊・梅雨  
1995 (平成 7)  
木版・亜鉛凸版、紙  
56.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13220 版画



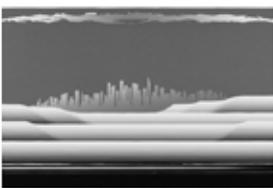
121. 浜西 勝則 HAMANISHI Katsunori  
東京百景 第六集 53  
明治神宮三題  
1995 (平成 7)  
メゾチント、紙  
36.0 × 44.0 / 45.0 × 63.0  
13221 版画



122. 星野 美智子 HOSHINO Michiko  
東京百景 第六集 54  
高井戸ローカル・エネルギー・センター  
1995 (平成 7)  
リトグラフ、紙  
53.0 × 40.0 / 63.0 × 45.0  
13222 版画



123. 富田 文雄 TOMITA Fumio  
東京百景 第六集 55  
東京湾  
1995 (平成 7)  
シルクスクリーン、紙  
35.0 × 53.0 / 45.0 × 63.0  
13223 版画



124. 川西 祐三郎 Kawanishi Yuzaburo  
東京百景 第六集 56  
両国国技館  
1995 (平成 7)  
木版、紙  
52.0 × 39.0 / 63.0 × 45.0  
13224 版画



125. 栗田 政裕 KURITA Masahiro  
東京百景 第六集 57  
新宿・ラビリンス  
1995 (平成 7)  
板目木版・木口木版、紙  
28.0 × 40.3 / 45.0 × 63.0  
13225 版画



126. 渡會 純价 WATARAI Junsuke  
東京百景 第六集 58  
東京アラベスク (羽田空港)  
1995 (平成 7)  
エッチング・アクアチント、紙  
40.0 × 36.0 / 63.0 × 45.0  
13226 版画



127. 丸山 浩司 MARUYAMA Hiroshi  
東京百景 第六集 59  
首都高速 4 号線・新宿  
1995 (平成 7)  
木版・シルクスクリーン、紙  
50.0 × 38.0 / 63.0 × 45.0  
13227 版画



128. 田中 良平 TANAKA Ryohei  
東京百景 第六集 60  
神田古書店街  
1995 (平成 7)  
銅版、紙  
21.0 × 52.0 / 45.0 × 63.0  
13228 版画



129. 野見山 暁治 NOMIYAMA Gyoji  
東京百景 第七集 61  
新宿  
1996 (平成 8)  
エッチング・手彩、紙  
32.5 × 52.5 / 45.0 × 63.0  
13229 版画



130. 堀江 良一 HORIE Ryoichi  
東京百景 第七集 62  
谷中学校  
1996 (平成 8)  
木版、紙  
52.0 × 34.8 / 63.0 × 45.0  
13230 版画



131. 前田 守一 MAEDA Morikazu  
東京百景 第七集 63  
お化け煙突のおすべり  
(足立区元宿小学校々庭)  
1996 (平成 8)  
木版、紙  
29.5 × 45.0 / 45.0 × 63.0  
13231 版画



132. 柴田 昌一 SHIBATA Shoichi  
東京百景 第七集 64  
新宿福都心遠望  
1996 (平成 8)  
エッチング・アクアチント、紙  
35.0 × 53.0 / 45.0 × 63.0  
13232 版画



133. 蓮尾 力 HASUO Tsutomu  
東京百景 第七集 65  
せせらぎのもや (鳩の巣渓谷)  
1996 (平成 8)  
木版、紙  
58.0 × 40.0 / 63.0 × 45.0  
13233 版画



134. 蒲池 清爾 KAMACHI Seiji  
東京百景 第七集 66  
都庁幻想  
1996 (平成 8)  
エッチング・エンゲレーヴィング、紙  
46.0 × 36.0 / 63.0 × 45.0  
13234 版画



135. 中山 隆右 NAKAYAMA Takasuke  
東京百景 第七集 67  
光譜 - 東京ビックサイト -  
1996 (平成 8)  
シルクスクリーン、紙  
35.0 × 53.0 / 45.0 × 63.0  
13235 版画



136. 傍嶋 康博 SOBAJIMA Yasuhiro  
東京百景 第七集 68  
柴又七福神  
1996 (平成 8)  
リトグラフ、紙  
30.0 × 45.0 / 45.0 × 63.0  
13236 版画



137. 斉藤 武士 SAITO Takeshi  
東京百景 第七集 69  
MEMORY-96-VI (新宿副都心)  
1996 (平成 8)  
エッチング・アクアチント  
コラグラフ、紙  
47.2 × 35.5 / 63.0 × 45.0  
13237 版画



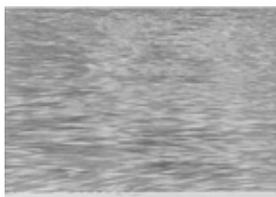
138. 小山 愛人 KOYAMA Abito  
東京百景 第七集 70  
お台場  
1996 (平成 8)  
シルクスクリーン、紙  
34.0 × 50.0 / 45.0 × 63.0  
13238 版画



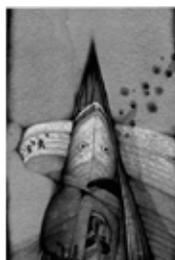
139. 若林 奮 WAKABAYASHI Isamu  
東京百景 第八集 71  
日の出町谷戸沢  
1996 (平成 8)  
ドライポイント、紙  
49.5 × 28.0 / 63.0 × 45.0  
13239 版画



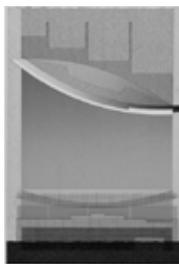
140. 吉田 亜世美 YOSHIDA Ayomi  
東京百景 第八集 72  
神田川、井の頭辺り  
1997 (平成 9)  
木版、紙  
38.0 × 56.0 / 45.0 × 63.0  
13240 版画



141. 藤岡 慎 FUJIOKA Shin  
東京百景 第八集 73  
夢の島・第五福竜丸展示館  
1997 (平成 9)  
リトグラフ、紙  
52.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13241 版画



142. 山口 博一 YAMAGUCHI Hirokazu  
東京百景 第八集 74  
ガラスの船 / T.I.F  
1997 (平成 9)  
シルクスクリーン・リトグラフ、紙  
53.0 × 37.0 / 63.0 × 45.0  
13242 版画



143. 若月 公平 WAKATSUKI Kohei  
東京百景 第八集 75  
満月 - 日本橋  
1997 (平成9)  
アクアチント・エッチング、紙  
45.0 × 30.0 / 63.0 × 45.0  
13243 版画



144. 松島 順子 MATSUSHIMA Junko  
東京百景 第八集 76  
田園調布  
1997 (平成9)  
リトグラフ、紙  
47.0 × 33.0 / 63.0 × 45.0  
13244 版画



145. 高垣 秀光 TAKAGAKI Shuko  
東京百景 第八集 77  
紙の家  
1997 (平成9)  
木版、紙  
54.0 × 38.0 / 63.0 × 45.0  
13245 版画



146. 小川 正明 OGAWA Masaaki  
東京百景 第八集 78  
池袋展望、音羽より  
1997 (平成9)  
エッチング・アクアチント・  
ドライポイント、紙  
36.0 × 50.0 / 45.0 × 63.0  
13246 版画



147. 古谷 博子 FURUYA Hiroko  
東京百景 第八集 79  
夜想曲 - 隅田川  
1997 (平成9)  
木版、紙  
53.0 × 36.0 / 63.0 × 45.0  
13247 版画



148. 橋本 潔 HASHIMOTO Kiyoshi  
東京百景 第八集 80  
むさし野幻景  
1997 (平成9)  
アクアチント・ドライポイント、紙  
30.0 × 36.5 / 45.0 × 63.0  
13248 版画



149. 野田 哲也 NODA Tetsuya  
東京百景 第九集 81  
日記：1998年11月24日  
上野公園  
1998 (平成10)  
木版・セリグラフ、紙  
48.0 × 33.0 / 63.0 × 45.0  
13249 版画



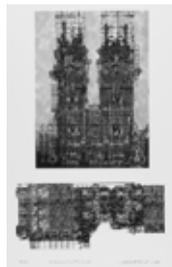
150. 作田 富幸 SAKUTA Tomiyuki  
東京百景 第九集 82  
竹橋、東京国立近代美術館  
1998 (平成10)  
銅版、紙  
36.5 × 50.0 / 45.0 × 63.0  
13250 版画



151. 古賀 章 KOGA Akira  
東京百景 第九集 83  
風景 (Tokyo Tower)  
1998 (平成10)  
木版・コラグラフ手彩、紙  
53.0 × 36.0 / 63.0 × 45.0  
13251 版画



152. 遠藤 竜太 ENDO Ryuta  
東京百景 第九集 84  
情報都市・新宿  
1998 (平成10)  
リトグラフ、紙  
54.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13252 版画



153. 岩切 裕子 IWAKIRI Yuko  
東京百景 第九集 85  
外苑 - ムーンライト・スタジアム -  
1998 (平成10)  
木版・コラグラフ、紙  
48.0 × 32.0 / 63.0 × 45.0  
13253 版画



154. 三塩 英春 MISHIO Hideharu  
東京百景 第九集 86  
目黒不動  
1998 (平成10)  
木口木版、紙  
21.0 × 30.0 / 45.0 × 63.0  
13254 版画



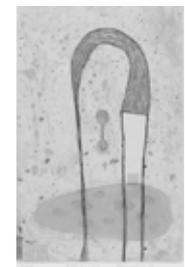
155. 西川 洋一郎 NISHIKAWA Yoichiro  
東京百景 第九集 87  
1945∞時を架ける橋(皇居二重橋)  
1998 (平成10)  
リトグラフ、紙  
53.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13255 版画



156. 利涉 重雄 RISHO Shigeo  
東京百景 第九集 88  
「2つの塔」聖路加ガーデン  
1998 (平成10)  
エッチング・アクアチント、紙  
50.0 × 33.0 / 63.0 × 45.0  
13256 版画



157. 岡田 まりゑ OKADA Marie  
東京百景 第九集 89  
灰色の穴にツモル - HINODE  
(日の出町谷沢ゴミ処分場)  
1998 (平成10)  
エッチング・アクアチント・コラージュ、紙  
50.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13257 版画



158. 吉岡 弘昭 YOSHIOKA Hiroaki  
東京百景 第九集 90  
両国国技館 相撲の図  
1998 (平成10)  
ドライポイント・凸版、紙  
34.0 × 38.0 / 45.0 × 63.0  
13258 版画



159. 李禹煥 LEE U-Fan  
東京百景 第十集 91  
DESERT GINZA  
1999 (平成 11)  
ドライポイント、紙  
33.0 × 46.0 / 45.0 × 63.0  
13259 版画



160. 八木 なぎさ YAGI Nagisa  
東京百景 第十集 92  
品川駅  
1999 (平成 11)  
リトグラフ、紙  
52.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13260 版画



161. 平木 美鶴 HIRAKI Mitsuru  
東京百景 第十集 93  
6月 - 不忍池 -  
1999 (平成 11)  
木版、紙  
55.0 × 37.0 / 63.0 × 45.0  
13261 版画



162. 日向野 桂子 HIGANO Katsurako  
東京百景 第十集 94  
夢の島熱帯植物館  
1999 (平成 11)  
エッチング・アクアチント・コラグラフ、紙  
30.0 × 45.0 / 45.0 × 63.0  
13262 版画



163. 小川 幸一 OGAWA Koichi  
東京百景 第十集 95  
1999 永田町、国会議事堂  
1999 (平成 11)  
シルクスクリーン、紙  
35.5 × 50.3 / 45.0 × 63.0  
13263 版画



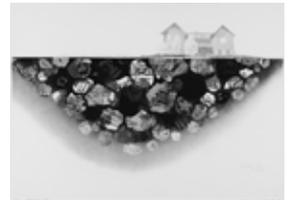
164. 松下 サトル MATSUSHITA Satoru  
東京百景 第十集 96  
AKIHABARA  
1999 (平成 11)  
木版、紙  
48.0 × 35.0 / 63.0 × 45.0  
13264 版画



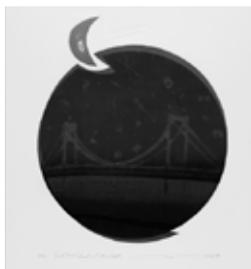
165. 清水 美三子 SHIMIZU Misako  
東京百景 第十集 97  
日比谷公園  
1999 (平成 11)  
リトグラフ、紙  
57.0 × 36.0 / 63.0 × 45.0  
13265 版画



166. 有地 好登 ARICHI Yoshito  
東京百景 第十集 98  
お喋りなバラ - 旧河庭園  
1999 (平成 11)  
エッチング・アクアチント、紙  
34.5 × 47.8 / 45.0 × 63.0  
13266 版画



167. 高部 多恵子 TAKABE Taeko  
東京百景 第十集 99  
レインボーブリッジ  
1999 (平成 11)  
銅版、紙  
41.0 × 34.0 / 63.0 × 45.0  
13267 版画



168. 小林 敬生 KOBAYASHI Keisei  
東京百景 第十集 100  
1999 - TOKYO (JAPAN) -  
目黒、自然教育園からの遠望 -  
1999 (平成 11)  
木口木版、紙  
30.0 × 40.0 / 45.0 × 63.0  
13268 版画



# 図書資料収集

## 2022 年度購入

### 逐次刊行物 10 タイトル 49 冊

(内訳)

1	イラストレーション	4 冊
2	近代画説	1 冊
3	芸術新潮	12 冊
4	新建築	12 冊
5	版画芸術	4 冊
6	美術研究	3 冊
7	美術手帖	4 冊
8	美術フォーラム 21	2 冊
9	+81	2 冊
10	炎芸術	5 冊

### 単行本 8 タイトル 8 冊

(内訳)

1	『工芸 1』	日本文教出版株式会社	2022 年
2	『美術 1』	光村図書出版株式会社	2022 年
3	『高校美術 1』	日本文教出版株式会社	2022 年
4	『高校美術 2』	日本文教出版株式会社	2022 年
5	『高校美術 3』	日本文教出版株式会社	2022 年
6	『高校生の美術 1』	日本文教出版株式会社	2022 年
7	『高校生の美術 3』	日本文教出版株式会社	2022 年
8	『美術資料』	株式会社秀学社	[2022 年]

### ガレリアグラフィカ旧蔵図書 35 冊 (購入、寄贈とも)

(内訳)

1	Loys Delteil, <i>Meryon Le peintre-graveur illustré</i>	Chez l'auteur	1921
2	Campbell Dodgson, <i>The Etchings of Charles Meryon</i>	The Studio	1921
3	Gustave Geffroy, <i>Charles Meryon</i>	H. Floury	1926
4	Marcel Guérin, <i>L'œuvre gravé de Gauguin</i>	Alan Wofsy Fine Arts	1927
5	Luigi Ficacci, <i>Piranesi: The Complete Etchings</i>	Taschen	1951
6	<i>Bernard Buffet graveur</i>	Joseph Foret	1961
7	<i>Georges Braque: His Graphic Work</i>	Harry N. Abrams	1961
8	Alfonso Ciranna, <i>Giorgio de Chirico: catalogo delle opere grafiche (incisioni e litografie), 1921-1969</i>	Alfonso Ciranna Editore/Edizioni la Medusa	1969
9	<i>Edouard Manet The Graphic Work a Catalogue Raisonné. Revised Edition</i>	Alan Wofsy Fine Arts	1970
10	Hans Konrad Röthel, <i>Kandinsky: Das graphische Werk</i>	DuMont	1970
11	J. L. Locher, <i>De werelden van M.C. Escher</i>	Meulenhoff	1971
12	<i>Charles Meryon: Prints &amp; Drawings [exh. cat.]</i>	Yale University Art Gallery	1974
13	Michel Butor; Jean Clair; Suzanne Houbart-Wilkin, <i>Delvaux: Catalogue de l'œuvre peint</i>	Société nouvelle d'éditions internationales	1975
14	Roger Van Gindertael, <i>Ensor, [translated from French by Vivienne Menkes]</i>	New York Graphic Society	1975
15	Helmut R. Leppien, <i>Max Ernst: Œuvre-Katalog. Das Graphische Werk</i>	Menil Foundation/DuMont	1975
16	Jonathan Scott, <i>Piranesi</i>	Adacemy Editions/St. Martin's Press	1975
17	Larry Saphire, <i>Fernand Leger: The Complete Graphic Work</i>	Blue Moon Press	1978
18	Charles Sorlier, <i>Bernard Buffet: Lithographie</i>	Michele Trinckvel/Draeger	1979
19	Charles Sorlier, <i>Marc Chagall et Ambroise Vollard</i>	Éditions Galerie Matignon	1981
20	<i>Giorgio de Chirico [Exhibition Catalog]</i>	Centre Georges Pompidou	1982
21	<i>The Prints of Lucas van Leyden &amp; His Contemporaries [exh. cat.]</i>	Princeton University Press	1983
22	Jack Rennert; Alain Weill, <i>The Complete Posters and Panels</i>	Hjert & Hjert	1984
23	<i>Kandinsky: Œuvres de Vassily Kandinsky (1866-1944) [exh. cat.]</i>	Centre Georges Pompidou	1984
24	Stephanie Terenzio; Dorothy C. Belknap, <i>The Prints of Robert Motherwell: A Catalogue Raisonné 1943-1984</i>	Hudson Hill Press	1984
25	<i>Giambattista Tiepolo: il segno e l'enigma [exh. cat.]</i>	Vianello Libri	1985
26	David Bindman, <i>The Complete Graphic Works of William Blake</i>	Thames and Hudson	1986
27	Andrew Robison, <i>Piranesi: Early Architectural Fantasies. A Catalogue Raisonné of the Etchings</i>	The University of Chicago Press	1988
28	Lino Mannoci, <i>The Etchings of Claude Lorrain</i>	Yale University Press	1986
29	Christopher Skelton, <i>Eric Gill: The Engravings</i>	The Herbert Press	1990
30	<i>Martin Schongauer: Maître de la gravure rhénane, vers 1450-1491 [exh. cat.]</i>	Paris-Musées	1991

31	<i>Museo Morandi: Catalogo generale / Complete Illustrated Catalogue</i>	Silvana	1993
32	David H. Weinglass, <i>Prints and Engraved Illustrations By and After Henry Fuseli: A Catalogue Raisonné</i>	Scolar Press	1994
33	Rainer Michael Mason; Christopher Cherix, <i>Henri Michaux: Les estampes, 1948–1984. Catalogue raisonné</i>	Cabinet des estampes du musée d'art et d'histoire; Patrick Cramer	1997
34	『アンソール版画展』 [展覧会図録]	マンガステイン	2001
35	Eric Gillis; Patrick Florizoone, <i>James Ensor: A Collection of Prints</i> [Auction cat.]	C. G. Boerner	2003

# 保存事業

## 作品・資料の状態調査、保存修復、保存環境の整備等

### 1 作品・資料の状態調査

展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、マウントや額の改良・交換を中心に処置を進めた。

### 2 作品・資料の保存環境

館内が作品保存にふさわしい環境であるように整備、管理した。

- ・展示室、収蔵庫等作品保管区画の温湿度観察を実施
- ・収蔵庫、展示資材倉庫等の清掃を実施
- ・IPM（総合有害生物管理）の一環として、外部の専門家に委託してトラップによるモニタリングを館内98箇所ですべて4回実施（7月、9月、12月、2023年3月）。常に調査すべき16箇所では8回実施（4月、5月、6月、8月、10月、11月、2023年1月、2月）
- ・収蔵庫・展示室・展示ケース内のホルムアルデヒド・酢酸・蟻酸を測定する空気環境測定を実施（6月、11月の2回）
- ・展示室等のブンガノンによる燻蒸を実施（1階：1月、2階・地下：1月）
- ・収蔵庫・展示室など22箇所をエアースンプラーにより採取、培養検査を行う空中浮遊菌調査を実施（12月）
- ・新収蔵作品・受託作品を中心にエキヒュームSによる被覆燻蒸を実施（5月）
- ・収蔵庫、一時保管庫の棚・マップケースを増設（8月～）

### 3 作品・資料の保存修復

館外の保存修復専門家による状態調査を実施・記録し、修復が必要と判断された作品のうち、優先順位の高いものについて処置を実施した。

#### 〈紙本作品〉

織田一磨『大阪風景』《永代濱》1917年 石版、紙

織田一磨『大阪風景』《津村別院》1918年 石版、紙

織田一磨『大阪風景』《中之島公園》1918年 石版、紙

織田一磨『大阪風景』《安治川口》1918年 石版、紙

織田一磨『大阪風景』《浮世小路月夜》1918年 石版、紙

織田一磨『大阪風景』《京町橋夜景》1919年 石版、紙

織田一磨『大阪風景』《京町堀》1919年 石版、紙

織田一磨『大阪風景』《高津神社》1919年 石版、紙

主な処置内容：

状態調査、本紙の変色・染みの軽減、欠損部・破れ補修、ヒンジ接着ほか

処置者：坂本雅美

石垣栄太郎《ハーレム裁判所のための壁画画稿 I（アフリカにおける奴隷狩り）》1935-37（昭和10-12）年頃 木炭、紙、パネル（2面）

主な処置内容：

水洗による酸化中和処理、破れなど仮補修、パネルへの仮留めほか

処置者：坂本雅美

石垣栄太郎《ハーレム裁判所のための壁画画稿 II（アメリカ独立革命）》1935-37（昭和10-12）年頃 木炭、紙、パネル（2面）

主な処置内容：

本紙をパネルから外す、水洗による酸化中和処理、破れなどの仮補修、パネルへの仮留めほか

処置者：坂本雅美

## 4 作品・資料の管理

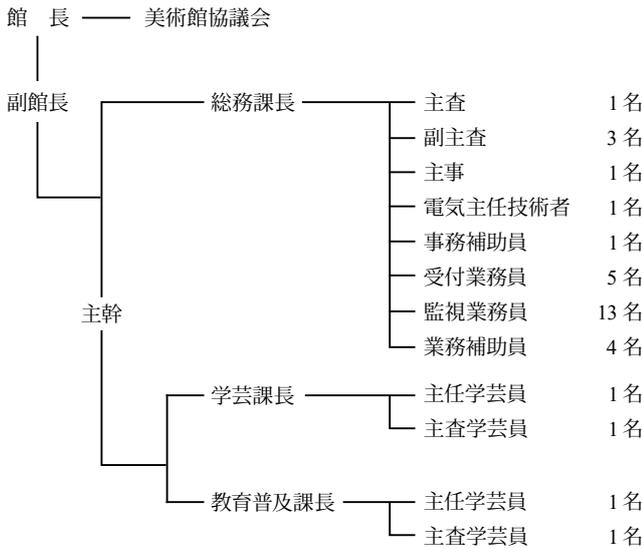
作品の状態調査、展示、貸出記録、台帳・データベースの管理を日常的に実施、更新処理を行っている。

## 5 作品・資料のデータ公開

展覧会出品目録、新収蔵作品目録を年報に掲載した。

# 管理運営

## 組織



## 機構及び職員配置

館長： 山野 英嗣  
 副館長： 南 正人  
 主幹： 奥村 泰彦  
 総務課 総務課長：花田 眞秀  
 主査：池田 真理(和歌山県立博物館主査兼務)  
 副主査：大西 佑亮(和歌山県立博物館副主査兼務)  
 主事：立花 佳樹(和歌山県立博物館副主査兼務)  
 副主査：井上 佳典(和歌山県立博物館副主査兼務)  
 主事：西山 真帆(和歌山県立博物館主事兼務)  
 電気主任技術者：寺井 武志(会計年度任用職員)  
 学芸課 学芸課長：井上 芳子  
 主任学芸員：植野 比佐見  
 主査学芸員：青木 加苗  
 教育普及課 教育普及課長：奥村 一郎  
 主任学芸員：宮本 久宣  
 主査学芸員：藤本 真名美  
 事務補助員 1名、受付業務員 5名、監視業務員 13名、業務補助員 4名

## 和歌山県立近代美術館協議会委員

任期2年：2022(令和4)年11月2日まで

	氏名(◎会長)	役職
◎	榎本 長治	会社社長
	奥村 孝	和歌山市立雑賀崎小学校 校長/和歌山県美育連盟 会長
	五十殿 利治*	筑波大学 名誉教授
	川瀬 和男	会社社長
	杵村 直子	一般社団法人 MAP 代表理事
	鈴木 源二	画家/和歌山県美術家協会 会長
	建畠 哲**	多摩美術大学 学長/埼玉県立近代美術館 館長
	谷 奈々	一般財団法人 和歌山社会経済研究所 研究委員
	真砂 美香	紀の川市子ども・子育て会議委員/わかやまメディアリテラシー研究会 代表
	三木 哲夫*	兵庫陶芸美術館 館長
	雪山 行二*	前富山県美術館 館長
	渡部 幹雄	和歌山大学 名誉教授

氏名五十音順、委員 12名

\*は、和歌山県立近代美術館評価部会委員。\*\*は部会長。現在委員 4名

任期2年：2022(令和4)年11月3日から2024(令和6)年11月2日まで

	氏名(◎会長 ○副会長)	役職
◎	榎本 長治	会社社長
	奥村 孝	前和歌山市立雑賀崎小学校 校長/前和歌山県美育連盟 会長
	五十殿 利治*	筑波大学 名誉教授
	川瀬 和男	会社社長
	杵村 直子	一般社団法人 MAP 代表理事
	鈴木 源二	画家/和歌山県美術家協会 会長
	建畠 哲**	多摩美術大学 学長/埼玉県立近代美術館 館長
	谷 奈々	一般財団法人 和歌山社会経済研究所 研究委員
	真砂 美香	紀の川市子ども・子育て会議委員/わかやまメディアリテラシー研究会 代表
○	三木 哲夫*	兵庫陶芸美術館 館長
	雪山 行二*	前富山県美術館 館長
	渡部 幹雄	和歌山大学 名誉教授

氏名五十音順、委員 12名

\*は、和歌山県立近代美術館評価部会委員。\*\*は部会長。現在委員 4名

## 第72回和歌山県立近代美術館協議会

2022(令和4)年6月22日午後2時より開催。2021(令和3)年度事業報告、2022(令和4)年度事業説明を受けて、当館の運営について協議が行われた。

## 第73回和歌山県立近代美術館協議会

2022(令和4)年10月20日午後2時より開催。2023(令和5)年度事業案などについてなど協議が行われた。

## 第11回和歌山県立近代美術館評価部会

2022(令和4)年6月22日午後3時50分より開催。2021(令和3)年度美術館運営評価、および2022(令和4)年度美術館運営目標などについて協議した。

## 5 情報公開・利用者のニーズなどの把握

### 1. 使命、目標、計画などの方針の公開

・和歌山県立近代美術館の使命を2016年3月4日よりホームページで公開している。

### 2. 実績や評価結果の公開

・2021年度の実績評価についてホームページで公開した。

### 3. 入館者情報(年齢層・地域・情報入手手段等)の把握

・アンケートにより入館者情報の把握を行った。

### 4. 利用者の満足度・ニーズなどの把握

・アンケートにより利用者の満足度・ニーズなどの調査を行った。

### 5. 調査結果等を反映した運営

・エントランス床のクリーニング清掃を行った。

## 安全と快適性

### 1 施設・設備の維持管理

#### 1. 施設・設備の定期的な保守管理、日常的なメンテナンス、修繕、関係職員への教育等による安全確保

・施設・設備の定期的な保守管理、日常のメンテナンスを行うとともに、経年劣化による修繕箇所を把握し、空調設備、ブロック塀改修、所蔵美術作品修復等の修繕を予算の範囲内で実施することにより安全確保を行った。

#### 2. 施設・設備の改修や新たな整備

・外壁改修工事を実施した。(施工完了令和5年7月19日)  
・エレベーター改修工事に伴う実施設計を行った。

#### 3. 日常的なメンテナンス等による施設の美観の保持・衛生管理

・日々メンテナンスを行い設備の保持、施設の美観等衛生管理を行った。  
・天井の雨漏りに対して部分修繕を行った。

### 2 快適性の向上

#### 1. バリアフリー対策・ユニバーサルデザイン等の対応

・必要に応じて導線上の点字ブロックの修繕、自動ドア等の改修を行った。

#### 2. 利用者に対する接遇

・職員に対し、利用者への適切な対応をするよう指導した。

#### 3. 快適性向上のための上記以外の取り組み

・経年劣化によるトイレ設備の修繕を行った。

### 3 危機管理

#### 1. 危機管理・防災体制

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒剤や自動体温計を設置するなど来館者への感染拡大防止への体制を強化した。  
・地震及び火災時の避難訓練を実施した。

#### 2. 個人情報の保護・データ管理

・講演会等の展覧会関連事業開催に伴う参加者及び学芸員育成にかかる実習生の情報管理を適切に行った。

### 4 職員研修

・研修への参加には、できる限り対応したが、各職員2回以上は達成できなかった。

## 2022（令和4）年度 展覧会入館者数

### 特別展・企画展

展覧会名	モダン・プリント	なつやすみの美術館	稗田一徳展	ニッポンの油絵	とびたつとき	とびたつとき*参考	特別展・企画展 合計	
会期	4月9日～ 6月26日	7月5日～ 9月4日	9月10日～ 11月6日	11月12日～ 12月25日	2月4日～ 3月31日	4月1日～ 4月9日		
日数	68	54	50	38	48	8	258	
(有料)								
個人	一般	2,127	1,916	1,364	823	979	208	7,209
	団体	0	7	0	0	0	0	7
	紀陽	0	146	162	0	0	0	308
	友の会	54	44	47	18	33	4	196
	割引	257	221	152	101	122	19	853
大学生	一般	125	208	101	57	120	12	611
	団体	0	57	0	0	0	0	57
	紀陽	14	20	9	7	11	0	61
	割引	18	16	24	10	13	1	81
小計	2,595	2,635	1,859	1,016	1,278	244	9,383	
(無料)								
高齢者	1,114	763	1,934	832	1,127	227	5,770	
障害者	200	139	228	104	138	23	809	
その他	1,261	1,613	1,203	1,438	994	328	6,509	
県内留学生	8	4	5	0	1	2	18	
高校生	76	452	82	124	48	15	782	
中学生	230	1,566	267	19	30	9	2,112	
小学生	167	432	140	64	93	36	896	
幼児	119	165	74	45	43	15	446	
団体	855	150	915	436	31	0	2,387	
小計	4,030	5,284	4,848	3,062	2,505	655	19,729	
合計	6,625	7,919	6,707	4,078	3,783	899	29,112	
入館料	1,279,370	1,254,280	1,385,940	498,270	952,000	187,520	5,369,860	

紀陽＝紀陽文化財団の助成による入館者 割引＝メールマガジン持参、博物館入館者、5館連携入館者 その他＝招待券等による入館者

### 常設展

展覧会名	コレクション展 2022-冬春 *参考	コレクション展 2022-冬春	コレクション展 2022-春夏	コレクション展 2022-夏秋	コレクション展 2022-秋冬/ ミティラー美術館 コレクション展	コレクション 名品選	コレクション展 2023-春	コレクション展 2023-春 *参考	常設展合計	
会期	2月8日～ 3月31日	4月1日～ 4月17日	4月29日～ 7月3日	7月16日～ 9月25日	10月8日～ 12月25日	1月7日～ 1月22日	2月11日～ 3月31日	4月1日～ 5月7日		
日数	45	15	57	62	68	14	42	32	258	
(有料)										
個人	一般	1,069	286	1,524	2,001	1,759	0	1,008	943	6,578
	団体	0	0	0	7	0	0	0	20	7
	紀陽	139	0	0	128	128	0	0	0	256
	友の会	20	13	32	41	46	0	29	16	161
	割引	163	42	215	272	189	0	111	69	829
大学生	一般	179	27	93	275	96	0	106	48	597
	団体	0	0	0	57	0	0	0	0	57
	紀陽	12	0	11	22	10	0	11	2	54
	割引	32	3	16	22	9	0	16	3	66
小計	1,614	371	1,891	2,825	2,237	0	1,281	1,101	8,605	
(無料)										
高齢者	701	290	756	790	1,534	0	761	497	4,131	
障害者	96	39	124	134	207	0	95	70	599	
その他	442	256	1,169	1,367	1,754	1,476	539	659	6,561	
県内留学生	0	6	2	8	1	0	1	2	18	
高校生	85	9	57	317	157	0	38	37	578	
中学生	39	6	211	567	153	0	29	36	966	
小学生	101	23	118	365	121	0	84	69	711	
幼児	72	11	83	128	83	0	31	20	336	
団体	41	429	426	134	1,118	0	0	53	2,107	
小計	1,577	1,069	2,946	3,810	5,128	1,476	1,578	1,443	16,007	
合計	3,191	1,440	4,837	6,635	7,365	1,476	2,859	2,544	24,612	
入館料	42,390	32,180	52,180	101,520	194,720	0	93,700	117,680	474,300	

## その他

展覧会名	第76回県展	第8回 ジュニア県展
会期	1月11日～ 1月15日	1月18日～ 1月22日
日数	5	5
(有料)		
個人	一般	
	団体	
	紀陽	
	友の会	
	割引	
大学生	一般	
	団体	
	紀陽	
	割引	
小計		
(無料)		
高齢者		
障害者		
その他		
県内留学生		
高校生		
中学生		
小学生		
幼児		
団体		
小計	2,875	2,434
合計	2,875	2,434
入館料	0	0

## 総計

開館日数	258	
(有料)		
個人	一般	13,787
	団体	14
	紀陽	564
	友の会	357
	割引	1,682
大学生	一般	1,208
	団体	114
	紀陽	115
	割引	147
小計	17,988	
(無料)		
高齢者	9,901	
障害者	1,408	
その他	13,070	
県内留学生	36	
高校生	1,360	
中学生	3,078	
小学生	1,607	
幼児	782	
団体	4,494	
小計	35,736	
入館者数合計	53,724	
入館料	5,844,160	

紀陽：紀陽文化財団の助成による入館者

その他：招待券、招待状、優待券による入館者

割引：メールマガジンなどの持参による入館者

※第76回県展及び第8回ジュニア県展は入館者に計上していない。

※「参考」と付した展覧会の入館者数および入館料は、前年度あるいは次年度のため、合計には計上していない。

# 関係法規・規則・規定等

## ○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和 45 年 10 月 6 日  
和歌山県条例第 64 号  
改正 平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

### 和歌山県立近代美術館設置及び管理条例（平 6 条例 18・改称）

（設置）

**第 1 条** 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）を設置する。

（平 6 条例 18・一部改正）

（位置）

**第 2 条** 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目 4 番 14 号に置く。

（平 6 条例 18・一部改正）

（事業）

**第 3 条** 近代美術館は、第 1 条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。
- (2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

（平 6 条例 18・一部改正）

（使用料）

**第 4 条** 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例（昭和 22 年和歌山県条例第 28 号）の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

（委任）

**第 5 条** 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例は、昭和 45 年 11 月 2 日から施行する。

附 則（平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号）

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和 45 年 10 月 22 日  
和歌山県教育委員会規則第 20 号

**改正** 昭和 53 年 4 月 1 日教育委員会規則第 12 号  
昭和 56 年 5 月 28 日教育委員会規則第 7 号  
昭和 63 年 3 月 31 日教育委員会規則第 13 号  
平成 元年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号  
平成 6 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号  
平成 13 年 3 月 30 日教育委員会規則第 11 号  
平成 17 年 2 月 25 日教育委員会規則第 2 号  
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 15 号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

### 和歌山県立近代美術館管理規則

（目的）

**第 1 条** この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例（昭和 45 年和歌山県条例第 64 号。以下「条例」という。）第 5 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

（開館時間）

**第 2 条** 近代美術館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。  
2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

（休館日）

**第 3 条** 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。  
(1) 毎週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日）  
(2) 年始（1 月 1 日から同月 3 日まで）  
(3) 年末（12 月 29 日から同月 31 日まで）  
(4) 前 3 号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日  
2 館長は、必要があると認めるときは、その他特別の事情があるときは、前項第 1 号から第 3 号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。  
3 非常変災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。  
(1) 休館の期間  
(2) 非常変災その他急迫の事情の概要  
(3) その他必要と認める事項

（職員）

**第 4 条** 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

（課の設置及び所掌事務）

**第 5 条** 近代美術館に、次の課を置く。  
総務課  
教育普及課  
学芸課

- 2 総務課においては、次の事務をつかさどる。
  - (1) 館長印、館印その他公印の管守に関する事。
  - (2) 職員の身分、服務その他人事に関する事。
  - (3) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関する事。
  - (4) 予算、決算及び会計に関する事。
  - (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関する事。
  - (6) その他学芸課の主管に属しない事。
- 3 教育普及課においては、次の事務をつかさどる。
  - (1) 美術に関する知識の向上及び普及並びに美術の振興に関する事。
  - (2) 学校等の教育、学術又は文化に関する諸施設に対する助言及び支援並びに当該施設との協力に関する事。
  - (3) 国内外の美術館等関係諸団体との連絡及び協力に関する事。
  - (4) 近代美術に関する展覧会、講演会及び研究会等の立案、調整及び実施に関する事。
  - (5) 美術館活動（美術品等の展示及び収集並びに美術の普及活動等をはじめとして広く美術館において行う諸活動をいう。）に係る調査研究に関する事。
- 4 学芸課においては、次の事務をつかさどる。
  - (1) 美術品及び美術に関する資料の収集、管理及び保存に関する事。
  - (2) 近代美術に関する展覧会の立案、調整及び実施に関する事。
  - (3) 近代美術に関する調査研究及び資料の刊行に関する事。
  - (4) 近代美術館協議会に関する事。

（入館の拒絶、制限及び退館命令）

**第6条** 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 伝染性疾患のある者
  - (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
  - (3) 館内の秩序を乱すと認められる者
  - (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不相当と認めた者
- 2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。

（損害賠償の義務）

**第7条** 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

（委任）

**第8条** この規則に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

**付 則**

この規則は、昭和45年11月2日から施行する。

**附 則**（昭和53年4月1日教育委員会規則第12号）

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則**（昭和56年5月28日教育委員会規則第7号）

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則**（昭和63年3月31日教育委員会規則第13号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

**附 則**（平成元年3月31日教育委員会規則第7号）

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

**附 則**（平成6年3月31日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

**附 則**（平成13年3月30日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

**附 則**（平成17年2月25日教育委員会規則第2号）

この規則は平成17年4月1日から施行する。

**附 則**（平成19年3月30日教育委員会規則第15号）

この規則は平成19年4月1日から施行する。

# ○和歌山県博物館協議会条例

昭和 57 年 3 月 29 日

和歌山県条例第 11 号

改正 平成 24 年和歌山県条例 28 号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

## 和歌山県博物館協議会条例

(設置)

**第 1 条** 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 20 条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の任命の基準)

**第 2 条** 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

**第 3 条** 委員の定数は、15 人以内とする。

(任期)

**第 4 条** 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

**第 5 条** 協議会に、会長及び副会長 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第 6 条** 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

**第 7 条** 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。

2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。

3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。

4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

**第 8 条** 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

**第 9 条** この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 24 年 3 月 23 日条例第 28 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(平成元年 8 月 1 日教育長決定)

改正 平成 14 年 3 月 1 日

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱を次のように定める  
**和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱**

(目的)

**第1条** 和歌山県博物館協議会条例(昭和 57 年和歌山県条例第 11 号)第 7 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)において収集する美術作品の選定に関する事務を適正かつ円滑に行うことを目的として、和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(業務)

**第2条** 委員会は、美術館において収集する美術作品の選定に関する事項を審議する。

(構成)

**第3条** 委員会は、委員 5 名以内をもって構成する。  
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。  
3 委員の任期は、2 年とし、再任することができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

**第4条** 委員会に、委員長を置く。  
2 委員長は、委員のうちから協議会会長が指名する。  
3 委員長は、会務を総理する。ただし、委員長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

**第5条** 委員会の会議は、和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)が招集する。  
2 委員会の会議には、館長が、必要に応じて、委員でない者の出席を求めることができる。

(庶務)

**第6条** 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

**第7条** この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は、館長が定める。

### 附 則

この要綱は、平成元年 8 月 1 日から施行する。

改正文(平成 14 年教育長決定)抄

この要綱は、平成 14 年 3 月 1 日から施行する。

## ○和歌山県立近代美術館評価部会設置要綱

平成 26 年 4 月 1 日施行

(目的)

**第1条** 和歌山県博物館協議会条例(昭和 57 年和歌山県条例第 11 号)第 7 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)の運営の状況等を評価することを目的として、和歌山県立近代美術館評価部会(以下「部会」という。)を設置する。

(業務)

**第2条** 部会の業務は、次に掲げるとおりとする。  
(1) 美術館の運営について評価する項目を定め、各項目について評価を行う。  
(2) 館長が行った新規採用学芸員に係る条件付き採用期間中の評価及び既存の学芸員に係る 3 年に 1 度の評価に関し、意見を述べる。

(委員)

**第3条** 委員の定数は、5 人以内とする。  
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。

(任期)

**第4条** 委員の任期は、2 年とし、再任することができる。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

**第5条** 部会に、部会長を置く。  
2 部会長は、委員のうちから協議会会長が指名する。  
3 部会長は、会務を総理する。ただし、部会長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

**第6条** 部会の会議は、美術館長(以下「館長」という。)が招集する。  
2 部会の会議には、館長が、必要に応じて、委員ではない者の出席を求めることができる。

(庶務)

**第7条** 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

**第8条** この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、館長が定める。

# ○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和46年10月12日

和歌山県教育委員会規則第26号

改正 昭和56年8月29日教委規則第15号平成元年3月31日

教委規則第8号

平成31年4月5日教委規則第17号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

## 和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

**第1条** この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品(以下「美術品」という。)の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

**第2条** 和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認められた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

- 2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

**第3条** 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所
- (2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量
- (3) 使用目的
- (4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要
- (5) 借受期間
- (6) 借受期間中における保管及び管理の方法
- (7) その他参考となる事項

(貸付承認)

**第4条** 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書(別記様式)を申請者に交付する。

(貸付期間)

**第5条** 美術品の貸付期間は、通常2月以内(以下「1期間」という。)とする。ただし、館長が必要と認めるときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(借受書等)

**第6条** 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

- (1) 借り受ける美術品の名称及び数量
  - (2) 借受期間
  - (3) 返納期日
  - (4) 返納場所
  - (5) 貸付条件に従う旨
- 2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。
  - 3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換えに返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(遵守事項等)

**第7条** 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

- 2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。

- 3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(貸付料)

**第8条** 美術品の貸付料は、1点につき1期間3,300円とし、第5条ただし書の貸付期間の延長の場合にあっては、1月以内の延長期間については1,650円とし、1月を超える延長期間については3,300円とする。

- 2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することができる。

- 3 既納の貸付料は、これを返還しない。

(貸付けの取消し)

**第9条** 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることができる。

(補則)

**第10条** この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 和歌山県立美術館美術品貸付規程(昭和42年和歌山県教育委員会規則第22号)は、廃止する。

附 則(昭和56年8月29日教育委員会規則第15号)

この規則は、昭和56年9月1日から施行する。

附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成31年4月5日教育委員会規則第17号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、平成31年10月1日から施行する。

別記様式(第4条関係)

番号				
年 月 日				
<b>美術品貸付承認書</b>				
殿				
和歌山県立近代美術館長 ㊟				
年 月 日付けで承認申請のあった当館所蔵の美術品の				
貸付けについては、下記によって承認する。				
記				
1	貸付品	種別	作者名	題名
		材質	形状	製作年
2	貸付期間	年 月 日から	年 月 日まで	
3	貸付料	金	円	
				上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。
4	美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受人において負うものとする。			
5	美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引換えに引き渡すものとする。			
6	その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。			

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

# ○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和46年10月12日  
和歌山県教育委員会告示第12号  
改正 平成6年3月31日教委告示第1号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

## 和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

**第1条** この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

**第2条** 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあったときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれを無償で受託するものとする。

(寄託)

**第3条** 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第1号様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならない。

(受入れ及び返還)

**第4条** 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第2号様式による受託証書を交付するものとする。

- 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の1月前に別記第3号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。
- 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。
- 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

**第5条** 寄託期間は、3年とする。ただし、館長が必要と認めるときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。

2 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

**第6条** 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、又は所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出て、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

**第7条** 受託証書を忘失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

**第8条** 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(補則)

**第9条** この規程に定めるもののほか美術品の寄託に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会告示第1号)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

別記第1号様式(第3条関係)

### 美術作品保管依頼書

種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製 作 年 月 日	
附 属 品	
作品の所在地	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し入れます。

年 月 日

和歌山県立近代美術館長 殿

住所

氏名

㊞

記

- 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。
- 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。
- 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。

	文書番号
	年 月 日
<b>受託証書</b>	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。	
年 月 日	
住所	
氏名	様
	和歌山県立近代美術館長 印

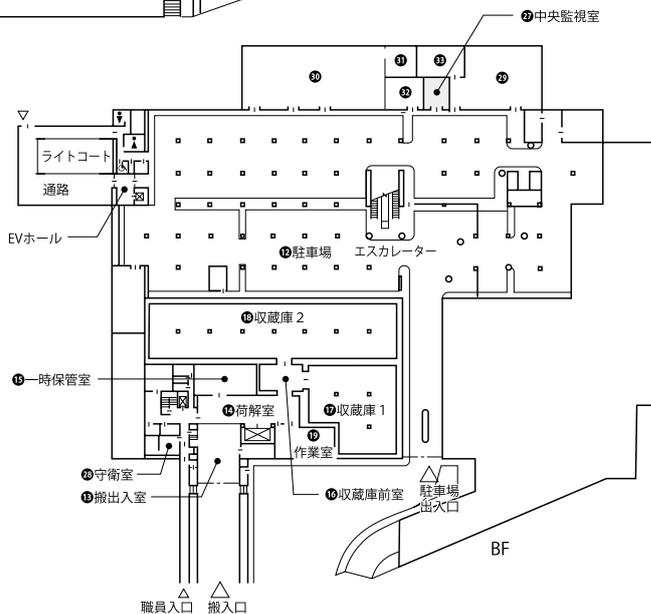
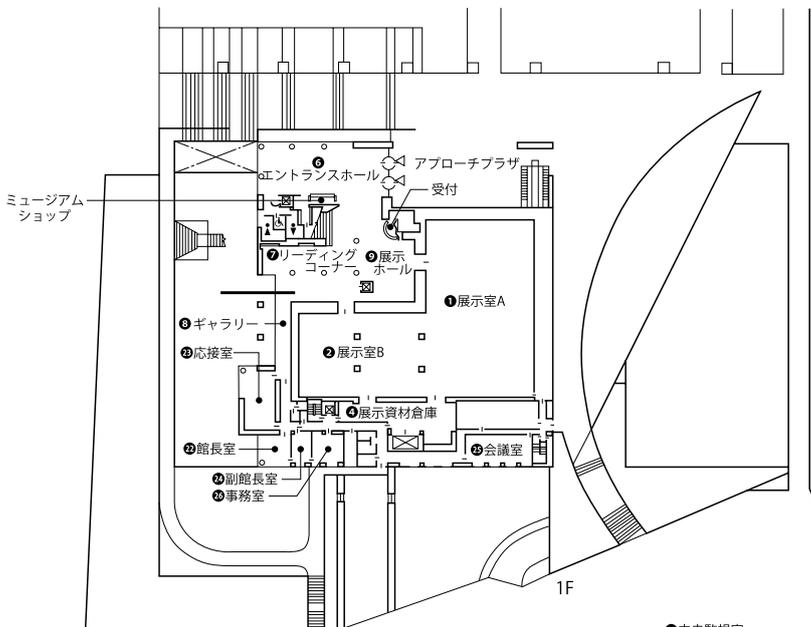
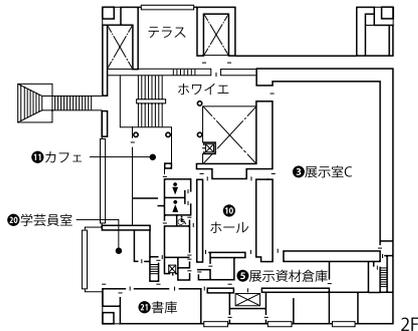
<b>返還請求書</b>	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。	
年 月 日	
和歌山県立近代美術館長 殿	
	住所
	氏名
	印

# 建築概要

## 部門別面積表

部門	室名	面積 (㎡)
<b>展示部門</b>		
①	展示室 A	1,057.0
②	展示室 B	486.1
③	展示室 C	1,038.6
④	展示資材倉庫 (1F)	136.2
⑤	展示資材倉庫 (2F)	121.5
	(小計)	2,839.4
<b>サービス部門</b>		
⑥	エントランスホール	402.2
⑦	リーディングコーナー	217.8
⑧	ギャラリー	46.9
⑨	展示ホール	134.0
⑩	ホール	181.5
	ホール前室、映写室、控室 A、倉庫	74.6
⑪	カフェ	105.1
	厨房	62.0
	テラス	217.9
	化粧室	181.9
⑫	駐車場	2,480.1
	EV ホール、廊下、階段、その他	1,670.7
	(小計)	5,774.7
<b>収蔵部門</b>		
⑬	搬出入室	108.4
⑭	荷解室	130.0
⑮	一時保管室	81.0
⑯	収蔵庫前室	61.4
⑰	収蔵庫 1	342.5
⑱	収蔵庫 2	685.6
⑲	作業室	82.0
	(小計)	1,490.9
<b>調査部門</b>		
⑳	学芸員室、倉庫	123.2
㉑	書庫	113.1
	(小計)	236.3
<b>管理部門</b>		
㉒	館長室	
㉓	応接室	
㉔	副館長室	
㉕	会議室	
㉖	事務室	
㉗	中央監視室	444.7
㉘	守衛室	
	控室 B	
	控室 C	
	控室 D	
	更衣室	
	救護室	
㉙	電気室	212.4
㉚	マシンルーム	364.9
㉛	消火ポンプ室	38.7
㉜	ハロンボンベ室	51.2
㉝	発電機室	58.1
	空調機械室	295.5
	倉庫、その他	31.1
	(小計)	1,496.6
	<b>合計</b>	<b>11,837.9</b>

階数	各階面積
2F	2,916.8
1F	3,436.8
BF	5,484.3
<b>合計 (延床面積)</b>	<b>11,837.9</b>



## 近代美術館・博物館 建築概要

---

所在地	和歌山市吹上一丁目4番14号
敷地面積	23,356.78㎡
監理	和歌山県土木部営繕課
設計監理	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体 日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総工費	137億8086万円 〔総事業費 192億633万1千円(用地費含む)〕
工事期間	1991年10月～1994年3月

## 建物概要

---

構造	RC造(鉄筋コンクリート構造) 地上2階地下1階建
建築面積	7,087.17㎡ (美術館部分4,500.62㎡ 博物館部分2,586.55㎡)
延床面積	18,704.50㎡(駐車場3,460.40㎡を含む) (美術館部分11,837.90㎡ 博物館部分6,866.60㎡)
仕上	外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイト仕上、アルミカーテンウォール 屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え 庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイト仕上

## 設備概要

---

電気設備	
受変電設備	3φ3W6600V 60Hz 変圧器 1φ600KVA(うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ1550KVA(うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ3W6600V 375KVA
蓄電池設備	キュービクル式直流電源装置 容量 300AH
空調設備	
熱源設備	空気熱源熱回収型スクリー式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT 蓄熱槽 1560㎡
排煙設備	自然排煙+機械排煙6系統(うち美術館4系統 博物館2系統)
衛生設備	
給水設備	受水槽 上水10㎡、雑用水29㎡ 受水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水・雨水分流式(公共下水道へ放流)
消火設備	ハロンガス消火(収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) / 屋内消火栓 / スプリンクラー / 消火器 / 泡消火(駐車場)
自動火災報知設備	(館内守衛室にて集中管理) 煙感知器 光電スポット型 美術館239台 博物館139台 熱感知機 差動スポット型 美術館91台 博物館52台 定温スポット型 美術館17台 博物館13台
防災・防犯設備	(館内守衛室にて集中管理) 受信盤 複合GR型 1020回線 ITV監視装置、防災アンプ(720W) 監視カメラ 美術館29台(うち展示室9台) 博物館15台(うち展示室6台) 防犯センサー

## 展示・保存環境

		面積	床材	天上高
展示部門	1F 展示室 A	1,057.0㎡	ナラフローリング	5m
	ケース	L13,706 × D1,200 × H3,372 + L31,070 × D1,200 × H3,372 (mm)		
	1F 展示室 B	486.1㎡	同上	4m
	2F 展示室 C	1,038.6㎡	同上	5m
	ケース	L25,211 × D1,200 × H3,372 (mm)		
2F 展示資材倉庫	1F 展示資材倉庫	136.2㎡	ビニアスタイル	4m
		121.5㎡	同上	4m
収蔵部門	収蔵庫 1 (立体)	342.5㎡	耐水合板下地	4m
		ブナフローリング		
	収蔵庫 2 (平面)	685.6㎡	同上	4m
	前室	61.4㎡	同上	4m
	一時保管室	81.0㎡	モザイクパーケット	4m
	作業室	82.0㎡	ビニアスタイル	5.8m
	荷解室	130.0㎡	同上	5.8m
	搬出入口	108.4㎡	モルタル金ゴテ / エポキシ系塗床	4.8m
展示照明 (1 階)	LED ダウンライト / LED スポットライト (着脱式) / LED 壁面ケース内ライト			
	高演色タイプ、無段階調光調色可能			
(2 階)	LED ダウンライト / LED スポットライト (着脱式) / LED 壁面ケース内ライト			
				高演色タイプ、無段階調光調色可能
空 調	展示室	2 系統		
	収蔵庫	2 系統		
	展示室	設定温度	通年 22℃	
		設定湿度	通年 55%	
	収蔵庫	設定温度	通年 22℃	
	設定湿度	通年 55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m / min・最大積載量 3.0 トン			
	H3,000 × W5,000 × D2,500 (mm)			

# 案内

## 利用案内

開館時間 9:30～17:00（入場は16:30まで）  
休館日 毎週月曜日（祝日のときは翌平日）  
年末年始（12月29日～1月3日）  
展示替え期間  
駐車場 有料（90台収容）

## 交通案内

JR和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、  
「県庁前」下車、徒歩2分  
（和歌山城の南、県庁前交差点すぐ）



2022 (令和 4) 年度  
和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2024  
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上 1-4-14  
tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337  
2024 (令和 6) 年 3 月 31 日発行  
印刷 株式会社協和